

小樽市における
人口減少の要因分析
及び
有効な施策に関する研究

資料編

平成30年7月
小樽市人口減少問題研究会

目 次

■ 各種アンケート集計表

I 小樽市民アンケート調査	1
【参考】居住志向・年代・性別によるクロス集計結果	14
II 子育て・教育環境アンケート調査	41
【参考】居住志向・年代・回答者属性によるクロス集計結果	49
III 札幌近郊住民アンケート調査	67
【参考】年代・性別によるクロス集計結果	78
IV 自治体アンケート調査	88

■ 各種アンケート調査票

・ 小樽市民アンケート調査	97
・ 子育て・教育環境アンケート調査	
〔2歳・5歳の子を持つ世帯〕	115
〔小学2年生・5年生、中学2年生の子を持つ世帯〕	125
・ 札幌近郊住民アンケート調査	135
・ 自治体アンケート調査	141

I 小樽市民アンケート調査

1 調査概要

1.1 調査目的

本調査は、小樽市民の方々の仕事や家族構成、小樽市の公共サービスなどの満足度についてどのような考えを持っており、どう評価しているのかを把握することで、小樽市での定住にどの程度結びつくのか、また、どのような点を改善することにより定住していただけるのかを分析することにより、人口減少対策を検討する基礎資料とすることを目的とする。

1.2 調査方法と回収数等

- (1) 調査地域 小樽市内全域
- (2) 調査対象 小樽市在住の18歳以上の方
- (3) 標本構成 標本数 3,000件
回収数 972件
無効数 0件
有効回収数 972件（回収率32.4%）
- (4) 集出方法 平成30年1月1日現在の住民基本台帳より、市民3,000人を無作為に抽出
- (5) 調査方法 郵便配布・郵便回収
- (5) 調査期間 平成30年1月12日～平成30年1月31日

2 アンケート結果

(1) 回答者属性

① 性別

男	女	未回答
371	572	29

② 年齢

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	未回答
23	84	120	153	177	157	134	98	26

③ 学歴

中学校	高等学校	短期大学・ 専門学校	大学	大学院	その他	未回答
99	444	212	152	6	31	28

【小樽市民アンケート】

④ 居住地区

北西部	202
塩谷地区	32
長橋・オタモイ地区	112
高島地区	58
中央部	445
手宮地区	51
山手地区	137
中央地区	107
南小樽地区	150

東南部	295
朝里地区	200
銭函地区	95
未回答	30

⑤ 年収

0円	～100万円	～200万円	～300万円	～400万円	～500万円	～600万円	～700万円	～800万円	～900万円	～1,000万円	1,000万円超	未回答
82	190	217	182	106	66	40	27	12	10	7	7	26

(2) 勤務の状況

① 職業

自営業	会社員		公務員・団体職員・教職員		パートタイム・アルバイト	学生	専業主婦・主夫	無職	その他	未回答
	正規雇用 :期限なし	フルタイム 非正規雇用 :期限あり	正規雇用 :期限なし	フルタイム 非正規雇用 :期限あり						
56	235	42	56	15	140	37	142	192	27	30

事務職	販売職	サービス業	生産現場・技能職	運輸	保安職	専門職・技術職	管理職	農林水産業	その他	未回答
92	72	101	54	28	8	126	20	5	55	10

② 勤務先所在地

小樽市	札幌市	後志	その他道央	その他道内	その他	未回答
426	96	11	10	2	2	24

③ 勤続年数

10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上 40年未満	40年以上 50年未満	50年以上	未回答
267	114	84	44	26	8	28

④ 仕事の満足度

	そう思う	どちらかと言え ばそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう 思わない	未回答	平均
今の仕事にやりがいを感じる	145	206	140	45	24	41	3.72
収入に満足している	57	143	140	101	118	42	2.86
収入が安定している	135	217	89	61	56	43	3.56
職場の人間関係に満足している	123	203	136	54	39	46	3.57
転職したい	67	52	158	72	204	48	2.47

⑤ 定年制度

ない	ある				わからない	未回答
	59歳以下	60歳	61歳～65歳	66歳以上		
158	9	192	95	31	79	37

⑥ 何歳まで働きたいか

～49歳	50～59歳	60歳	61～64歳	65歳	66～69歳	70歳	71歳以上
12	27	82	6	157	11	146	50

(3) 居住歴など

① 小樽での居住年数

10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上 40年未満	40年以上 50年未満	50年以上 60年未満	60年以上 70年未満	70年以上 80年未満	80年以上	未回答
118	113	135	109	126	127	94	68	35	47

② 居住経過

市内の生まれで、ずっと市内に住んでいる	331
市内の生まれで、道内の他市町村に住んだあと市内に帰ってきた	120
市内の生まれで、道外に住んだあと市内に帰ってきた	69
道内の他市町村の生まれである	283
道外の生まれである	78
未回答	91

【小樽市民アンケート】

③ 小樽市への転入理由

卒業・進学・就職をきっかけに転入	98
転勤・転職・起業をきっかけに転入	173
結婚、離婚をきっかけに転入	119
親の介護など、家族・親族の世話をするために転入	34
勤め先などが変わったわけではないが、新しい住居や環境を求めて転入	49
その他	92
未回答	76

④ 他市区町村での1年以上の居住歴の有無

	あり	なし	未回答
小樽市以外の道内	462	390	120
北海道以外の国内	201	627	144
海外	17	776	179

⑤ 中学生生活を過ごした主な場所

小樽市	札幌市	小樽・札幌 以外の道内	東北	関東	左記以外の 国内	海外	未回答
579	53	214	5	17	27	2	75

(4) 定住・移住希望

① これからの住まいの希望

今後も住み続けたい	小樽市外に転出したい	未回答
704	213	55

①-1 今後も住み続ける理由

	とても 当て はまる	まあ 当て はまる	どちら とも言 えない	あまり 当て はまら ない	まったく 当て はまら ない	未回答	平均
小樽市に愛着があるから	235	290	99	31	4	45	4.09
仕事や就学のため	114	155	98	56	169	112	2.98
子どもの教育のため	23	66	125	69	304	117	2.04
家賃や地代などが安いから	18	68	198	113	201	106	2.31
買い物など日常生活が便利だから	62	199	176	126	71	70	3.09
医療・福祉の面が整っているから	15	109	231	163	114	72	2.6
自然環境に恵まれているから	141	319	118	43	16	67	3.83
歴史・文化が豊かだから	75	239	217	63	36	74	3.4
交通の便が良いから	64	204	191	116	60	69	3.15
災害や治安の面で安心だから	89	258	213	48	28	68	3.52
人情味にあふれているから	88	265	202	53	20	76	3.55
食べ物が新鮮でおいしいから	186	291	124	28	10	65	3.96
楽しむ場所や機会が充実しているから	16	95	234	199	83	77	2.62
他のまちより行政サービスが充実しているから	7	24	237	220	141	75	2.26

①-2 小樽市外に転出したい理由

	とても 当て はまる	まあ 当て はまる	どちら とも言 えない	あまり 当て はまら ない	まったく 当て はまら ない	未回答	平均
小樽市に愛着があるから	12	46	67	55	23	10	2.85
仕事や就学のため	54	49	42	14	46	8	3.25
子どもの教育のため	19	30	29	24	96	15	2.25
家賃や地代などが安いから	15	20	59	45	62	12	2.41
買い物など日常生活が便利だから	44	29	43	42	47	8	2.91
医療・福祉の面が整っているから	26	32	43	46	56	10	2.64
自然環境に恵まれているから	21	43	80	35	23	11	3.02
歴史・文化が豊かだから	11	29	84	42	33	14	2.71
交通の便が良いから	42	37	38	43	42	11	2.97
災害や治安の面で安心だから	7	44	83	38	27	14	2.83
人情味にあふれているから	10	26	91	37	37	12	2.68
食べ物が新鮮でおいしいから	28	43	79	28	22	13	3.14
楽しむ場所や機会が充実しているから	27	32	36	45	58	15	2.62
他のまちより行政サービスが充実しているから	17	19	49	47	70	11	2.34

② 近い将来(5年くらい)に小樽市から転出する予定

ない	ある							未回答
	札幌市	札幌以外の道内	東北	関東	それ以外の国内	海外	未定	
722	70	22	0	10	5	2	32	109

③ 転出する理由

自分の仕事のため	自分の就学のため	自分の趣味のため	配偶者との同居のため	配偶者の仕事のため	子供の就学のため	親の介護のため	居住環境を変えたいため	その他
57	9	0	16	11	6	6	23	18

(5) 家族について

(5) - 1 配偶者について

① 配偶者の有無

いる	いない	未回答
608	330	34

② 配偶者の年齢

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	未回答
0	20	65	122	111	131	99	52	0

③ 配偶者の学歴

中学校	高等学校	短期大学・専門学校	大学	大学院	その他	未回答
78	270	125	107	9	6	13

④ 配偶者の職業

自営業	会社員		公務員・団体職員・教職員		パートタイム・アルバイト	学生	専業主婦・主夫	無職	その他	未回答
	正規雇用 :期限なし	フルタイム 非正規雇用 :期限あり	正規雇用 :期限なし	フルタイム 非正規雇用 :期限あり						
33	189	24	51	6	66	1	90	118	13	17

事務職	販売職	サービス業	生産現場・技能職	運輸	保安職	専門職・技術職	管理職	農林水産業	その他	未回答
57	40	62	45	34	10	67	14	5	33	15

⑤ 配偶者の勤務先所在地

小樽市	札幌市	後志	その他道央	その他道内	その他	未回答
264	61	10	7	4	8	28

⑥ 配偶者の勤続年数

10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上 40年未満	40年以上 50年未満	50年以上	未回答
137	73	63	45	28	4	32

⑦ 配偶者の年収

0円	～100万円	～200万円	～300万円	～400万円	～500万円	～600万円	～700万円	～800万円	～900万円	～1000万円	1000万円超	未回答
40	108	91	84	71	59	47	28	12	4	4	6	54

⑧ 回答者との同居・別居の有無

同居している	同居していない	未回答
549	34	25

⑨ 配偶者の他市区町村での1年以上の居住歴の有無

	あり	なし	わからない	未回答
小樽市以外の道内	335	187	10	76
北海道以外の国内	130	376	6	96
海外	8	484	5	111

⑩ 配偶者が中学生生活を過ごした主な場所

小樽市	札幌市	小樽・札幌 以外の道内	東北	関東	左記以外 の国内	海外	わからない	未回答
303	49	158	11	12	17	1	1	56

(5) - 2 生計を一にする同居の家族について

① 同居の子どもの有無と人数について

いる	いない	未回答
380	183	5

1人	2人	3人	4人	5人	未回答
220	121	31	5	1	2

【小樽市民アンケート】

② 同居の子どもの性別

男	女
280	266

③ 同居の子どもの年齢

5歳以下	6-9歳	10代	20代	30代	40代
84	75	189	94	47	74

④ 同居の子どもの就学・就職状況

乳幼児	幼稚園・ 保育園	小学生	中学生	高校生	短大・ 専門学校	大学・ 大学院	就職	無職
33	76	99	57	65	24	28	144	29

⑤ 同居の子どもの結婚経験の有無

結婚経験なし	結婚経験あり・ 配偶者あり	結婚経験あり ・配偶者なし	結婚経験あり ・配偶者不明	わからない
505	24	22	1	1

⑥ 同居の両親の有無と人数について

いる	いない	未回答
231	314	23

1人	2人	3人	4人	5人	未回答
91	109	18	9	2	2

⑦ 両親等の就業などの状況

	フルタイム	パートタイム	無職	要介護
あなたの父親	67	10	39	9
あなたの母親	27	45	98	22
配偶者の父親	3	1	7	1
配偶者の母親	2	5	14	9
その他の方	16	11	23	8

⑧ 同居の家族の年収

0円	~100 万円	~200 万円	~300 万円	~400 万円	~500 万円	~600 万円	~700 万円	~800 万円	~900 万円	~100 0万円	1000 万円超
114	53	85	66	38	30	22	11	17	11	5	9

(5) - 3 生計を一にする別居の家族について

① 別居している配偶者以外の家族

いる	いない	未回答
163	744	65

1人	2人	3人	4人	5人	6人	未回答
77	42	13	2	0	1	28

② 別居している子ども

いる	いない	未回答
67	68	28

1人	2人	3人	未回答
41	23	2	1

③ 別居している子どもの性別

男	女	未回答
40	32	21

④ 別居している子どもの年齢

5歳以下	6-9歳	10代	20代	30代	40代	未回答
1	2	11	22	19	29	9

⑤ 別居の子どもの居住地

小樽市	札幌市	小樽・札幌 以外の道内	東北	関東	左記以外の 国内	海外	未回答
19	21	22	2	13	3	3	10

⑥ 別居の子どもの就学・就職状況

乳幼児	幼稚園・ 保育園	小学生	中学生	高校生	短大・ 専門学校	大学・ 大学院	就職	無職	未回答
0	1	3	0	10	4	22	31	11	11

⑦ 別居の子どもの結婚経験の有無

結婚経験なし	結婚経験あり・ 配偶者あり	結婚経験あり・ 配偶者なし	結婚経験あり・ 配偶者不明	わからない	未回答
46	36	5	1	1	4

⑧ 別居している子ども以外の家族

いる	いない	未回答
47	104	12

1人	2人	3人	4人	未回答
23	11	8	5	0

② 別居している両親などの就業の状況

	フルタイム	パートタイム	無職	要介護
あなたの父親	9	1	2	3
あなたの母親	2	4	16	4
配偶者の父親	3	0	3	2
配偶者の母親	1	4	7	1
その他の方	5	4	8	2

③ 別居している子ども以外の家族の収入

0円	～100万円	～200万円	～300万円	～400万円	～500万円	～600万円	～700万円	～800万円	～900万円	～1000万円	1000万円超
17	14	13	11	14	3	1	3	0	0	0	2

(5) - 4 経済的に独立している子どもについて

① 経済的に独立している子どもの有無

いる	いない
172	65

1人	2人	3人	未回答
78	71	21	2

② 経済的に独立している子どもの性別

男	女	未回答
123	118	42

③ 経済的に独立した子どもの年齢

10代	20代	30代	40代	未回答
1	34	90	128	30

④ 経済的に独立した子どもの居住地

小樽市	札幌市	小樽・札幌 以外の道内	東北	関東	左記以外 の国内	海外	未回答
68	89	36	3	41	14	3	29

⑤ 経済的に独立した子どもの学歴

中学校	高校	短大・ 専門学校	大学	大学院	未回答
10	91	87	72	11	12

⑥ 経済的に独立した子どもの結婚

結婚経験なし	結婚経験あり・ 配偶者あり	結婚経験あり・ 配偶者なし	結婚経験あり・ 配偶者不明	わからない	未回答
75	172	21	0	3	12

(6) 全般について

① あなたの趣味嗜好について

	そう思う	どちらかと 言えば そう思う	どちら とも 言えない	どちらかと 言えば そう 思わない	そう 思わない	未回答	平均
健康に気を使うほうですか	265	404	188	58	19	38	3.9
健康ですか	272	354	176	68	55	47	3.78
体を使うことは好きですか	241	313	217	106	48	47	3.64
海に行くことは好きですか	202	221	242	134	126	47	3.26
山に行くことは好きですか	134	202	262	165	159	50	2.99
街や建物の歴史を知ることは好きですか	175	323	242	114	70	48	3.45
ファッションに興味はありますか	189	307	239	93	92	52	3.44
アニメに興味はありますか	70	116	232	198	303	53	2.4
PC・TV・スマホゲームに興味はありますか	127	230	191	156	217	51	2.88
楽器の演奏に興味はありますか	135	193	219	168	203	54	2.88
音楽鑑賞に興味はありますか	270	323	178	64	84	53	3.69
映画鑑賞に興味はありますか	250	329	218	61	63	51	3.7
お酒を飲むのは好きですか	227	205	145	84	262	49	3.06
食材へのこだわりはありますか	207	343	260	64	51	47	3.64
料理へのこだわりはありますか	175	344	282	69	56	46	3.55

【小樽市民アンケート】

② 小樽市の公共サービスなどの満足度

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	未回答	平均
幼児教育の環境	16	50	307	127	73	314	85	2.67
小中学校教育の環境	18	46	304	153	94	270	87	2.58
高校教育の環境	14	46	316	114	89	305	88	2.62
大学教育の環境	9	34	231	109	109	391	89	2.44
周産期医療の環境	6	19	111	175	317	258	86	1.76
小児医療の環境	12	26	201	186	174	285	88	2.19
高齢者医療の環境	20	74	282	156	166	202	72	2.46
軽微なけが・病気に対する医療の環境	32	100	429	134	103	95	79	2.78
重篤なけが・病気に対する医療の環境	17	61	253	211	207	140	83	2.29
鉄道交通の利便性	65	167	363	147	120	33	77	2.9
バス交通の利便性	78	168	295	178	154	31	68	2.81
タクシーの利便性	77	173	457	86	44	64	71	3.18
図書館サービス	37	95	369	90	64	235	82	2.93
美術館・博物館などの文化施設	36	117	364	127	52	195	81	2.94
子どもの医療費助成の充実	16	51	224	135	91	368	87	2.55
子どもの遊び場・公園の充実度	8	36	186	199	217	243	83	2.1
高齢者介護施設など的高齢者向け公共サービス	24	73	252	160	126	261	76	2.54
除雪・排雪	22	51	180	217	418	22	62	1.92
ごみ収集	119	155	468	90	48	25	67	3.24
市民の声の市政への反映	5	19	199	183	237	249	80	2.02

③ 小樽市の印象

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない	未回答	平均
街の雰囲気	97	254	327	157	60	16	61	3.19
商店の活気	12	35	196	338	302	31	58	2
自然環境	138	293	381	54	21	23	62	3.53
生活コスト	20	77	427	244	106	38	60	2.61
住居コスト	23	59	392	232	139	59	68	2.52
住民の人柄	70	231	467	66	54	29	55	3.22
暮らしやすさ	61	207	413	159	72	8	52	3.03
総合満足度	25	183	448	173	68	16	59	2.92

④ 人口減少対策として、どのような対策が有効だと思うか

	有効である	どちらかと言えば有効である	どちらとも言えない	どちらかと言えば有効ではない	有効ではない	未回答	平均
出産環境の整備	400	236	136	64	60	76	3.95
子育て支援の充実	401	235	179	52	24	81	4.05
学校教育の充実	335	238	240	46	22	91	3.93
結婚活動への支援	171	182	366	99	61	93	3.34
高齢者福祉の充実	228	243	285	92	51	73	3.56
防災対策の充実	148	263	375	74	33	79	3.47
地場産業振興への支援	265	282	244	66	32	83	3.77
雇用の創出	446	202	128	70	49	77	4.03
観光振興策への支援	220	259	291	83	38	81	3.61
住環境の整備	281	299	224	60	26	82	3.84
道路などのインフラ整備	238	254	288	74	36	82	3.66

⑤ 小樽の将来都市像(複数回答)

1. 国内外の客船や貨物船でにぎわい、人・もの・情報が交流する	【国際港湾都市】	166
2. 豊かな自然環境と歴史的景観が訪れる人を魅了する	【風格ある観光都市】	289
3. 市民が生き生きと働き、活発な産業が人を呼び込む	【活力ある産業のまち】	345
4. まちなかにお店や住居が集まり、利便性の高い	【コンパクトなまち】	138
5. 誰もが文化・芸術に親しみ、スポーツ・レクリエーションを楽しむ	【生涯学習のまち】	88
6. 安心して子どもを産み育てることができ、教育環境が整った	【子どもを育むまち】	392
7. 保健・福祉・医療が充実し、健康で心豊かに生活できる	【健やかに暮らせるまち】	433
8. 多くの市民がまちづくりに参加し、ともに支えあう	【みんなでつくる協働のまち】	86
9. 自然とまちなみが調和し、みんなで環境保全を実践する	【美しく環境にやさしいまち】	100
10. 事故や犯罪が少なく、災害に強い	【安心・安全のまち】	207
11. 水道・道路・除排雪・公共交通機関などが行きとどいた	【生活基盤が充実したまち】	413
12. その他		14

[参考]居住志向・年代・性別によるクロス集計結果

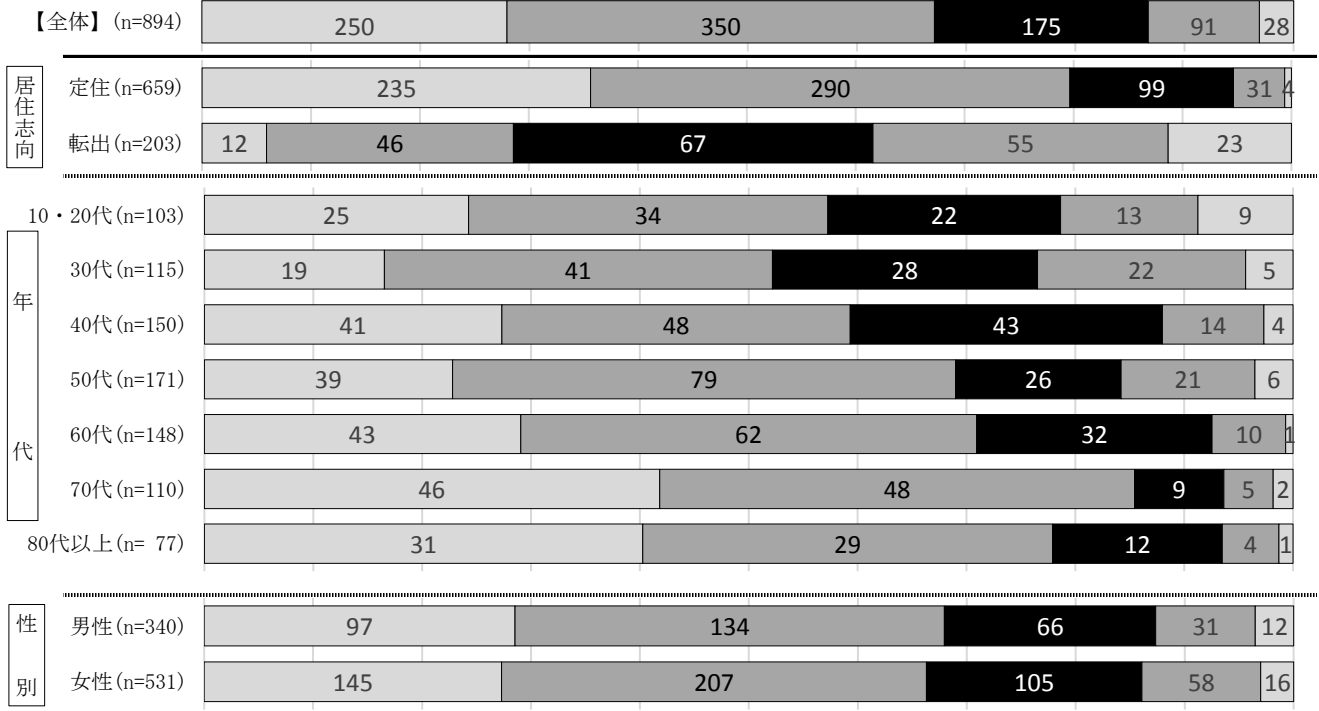
(4) ①-1・2 住み続けたい、転出したいと思う理由

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

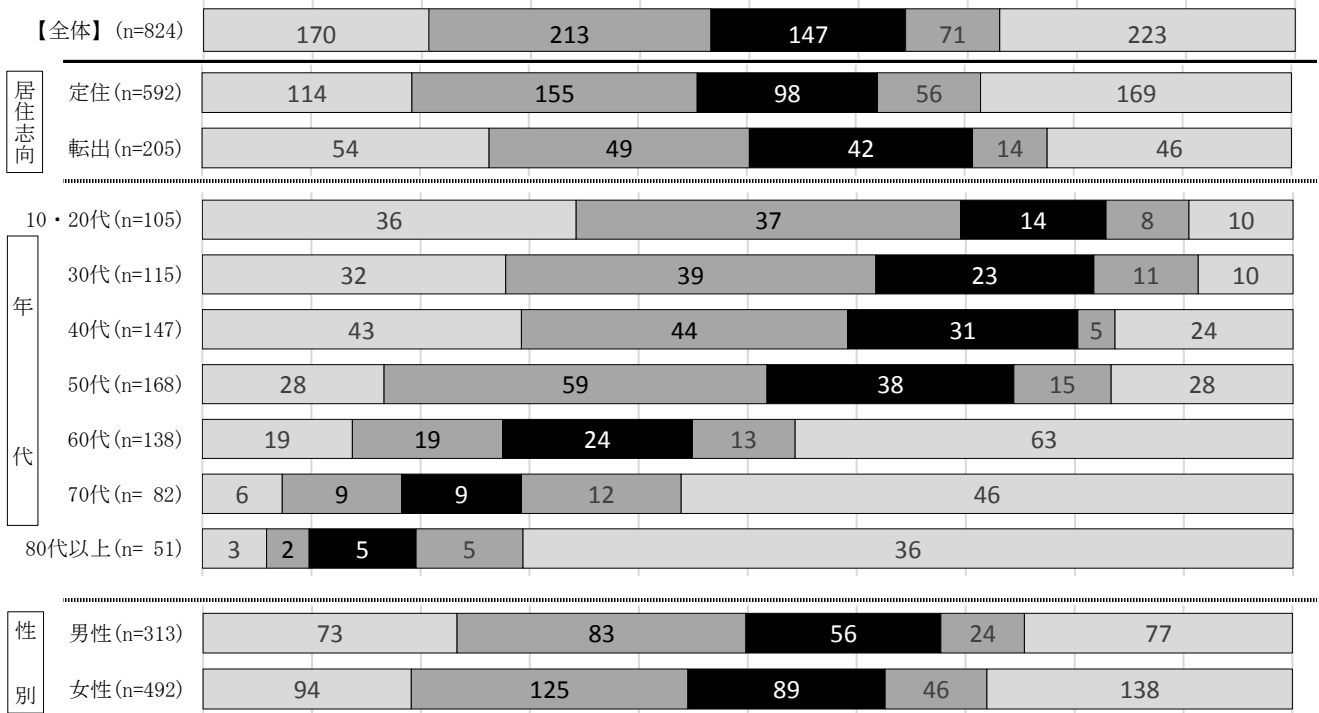
《凡例》

とても当てはまる まあ当てはまる **どちらともいえない** あまり当てはまらない まったく当てはまらない

小樽市に愛着があるから



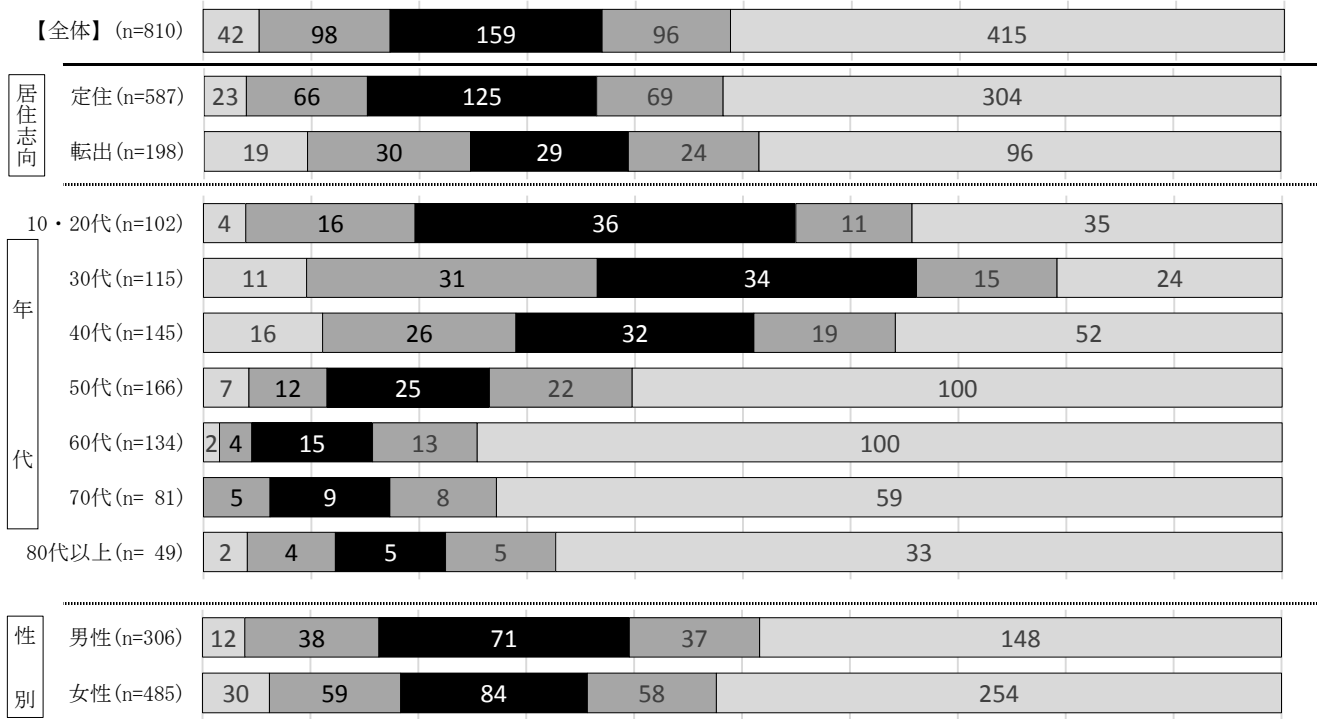
仕事や就学のため



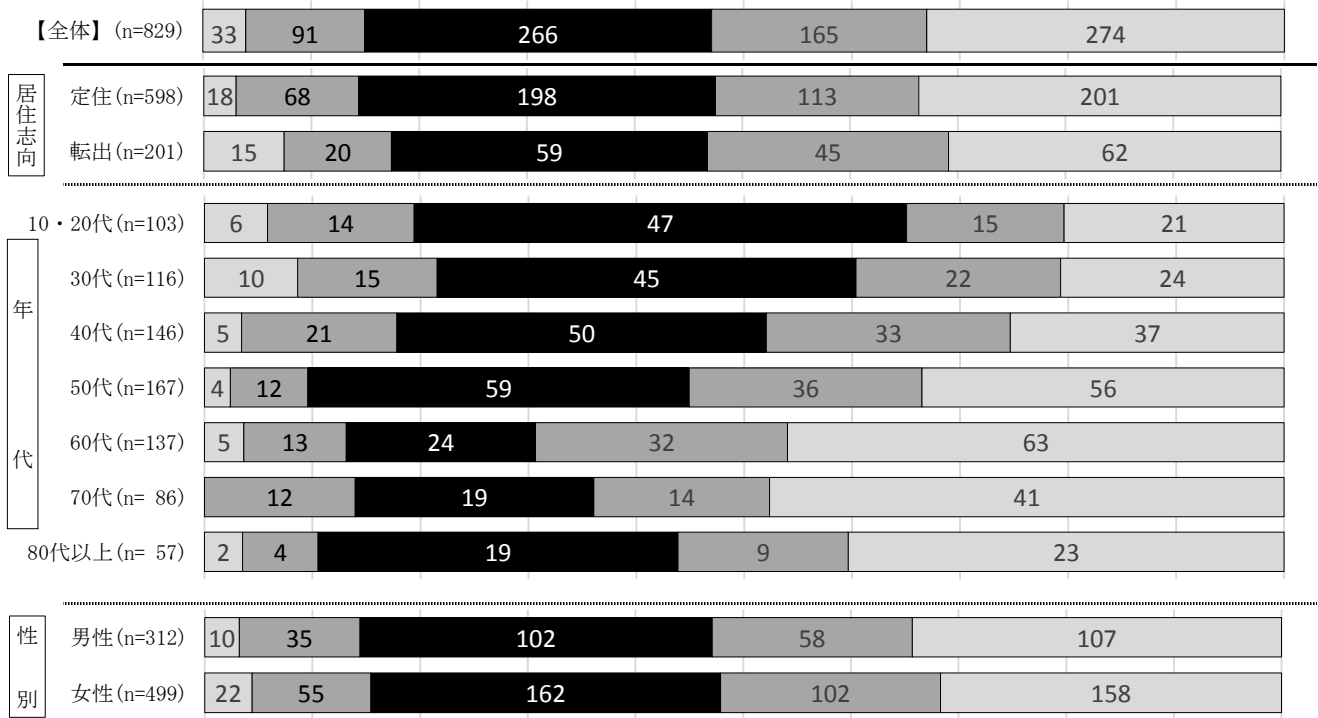
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

《凡例》
 とても当てはまる まあ当てはまる どちらともいえない あまり当てはまらない まったく当てはまらない

子どもの教育のため



家賃や地代などが安いから



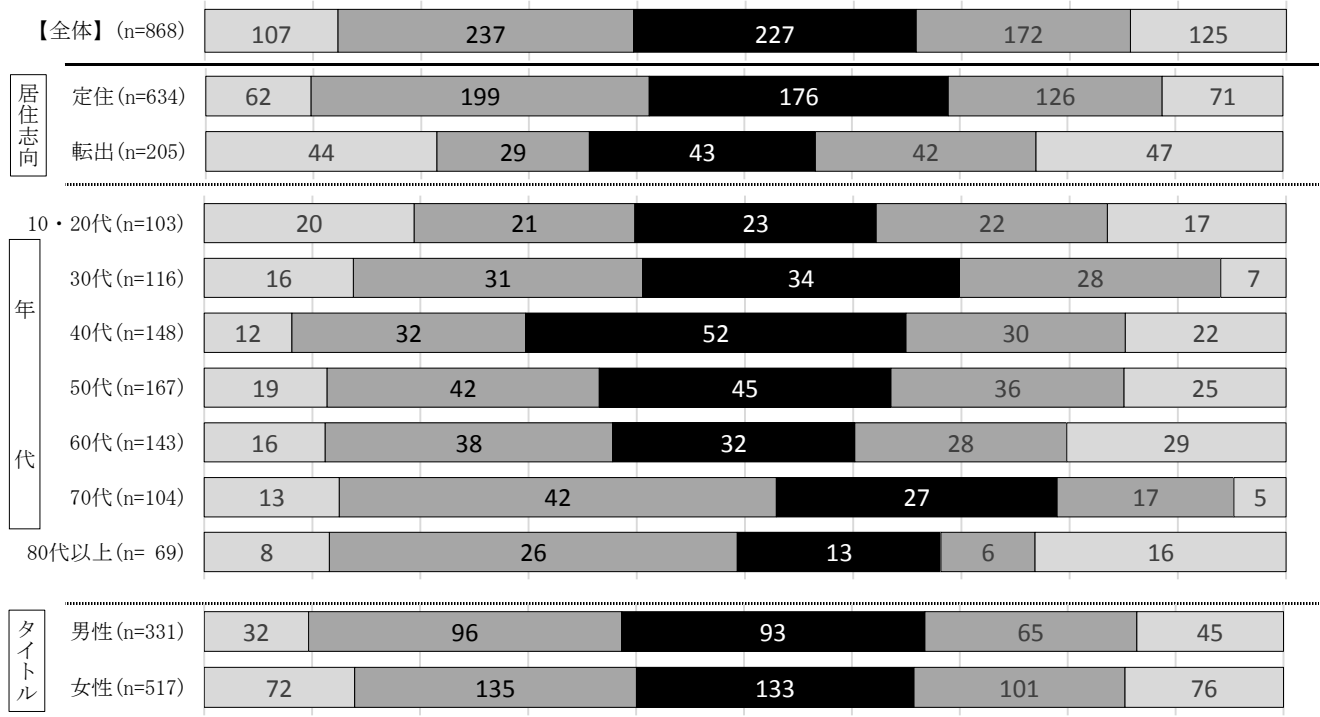
【小樽市民アンケート】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

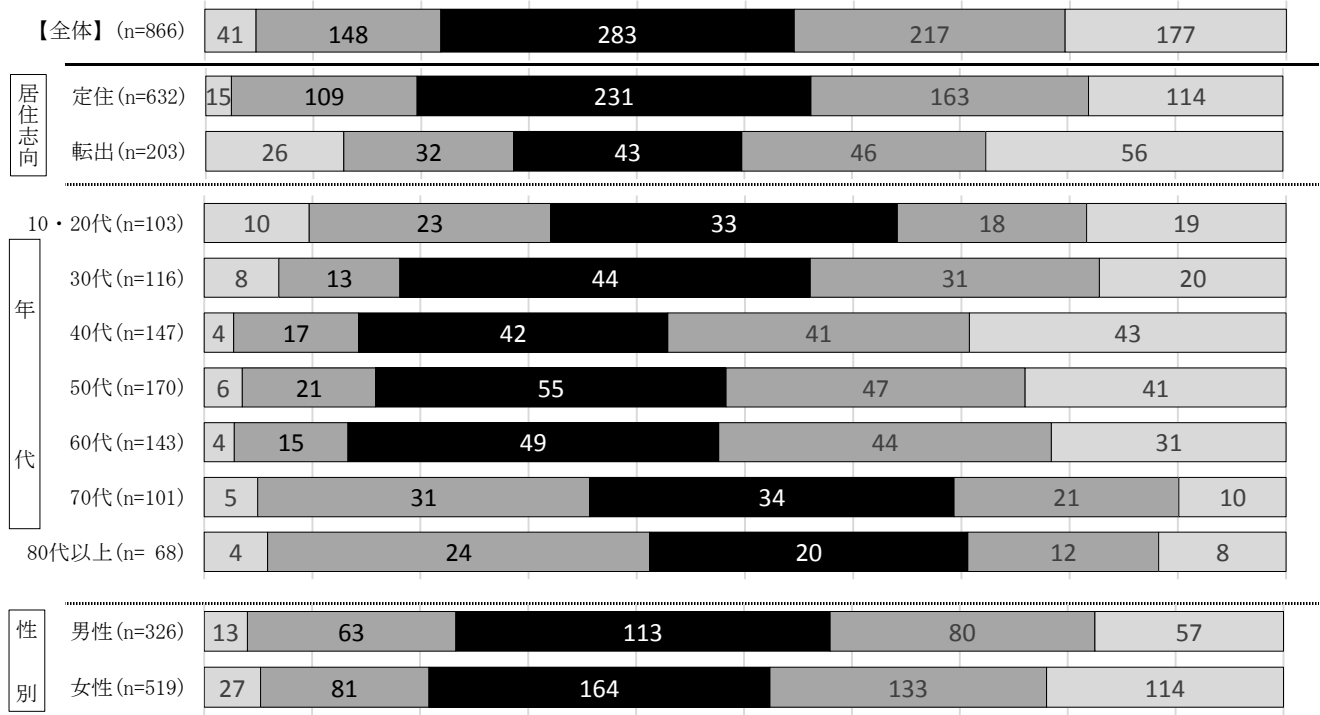
《凡例》

とても当てはまる まあ当てはまる どちらともいえない あまり当てはまらない まったく当てはまらない

買い物など日常生活が便利だから



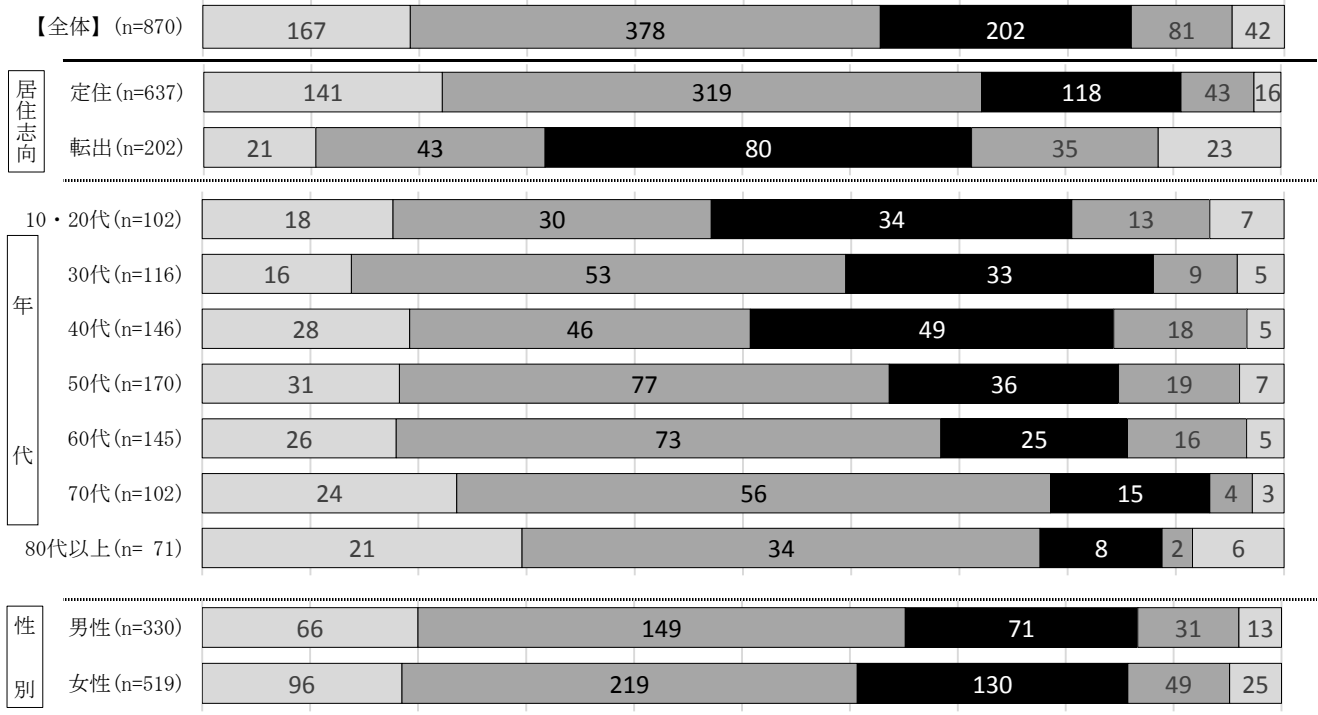
医療・福祉の面が整っているから



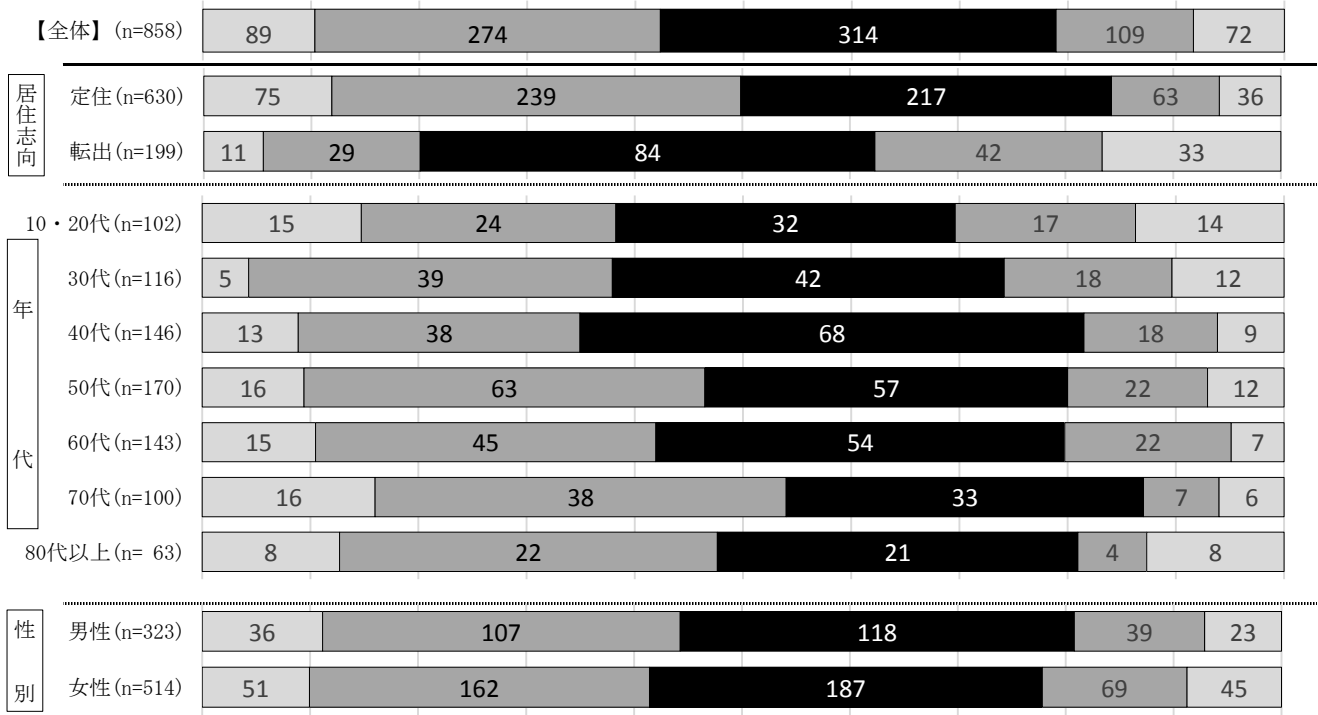
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

《凡例》
 とても当てはまる まあ当てはまる どちらともいえない あまり当てはまらない まったく当てはまらない

自然環境に恵まれているから



歴史・文化が豊かだから



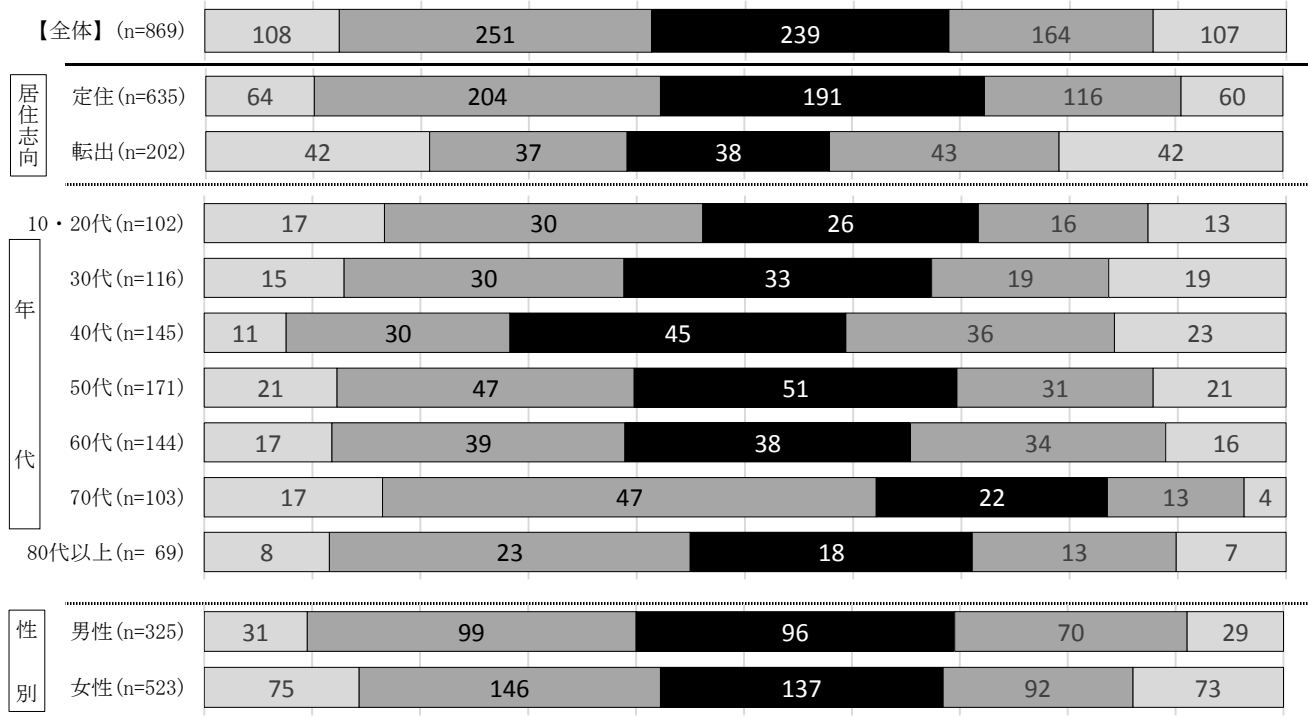
【小樽市民アンケート】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

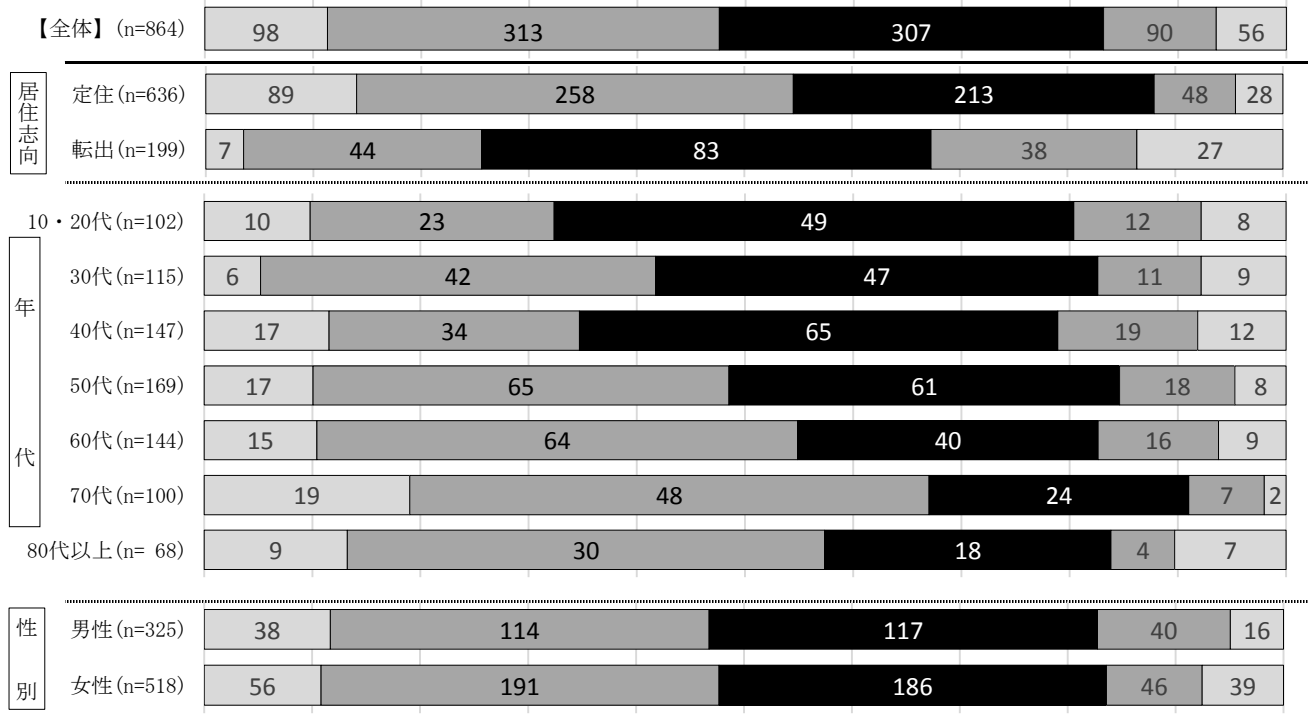
《凡例》

とても当てはまる まあ当てはまる どちらともいえない あまり当てはまらない まったく当てはまらない

交通の便が良いから



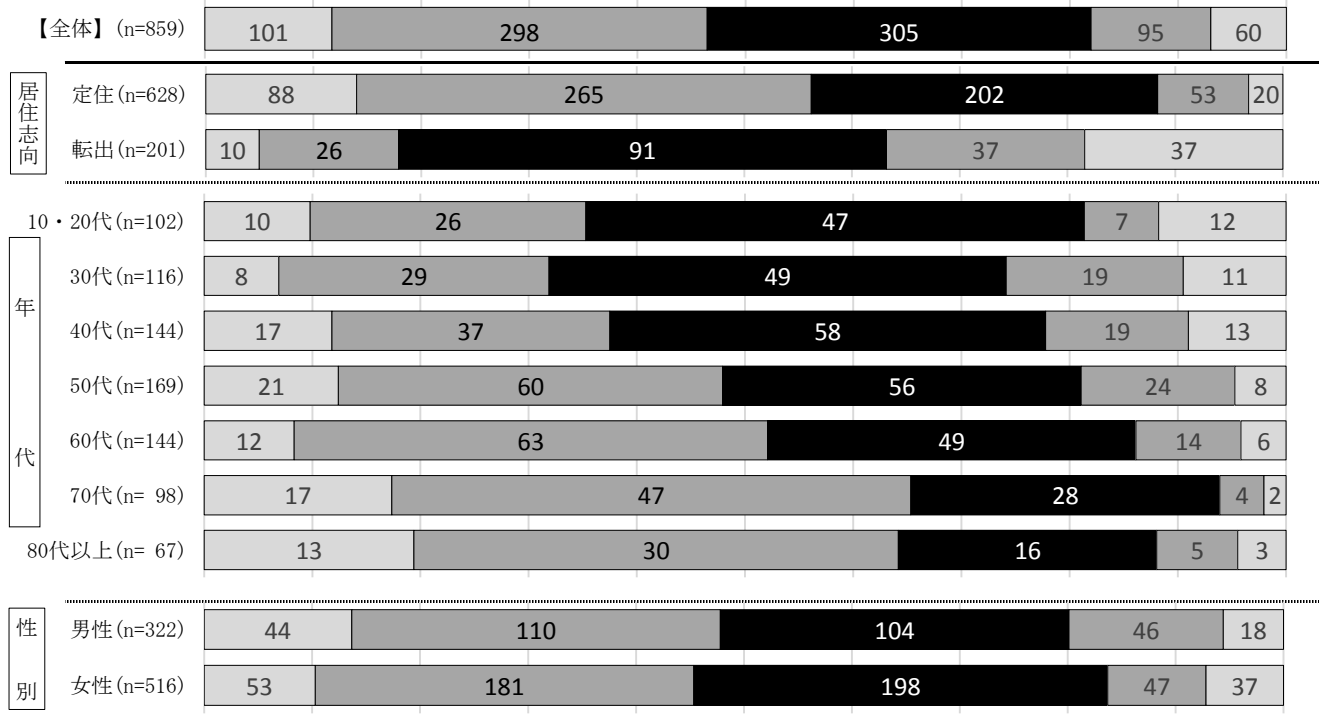
災害や治安の面で安心だから



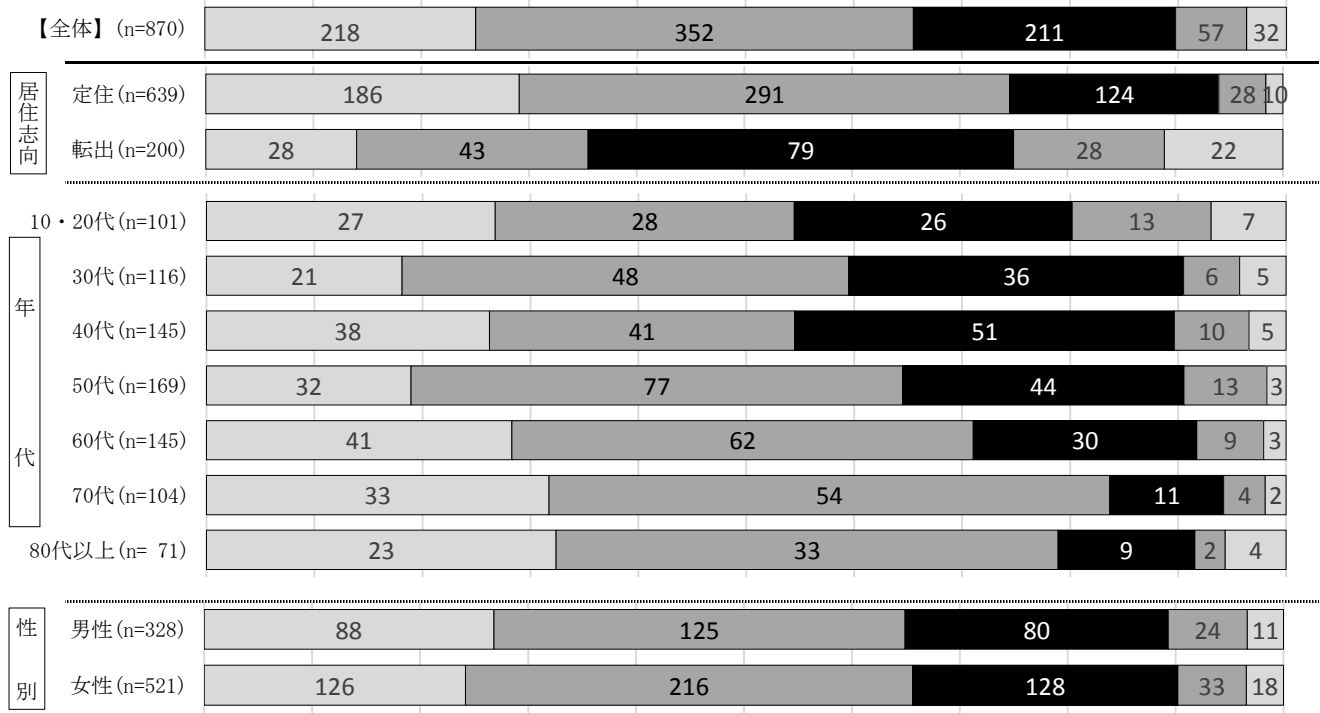
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

《凡例》
 とても当てはまる まあ当てはまる どちらともいえない あまり当てはまらない まったく当てはまらない

人情味にあふれているから



食べ物が新鮮でおいしいから



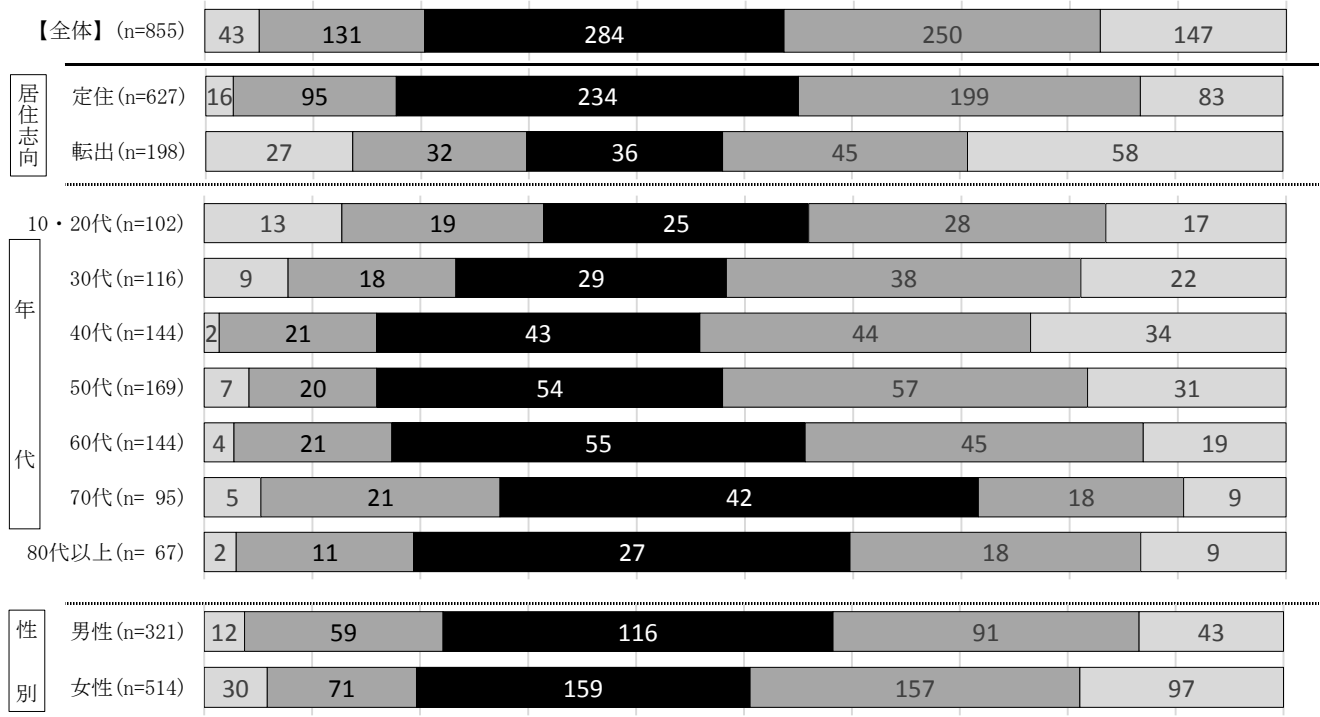
【小樽市民アンケート】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

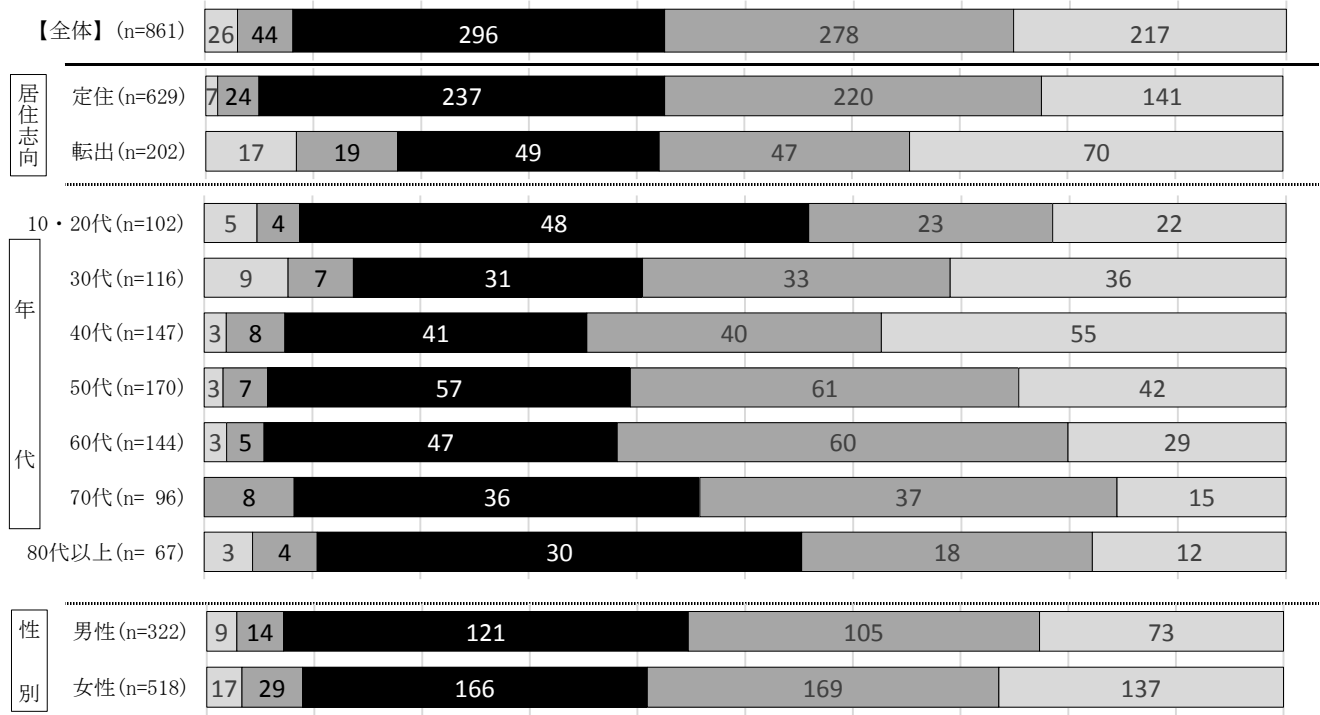
《凡例》

とても当てはまる まあ当てはまる どちらともいえない あまり当てはまらない まったく当てはまらない

楽しむ場所や機会が充実しているから



他のまちより行政サービスが充実しているから



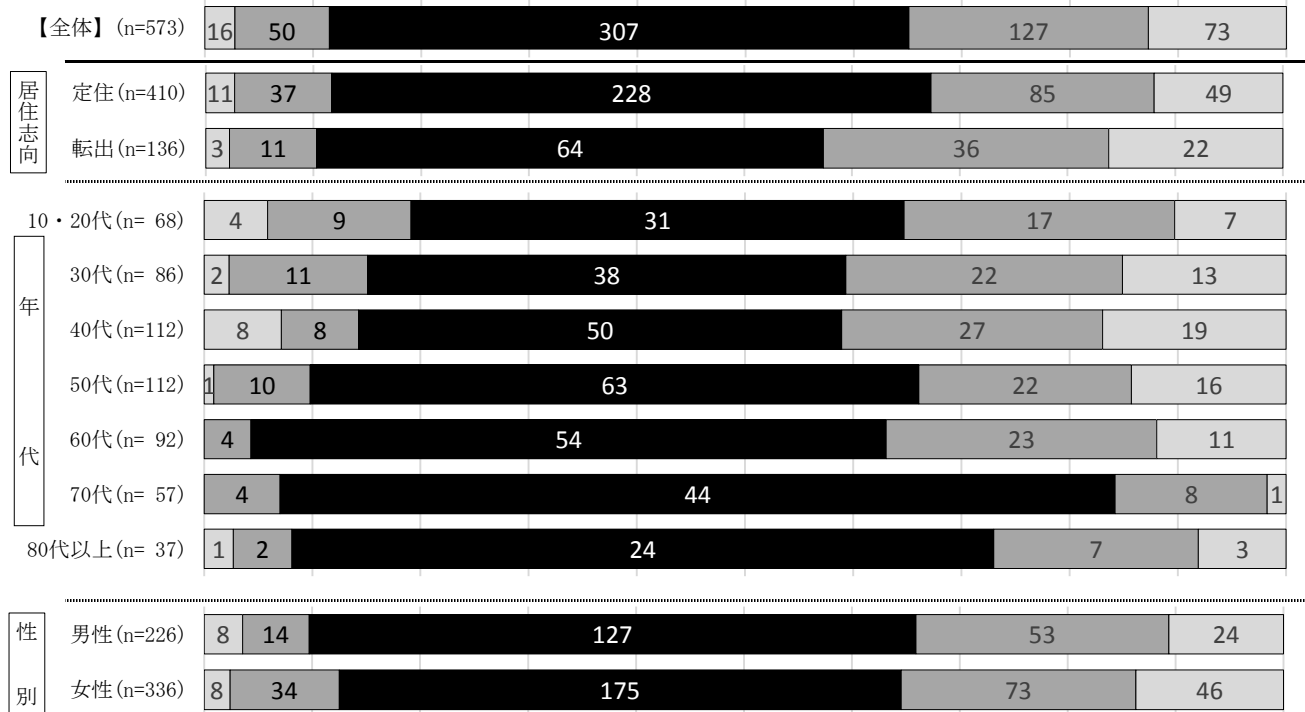
(6) ② 小樽市の公共サービスなどの満足度

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

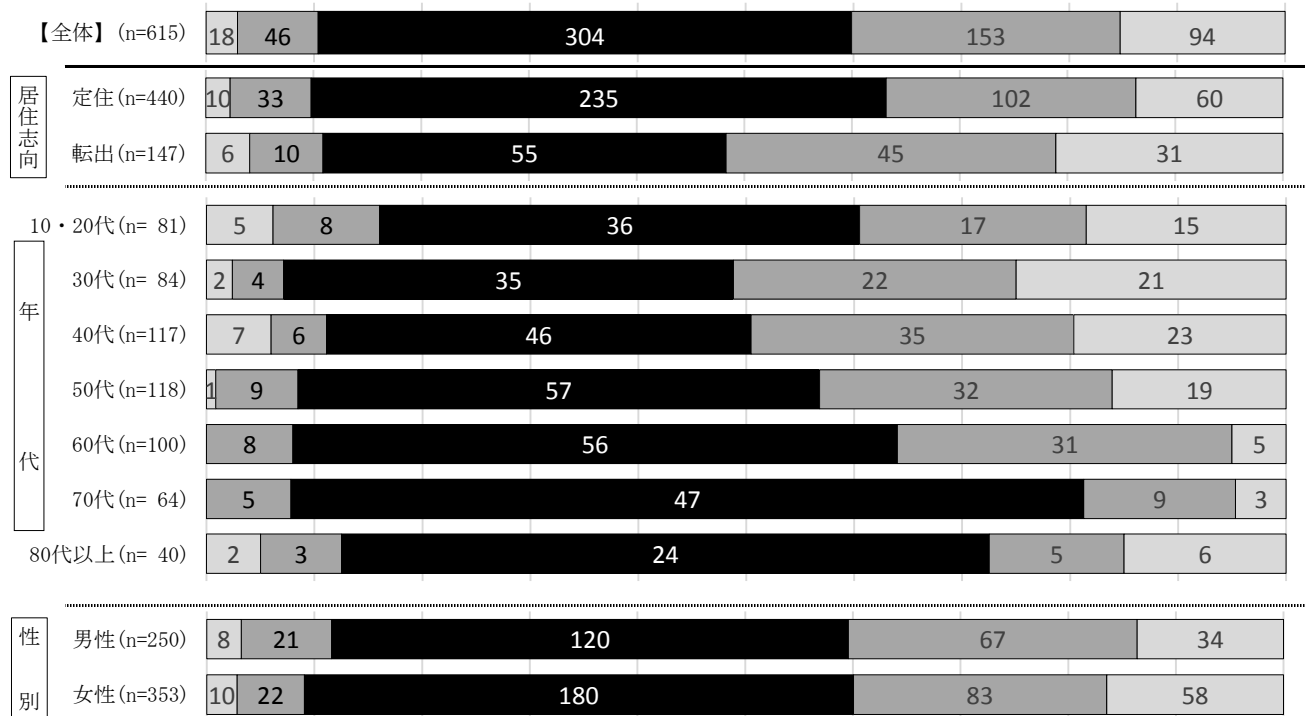
《凡例》



幼児教育の環境



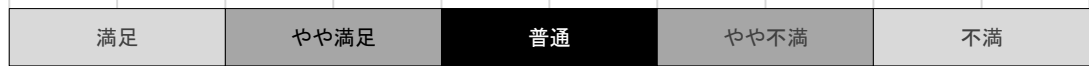
小中学校教育の環境



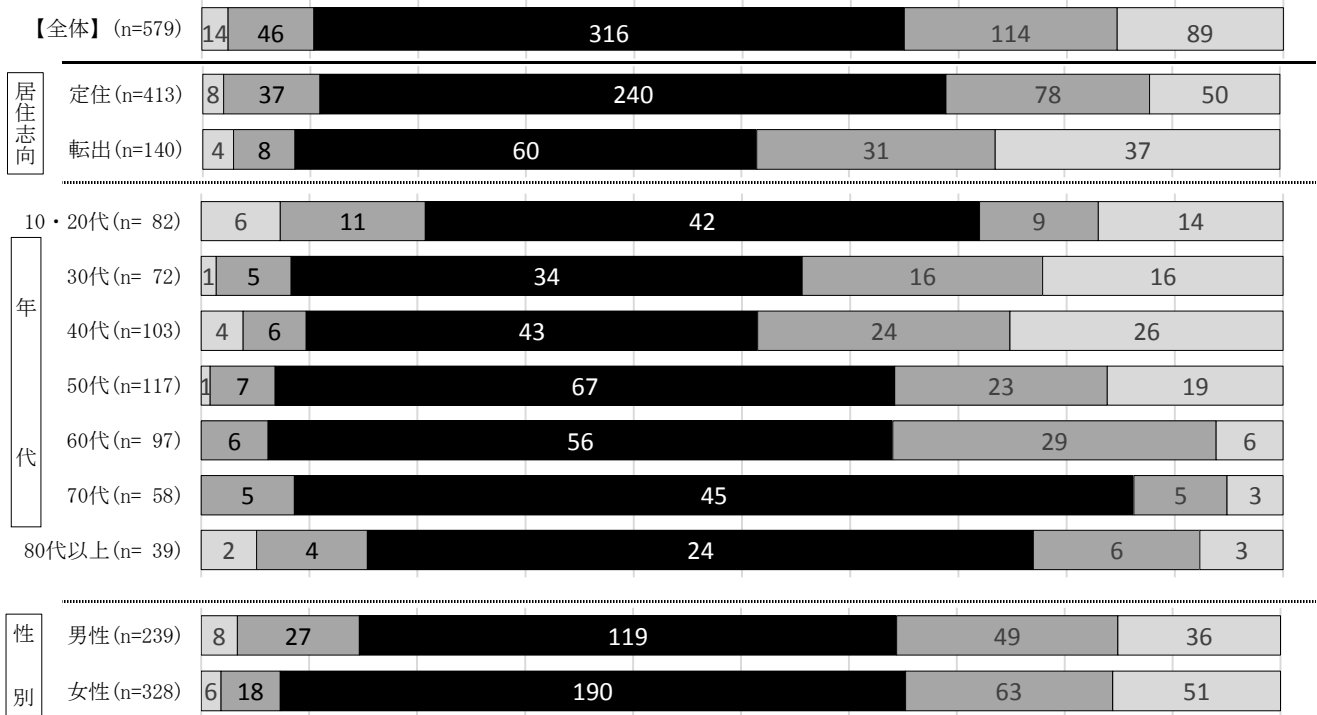
【小樽市民アンケート】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

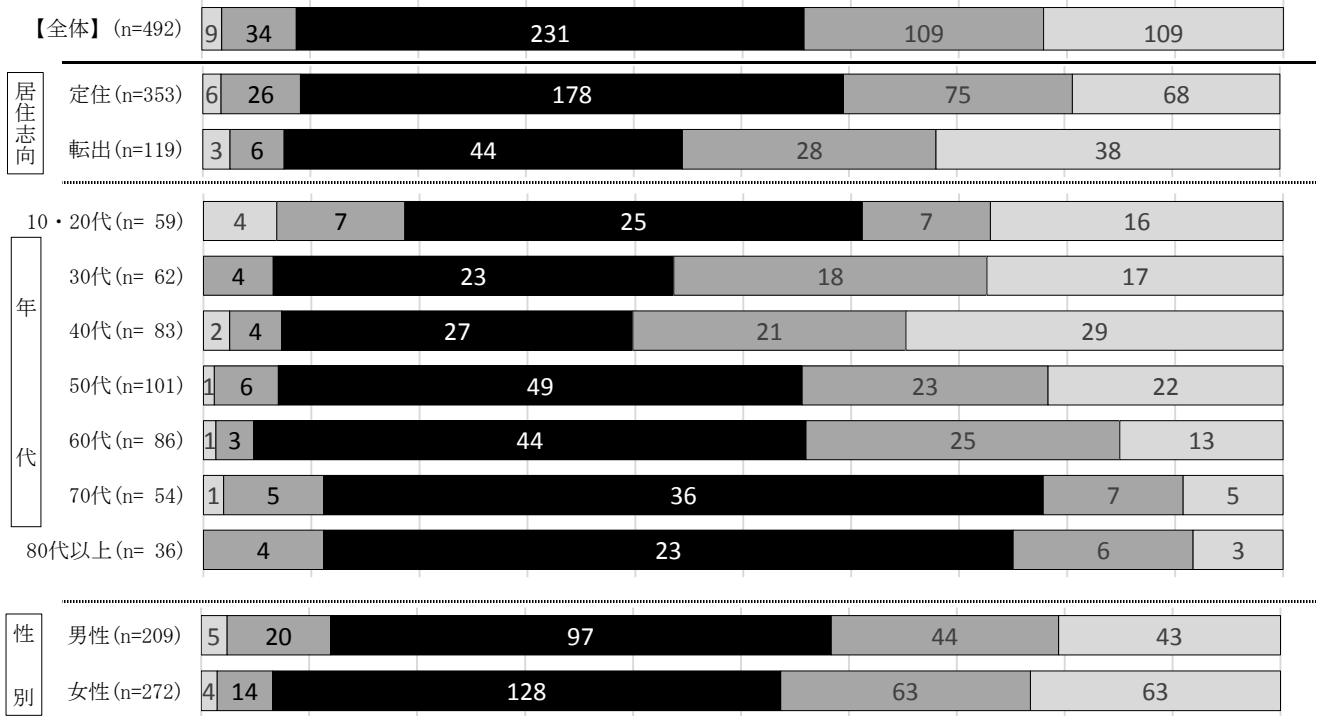
《凡例》



高校教育の環境



大学教育の環境

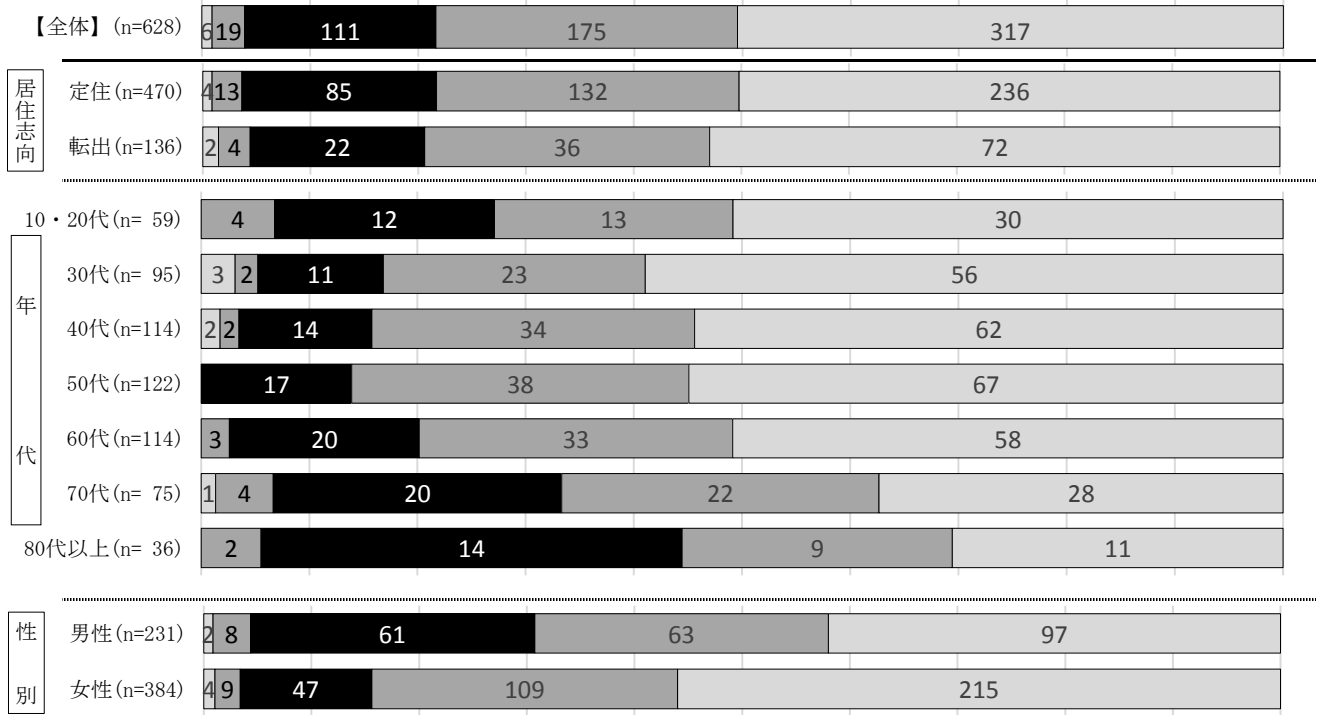


0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

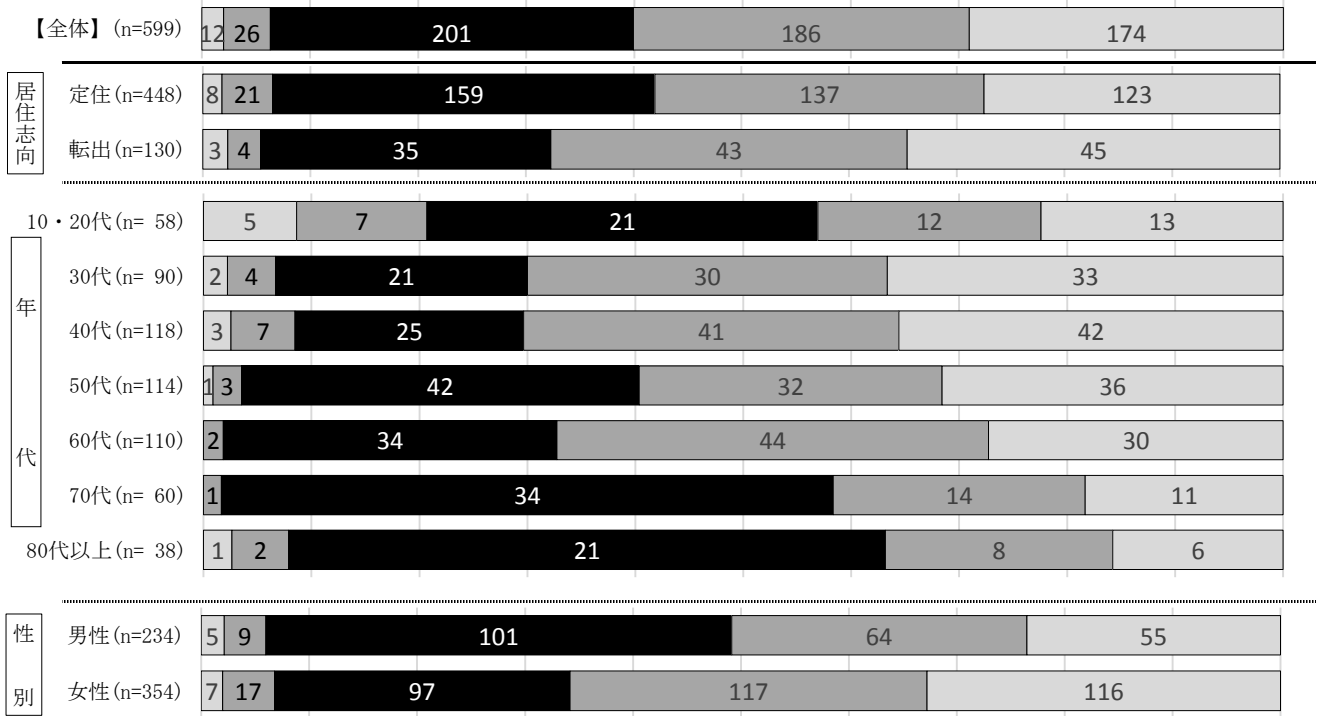
《凡例》



周産期医療の環境



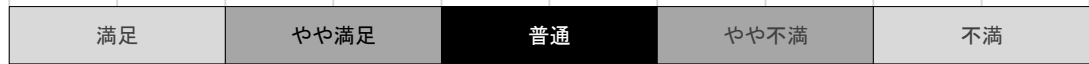
小児医療の環境



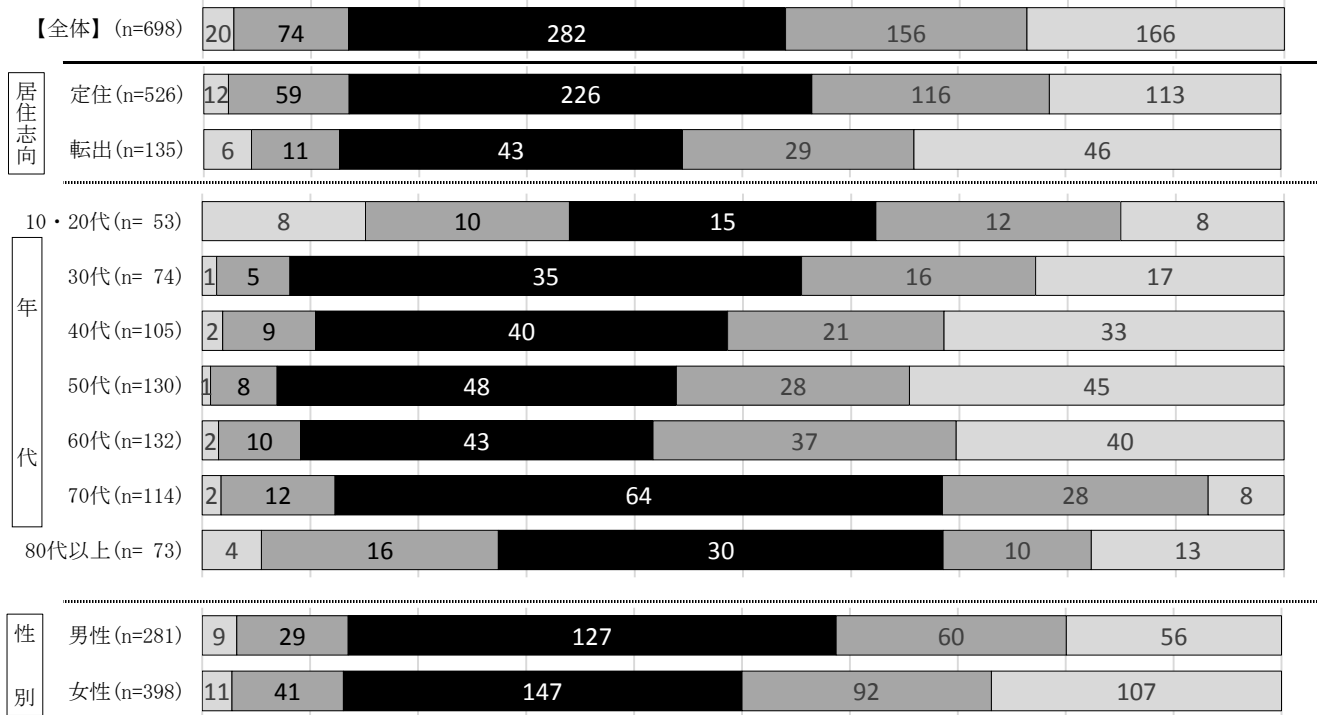
【小樽市民アンケート】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

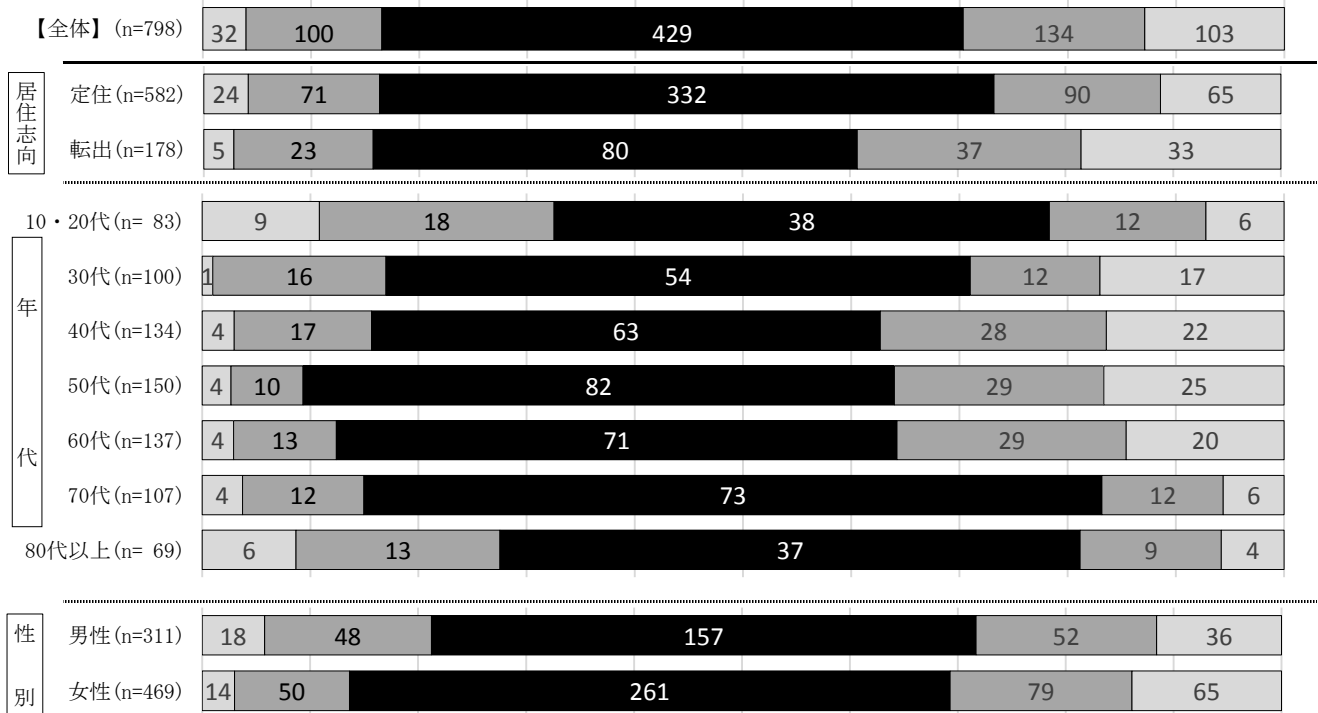
《凡例》



高齢者医療の環境



軽微なけが・病気に対する医療の環境

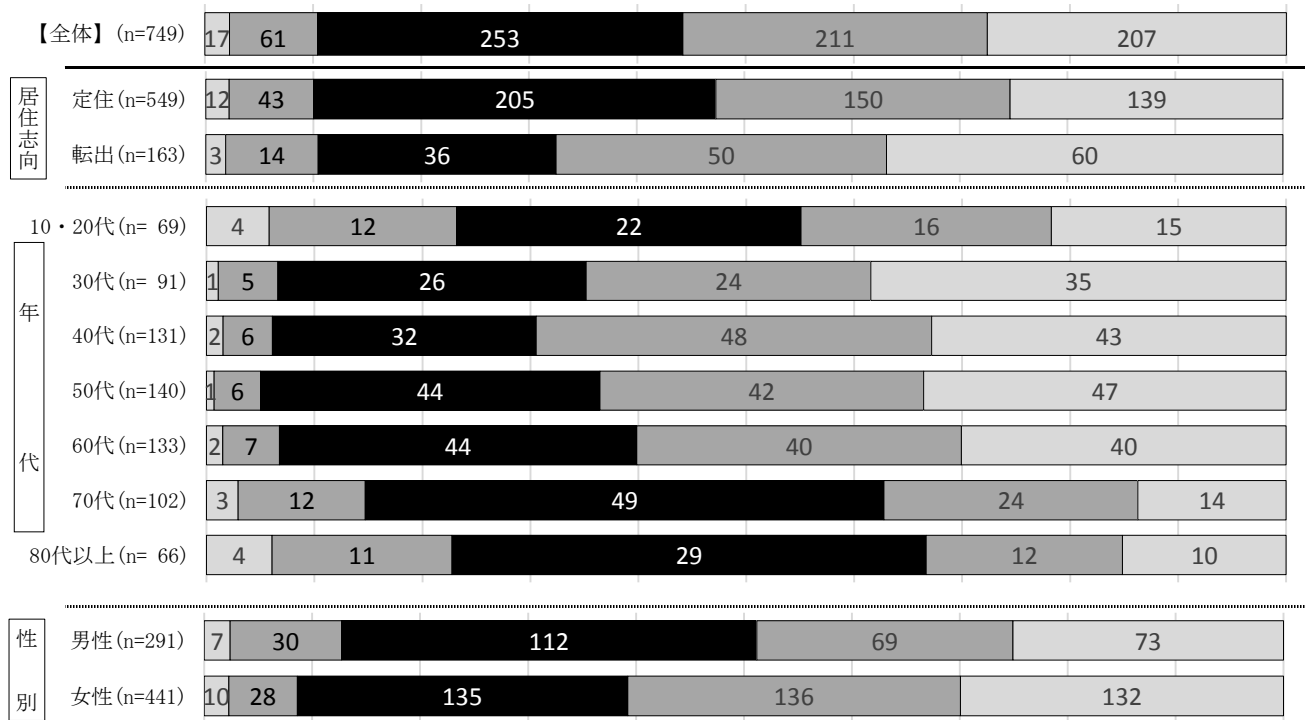


0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

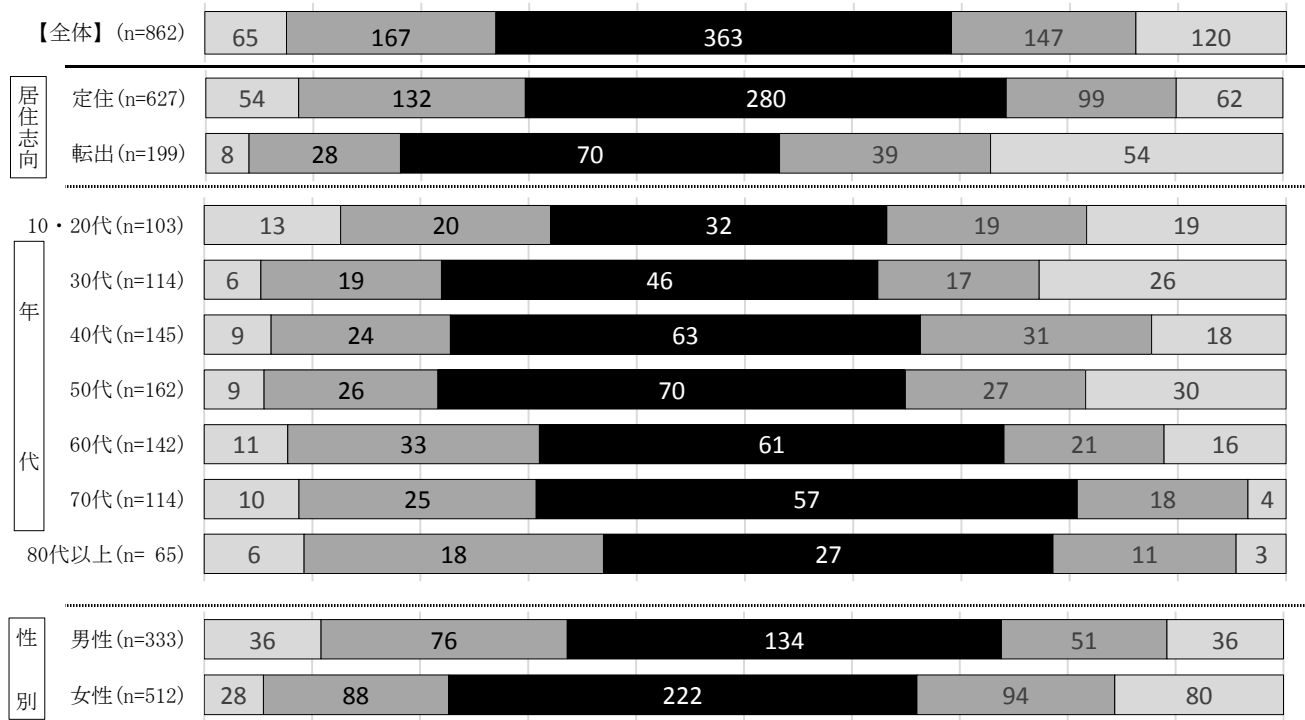
《凡例》



重篤なけが・病気に対する医療の環境



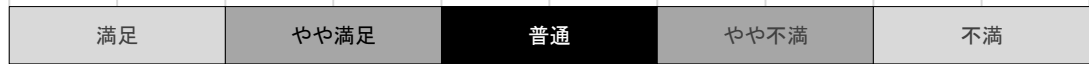
鉄道交通の利便性



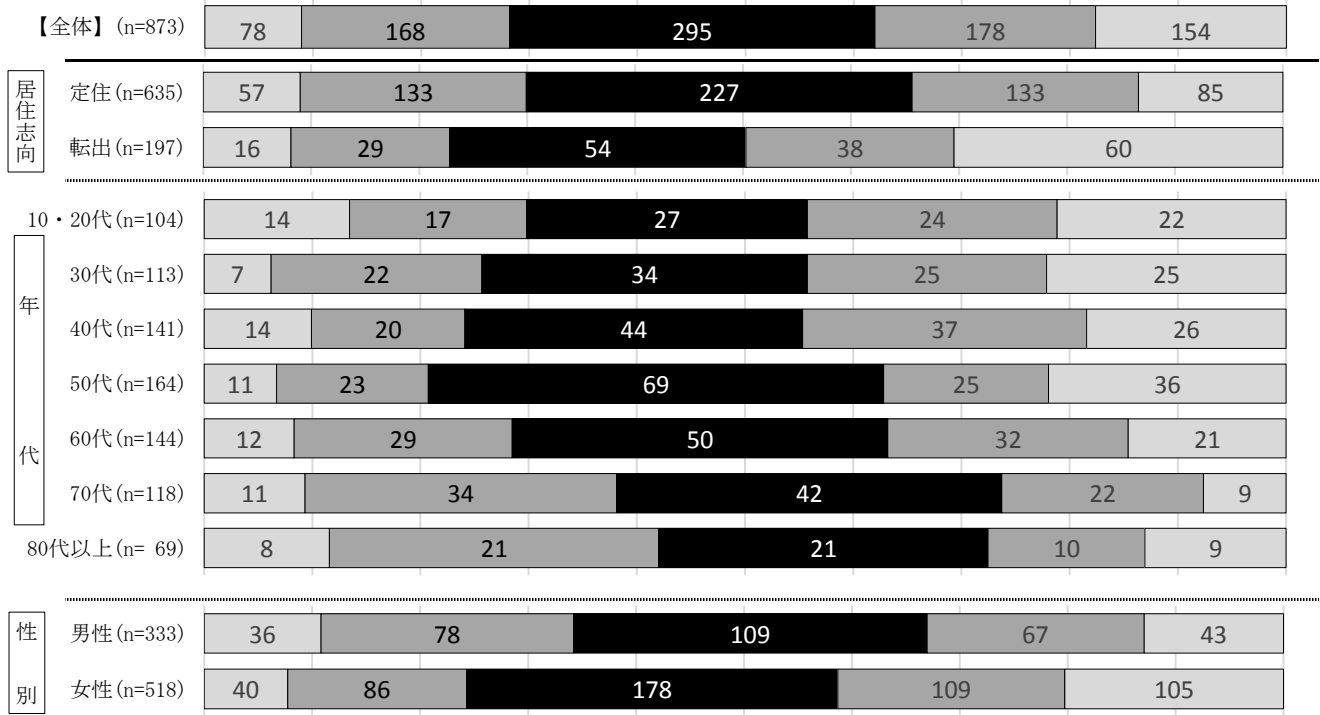
【小樽市民アンケート】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

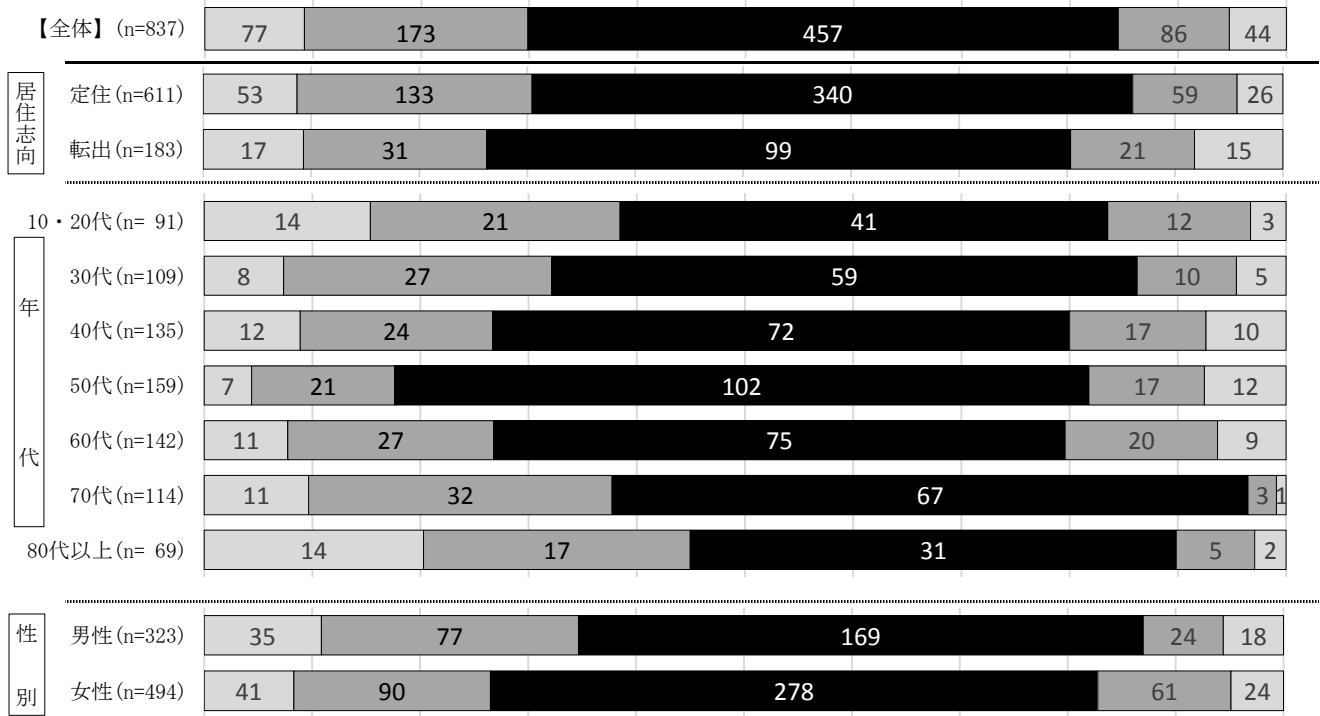
《凡例》



バス交通の利便性



タクシーの利便性

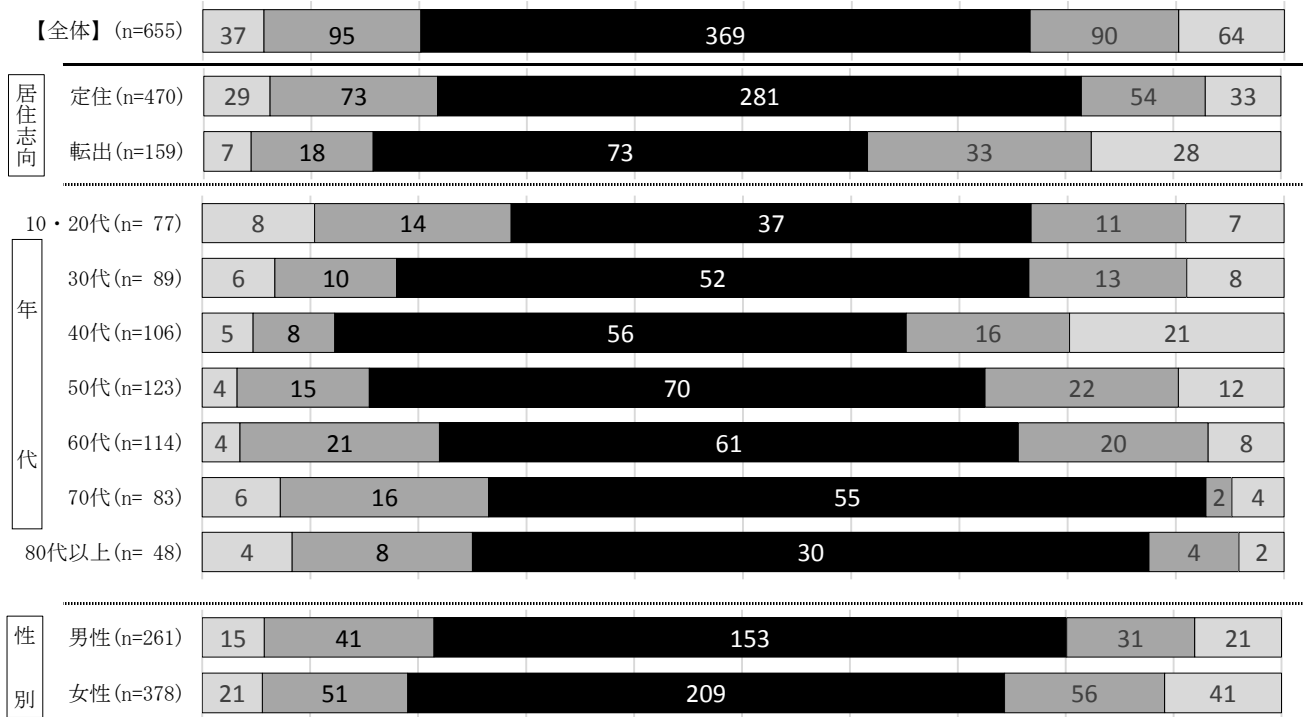


0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

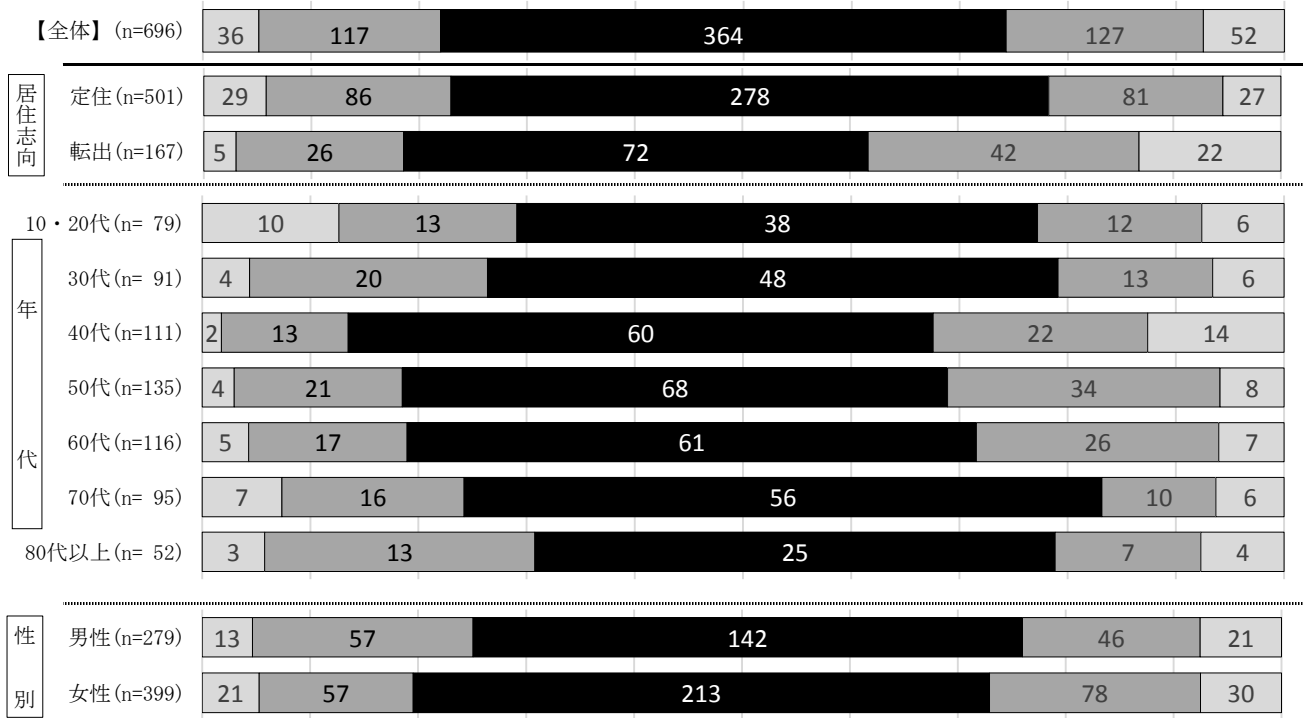
《凡例》



図書館サービス



美術館・博物館などの文化施設



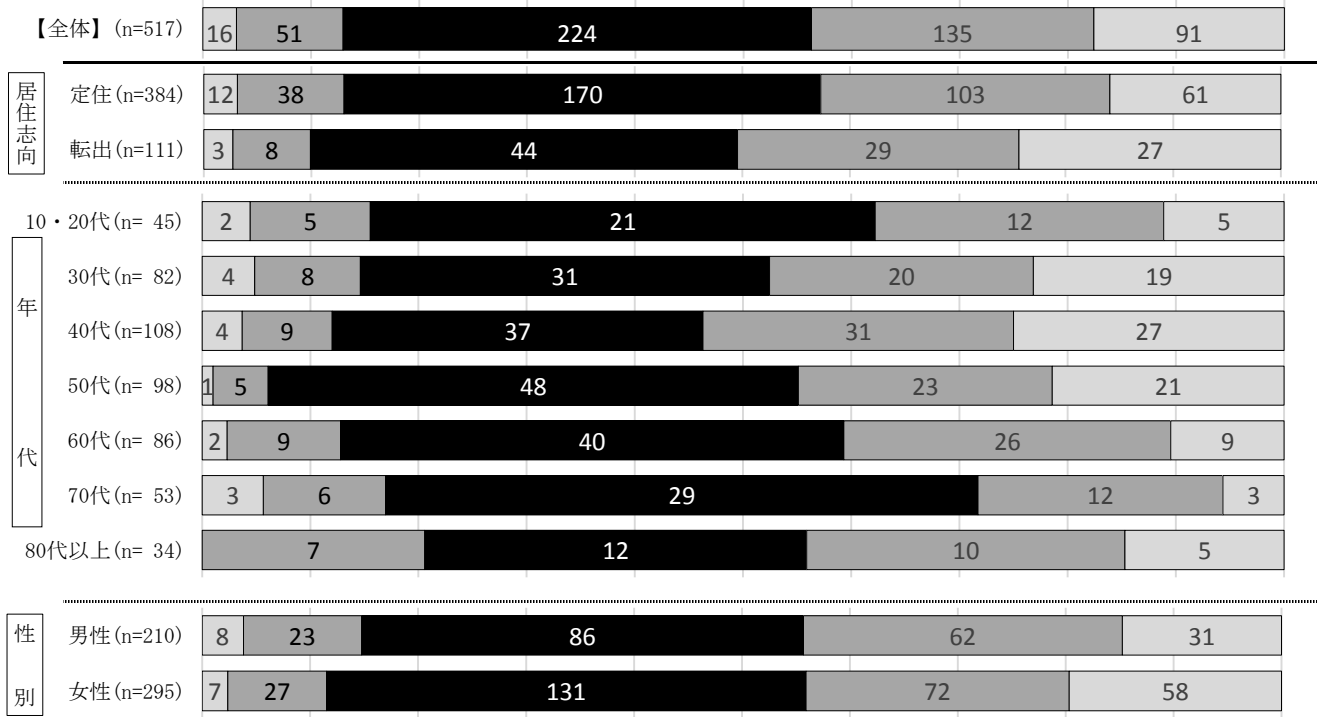
【小樽市民アンケート】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

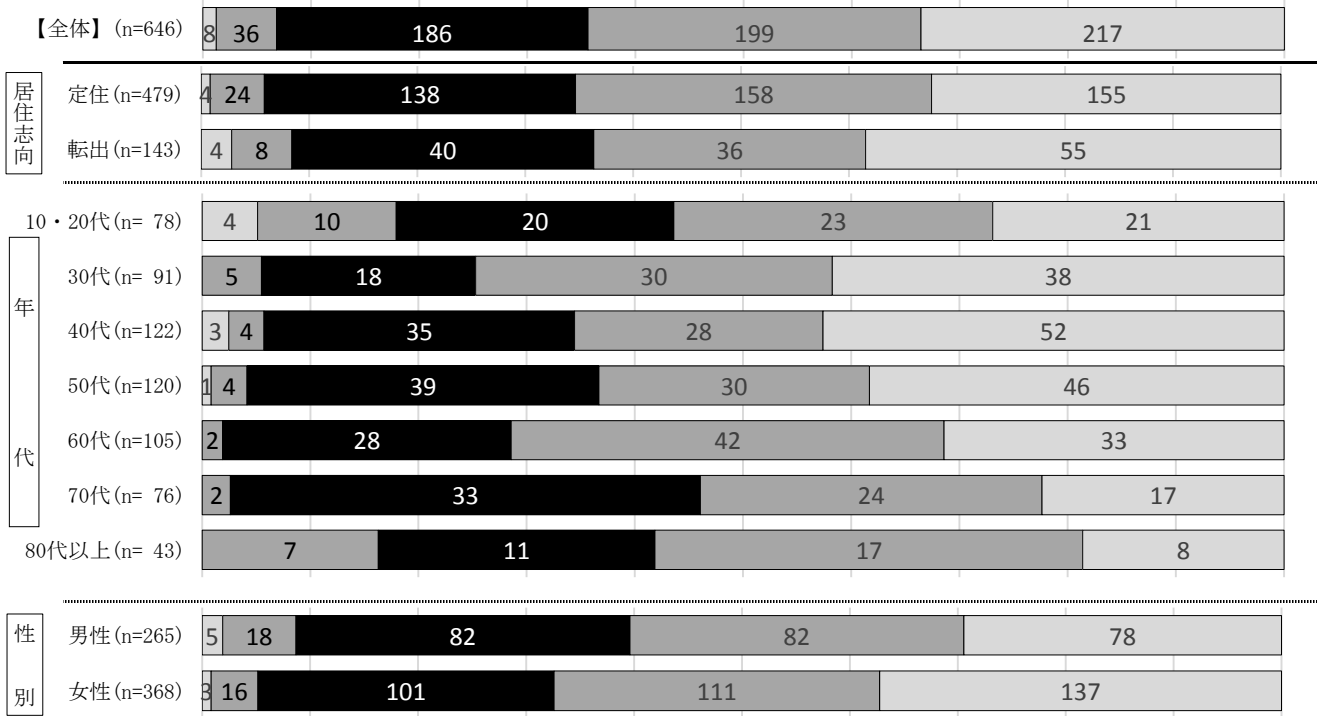
《凡例》



子どもの医療費助成の充実



子どもの遊び場・公園の充実度

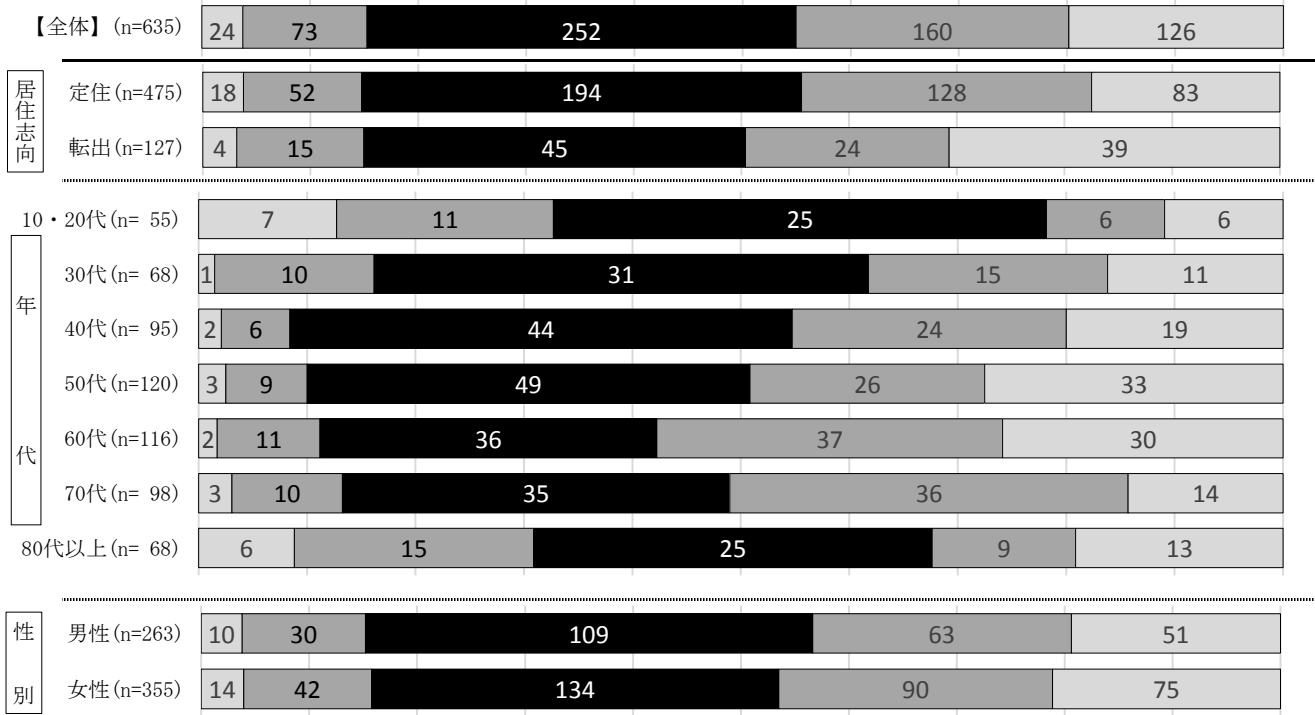


0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

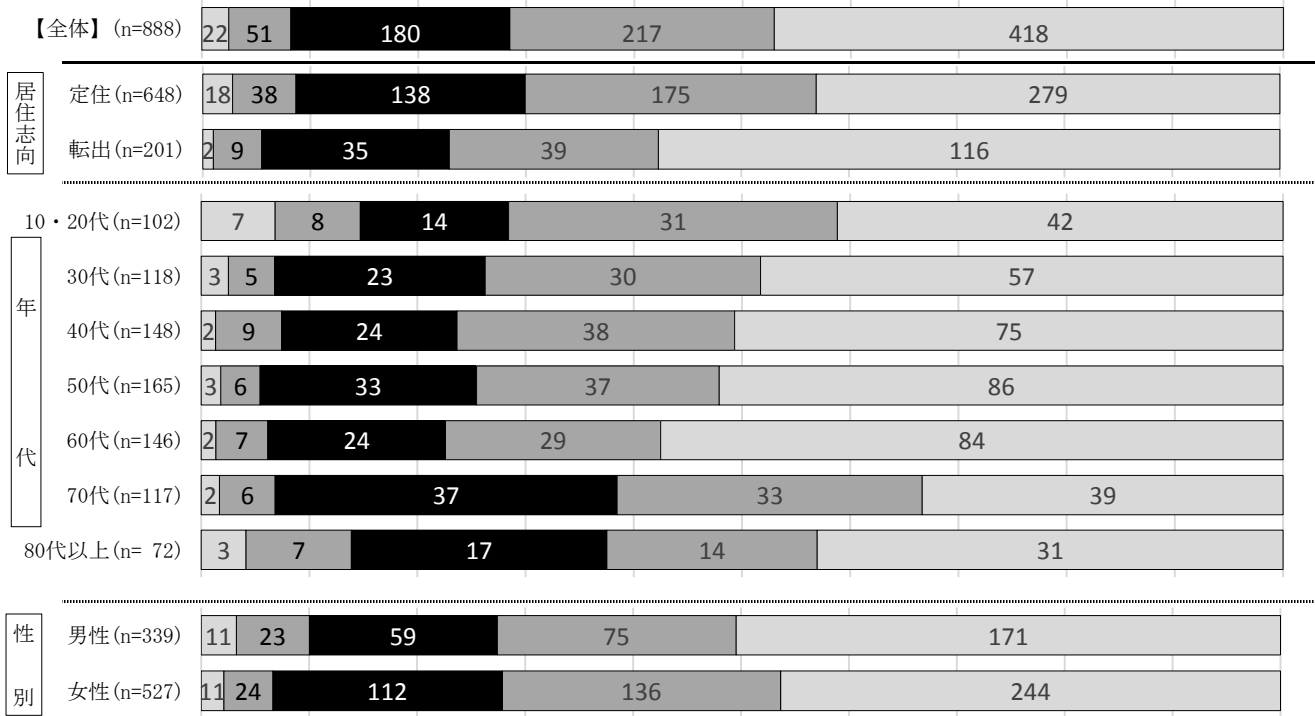
《凡例》



高齢者介護施設などの高齢者向け公共サービス



除雪・排雪



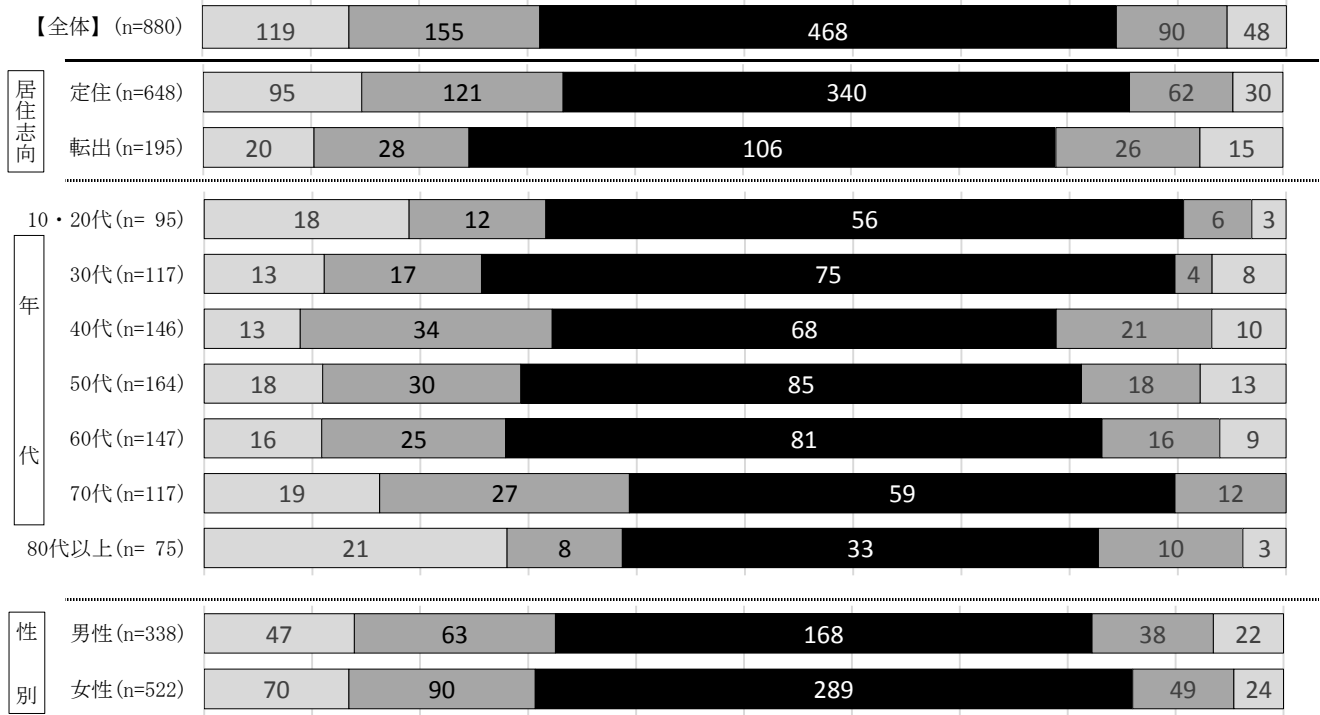
【小樽市民アンケート】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

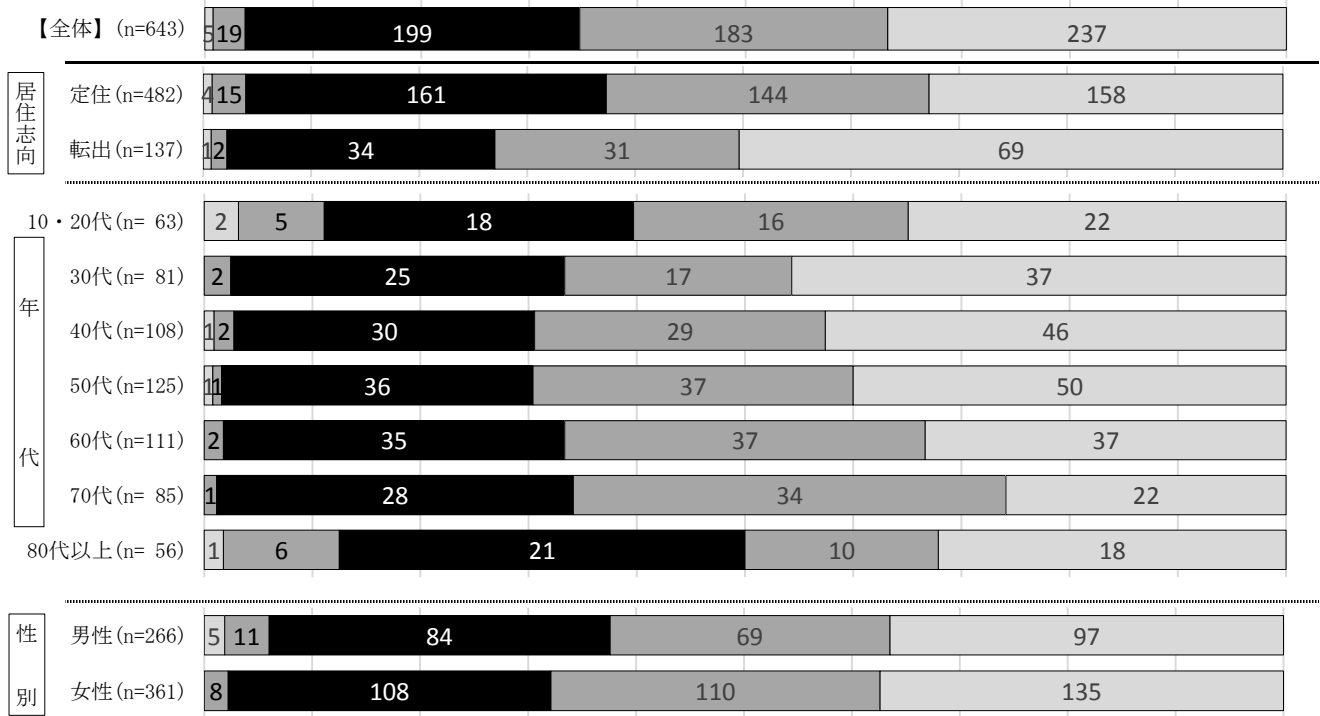
《凡例》



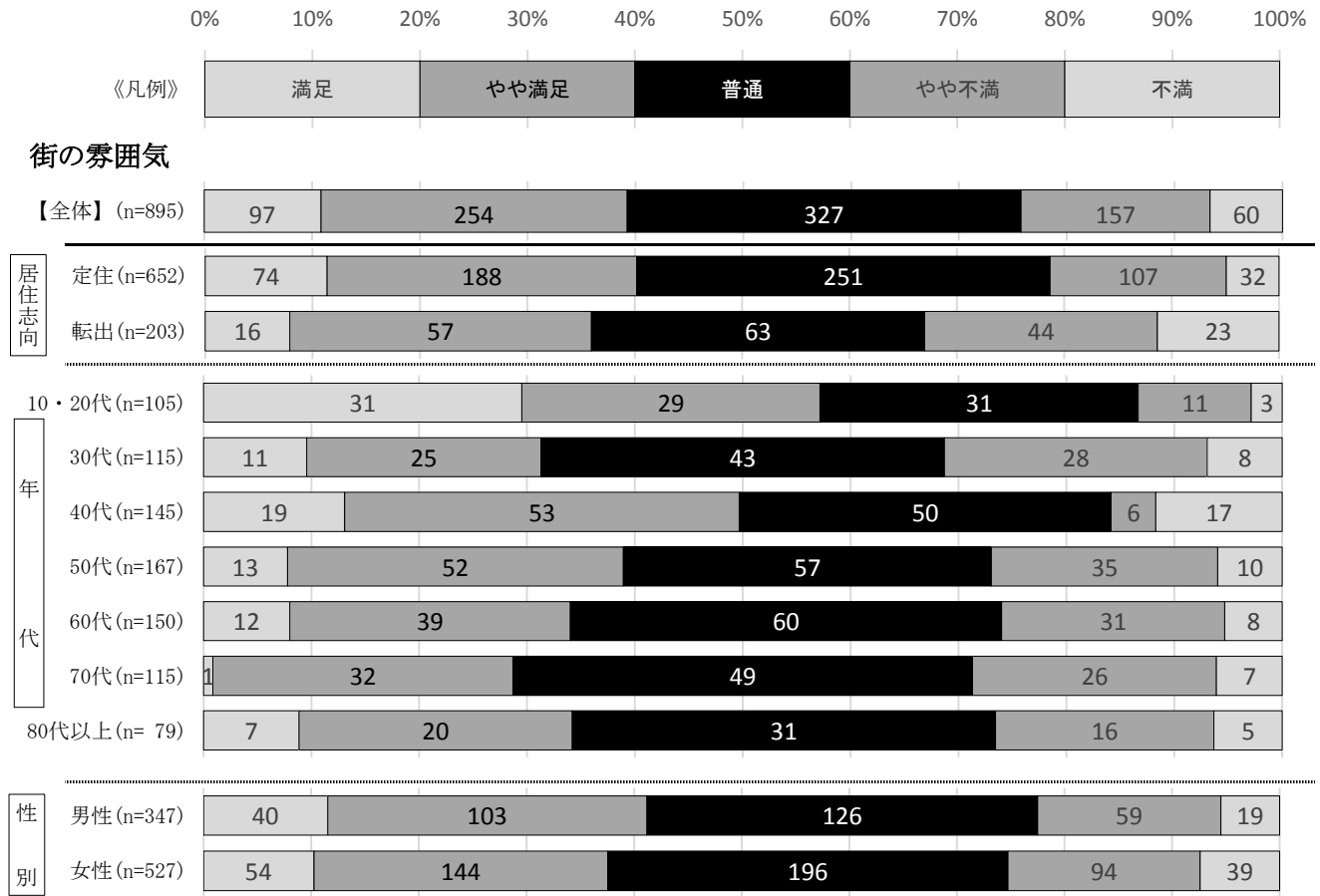
ごみ収集



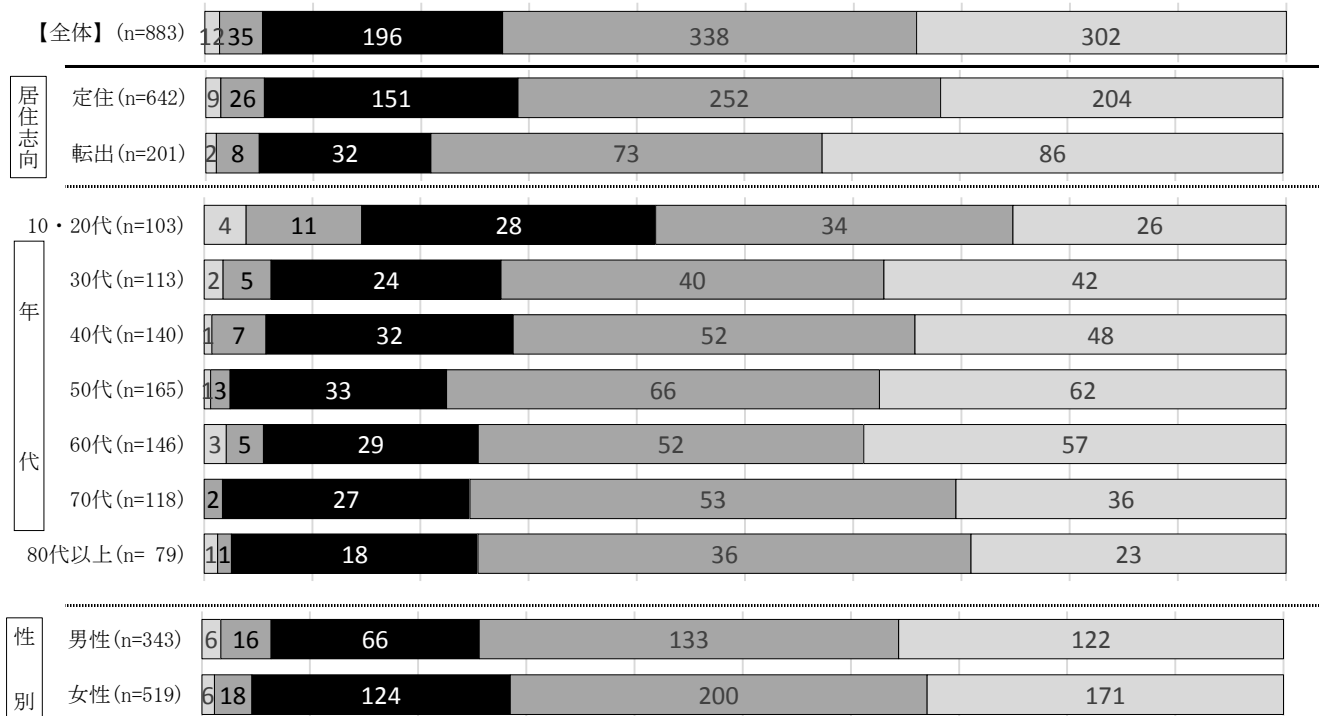
市民の声の市政への反映



(6) ③ 小樽市の印象



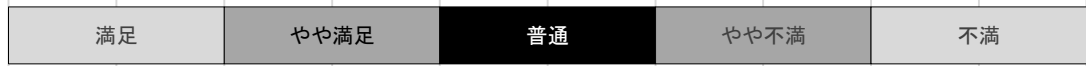
商店の活気



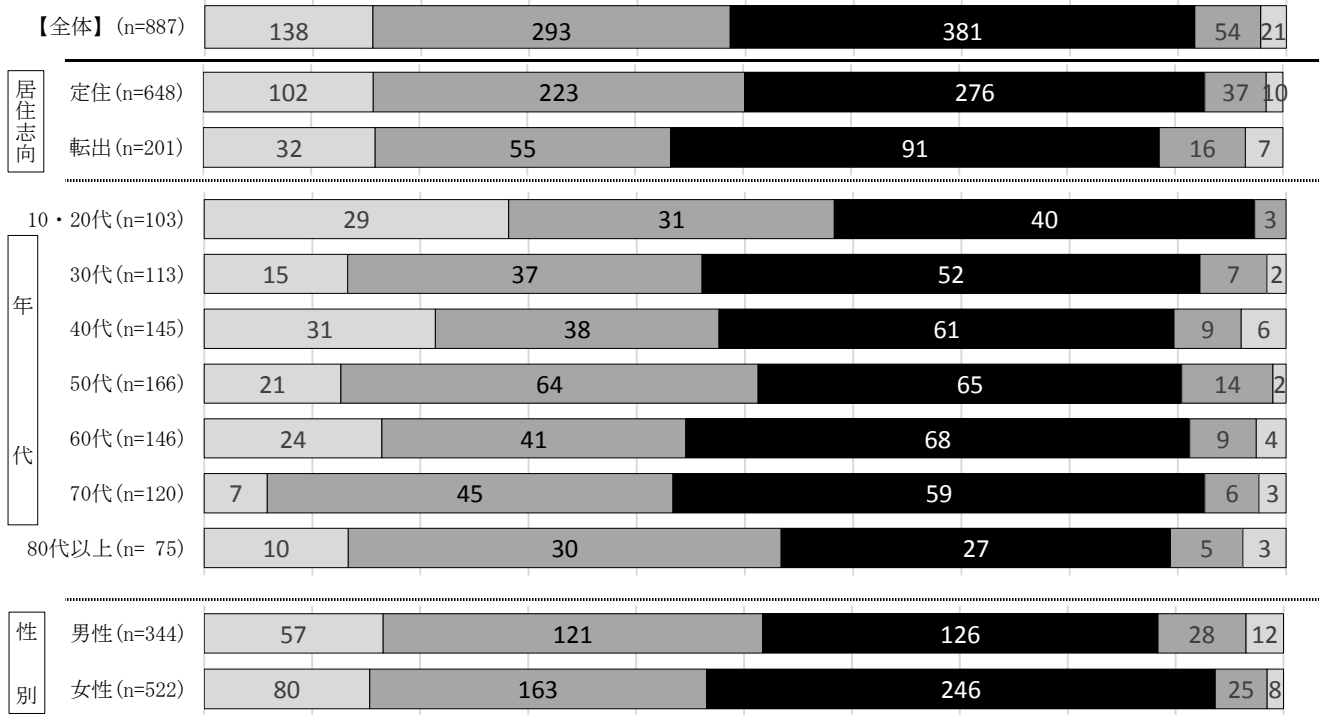
【小樽市民アンケート】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

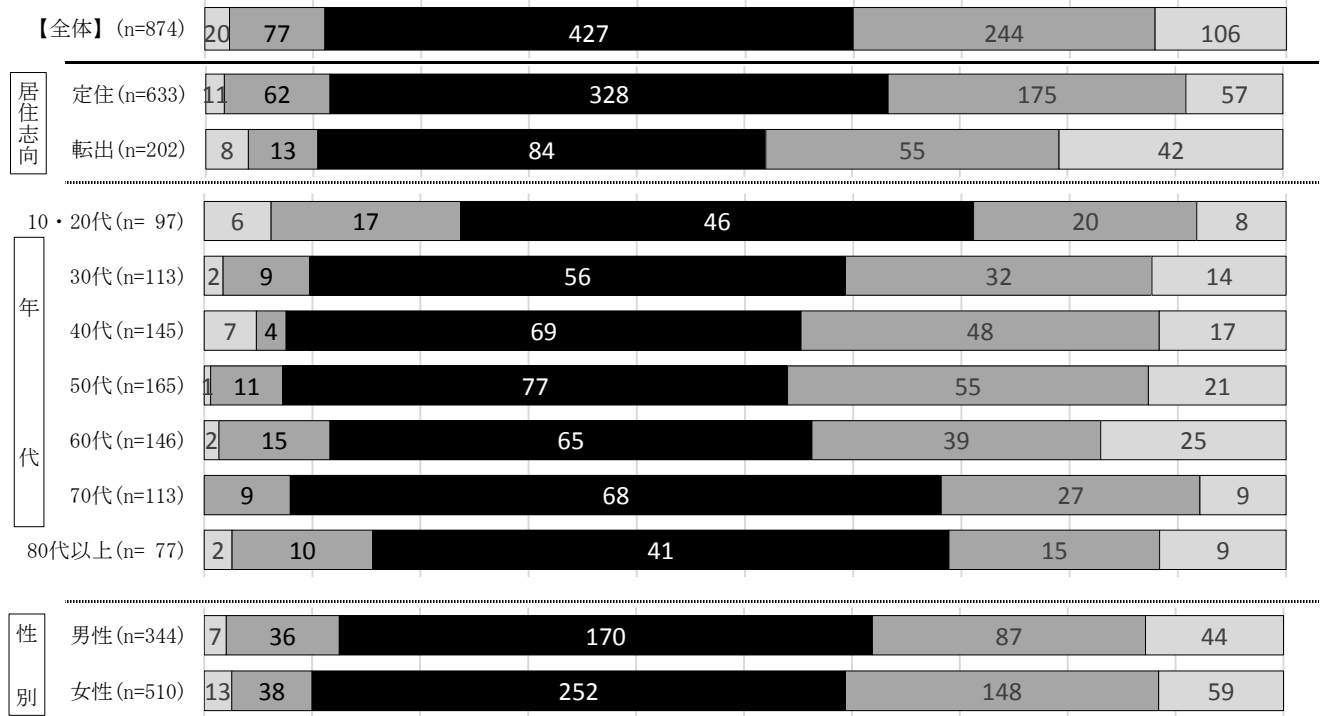
《凡例》



自然環境



生活コスト

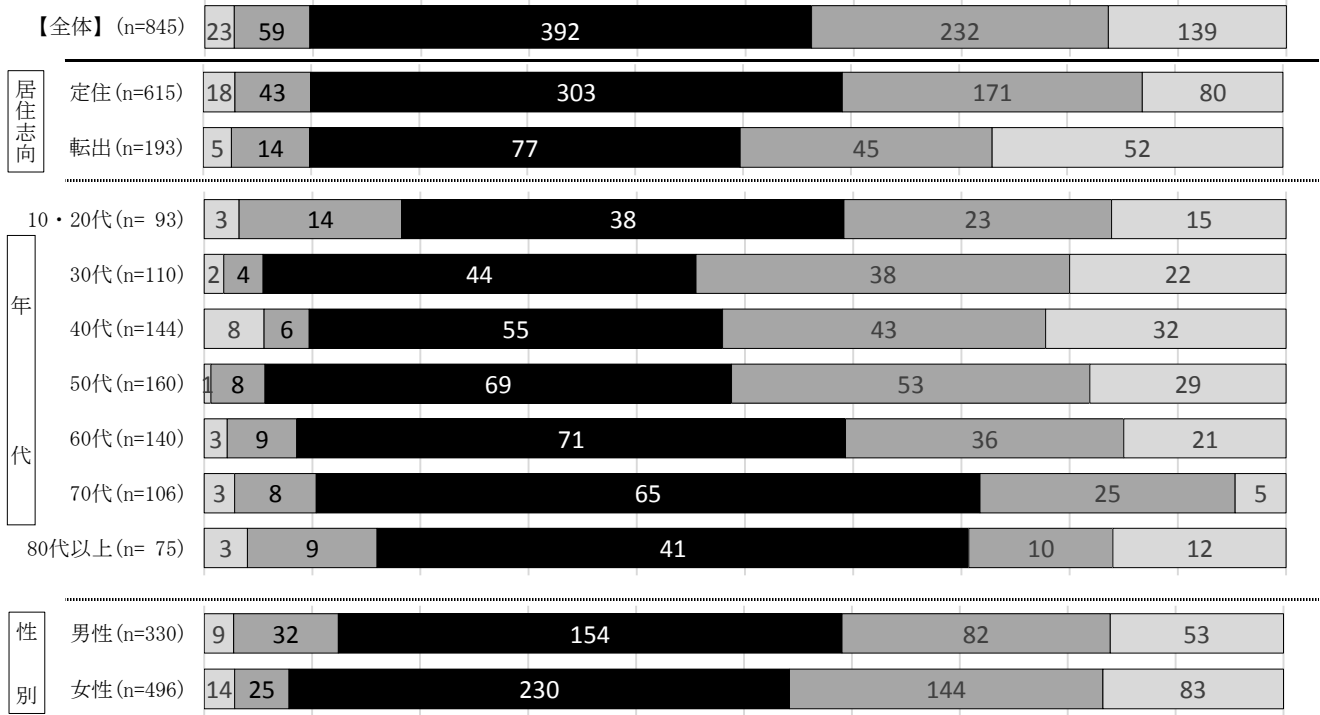


0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

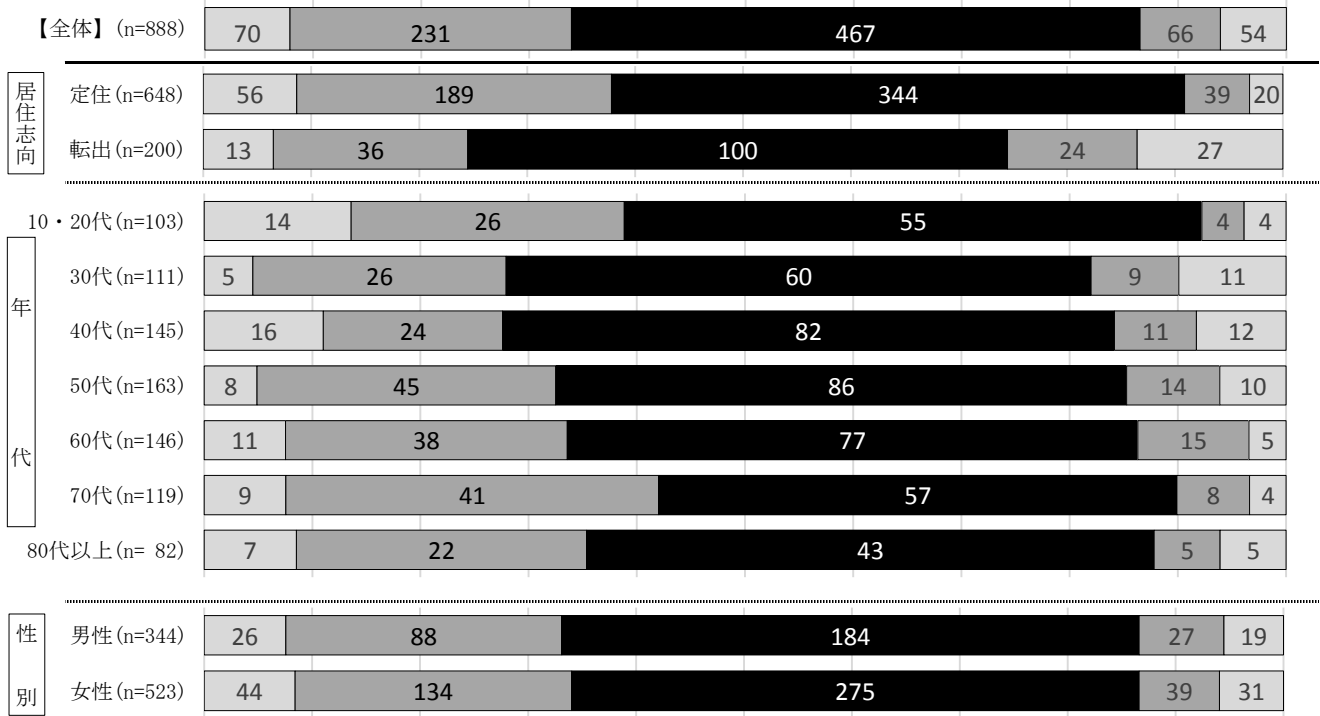
《凡例》



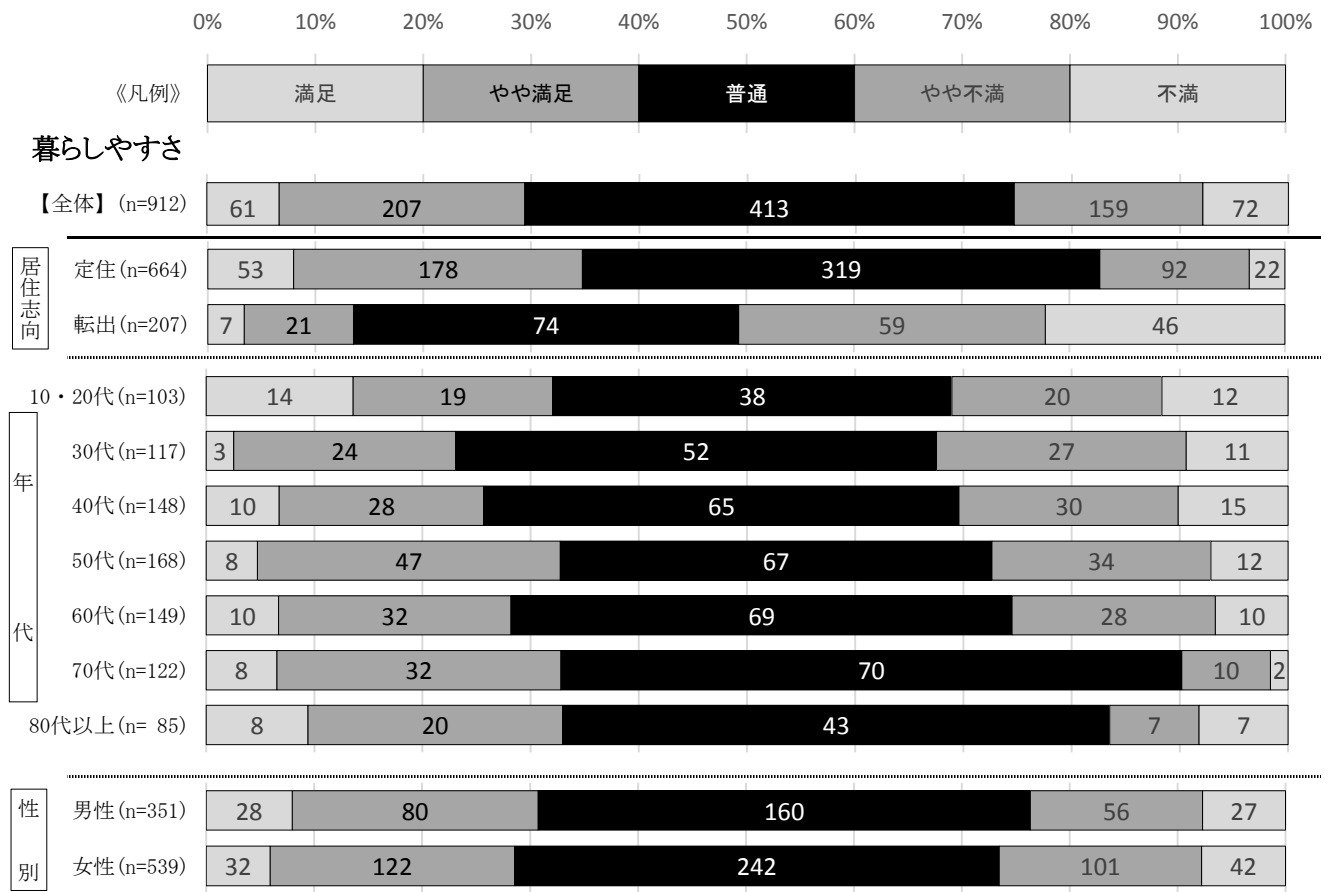
住居コスト



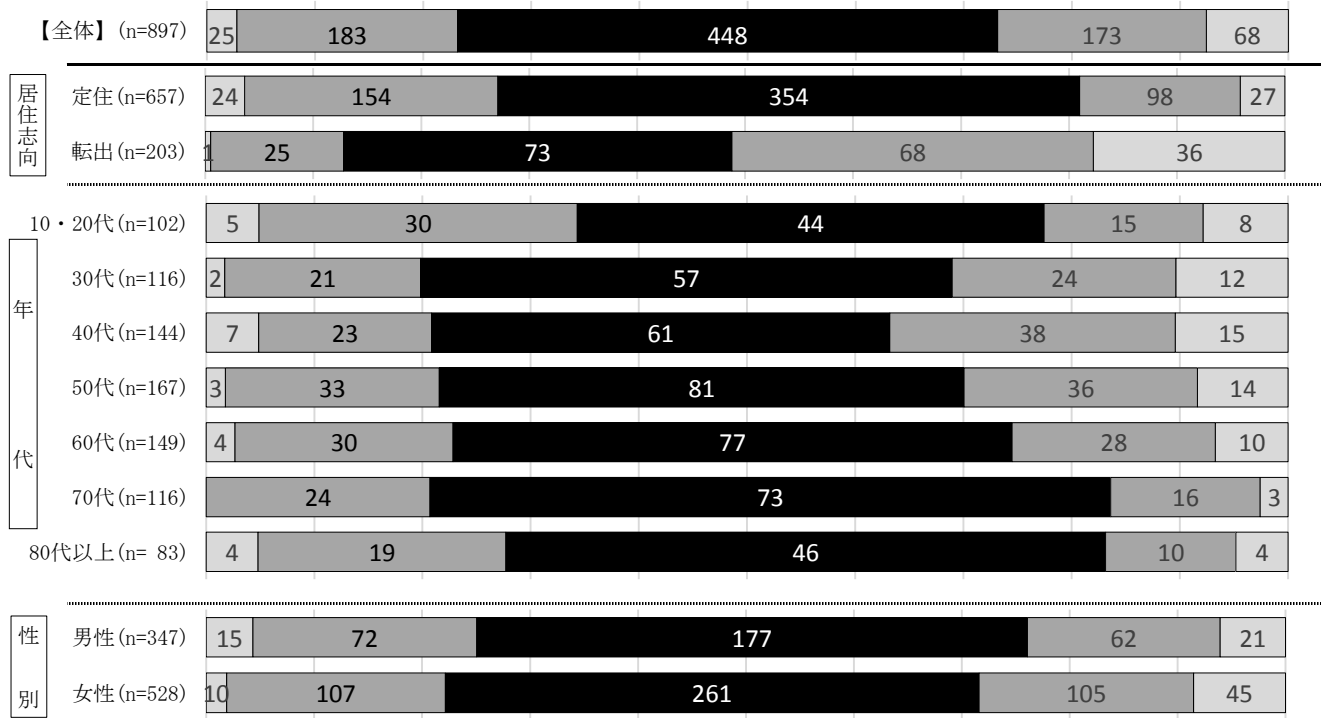
住民の人柄



【小樽市民アンケート】



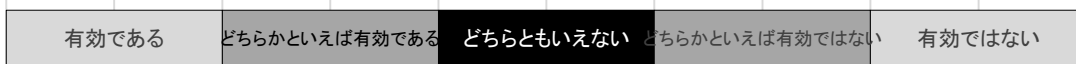
総合満足度



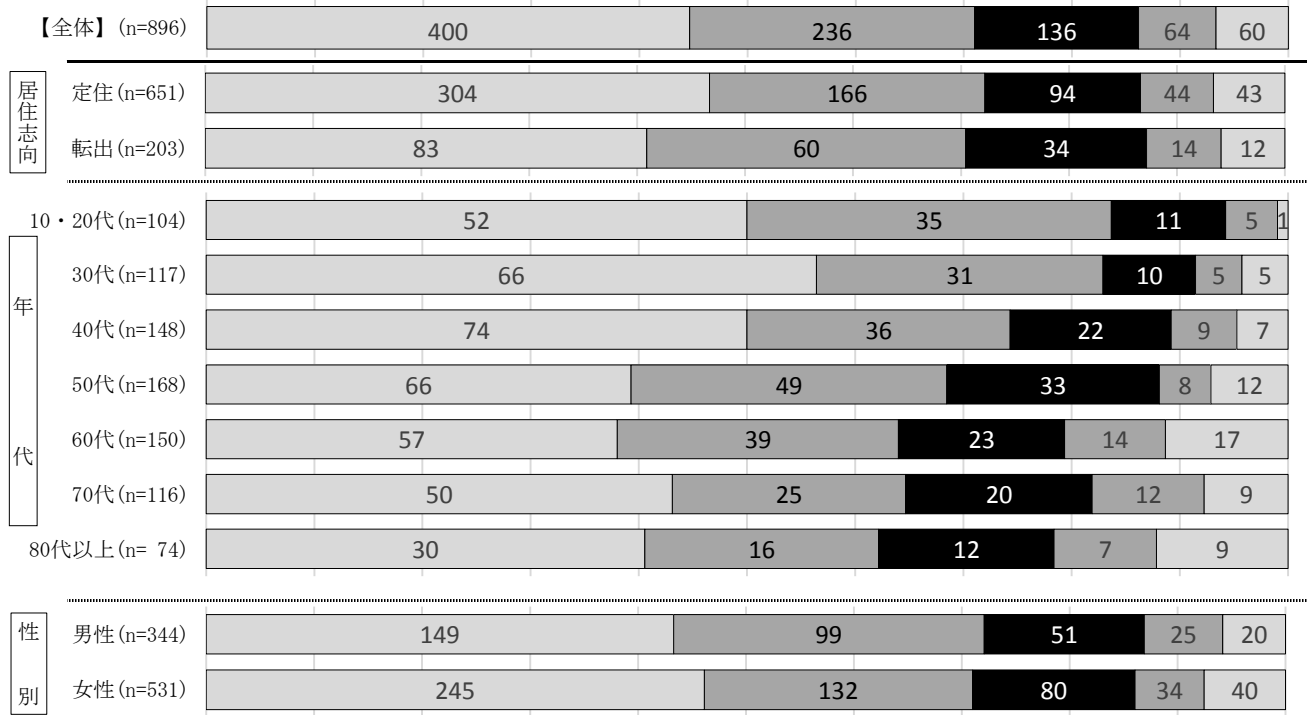
(6) 人口減少対策としてどのような対策が有効だと思うか

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

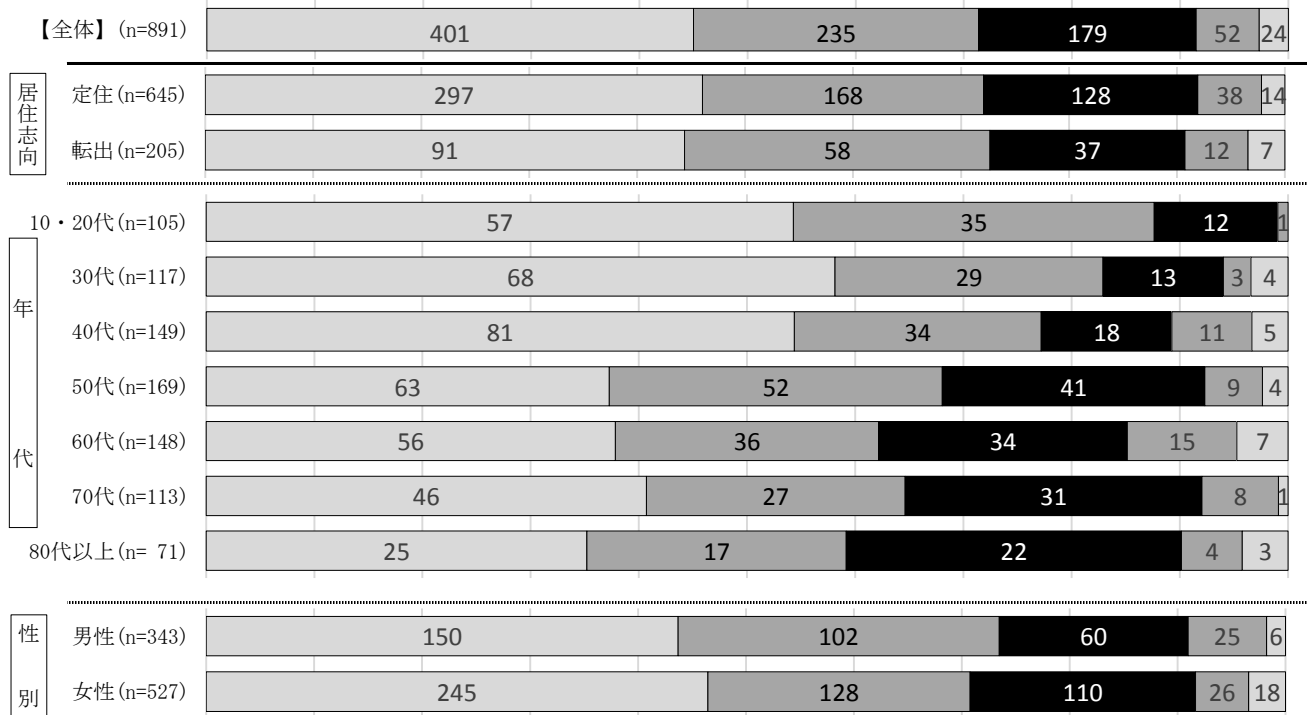
《凡例》



出産環境の整備



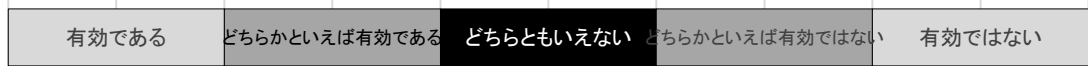
子育て支援の充実



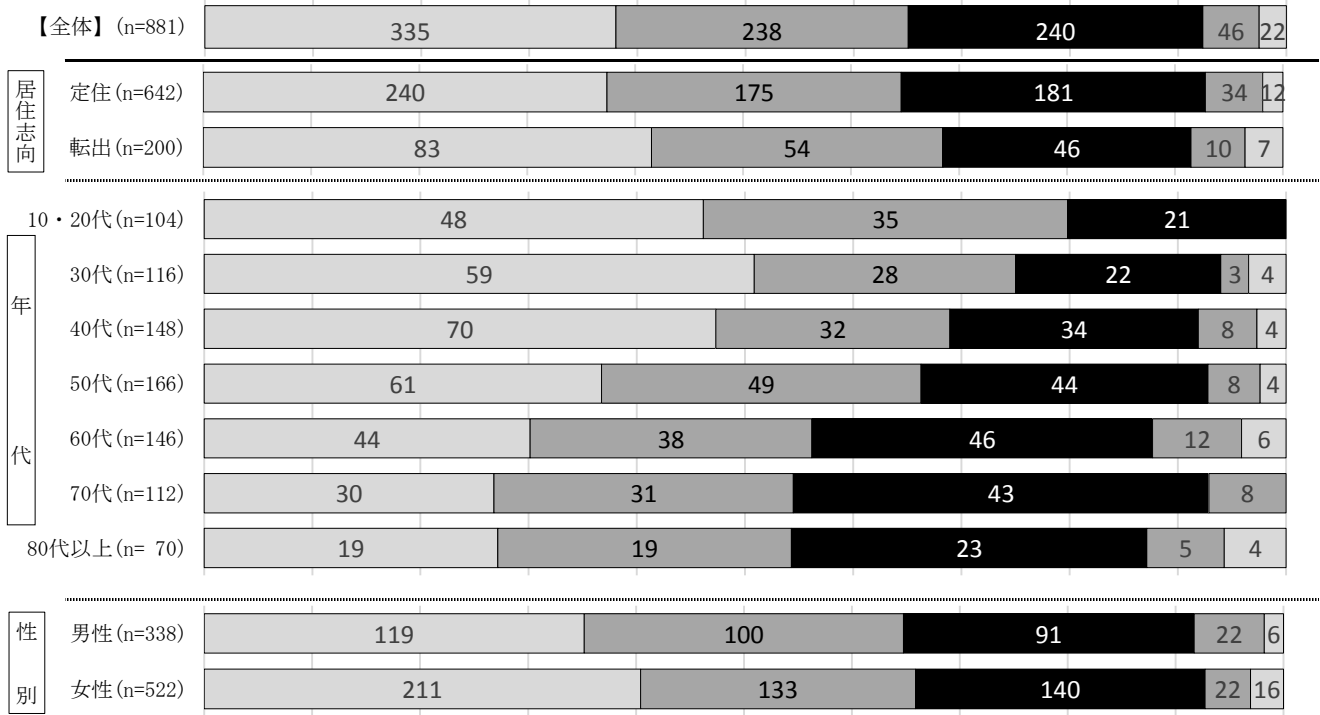
【小樽市民アンケート】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

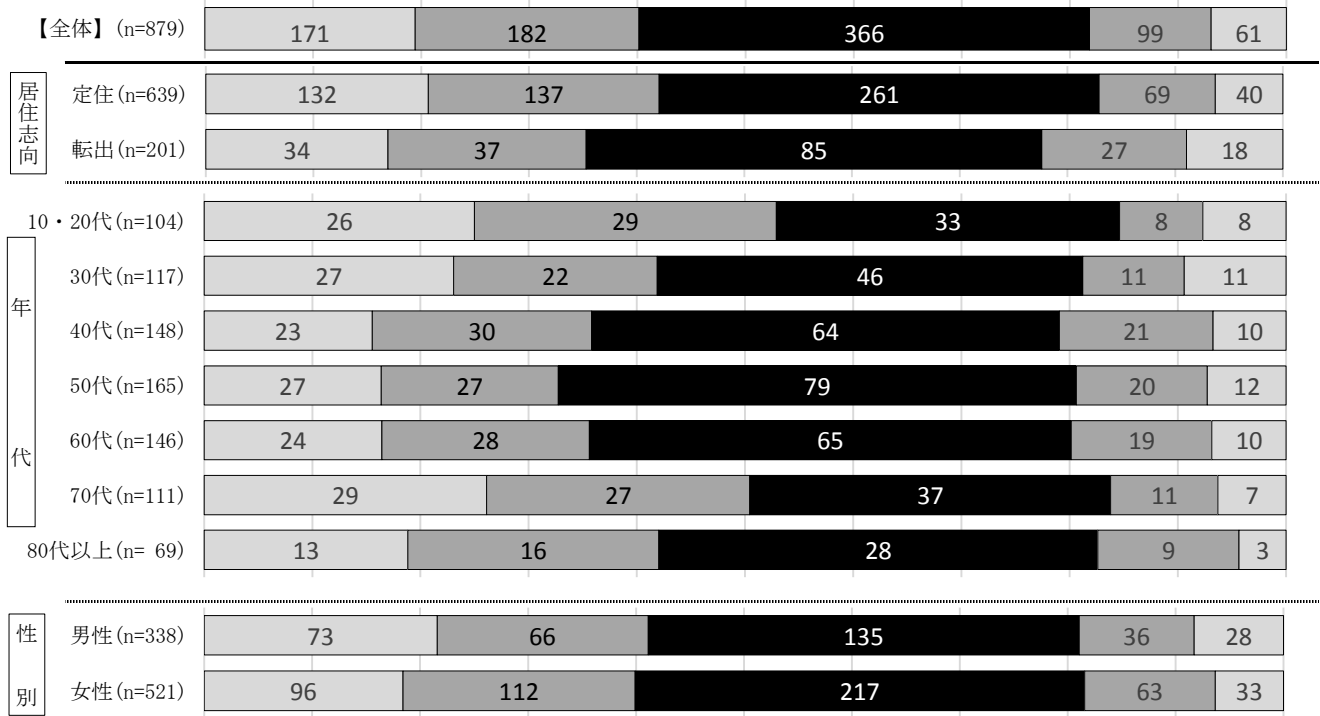
《凡例》



学校教育の充実



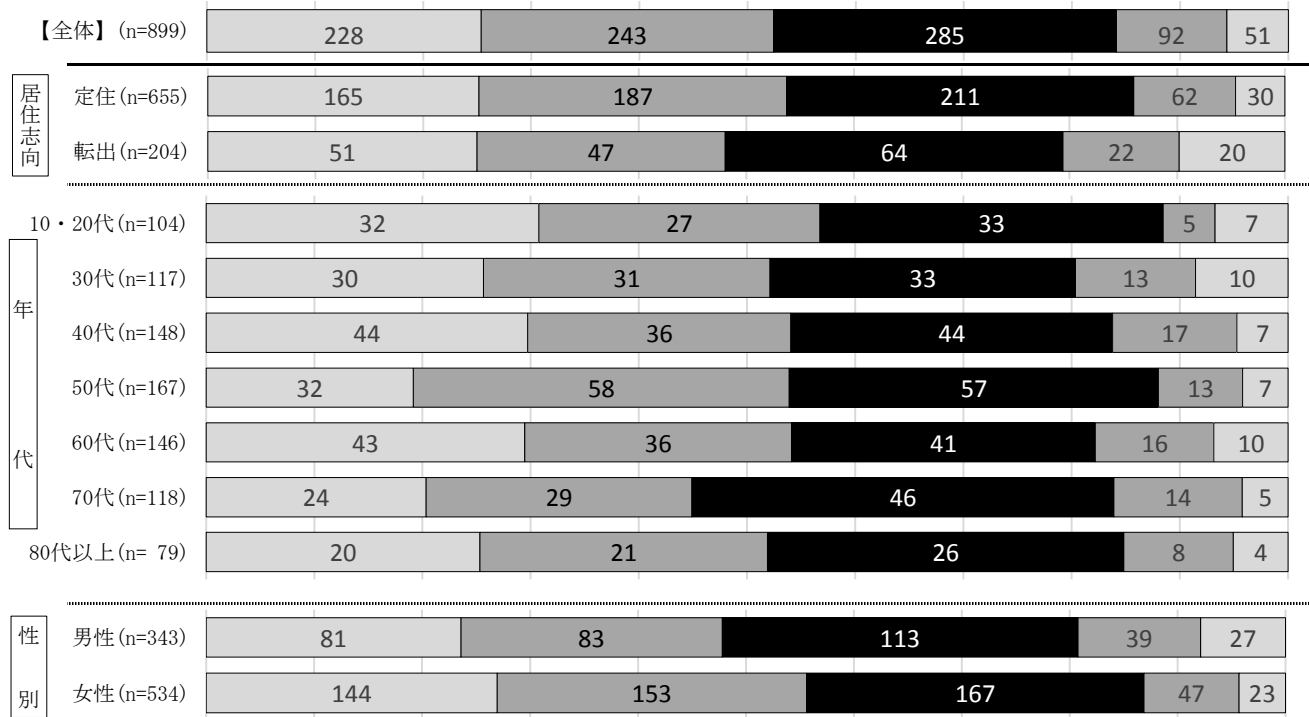
結婚活動への支援



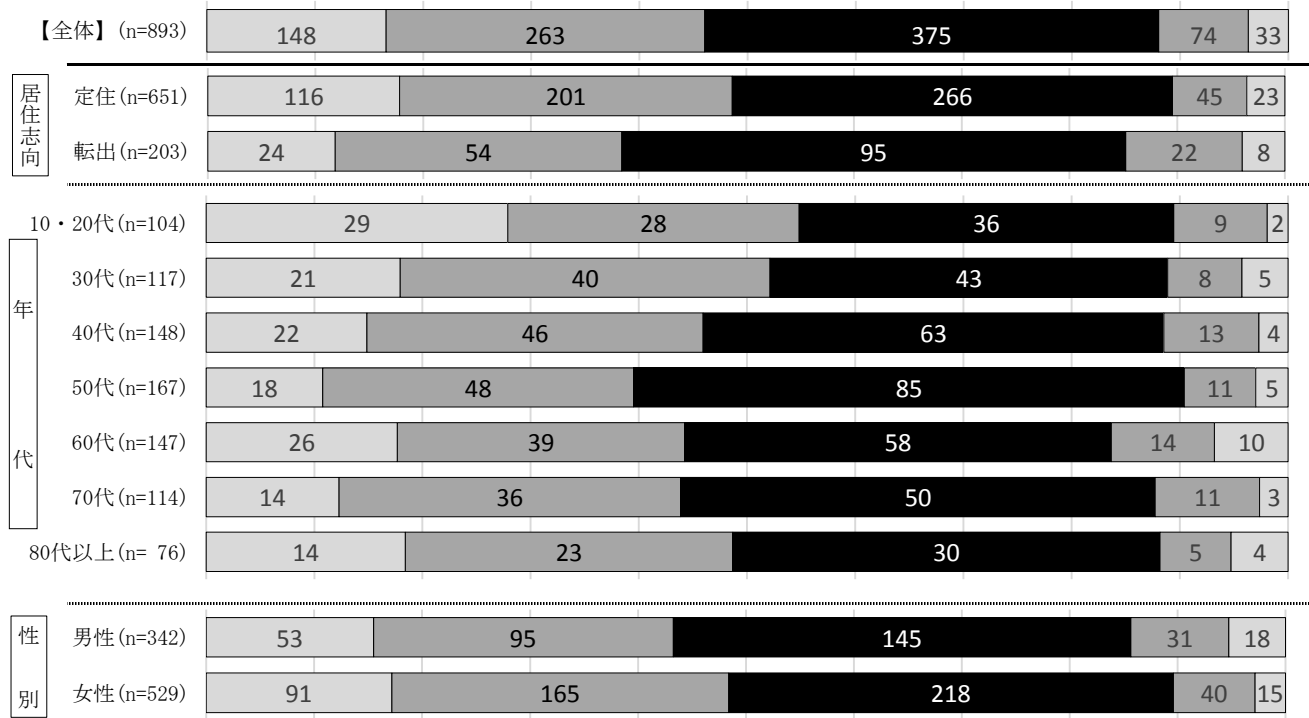
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

《凡例》 有効である どちらかといえば有効である どちらともいえない どちらかといえば有効ではない 有効ではない

高齢者福祉の充実



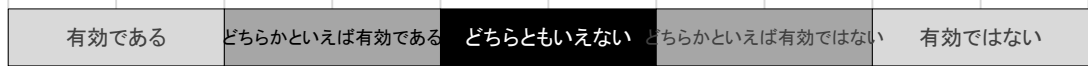
防災対策の充実



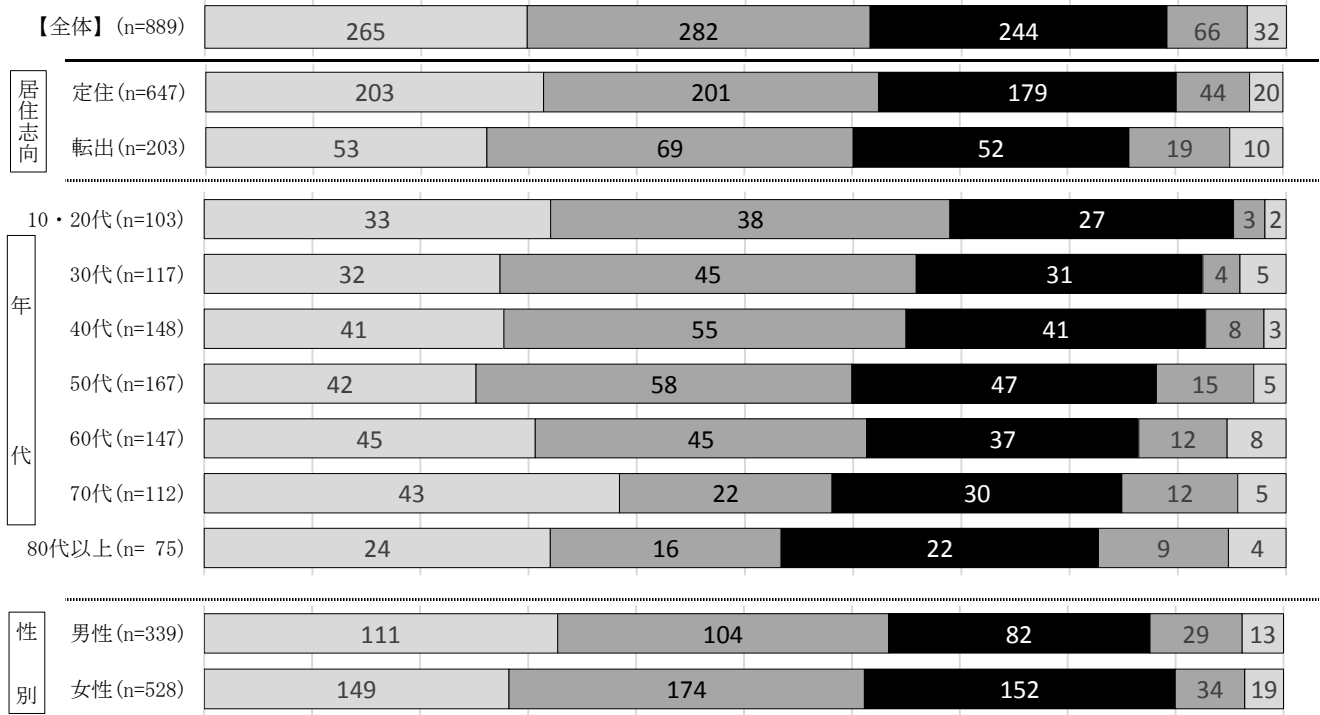
【小樽市民アンケート】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

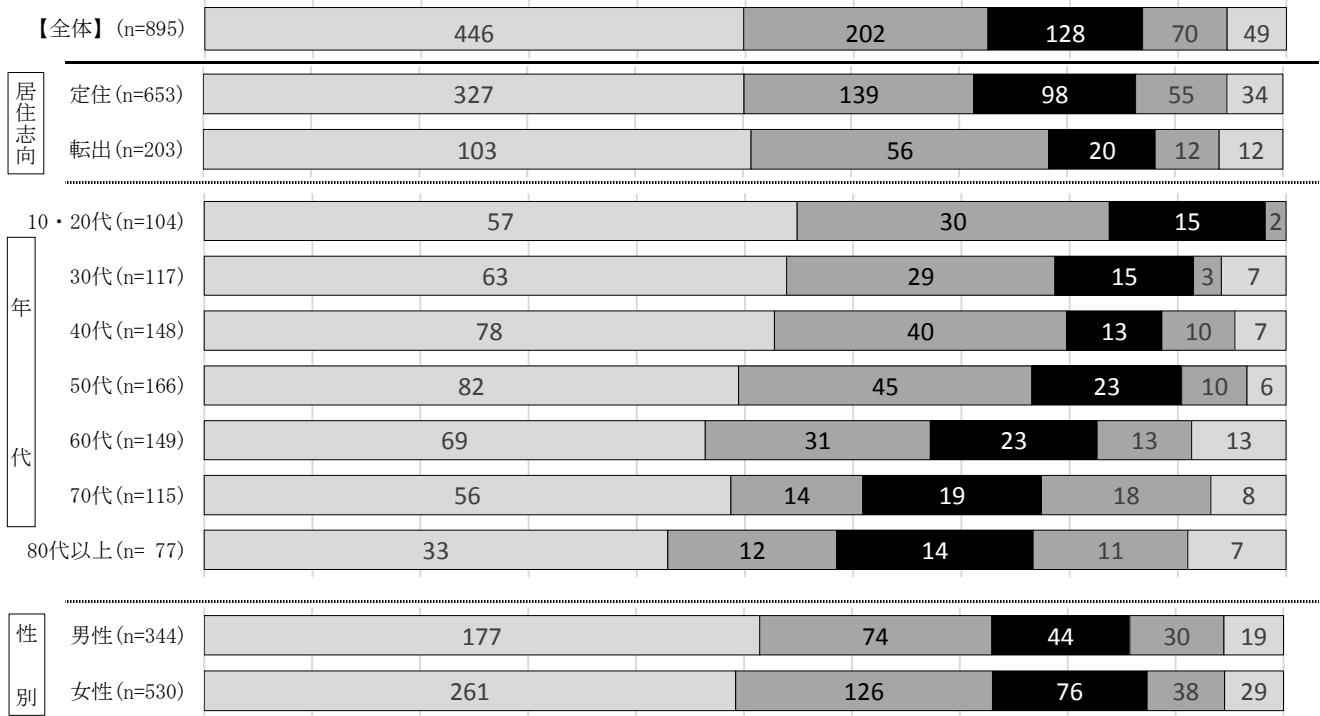
《凡例》



地場産業振興への支援

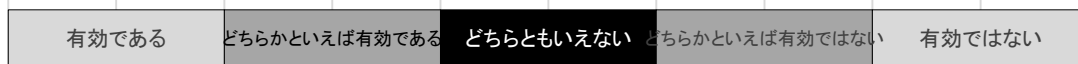


雇用の創出

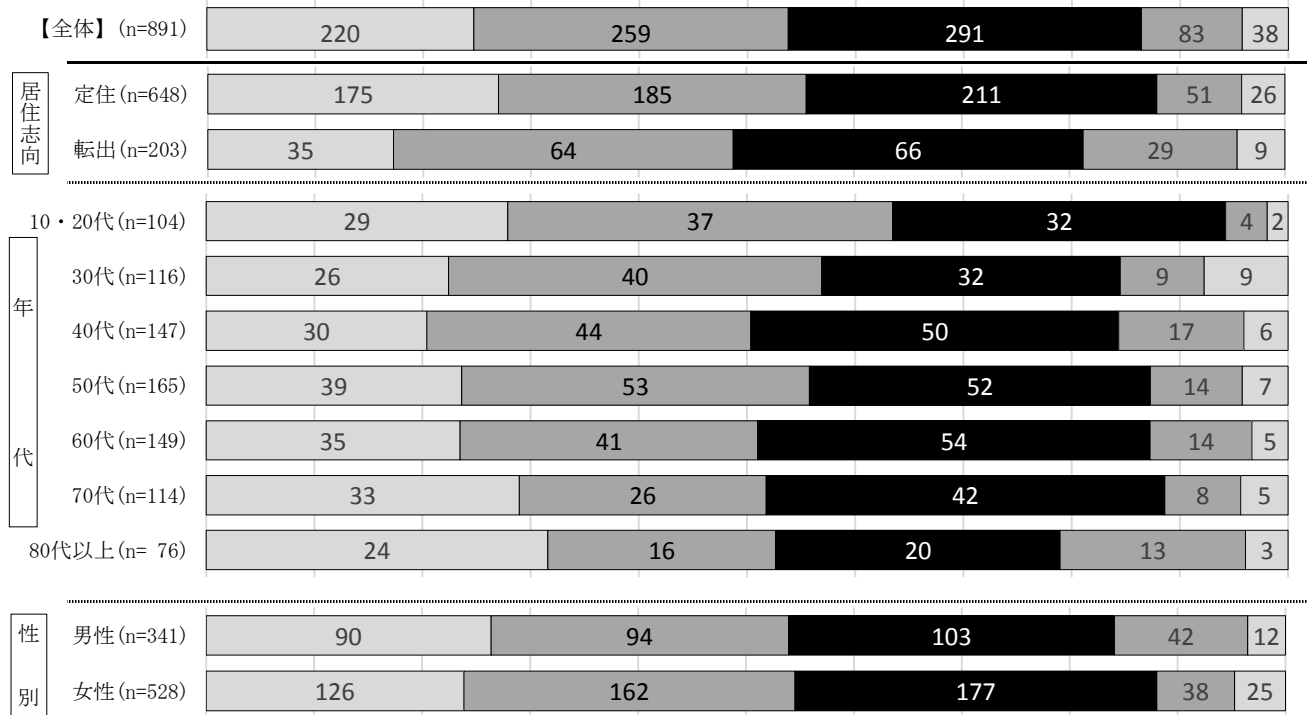


0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

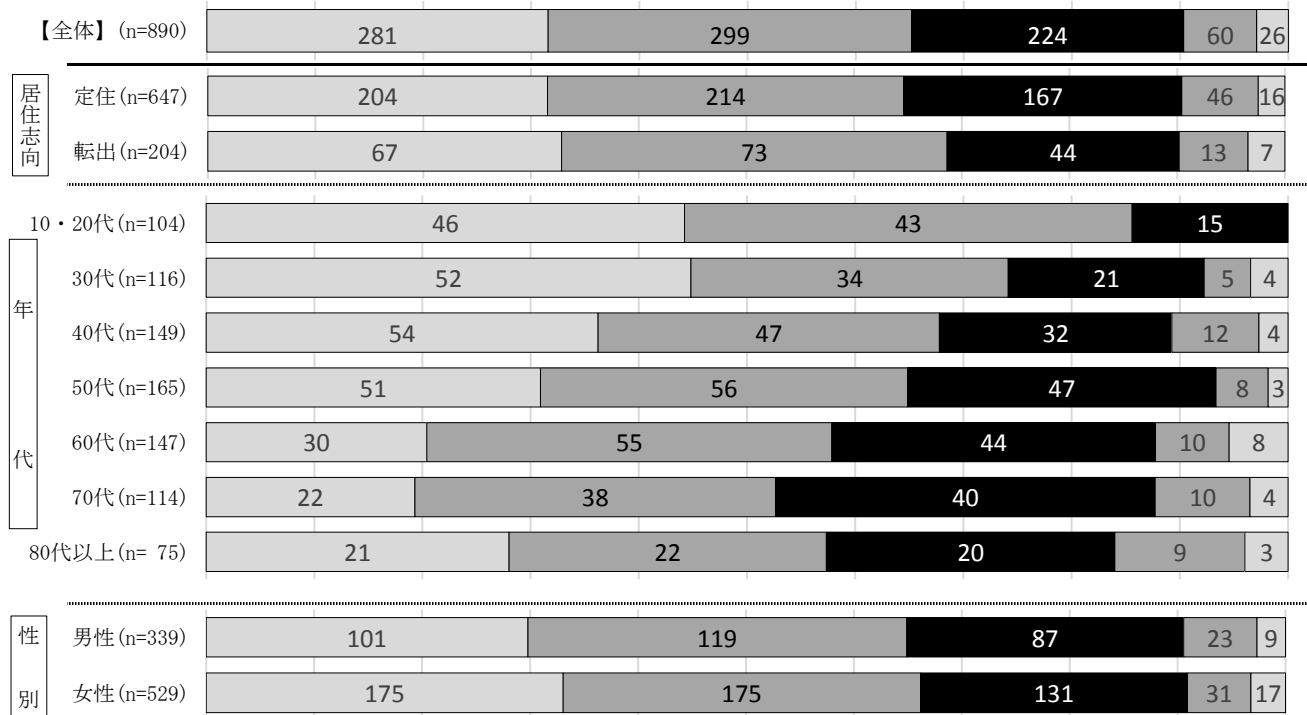
《凡例》



観光振興策への支援



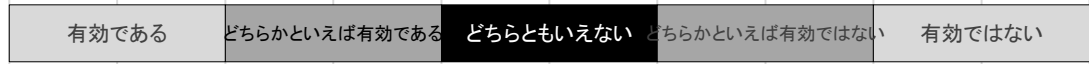
住環境の整備



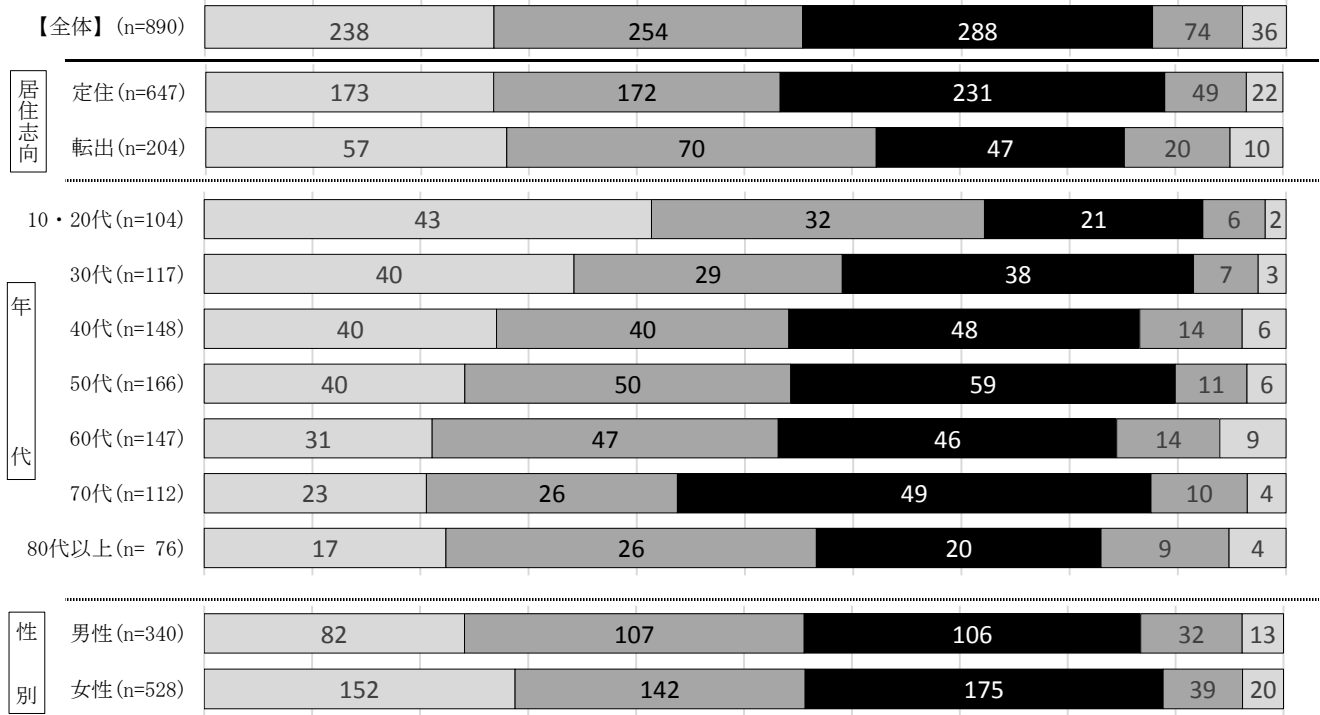
【小樽市民アンケート】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

《凡例》



道路などのインフラ整備



Ⅱ 子育て・教育環境アンケート調査

1 調査概要

1.1 調査目的

本調査は、子を持つ市民が、子育て・教育環境についてどのような考えを持っており、どう評価しているのかを把握し、それが小樽市での定住にどの程度結びつくのか、また、どのような点を改善することにより定住していただけるのかを分析することにより、人口減少対策を検討する基礎資料とすることを目的とする。

1.2 調査方法と回収数等

(1) 調査地域 小樽市内全域

(2) 調査対象 小樽市内在住の下記に該当する世帯

① 2歳・5歳の子を持つ世帯

② 小学2年生・5年生、中学2年生の子を持つ世帯

(3) 標本構成

① 2歳・5歳の子を持つ世帯

標本数 951件

回収数 250件

無効数 0件

有効回収数 250件（回収率26.3%）

② 小学2年生・5年生、中学2年生の子を持つ世帯

標本数 2,317件

回収数 1,524件

無効数 3件

有効回収数 1,521件（回収率65.6%）

(4) 抽出方法

① 2歳・5歳の子を持つ世帯

平成30年1月1日現在の住民基本台帳より、該当者のいる世帯主全員（②に該当する世帯を除く）

② 小学2年生・5年生、中学2年生の子を持つ世帯

平成30年1月現在、該当者のいる世帯全て

(5) 調査方法

① 2歳・5歳の子を持つ世帯

郵便配布・郵便回収

② 小学2年生・5年生、中学2年生の子を持つ世帯

学校配布・学校回収

(6) 調査期間

① 2歳・5歳の子を持つ世帯

平成30年1月19日～平成30年2月7日

② 小学2年生・5年生、中学2年生の子を持つ世帯

平成30年1月15日～平成30年1月31日

2 アンケート結果

(1) 回答者属性

① 子供との続柄

母親	父親	祖母	祖父	その他	未回答
1,546	203	4	4	0	17

② 家庭人数

2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	11人	未回答
85	366	751	392	102	28	9	1	0	4	36

③ 年齢

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	未回答
36	600	927	83	6	3	119

④ 職業

事務職	販売職	サービス業	生産現場・技能	運輸	保安職	専門・技術職	管理職	農林水産業	無職	その他	未回答
276	187	268	108	22	14	357	20	14	292	118	98

自営業	会社員		公務員・団体職員		パートタイム・アルバイト	専業主婦・主夫	その他	未回答
	期限の定めなし	期限の定めあり	期限の定めなし	期限の定めあり				
91	433	57	121	22	630	272	28	120

⑤ 居住地

北西部	331
塩谷地区	45
長橋・オタモイ地区	185
高島地区	101
中央部	780
手宮地区	78
山手地区	292
中央地区	149
南小樽地区	261

東南部	605
朝里地区	461
銭函地区	144
未回答	58

⑥ 学歴

中学	高校	専門学校	短大	大学	大学院	その他	未回答
37	791	399	250	215	18	1	63

⑦ 世帯の収入状況

25万円未満	16	850～950万円	56
25～75万円	8	950～1,100万円	76
75～150万円	66	1,100～1,300万円	39
150～250万円	104	1,300～1,500万円	7
250～350万円	173	1,500～1,700万円	8
350～450万円	252	1,700～2,000万円	8
450～600万円	366	2,000万以上円	8
600～850万円	332	未回答	255

(2) 子どもについて

① 対象者の年齢と性別

	2歳児	5歳児	小学2年生	小学5年生	中学2年生	未回答
男	55	57	238	228	239	
女	67	68	255	261	292	
未回答						14

② 対象者の出生順位

第1位	第2位	第3位	第4位	第5位	第6位	第7位	未回答
902	618	195	32	4	2	1	20

③ 対象者を含めたきょうだいの人数

1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人	未回答
337	860	428	102	14	1	2	0	4	1	25

④ きょうだいの性別

男	女	未回答
1,286	1,209	100

⑤ きょうだいの年齢

5歳以下	6～9歳	10～15歳	16～19歳	20歳以上
471	597	994	375	158

⑥ きょうだいの就学・就職の状況

乳幼児	幼稚園・ 保育園	小学生	中学生	高校生	短大・ 専門学校	大学・ 大学院	就職	無職	未回答
138	431	1,002	422	319	29	52	113	16	73

(3) 配偶者について

① 年齢

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代
27	400	743	153	13	1	1

② 職業

事務職	販売職	サービス 業	生産現場 ・技能	運輸	保安職	専門・ 技術職	管理職	農林 水産業	無職	その他
164	137	139	240	110	36	234	108	15	84	78

自営業	会社員		公務員・団体職員		パートタイム ・ アルバイト	専業主婦 ・主夫	その他
	期限の 定めなし	期限の 定めあり	期限の 定めなし	期限の 定めあり			
164	755	69	173	22	78	74	14

③ 学歴

中学	高校	専門学校	短大	大学	大学院	その他
58	650	236	83	327	31	3

(4) 子ども・配偶者以外の家族

① 人数

いる	いない	未回答
300	1,399	75

1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人
132	143	19	2	2	0	1	0	1

② 就業等の状況

	フルタイム	パートタイム	無職	要介護	合計
あなたの父親	37	8	54	9	108
あなたの母親	20	39	100	9	168
配偶者の父親	22	8	28	3	61
配偶者の母親	10	24	55	9	98
その他の方	26	8	15	6	55

(5) 子育て・教育方針など

① 子育て・教育についての考え方

	そう 思う	どちら かとい えば そう 思う	どちら とも いえ ない	あまり そう 思わ ない	そう 思わ ない	未 回答	平均
子どもは自然の中でのびのび育てたい	755	755	212	37	2	13	4.26
子どもには習い事をさせたい(させている)	878	563	259	50	12	12	4.27
学力を上げるために塾に行かせたい(行かせている)	469	515	538	170	71	11	3.65
子どもには英会話を習わせたい(習わせている)	481	565	481	171	60	16	3.70
子どもには手に職をつけさせたい	910	570	252	25	4	13	4.34
子どもには積極的に部活動に参加してほしい	883	567	265	34	15	10	4.29
地域のイベントなどを通していろいろなと かかわる機会をもたせたい	619	736	352	45	12	10	4.08
長年の知り合いがたくさんいる環境で子どもを育てたい	393	626	609	108	23	15	3.72
旅行などを通して視野を広げる機会を作りたい	815	670	236	34	6	13	4.28
子どもには将来できる限り高い学歴をつけさせたい	410	605	567	138	43	11	3.68

② 子どもに進学してもらいたい段階

中学校まで	高校まで	専門学校・ 各種学校まで	短期大学 まで	4年制大学 まで	大学院 まで	その他	未回答
2	268	426	63	817	32	141	25

③ 子育て・教育環境の満足度

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	不明	未回答	平均
幼稚園保育所の数	333	269	806	145	70	137	14	3.40
幼稚園保育所の設置場所	294	249	840	169	69	132	21	3.33
幼稚園保育所の質	30	57	89	30	10	31	3	3.31
小学校の数	214	215	884	260	95	87	19	3.12
小学校の設置場所	215	204	852	276	126	82	19	3.06
小学校の教育レベル	119	194	788	331	176	146	20	2.84
中学校の数	163	159	946	239	91	155	21	3.04
中学校の設置場所	136	156	792	352	174	144	20	2.83
中学校の教育レベル	68	117	697	308	183	367	34	2.69
高等学校の数	76	95	751	414	232	179	27	2.60
高等学校の設置場所	73	85	863	360	174	193	26	2.69
高等学校の教育レベル	43	63	722	278	178	456	34	2.62
児童館学童保育の環境	86	97	596	306	325	345	19	2.51
図書館のサービス	119	185	818	224	139	269	20	2.95
美術館博物館などの文化施設	87	163	823	248	141	288	24	2.87
子どもの医療費助成の充実度	114	205	504	414	460	58	19	2.47
子どもの保育料無料化の基準	83	114	601	294	290	372	20	2.57
子どもの遊び場公園の充実度	26	59	363	546	722	41	17	1.91
子育てがしやすい住環境の整備	29	57	506	535	556	72	19	2.09

④ 地域での生活

	とても当てはまる	まあ当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない	未回答	平均
子どもの教育や子育てについて気軽に話をできる人がある	400	861	255	174	75	9	3.76
同世代の知り合いが近所にいる	349	734	243	281	159	8	3.47
比較的長い時間子どもを預けることができる場所がある	359	545	258	295	306	11	3.20

⑤ 小樽市の子育て環境(小樽は子育てするには良い環境だ)

賛成	←		→	反対	未回答	平均
48	192	746	498	240	50	2.60

(6) 定住・転出希望

① 今後の居住希望について

今後も住み続けたい と思う	小樽市以外に転出 したいと考えている	どちらともいえない	未回答
1,024	269	475	6

①-1 近い将来(5年以内)の転出予定

ない	札幌	札幌以外 の道内	東北	関東	国内	海外	未定	未回答
127	63	16	1	4	4	2	41	11

①-2 近い将来(5年以内)に転出する理由

自分の 仕事のため	自分の 就学のため	自分の 趣味のため	配偶者との 同居のため	配偶者の 仕事のため	子供の 就学のため	親の 介護のため	居住環境を 変えたい ため	その他	未回答
19	1	0	2	23	45	3	19	13	6

② 小樽に住み続ける理由

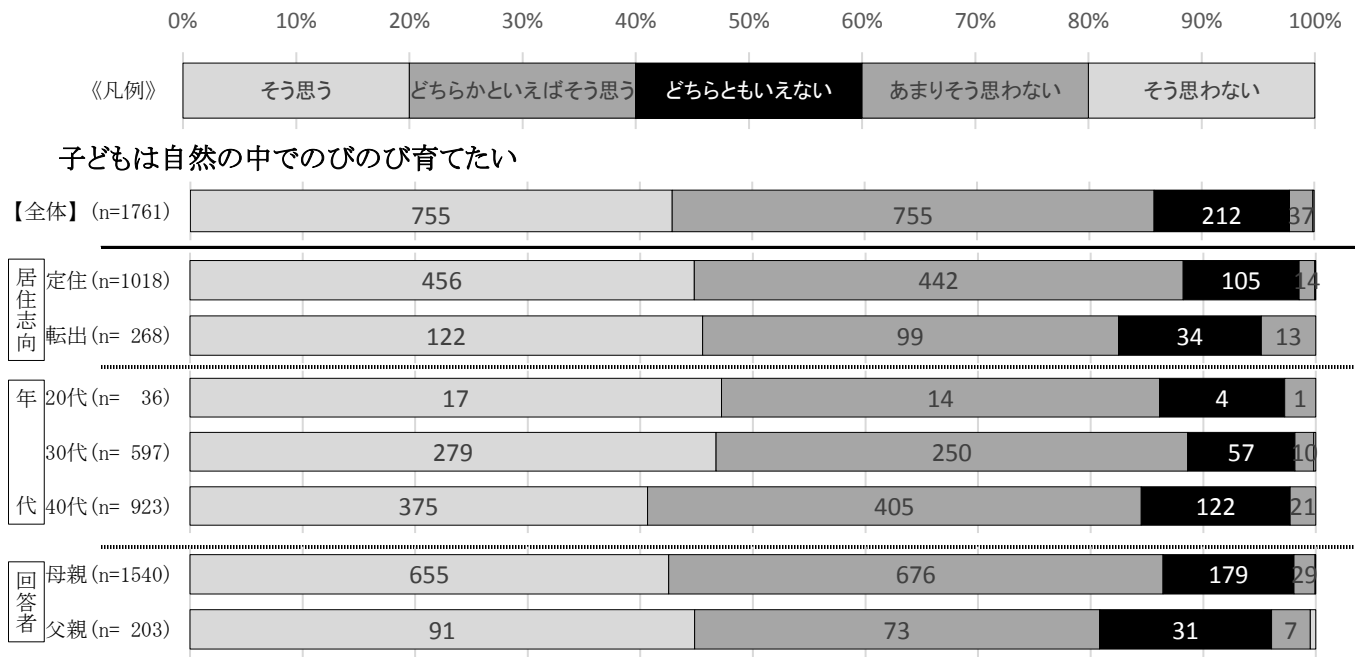
	とても 当て はまる	まあ 当て はまる	どち ら とも いえ ない	あま り 当て はま らない	まっ た く 当て はま らない	未回答	平均
小樽市に愛着があるから	379	414	145	61	20	5	4.05
仕事や就学のため	339	324	201	98	53	9	3.79
子どもの教育のため	83	226	438	192	74	11	3.05
家賃や地代などが安いから	50	124	409	250	178	13	2.62
買い物など日常生活が便利だから	66	272	349	228	101	8	2.97
医療福祉が整っているから	21	93	411	326	163	10	2.49
自然環境に恵まれているから	215	438	287	62	14	8	3.77
歴史文化が豊かだから	100	270	464	134	47	9	3.24
交通の便がいいから	62	247	354	239	111	11	2.91
災害や治安の面で安心だから	108	346	389	128	43	10	3.34
人情味にあふれているから	113	371	410	95	25	10	3.45
食べ物が新鮮でおいしいから	251	453	257	44	9	10	3.88
楽しむ場所や機会が充実しているから	38	96	405	321	150	14	2.56
他のまちより行政サービスが充実しているから	10	47	358	341	255	13	2.22

③ 市外に転出したい理由

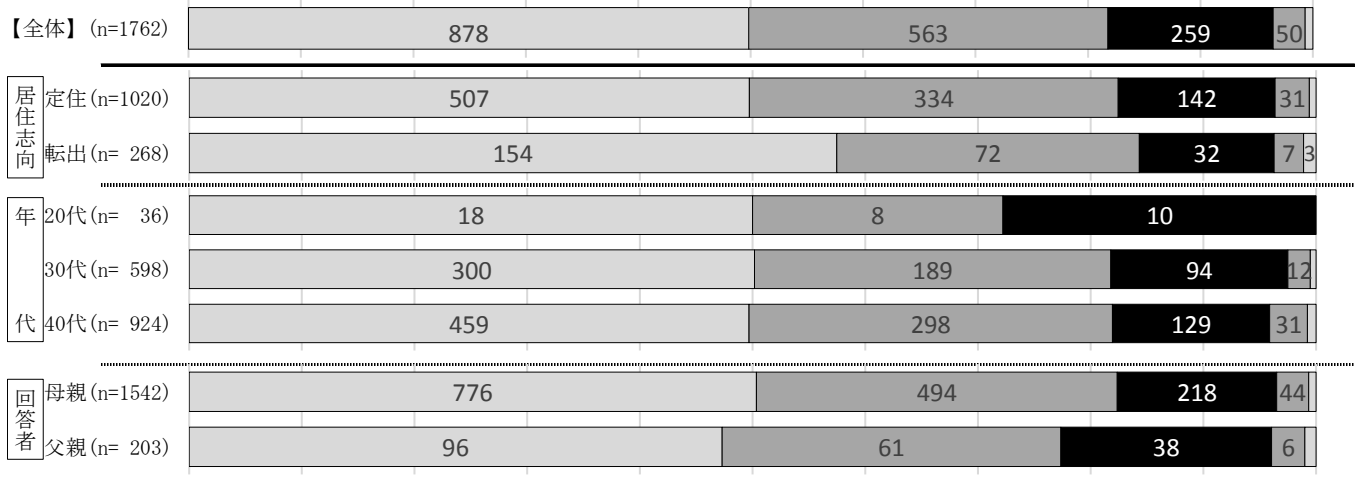
	とても 当て はまる	まあ 当て はまる	どちら とも いえない	あまり 当て はまらない	まったく 当て はまらない	未回答	平均
小樽市になじめないから	11	36	75	70	58	19	2.49
仕事や就学のため	100	68	40	24	25	12	3.75
子どもの教育のため	97	91	31	20	15	15	3.93
家賃や地代などが高いから	47	50	79	46	33	14	3.13
買い物など日常生活が不便だから	59	75	57	46	20	12	3.42
医療福祉が整っていないから	84	81	54	27	10	13	3.79
自然環境に恵まれていないから	12	16	73	92	61	15	2.31
歴史文化が乏しいから	1	6	75	83	86	18	2.02
交通の便が悪いから	66	65	49	50	25	14	3.38
災害や治安の面で不安だから	13	26	78	88	47	17	2.48
楽しむ場所や機会が不足しているから	89	77	54	21	19	9	3.75
他のまちより行政サービスが不足しているから	98	77	57	13	13	11	3.91

[参考]居住志向・年代・回答者属性によるクロス集計結果

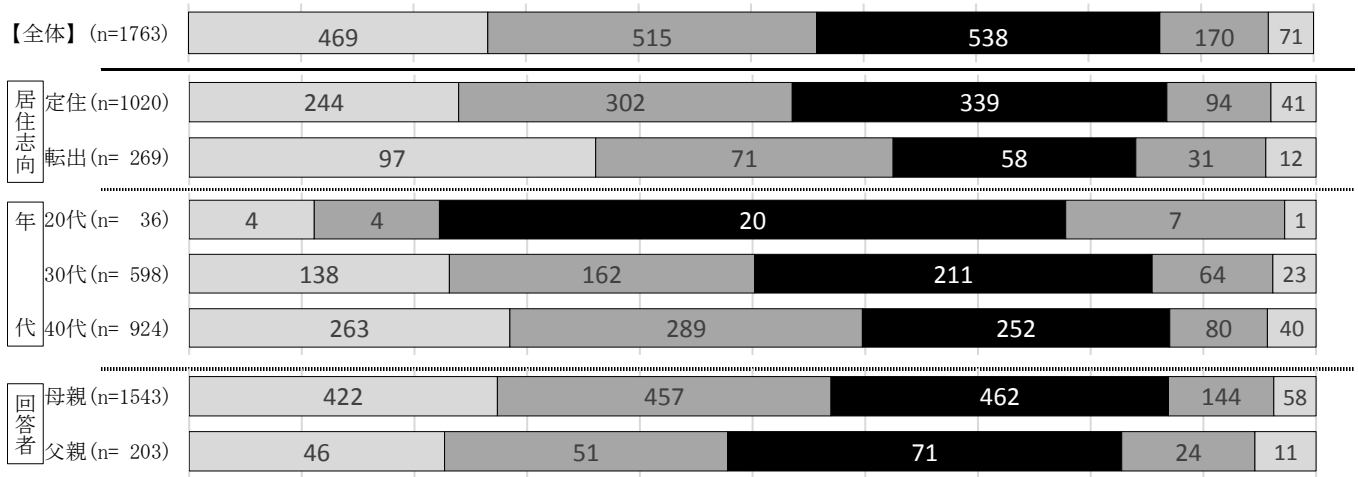
(5) ① 子育て・教育についての考え方



子どもには習い事をさせたい



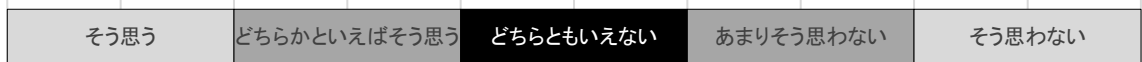
学力を上げるために塾に行かせたい



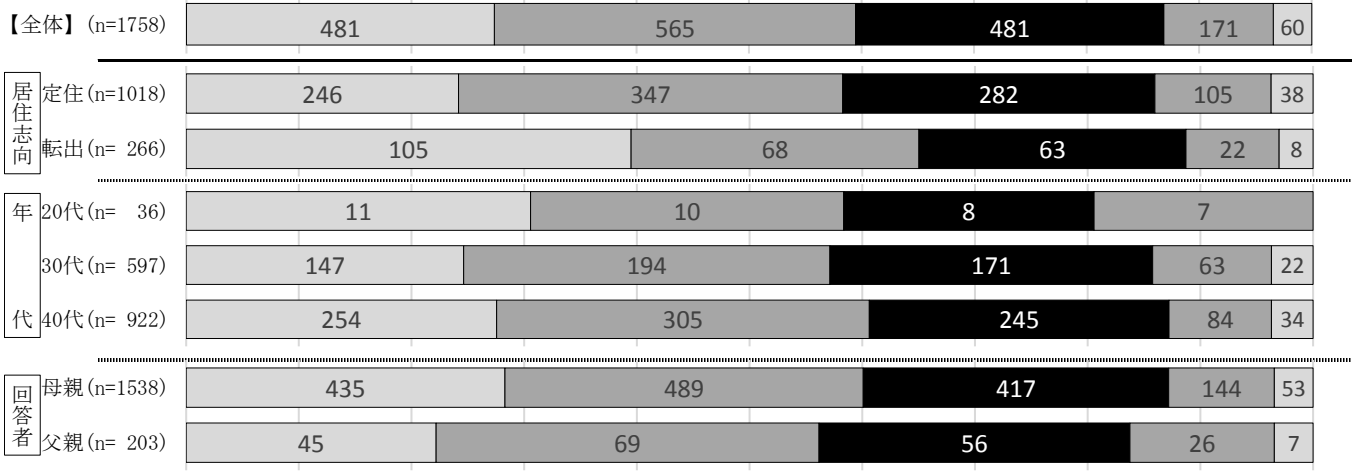
【子育て・教育環境アンケート】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

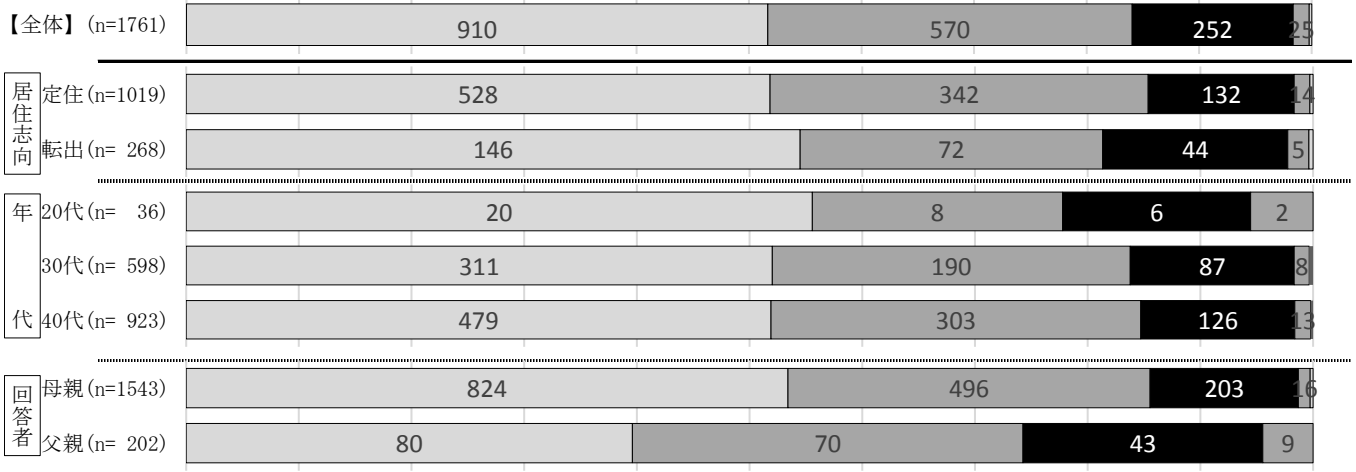
《凡例》



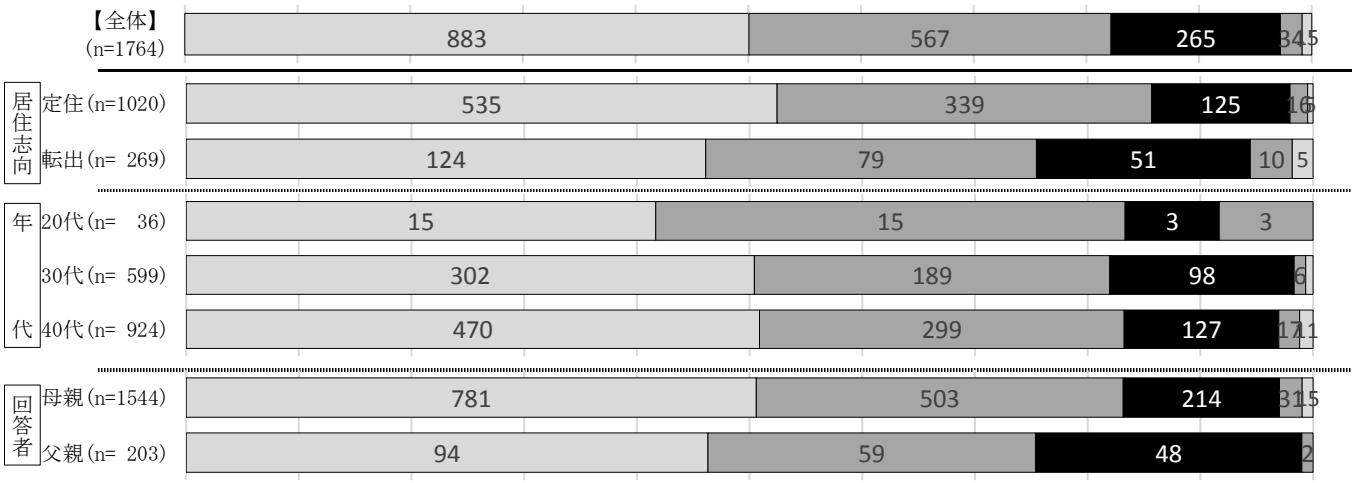
子どもには英会話を習わせたい



子どもには手に職をつけさせたい



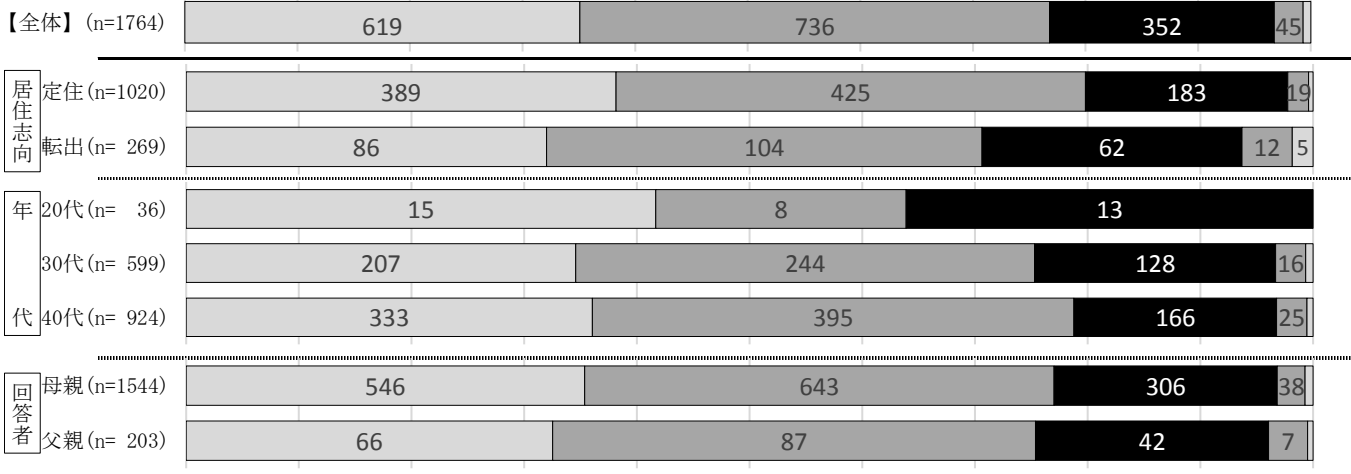
子どもには積極的に部活動に参加してほしい



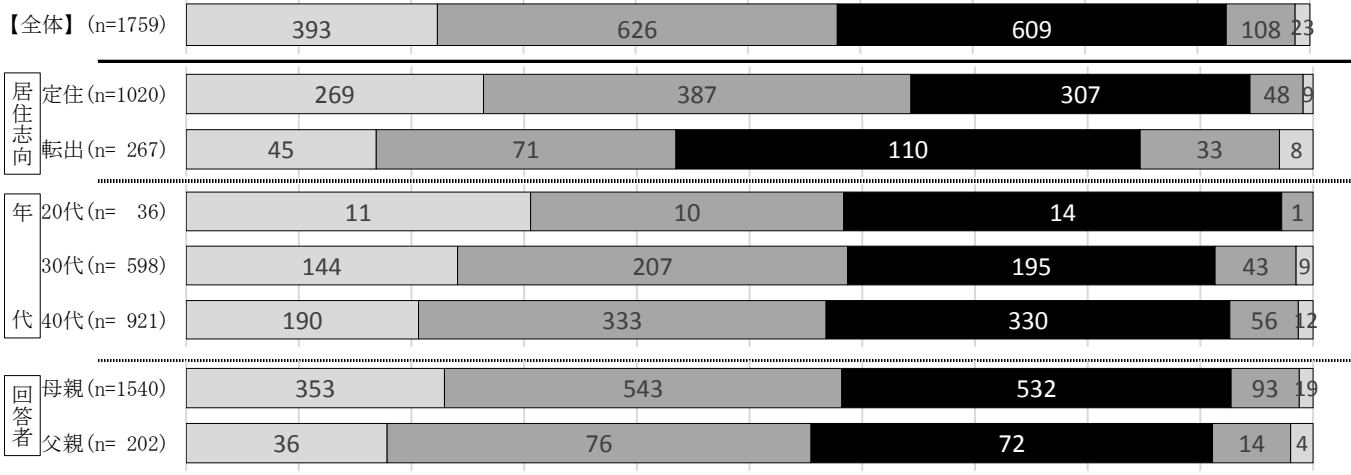
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

《凡例》 そう思う どちらかといえばそう思う **どちらともいえない** あまりそう思わない そう思わない

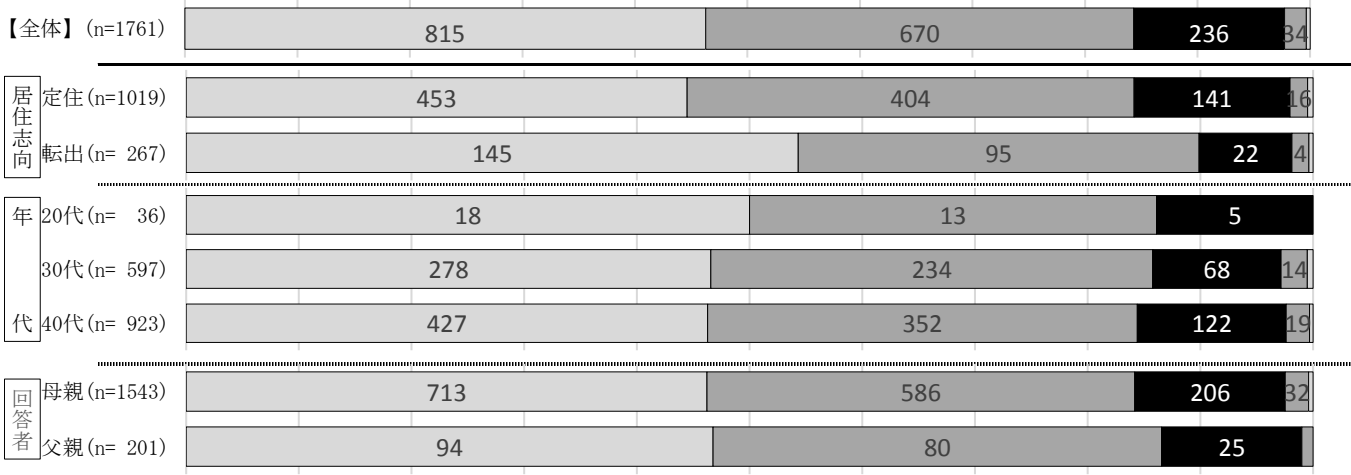
地域のイベントなどを通していろいろな人とかかわる機会をもたせたい



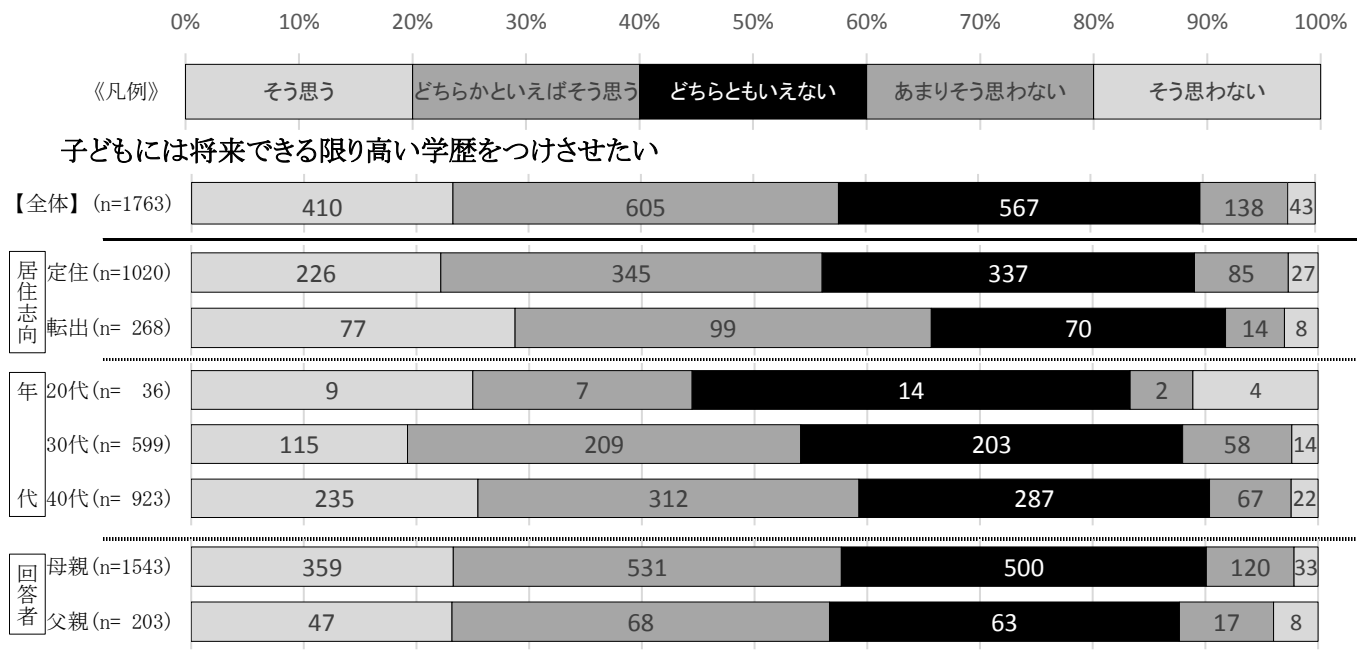
長年の知り合いがたくさんいる環境で子どもを育てたい



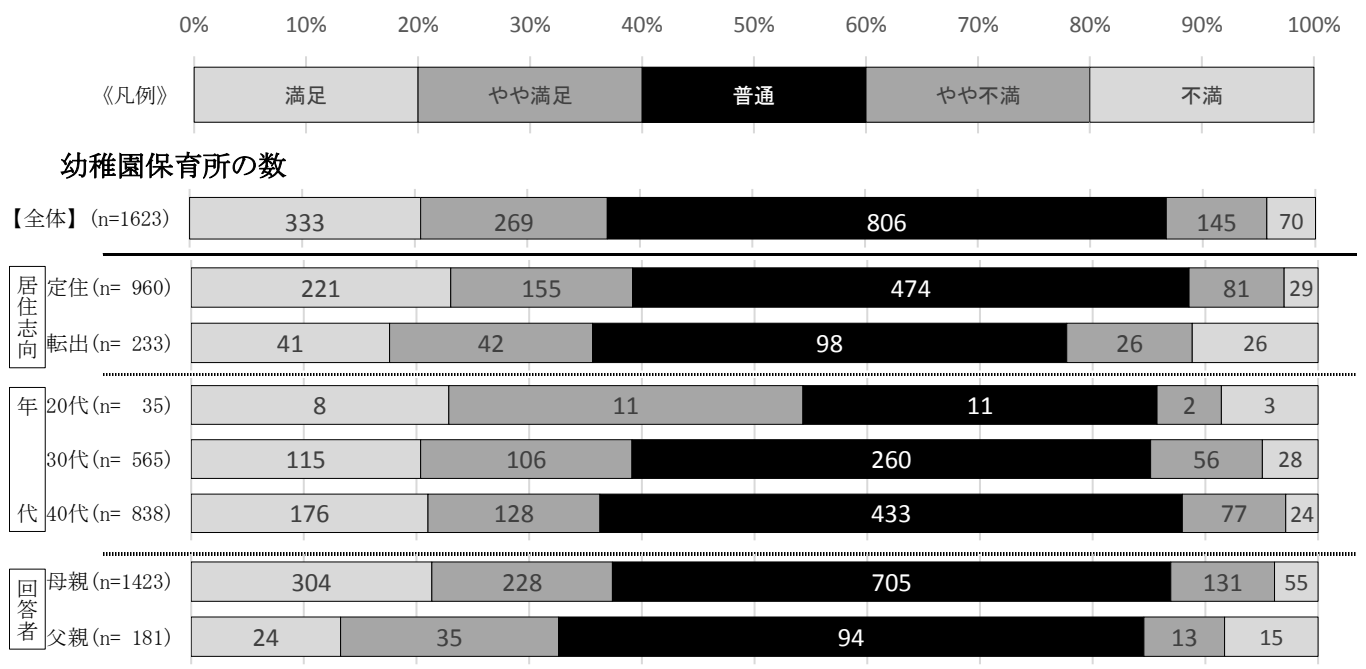
旅行などを通して視野を広げる機会を作りたい



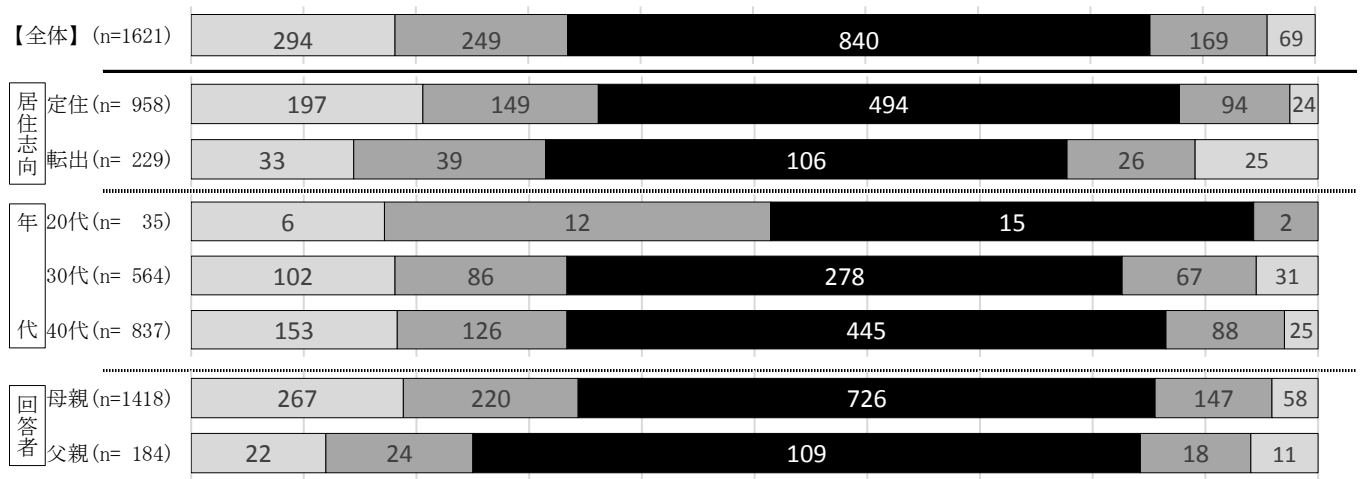
【子育て・教育環境アンケート】



(5) ③ 子育て・教育環境の満足度



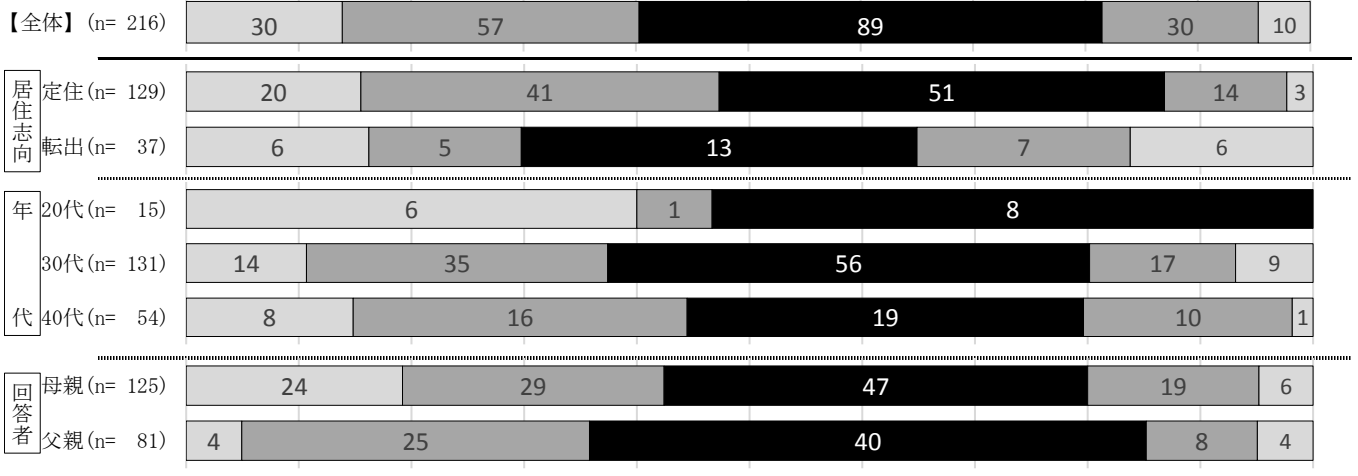
幼稚園保育所の設置場所



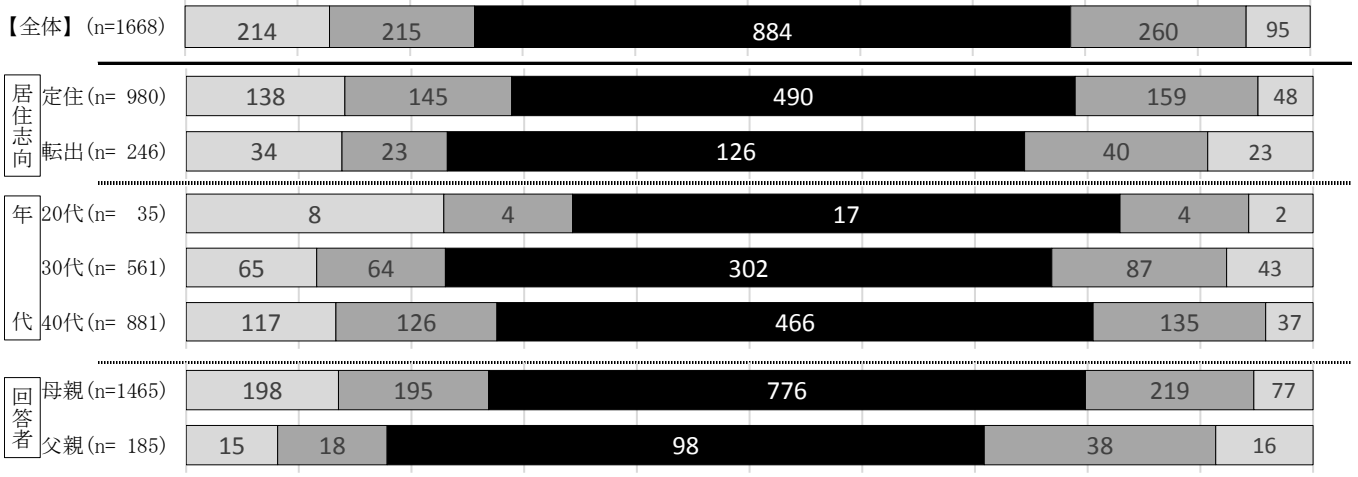
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



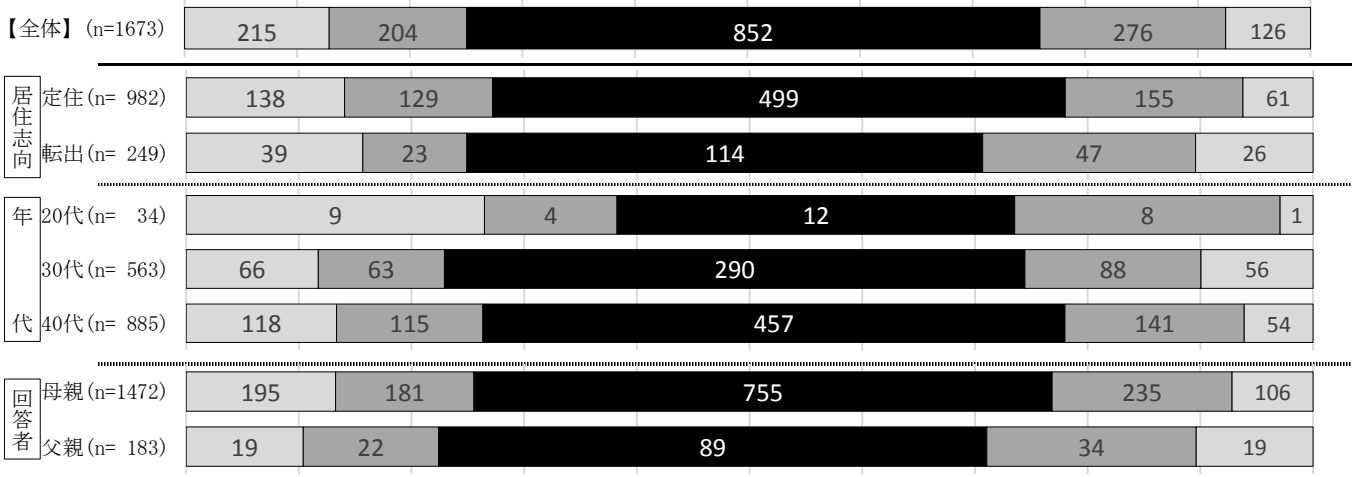
幼稚園保育所の質



小学校の教



小学校の設置場所

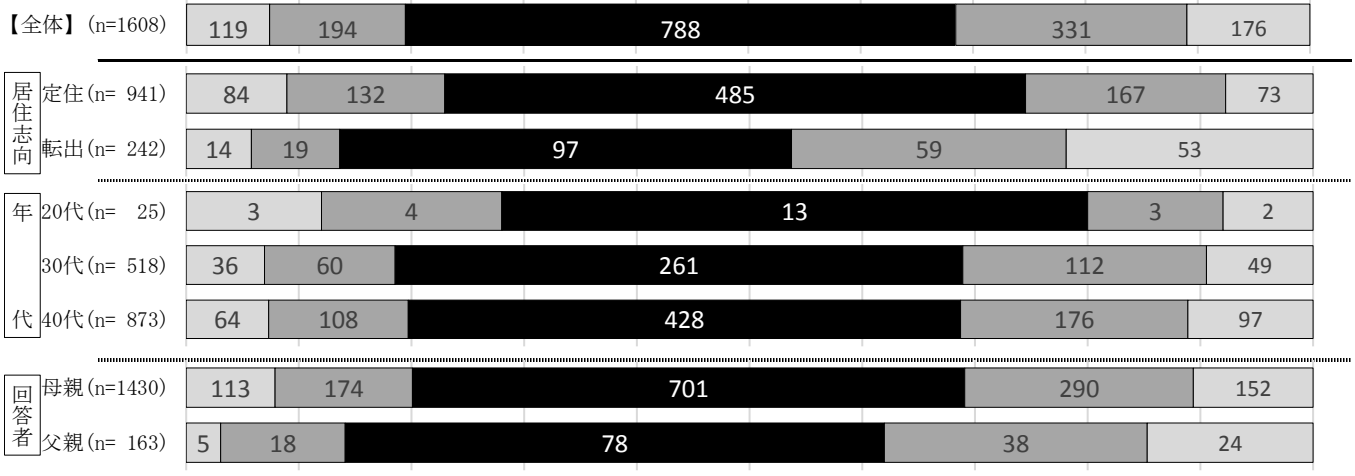


【子育て・教育環境アンケート】

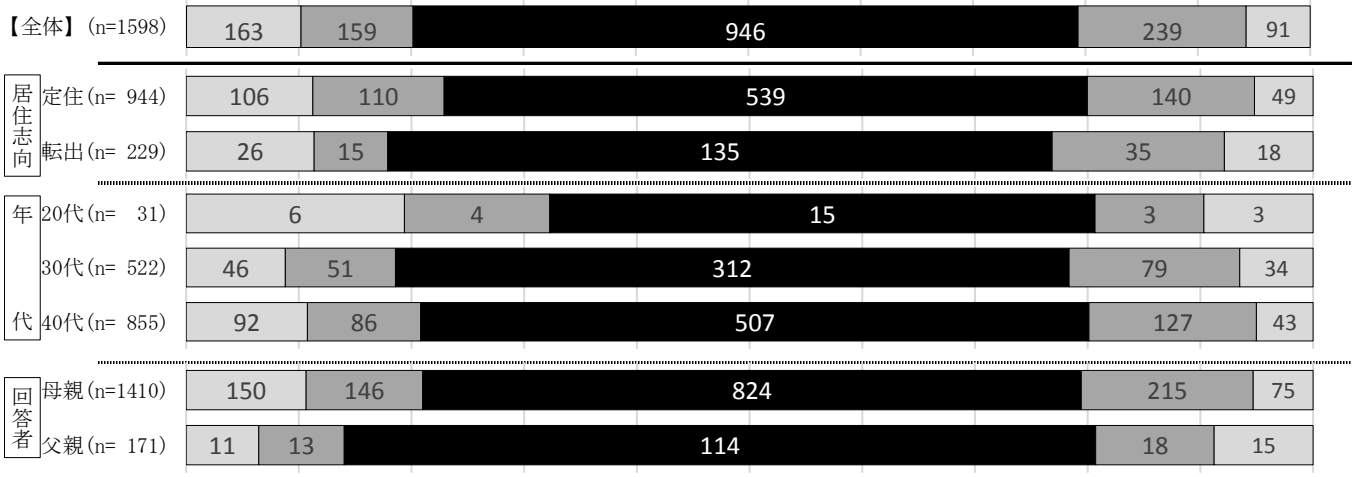
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



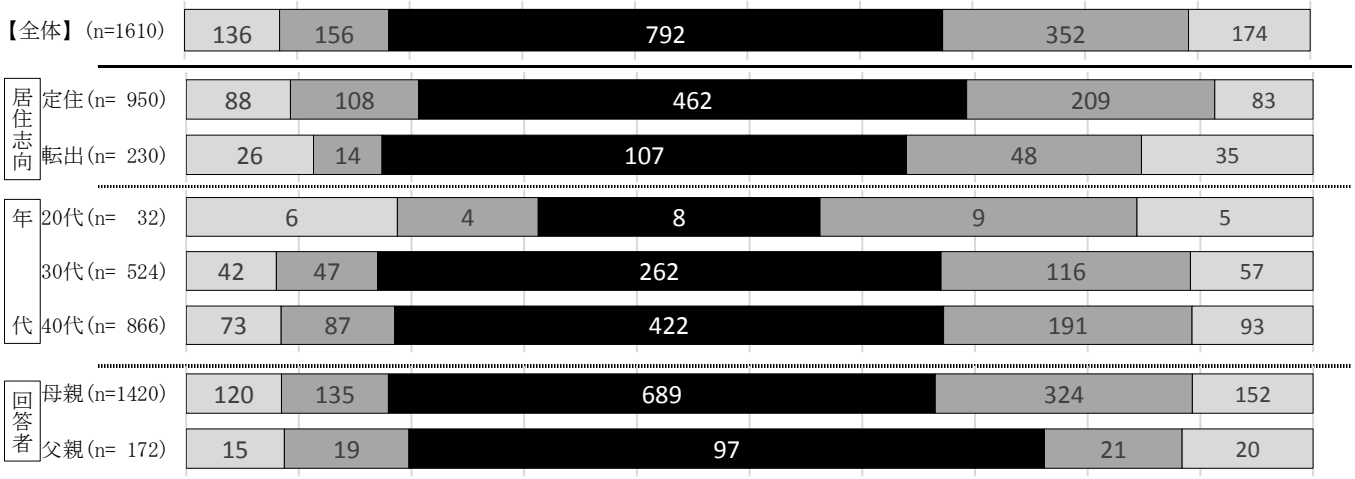
小学校の教育レベル



中学校の教



中学校の設置場所

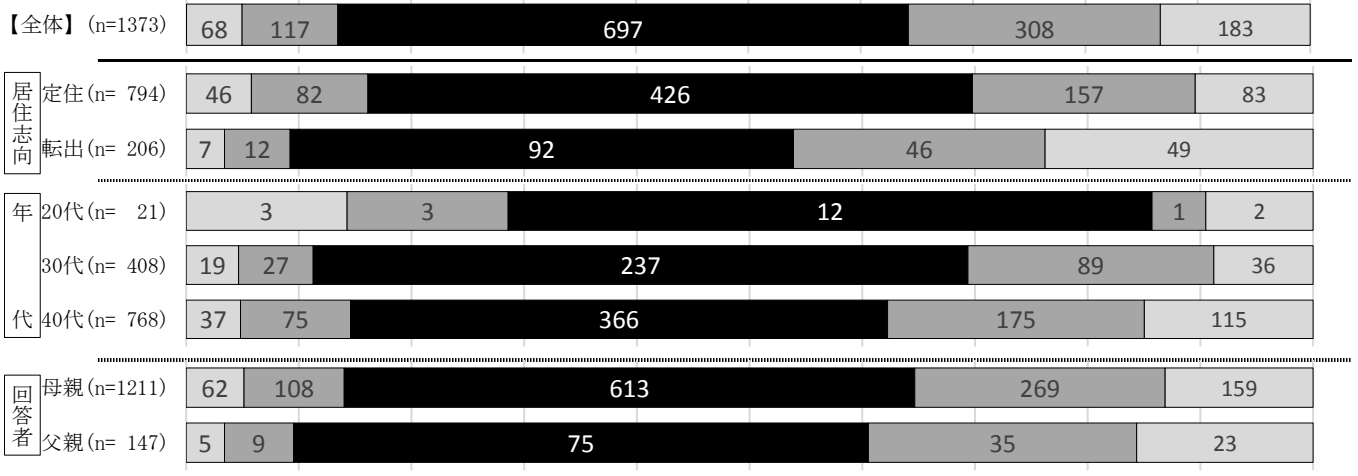


0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

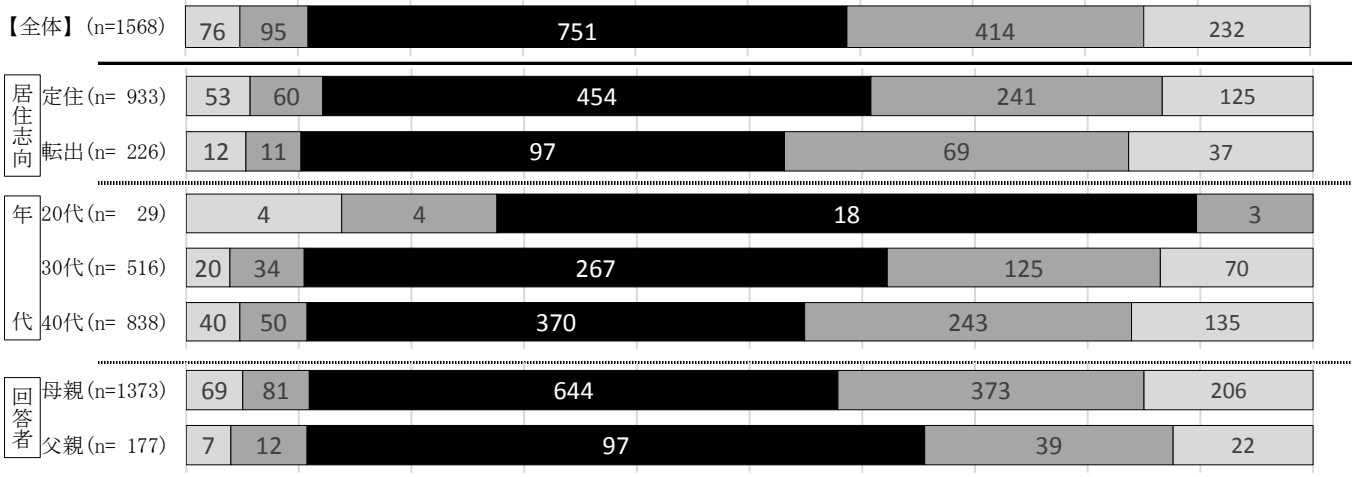
《凡例》



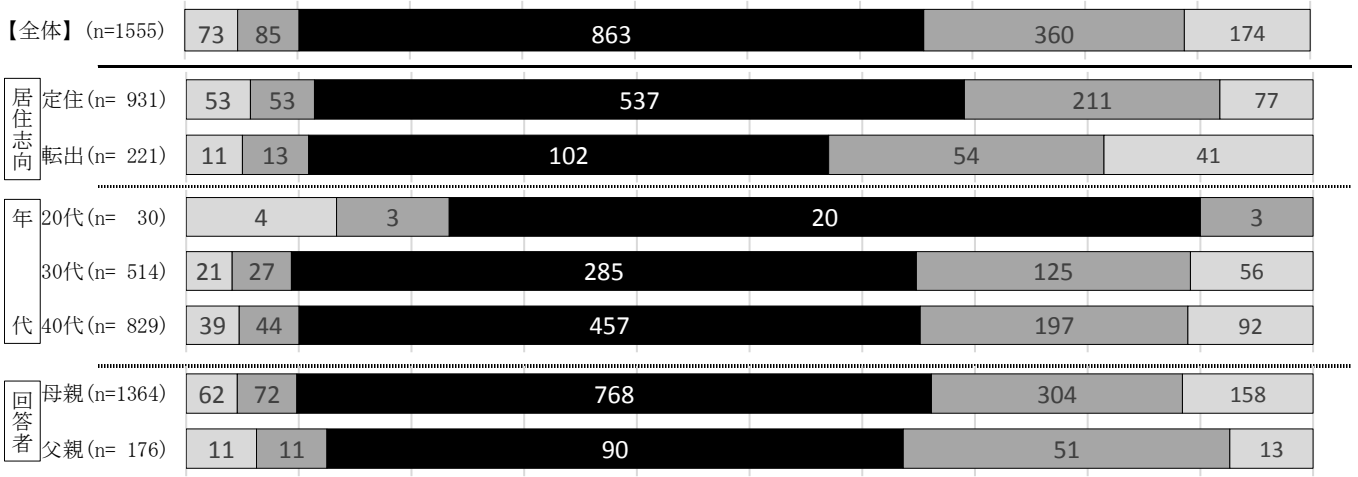
中学校の教育レベル



高等学校の数



高等学校の設置場所

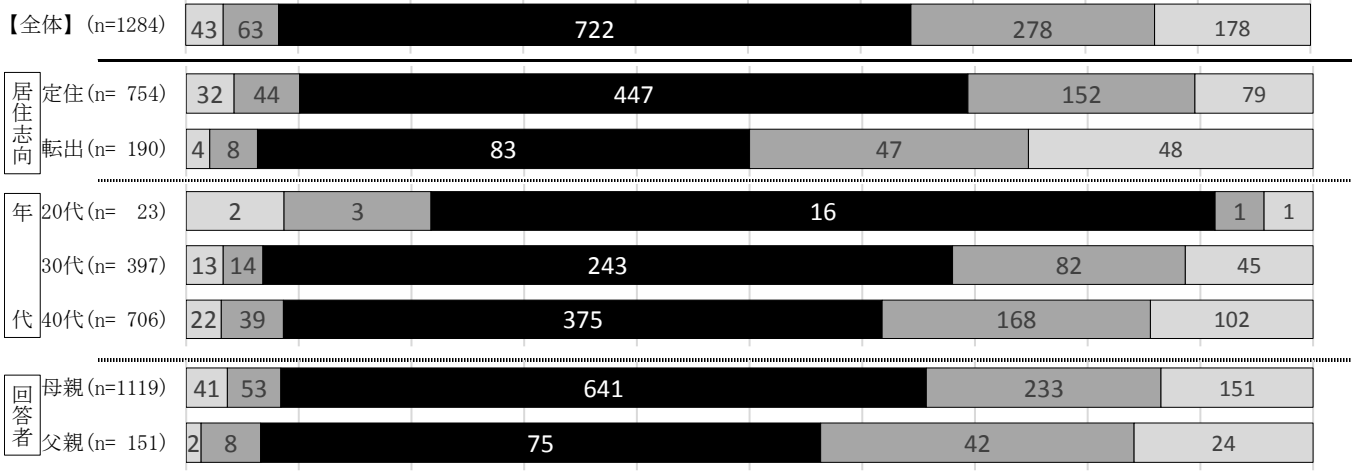


【子育て・教育環境アンケート】

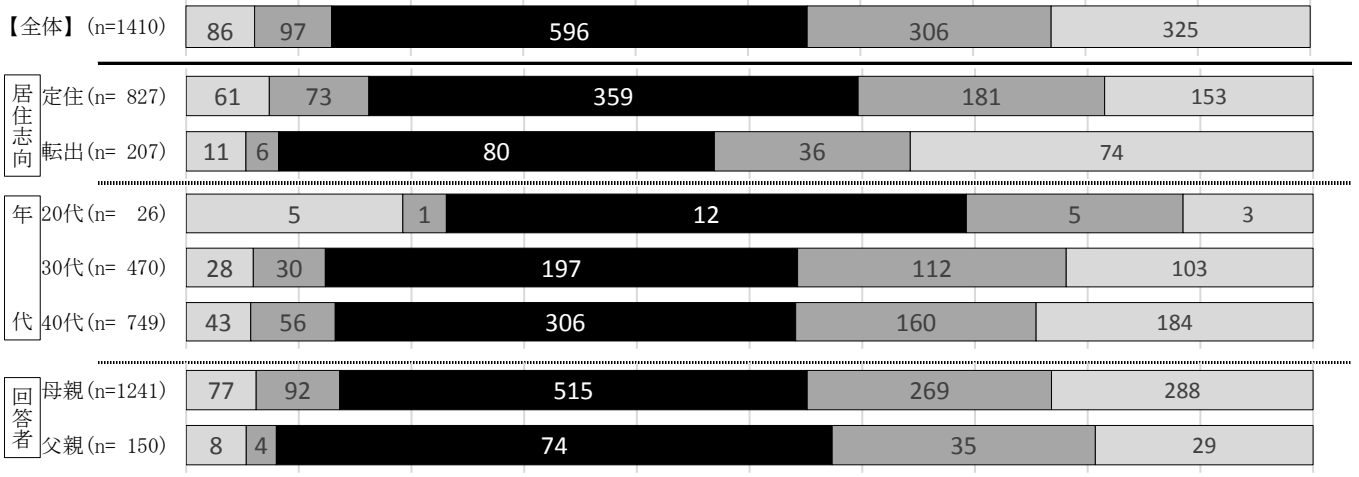
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



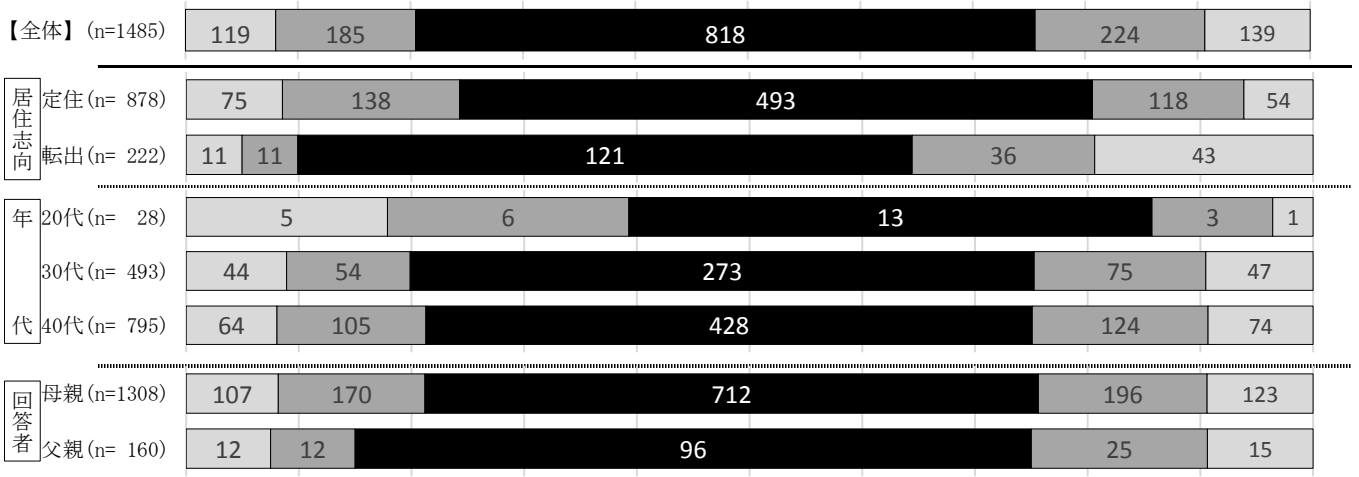
高等学校の教育レベル



児童館学童保育の環境



図書館のサービス

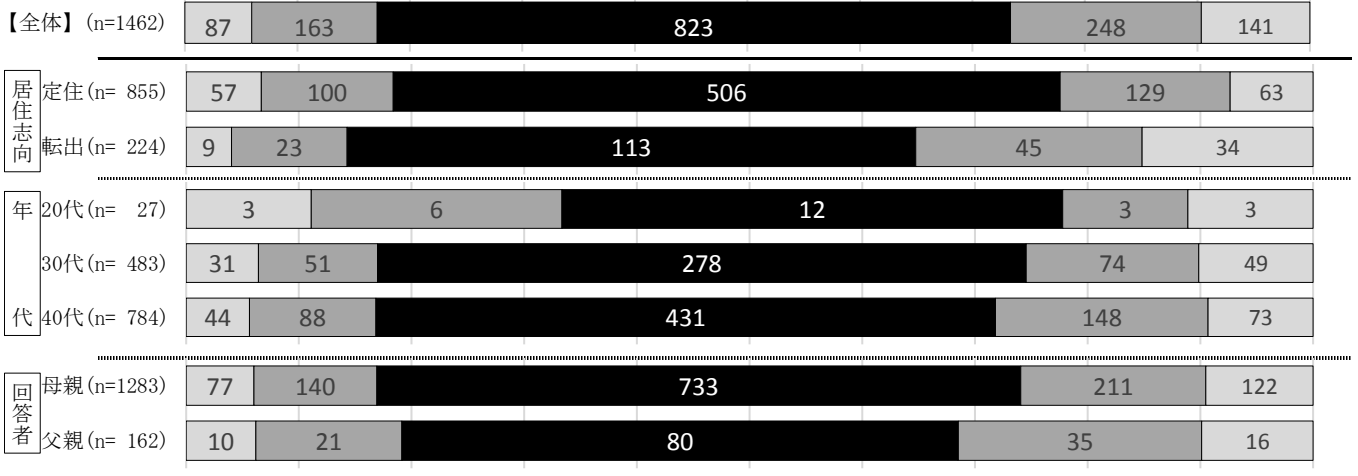


0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

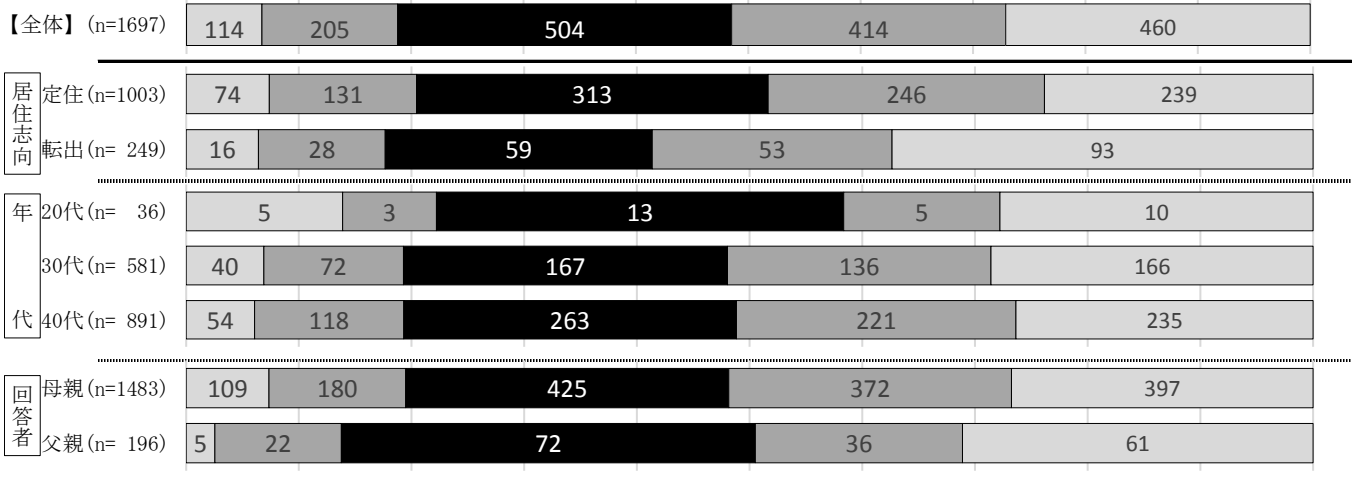
《凡例》



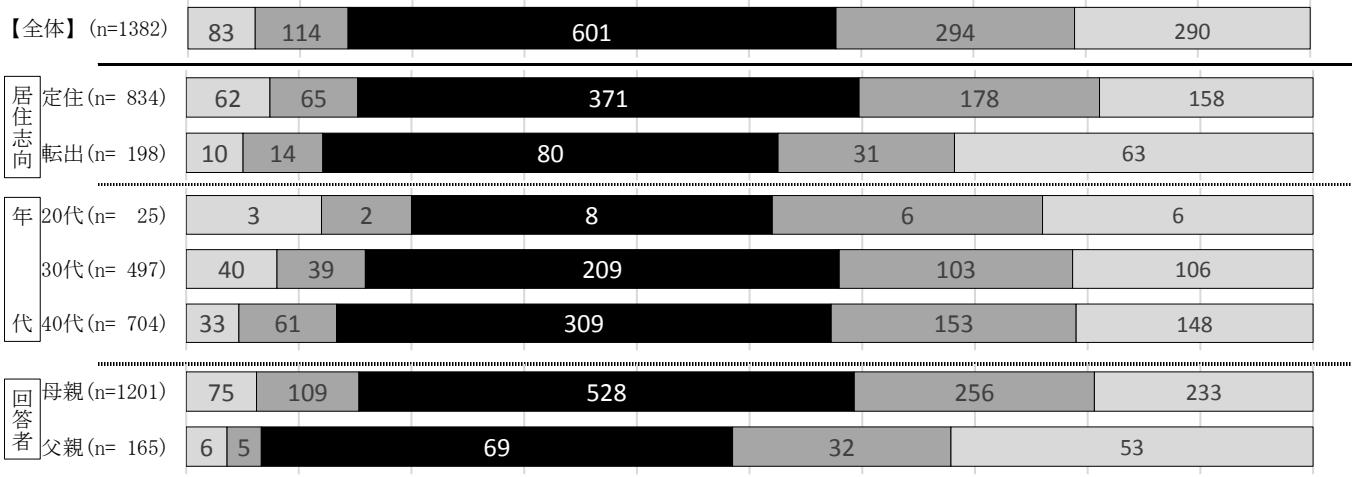
美術館博物館などの文化施設



子どもの医療費助成の充実度



子どもの保育料無料化の基準

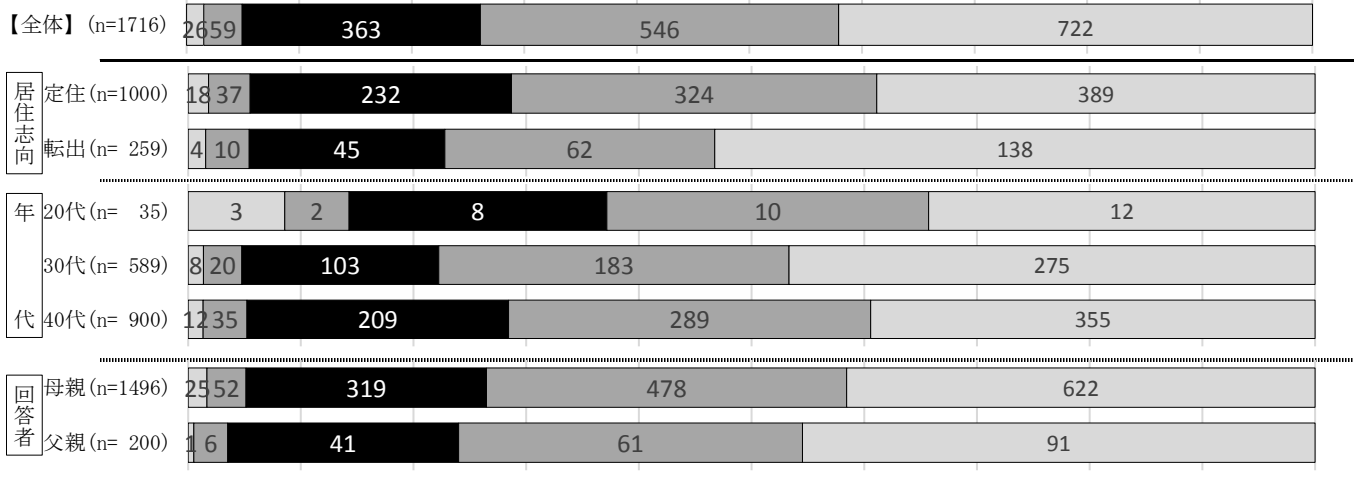


【子育て・教育環境アンケート】

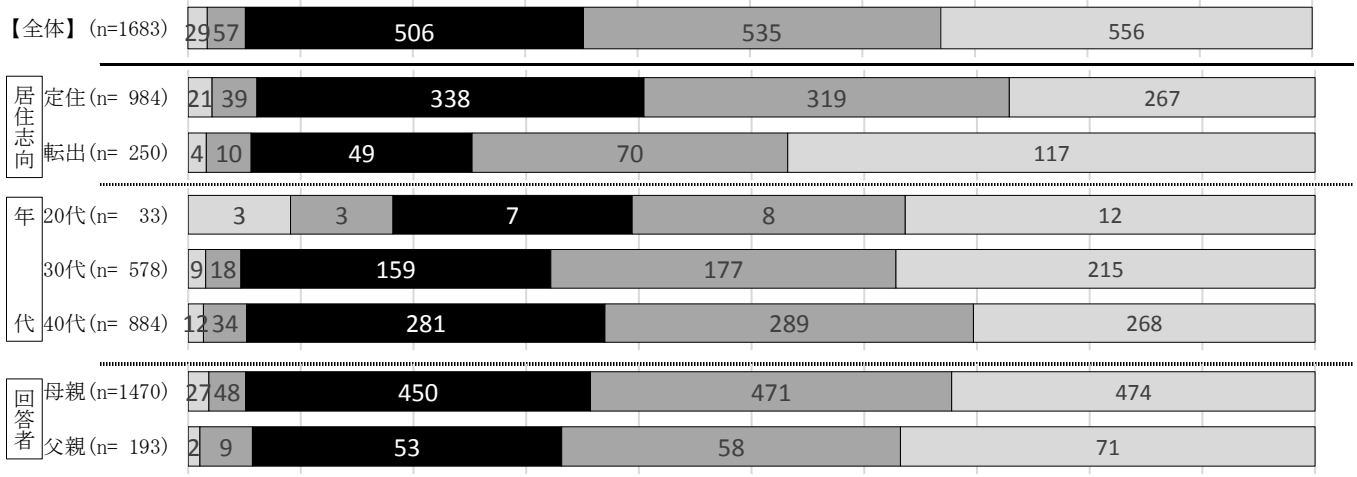
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



子どもの遊び場公園の充実度

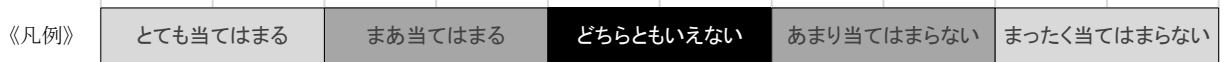


子育てがしやすい住環境の整備

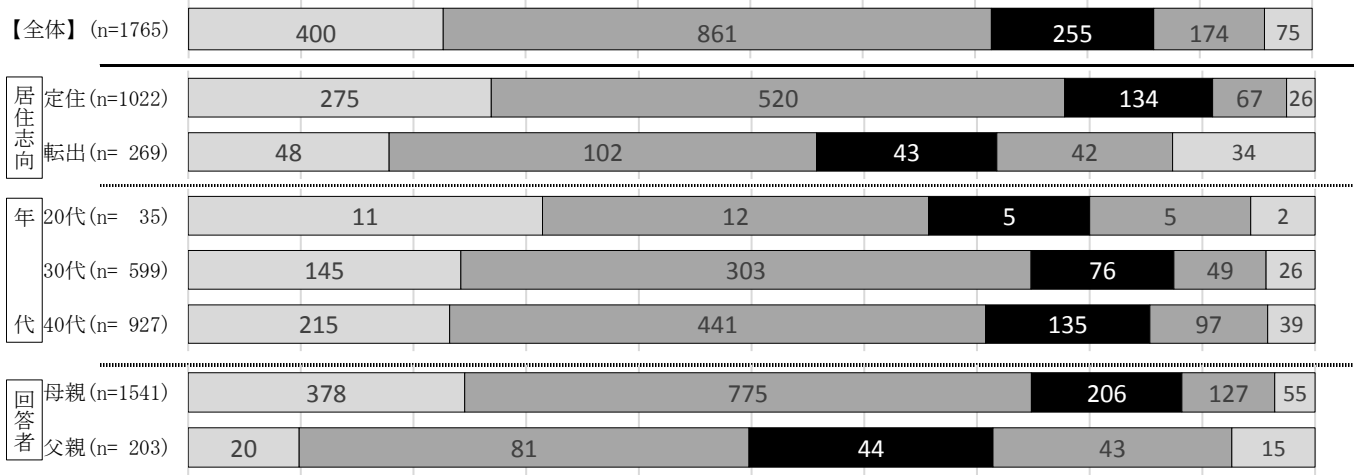


(5) ④ 地域での生活

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

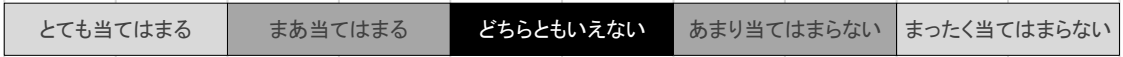


子どもの教育や子育てについて気軽に話をできる人がいる

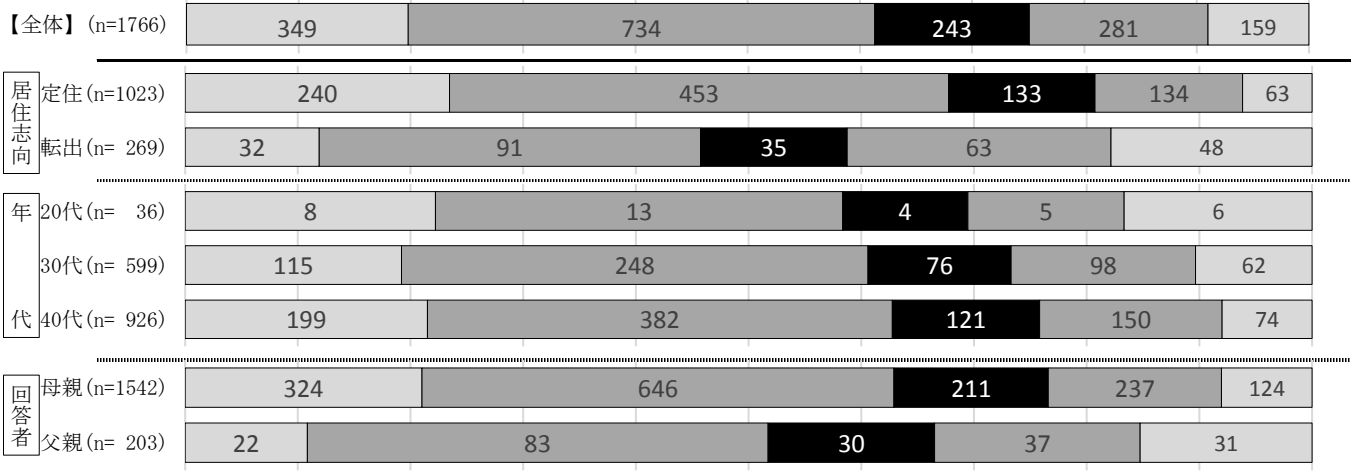


0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

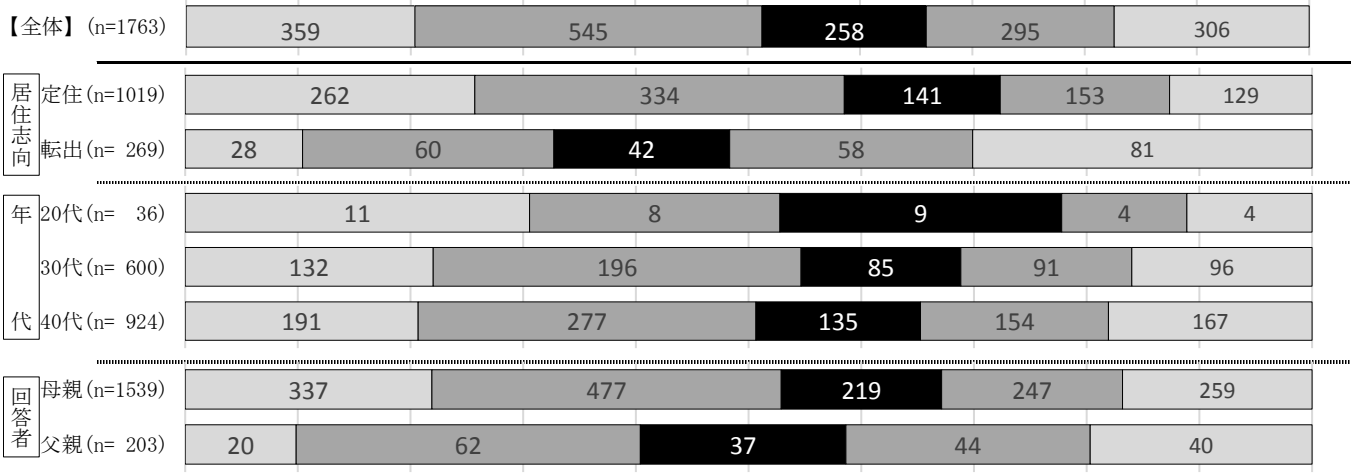
《凡例》



同世代の知り合いが近所にいる



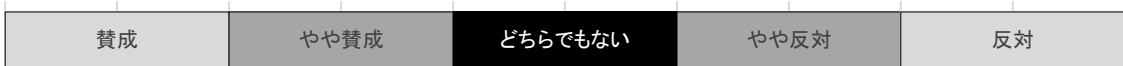
比較的長い時間子どもを預けることができる場所がある



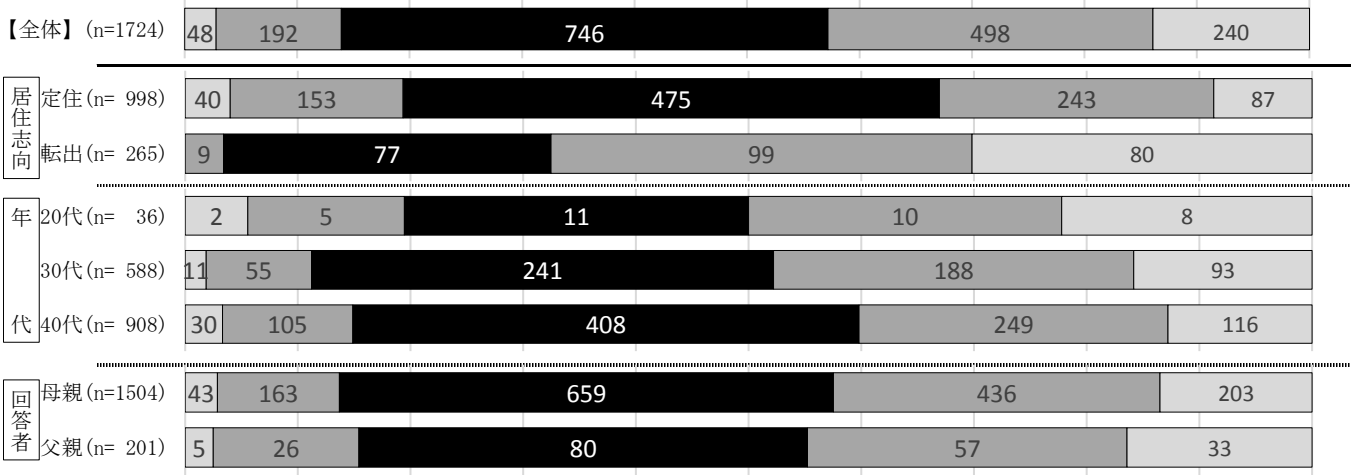
(5) ⑤ 小樽市の子育て環境

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

《凡例》



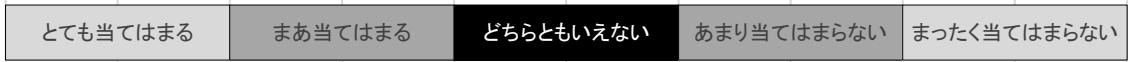
小樽は子育てするには良い環境だ



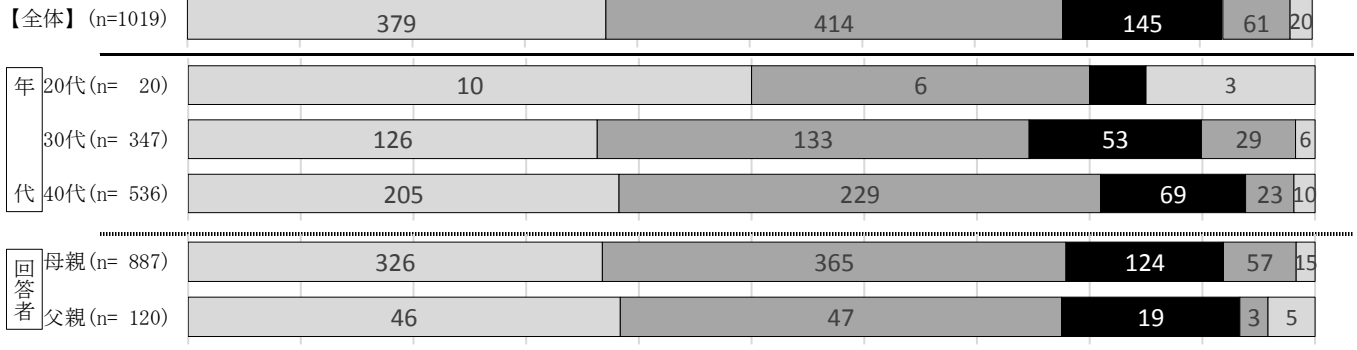
(6) ② 小樽に住み続ける理由

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

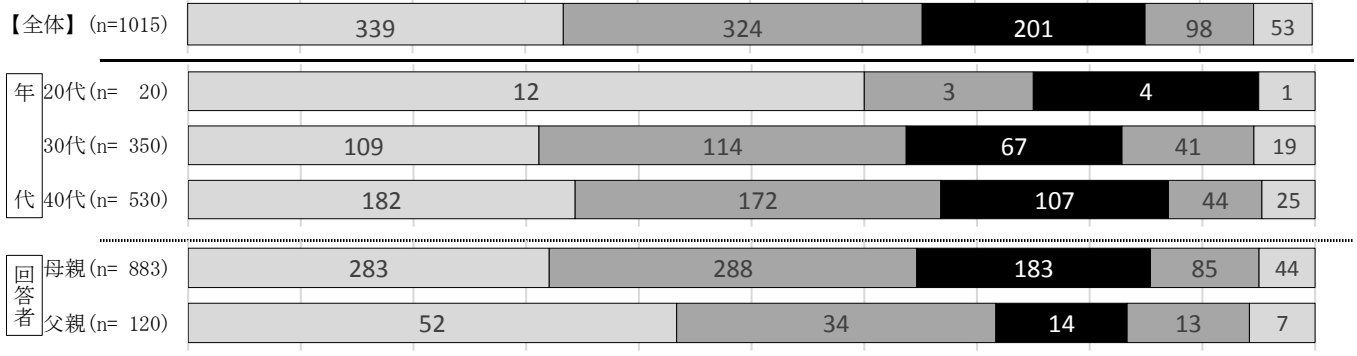
《凡例》



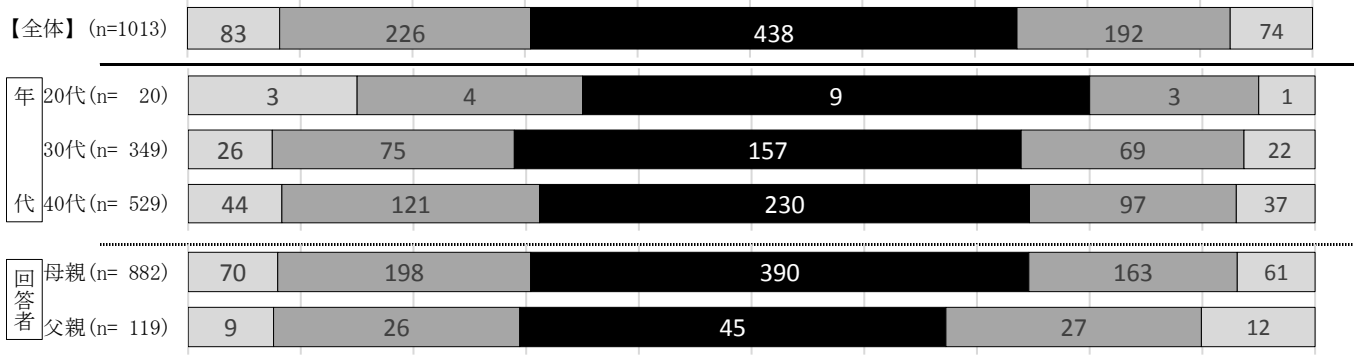
小樽市に愛着があるから



仕事や就学のため



子どもの教育のため



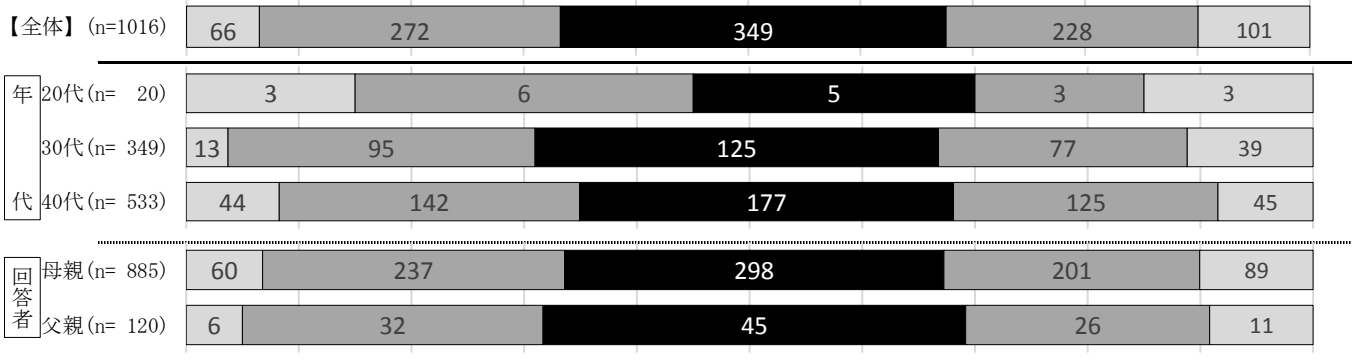
家賃や地代などが安いから



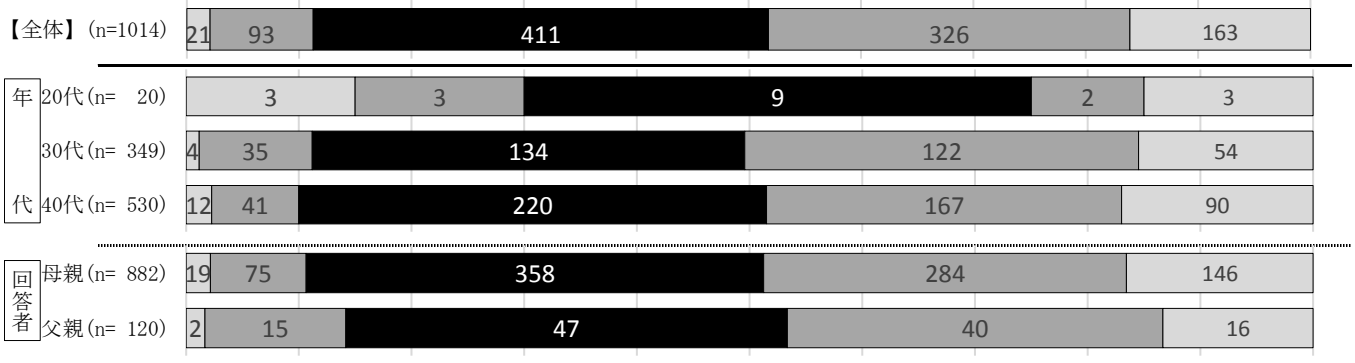
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

《凡例》
 とても当てはまる まあ当てはまる どちらともいえない あまり当てはまらない まったく当てはまらない

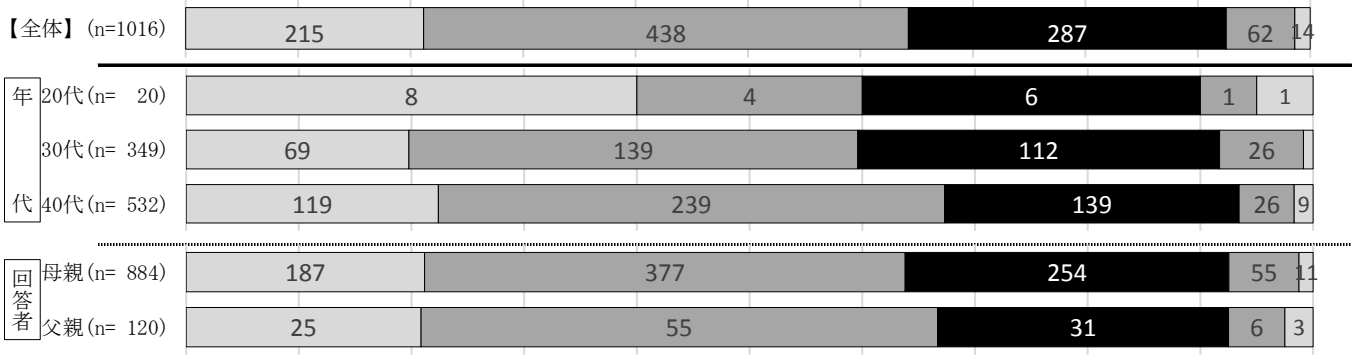
買い物など日常生活が便利だから



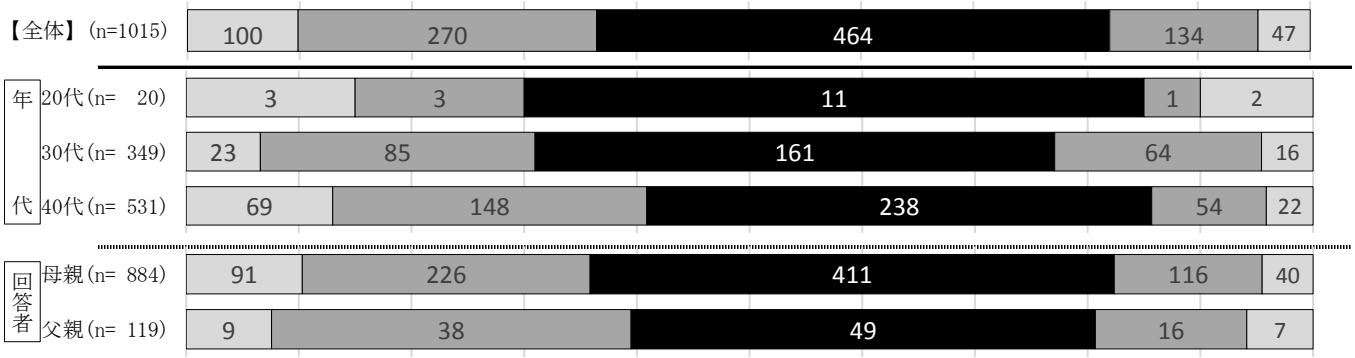
医療福祉が整っているから



自然環境に恵まれているから



歴史文化が豊かだから



【子育て・教育環境アンケート】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

《凡例》

とても当てはまる	まあ当てはまる	どちらともいえない	あまり当てはまらない	まったく当てはまらない
----------	---------	-----------	------------	-------------

交通の便がいいから

【全体】 (n=1013)	62	247	354	239	111	
年	20代 (n= 20)	4	5	5	4	2
	30代 (n= 349)	11	82	125	92	39
	40代 (n= 530)	41	130	189	113	57
回答者	母親 (n= 883)	56	211	313	208	95
	父親 (n= 119)	6	32	37	28	16

災害や治安の面で安心だから

【全体】 (n=1014)	108	346	389	128	43	
年	20代 (n= 20)	8	6	5	1	
	30代 (n= 348)	26	122	138	47	15
	40代 (n= 532)	62	180	205	63	22
回答者	母親 (n= 884)	95	302	341	110	36
	父親 (n= 119)	11	42	44	16	6

人情味にあふれているから

【全体】 (n=1014)	113	371	410	95	25	
年	20代 (n= 20)	4	5	10	1	
	30代 (n= 349)	34	118	149	41	7
	40代 (n= 531)	63	207	207	41	13
回答者	母親 (n= 884)	103	321	359	82	19
	父親 (n= 119)	8	45	47	13	6

食べ物が新鮮でおいしいから

【全体】 (n=1014)	251	453	257	44	9	
年	20代 (n= 20)	8	8	2	1	1
	30代 (n= 349)	87	144	99	16	
	40代 (n= 531)	135	248	122	22	
回答者	母親 (n= 884)	219	392	229	35	9
	父親 (n= 119)	28	57	26	8	

楽しむ場所や機会が充実しているから

【全体】 (n=1010)	38	96	405	321	150	
年	20代 (n= 20)	2	3	7	5	3
	30代 (n= 348)	7	27	143	121	50
	40代 (n= 529)	25	54	206	160	84
回答者	母親 (n= 880)	35	80	362	272	131
	父親 (n= 119)	3	13	40	46	17

他のまちより行政サービスが充実しているから

【全体】 (n=1011)	10	47	358	341	255	
年	20代 (n= 20)	1	2	11	2	4
	30代 (n= 349)	16	16	121	122	87
	40代 (n= 529)	25	25	179	184	136
回答者	母親 (n= 881)	9	41	309	298	224
	父親 (n= 119)	6	6	41	41	30

(6) ③ 市外に転出したい理由

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

《凡例》 とても当てはまる まあ当てはまる どちらともいえない あまり当てはまらない まったく当てはまらない

小樽市になじめないから

【全体】 (n= 250)	11	36	75	70	58	
年	20代 (n= 8)	2	1	2	3	
	30代 (n= 88)	2	11	22	27	26
	40代 (n= 125)	7	20	41	37	20
回答者	母親 (n= 214)	9	30	65	61	49
	父親 (n= 35)	2	6	10	8	9

仕事や就学のため

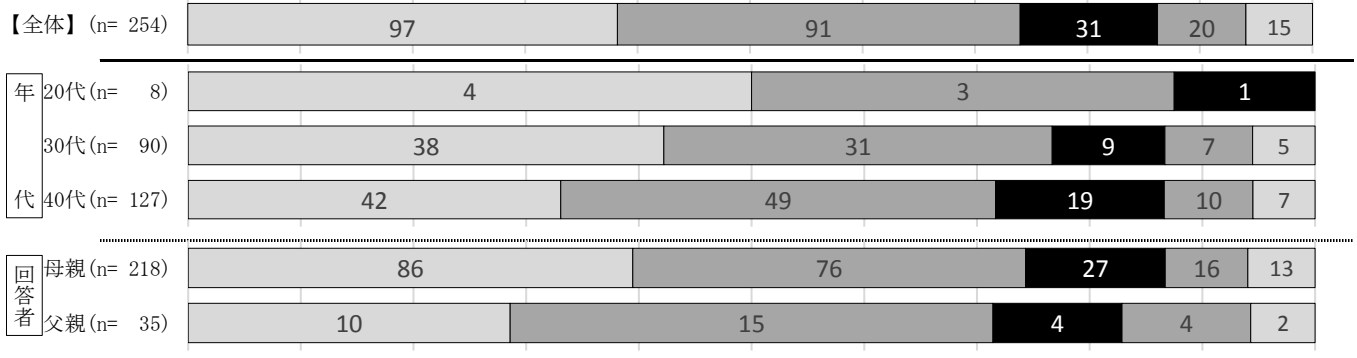
【全体】 (n= 257)	100	68	40	24	25	
年	20代 (n= 8)	4	1	2	1	
	30代 (n= 90)	33	25	17	6	9
	40代 (n= 131)	51	39	16	14	11
回答者	母親 (n= 222)	87	59	35	21	20
	父親 (n= 34)	13	8	5	3	5

【子育て・教育環境アンケート】

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

《凡例》
 とても当てはまる まあ当てはまる **どちらともいえない** あまり当てはまらない まったく当てはまらない

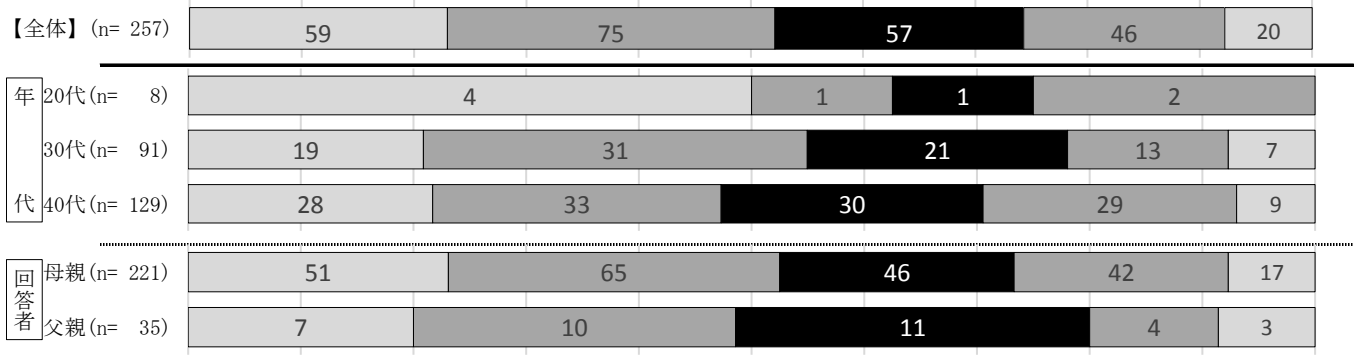
子どもの教育のため



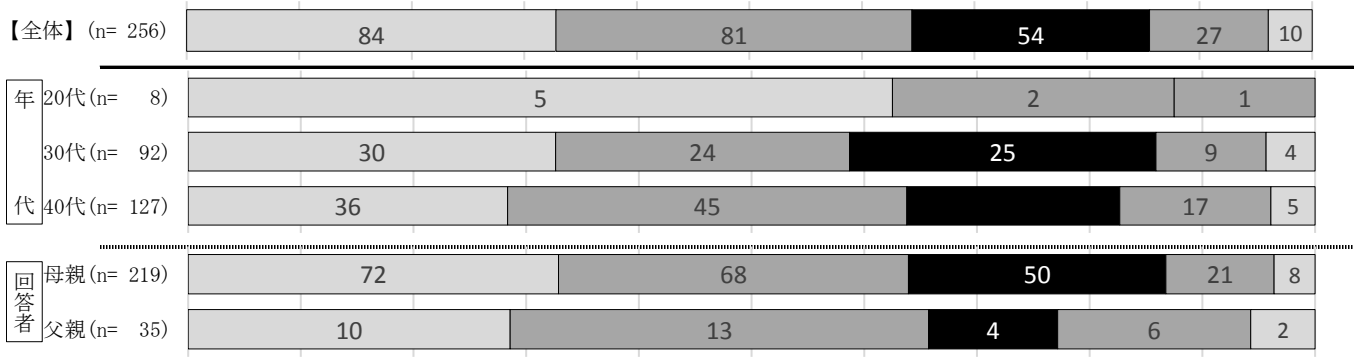
家賃や地代などが高いから



買い物など日常生活が不便だから



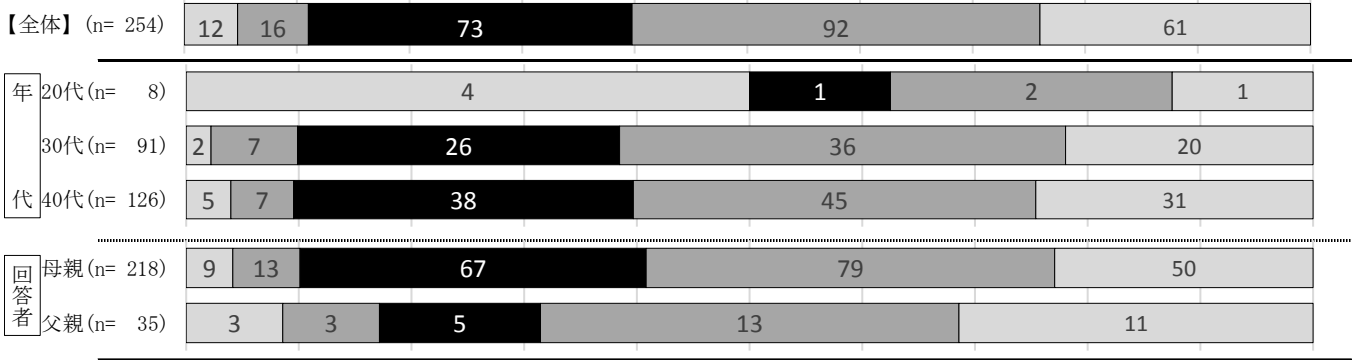
医療福祉が整っていないから



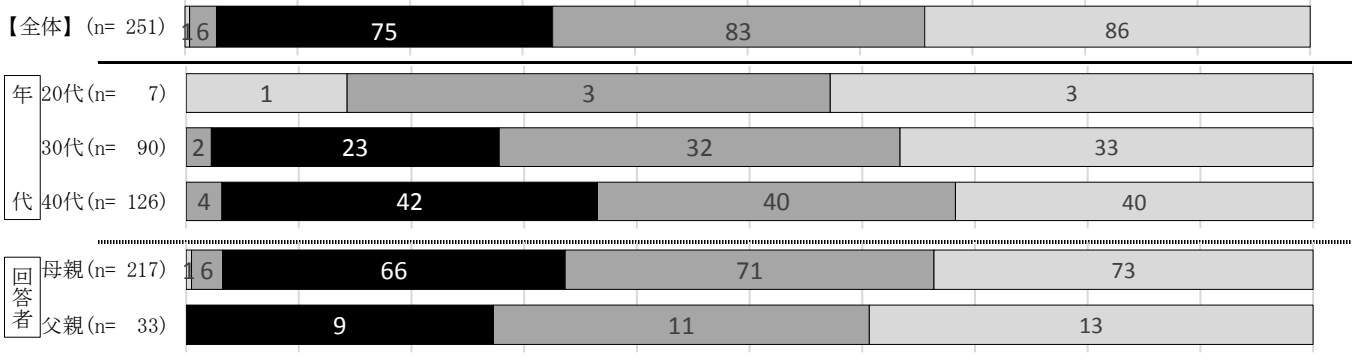
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

《凡例》
 とても当てはまる まあ当てはまる **どちらともいえない** あまり当てはまらない まったく当てはまらない

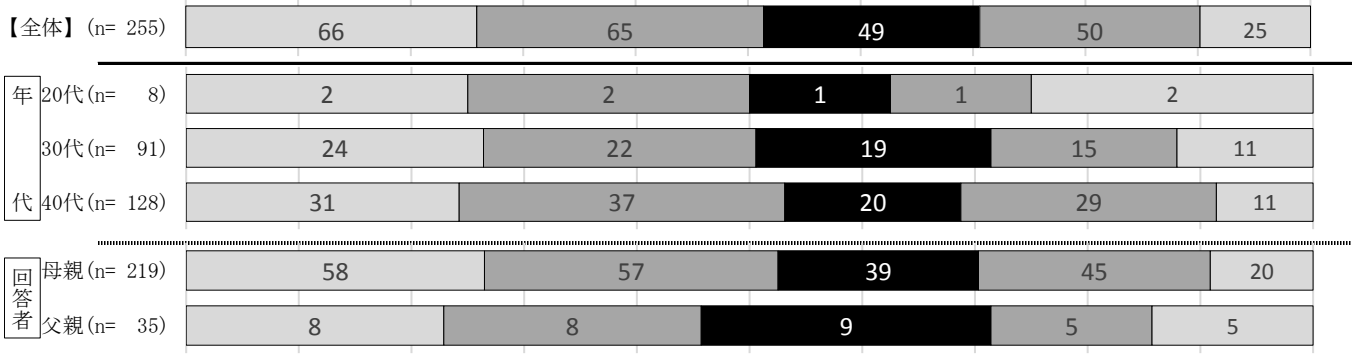
自然環境に恵まれていないから



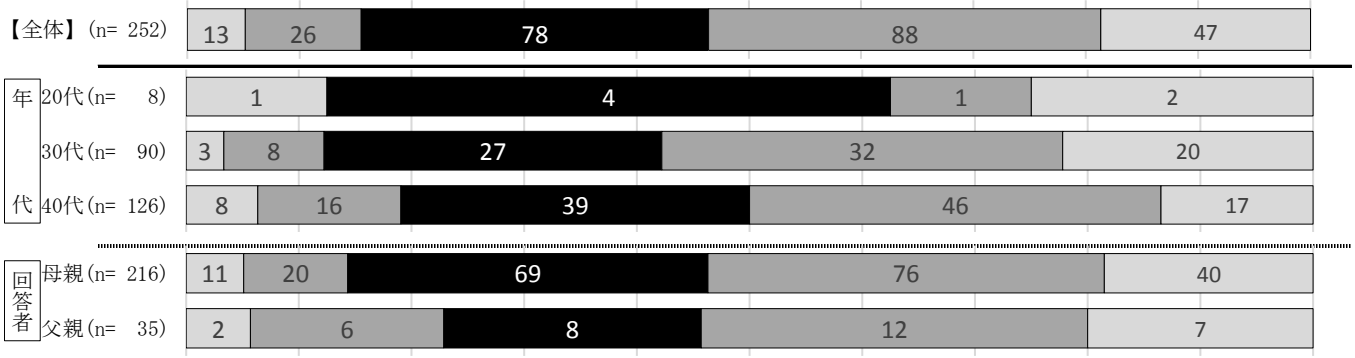
歴史文化が乏しいから



交通の便が悪いから



災害や治安の面で不安だから

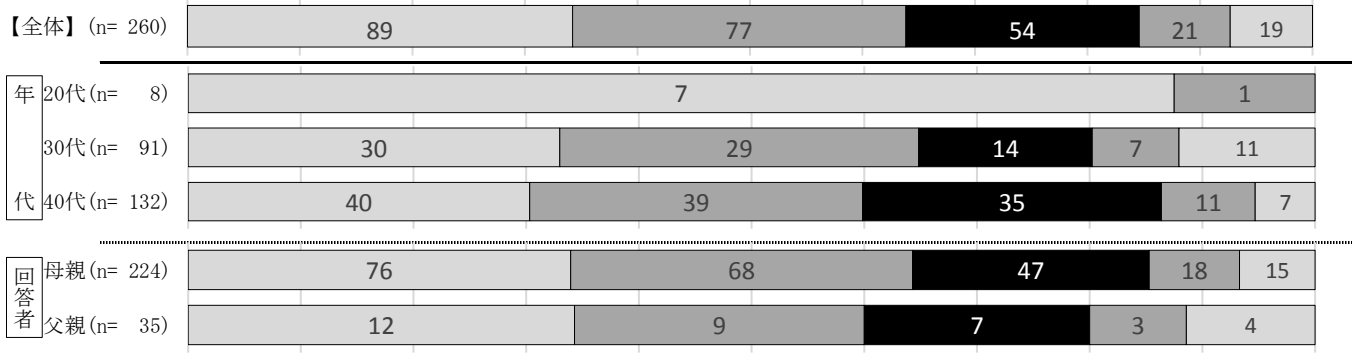


【子育て・教育環境アンケート】

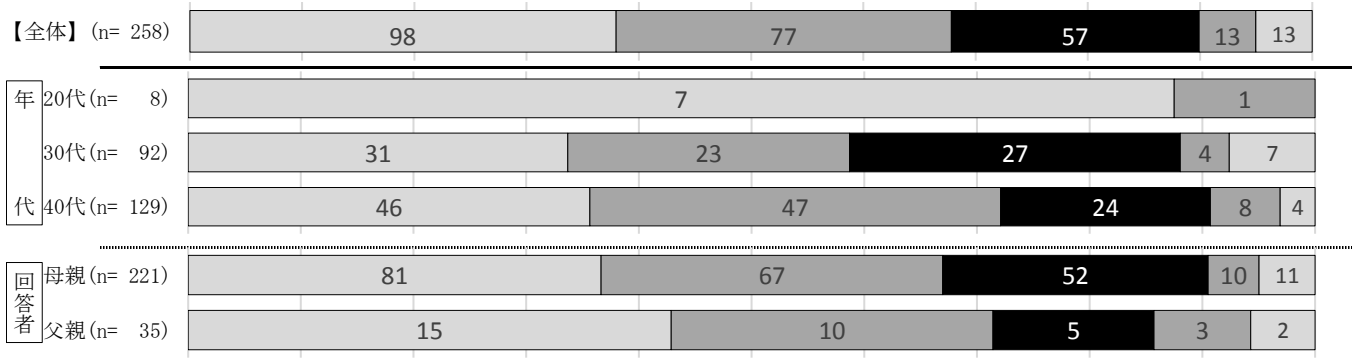
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

《凡例》
 とても当てはまる まあ当てはまる **どちらともいえない** あまり当てはまらない まったく当てはまらない

楽しむ場所や機会が不足しているから



他のまちより行政サービスが不足しているから



Ⅲ 札幌近郊住民アンケート調査

1 調査概要

1.1 調査目的

本調査は、札幌近郊市町の住民が、居住環境や子育て・教育環境についてどのような考えを持っており、どう評価しているのかを把握するほか、小樽市での転居歴などからし、それが小樽市での定住にどの程度結びつくのか、また、どのような点を改善することにより定住していただけるのかを分析することにより、人口減少対策を検討する基礎資料とすることを目的とする。

1.2 調査方法と回収数等

- (1) 調査地域 札幌近郊市町の10市町
- (2) 調査対象 札幌近郊市町に在住する18歳以上の方
- (3) 標本構成 有効回収数 2,500件
- (4) 調査方法 インターネット調査会社を活用
- (5) 調査時期 平成30年3月

2 アンケート結果

(1) 回答者属性

① 年齢

18～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
2	120	472	808	662	436	0	0

② 性別

男	女
1,384	1,116

③ 世帯主

本人	配偶者	子ども	父親	母親	その他の方
1,103	647	4	174	67	14

④ 学歴

中学校	高校	短大・ 専門学校	大学	大学院	就学中	その他
52	749	678	831	86	17	87

【札幌近郊住民アンケート】

⑤ 居住地

中央区	北区	東区	白石区	豊平区	南区	西区	厚別区	手稲区	清田区
263	235	202	186	236	101	176	121	108	85
石狩市	江別市	北広島市	恵庭市	千歳市	岩見沢市	当別町	南幌町	長沼町	
77	197	94	112	158	107	22	9	11	

⑥ 住まいの形態

持家一戸建て	持家集合住宅	賃貸一戸建て	賃貸集合住宅	社宅・官舎・寮	その他
1,174	416	68	759	43	40

⑦ 職業

自営業	会社員		公務員・団体職員 ・教職員		パート タイム ・ アルバ イト	学生	専業 主婦 ・ 主夫	無職	その他
	正規雇用 :期限なし	フルタイム 非正規雇用 :期限あり	正規雇用 :期限なし	フルタイム 非正規雇用 :期限あり					
168	789	266	200	56	364	13	323	264	57

事務職	販売職	サービス 業	生産現場 ・技能職	運輸	保安職	専門職・ 技術職	管理職	農林 水産業	その他
418	213	187	110	64	39	334	148	10	320

⑧ 通勤先

札幌市	小樽市	札幌近郊市町	その他道内	東北	関東	その他国内	海外
1,344	18	430	50	0	10	4	0

⑨ 年間収入(税込)

0円	～100 万円	～200 万円	～300 万円	～400 万円	～500 万円	～600 万円	～700 万円	～800 万円	～900 万円	～1,000 万円	1,000 万円超	回答 したく ない	わか らな い
8	165	206	252	252	203	163	115	105	59	47	50	186	32

(2) 居住歴など

① 現在の市区町村での居住年数

1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上
119	186	164	327	529	496	679

② 現在の市区町村に住むことになった理由

生まれてからずっと住んでいる	409
卒業・進学・就職をしたため	232
転勤・転職・起業をしたため	595
結婚や離婚をしたため	462
親の介護など、家族・親族の世話をするため	65
勤務先などは変わっていないが、居住環境を変えたかったため	318
その他(家族の転勤のためなど)	419

③ 他市区町村での1年以上の居住歴の有無

	あり	なし
現在の市区町村以外	1,964	127
北海道以外の国内	873	1,091
海外	92	1,872

④ 中学生生活を過ごした主な場所

中央区	北区	東区	白石区	豊平区	南区	西区	厚別区	手稲区	清田区	小樽市	石狩市	江別市
78	80	88	63	75	48	76	37	37	25	67	17	56
北広島市	恵庭市	千歳市	岩見沢市	当別町	南幌町	長沼町	他道内	東北	関東	他国内	海外	
30	22	30	48	11	1	16	818	45	86	107	3	

(3) 小樽市との関係

① 小樽市での居住歴

小樽に1年未満、住んでいたことがある	28
小樽に1年以上3年未満、住んでいたことがある	63
小樽に3年以上、住んでいたことがある	100
住んだことはない	1,773

② 小樽市からの転居理由(複数回答)

小樽市に愛着がないから	13	転居先の方が、自然環境に恵まれているから	2
仕事や就学のため	92	転居先の方が、歴史・文化が豊かだから	2
子どもの教育のため	5	転居先の方が、交通の便が良いから	17
親の介護のため	5	転居先の方が、災害や治安の面で安心だから	4
結婚や離婚をしたため	22	転居先の方が、人情味にあふれているから	1
勤務先などは変わっていないが、居住環境を変えたかった	8	転居先の方が、食べ物が新鮮でおいしいから	3
転居先の方が、家賃や地代などが安いから	7	転居先の方が、楽しむ場所や機会が充実しているから	9
転居先の方が、買い物など日常生活が便利だから	15	転居先の方が、行政サービスが充実しているから	6
転居先の方が、医療・福祉の面が整っているから	10	その他(家族の転勤のためなど)	57

③ 過去1年間の小樽への訪問回数

1回	2～3回	4～5回	6回以上	行っていない
572	543	127	297	961

④ 小樽市の印象

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
街の雰囲気	605	1014	752	102	27
商店の活気	238	643	1,103	430	86
自然環境	348	782	1,224	116	30
生活コスト	96	256	1,820	269	59
住居コスト	93	231	1,760	340	76
住民の人柄	140	424	1,763	120	53
暮らしやすさ	87	295	1,392	604	122
総合満足度	114	614	1,447	268	57

(4) 移住希望

① 今後、移住することを検討

1年以内に移住する予定／検討したいと思っている	70
5年以内に移住する予定／検討したいと思っている	127
10年以内に移住する予定／検討したいと思っている	44
具体的な時期は決まっていないが、検討したいと思っている	532
検討したいと思わない	1,727

② 小樽への移住を考えたことがあるか。

具体的に考えている	12
考えたことがある	110
将来考える可能性がある	71
小樽以外への移住を考えている	93
特に考えていない	457
分からない	30

③ 小樽以外の移住検討先

中央区	北区	東区	白石区	豊平区	南区	西区	厚別区	手稲区	清田区	石狩市	江別市
11	2	5	1	3	0	1	6	1	0	0	1
北広島市	恵庭市	千歳市	岩見沢市	当別町	南幌町	長沼町	他道内	東北	関東	他国内	海外
2	1	3	0	0	0	0	21	3	15	15	2

④ 移住を検討した理由

	とても当てはまる	まあ当てはまる	どちらとも言えない	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
その街に愛着があるから	75	234	260	116	88
仕事や就学のため	95	158	193	125	202
子どもの教育のため	32	69	179	124	369
親の介護のため	34	79	171	136	353
家賃や地代などが安いから	33	172	254	128	186
買い物など日常生活が便利だから	70	224	244	109	126
医療・福祉の面が整っているから	51	155	294	125	148
自然環境に恵まれているから	71	250	248	105	99
歴史・文化が豊かだから	60	151	302	137	123
交通の便が良いから	108	226	234	108	97
災害や治安の面で安心だから	36	133	347	147	110
人情味にあふれているから	23	145	388	116	101
食べ物が新鮮でおいしいから	91	234	278	90	80
楽しむ場所や機会が充実しているから	82	239	280	81	91
他のまちより行政サービスが充実しているから	40	112	404	111	106

(5) 家族構成

① 生計を一にする家族の有無

配偶者	子供	親、配偶者の親	孫	その他の方	いない
1,570	941	448	10	81	491

② 生計を一にする両親

自分の父親	自分の母親	配偶者の父親	配偶者の母親
224	389	16	45

③ 生計を一にする子や孫、その他の方

	1人	2人	3人	4人	5人以上
子	463	370	84	17	7
孫	7	2	1	0	0
その他の方	60	12	5	3	1

【札幌近郊住民アンケート】

④ 生計を一にする家族の性別

	配偶者	子供	孫	その他の方
男性	660	760	7	56
女性	910	798	7	60

⑤ 生計を一にする家族の年齢

	5歳以下	6～9歳	10～15歳	16～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上
配偶者	9	4	3	4	2	2	0	0	0	0	0
子供	310	202	328	266	333	106	13	0	0	0	0
自分の父親	0	0	0	0	0	0	1	22	83	79	39
自分の母親	0	0	0	0	0	0	5	37	128	115	104
配偶者の父親	0	0	0	0	0	0	0	3	3	8	2
配偶者の母親	0	0	0	0	0	0	0	3	11	13	18
孫	3	8	3	0	0	0	0	0	0	0	0
その他の方	2	0	1	1	4	4	11	7	2	1	2

⑥ 生計を一にする家族の同居・別居について

	同居	別居
配偶者	1,535	35
子供	1,485	73
自分の父親	206	18
自分の母親	364	25
配偶者の父親	10	6
配偶者の母親	33	12
孫	14	0
その他の方	92	24

⑦ 別居先住所

	札幌市	小樽市	札幌近郊市町	その他道内	東北	関東	その他国内	海外
配偶者	3	0	6	10	2	7	6	1
子供	22	0	9	10	1	20	10	1
自分の父親	4	0	3	6	1	2	1	1
自分の母親	11	0	4	7	1	1	0	1
配偶者の父親	2	0	0	3	0	0	0	1
配偶者の母親	4	0	1	6	0	0	0	1
その他の方	9	1	4	2	1	4	0	3

⑧ 生計を一にする家族の学歴

	中学校	高校	短大・ 専門学校	大学	大学院	就学中	その他
配偶者	39	525	492	444	35	5	30
子供	22	223	123	231	12	92	15
自分の父親	35	98	15	58	6	1	11
自分の母親	80	204	51	28	2	1	23
配偶者の父親	3	11	1	1	0	0	0
配偶者の母親	11	24	4	1	0	0	5
その他の方	6	40	19	29	0	3	16

⑦ 生計を一にする家族の職種など

	自営業	会社員		公務員・団体職員 ・教職員		パート タイム ・ アルバイト	学生	専業 主婦 ・ 主夫	無職	その他
		正規雇用 :期限なし	フルタイム 非正規雇用 :期限あり	正規雇用 :期限なし	フルタイム 非正規雇用 :期限あり					
配偶者	81	483	98	105	35	311	3	306	134	14
子供	3	131	55	12	9	79	376	1	35	17
自分の父親	23	37	16	7	5	23	0	2	109	2
自分の母親	12	12	8	2	0	63	0	87	196	9
配偶者の父親	3	0	3	0	1	0	0	0	9	0
配偶者の母親	3	1	0	1	0	6	0	3	31	0
その他の方	9	28	19	3	0	21	4	3	15	11

	事務職	販売職	サービス 業	生産現場職 ・技能職	運輸	保安職	専門職・ 技術職	管理職	農林 水産業	その他
配偶者	192	122	134	63	44	33	201	52	9	263
子供	60	42	46	21	8	2	37	1	2	70
自分の父親	14	11	14	14	10	2	8	7	2	29
自分の母親	12	9	29	5	2	1	5	0	2	32
配偶者の父親	1	0	1	0	0	1	1	1	0	2
配偶者の母親	1	1	2	0	0	0	3	0	1	3
その他の方	14	9	12	7	3	0	7	2	1	25

⑧ 通勤・通学先

	札幌市	小樽市	札幌近郊市町	その他道内	東北	関東	その他国内	海外
配偶者	734	9	325	32	3	6	6	1
子供	476	8	131	16	2	21	9	2
自分の父親	65	2	29	10	1	3	0	1
自分の母親	60	3	27	4	1	1	0	1
配偶者の父親	2	0	1	3	0	0	0	1
配偶者の母親	6	0	1	3	0	0	0	1
その他の方	45	0	32	1	2	4	0	0

⑨ 生計を一にする家族の年収

	0円	～100万円	～200万円	～300万円	～400万円	～500万円	～600万円	～700万円	～800万円	～900万円	～1,000万円	1,000万円超	回答したくない	わからない
配偶者	3	160	144	104	130	130	102	72	46	27	9	28	114	44
子供	0	34	59	72	29	18	4	1	0	0	0	1	24	47
自分の父親	0	4	18	10	8	7	2	5	4	5	1	2	15	30
自分の母親	0	16	29	10	6	3	1	1	0	1	0	0	9	21
配偶者の父親	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	3
配偶者の母親	0	2	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	3
その他の方	0	4	10	18	9	6	3	0	1	0	0	1	7	21

(6) 仕事について

① 仕事のやりがい

	そう思う	どちらかと言えばそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言え ばそう思わない	そう思わない
今の仕事にやりがいを感じる	306	646	512	180	199
収入に満足している	127	385	549	417	365
収入が安定している	259	649	523	226	186
職場の人間関係に満足している	224	586	626	210	197

② 現在通勤時間

15分以内	30分	1時間	1時間30分	2時間	それ以上
558	784	425	54	9	13

③ 通勤しても良いと思う最長の通勤距離

2km	5km	10km	20km	50km	それ以上
259	414	599	459	80	32

④ 通勤しても良いと思う最長の通勤時間

15分以内	30分	1時間	1時間30分	2時間	それ以上
245	828	664	82	16	8

⑤ 住まいと異なる市町村で働いている理由

子供の就学のため	33
配偶者の就業のため	105
買い物が便利だから	33
通勤手当が手厚いから	11
良好な住宅地だから	81
生活費が安いから	14
居住地が安いから	31
住み慣れた場所から転居したくないから	91
介護が必要な親と同居しているから	4
その他:	56

⑥ 転職したいかどうか。

そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない
246	259	543	223	572

⑦ 転職先は、現在の住まいから通える範囲に限るか

そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない
236	155	63	17	34

(7) 住む場所を決めるときに重要視する点

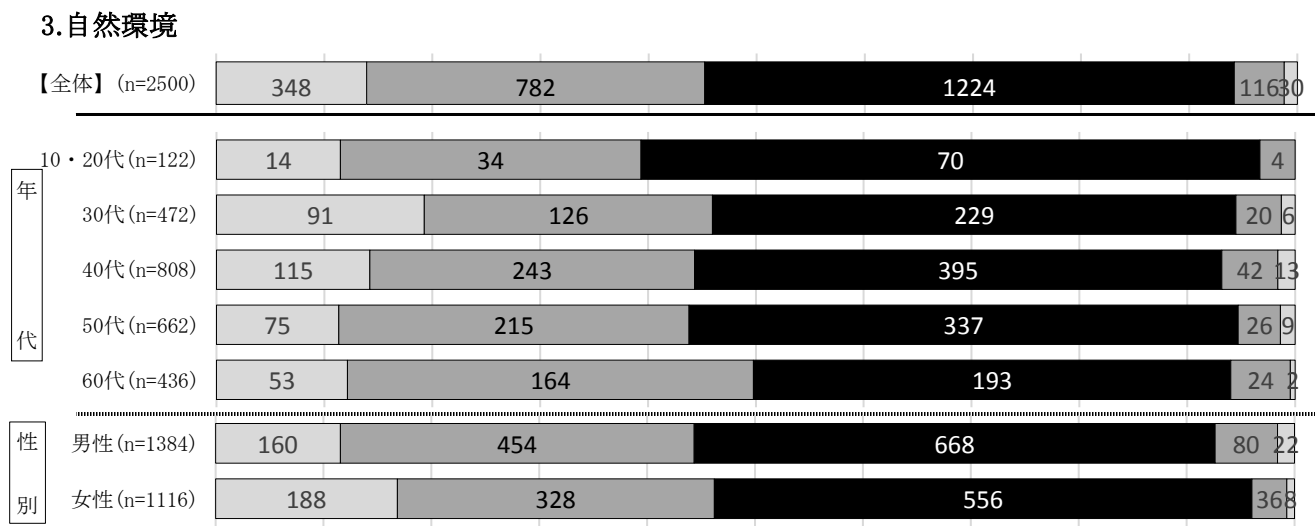
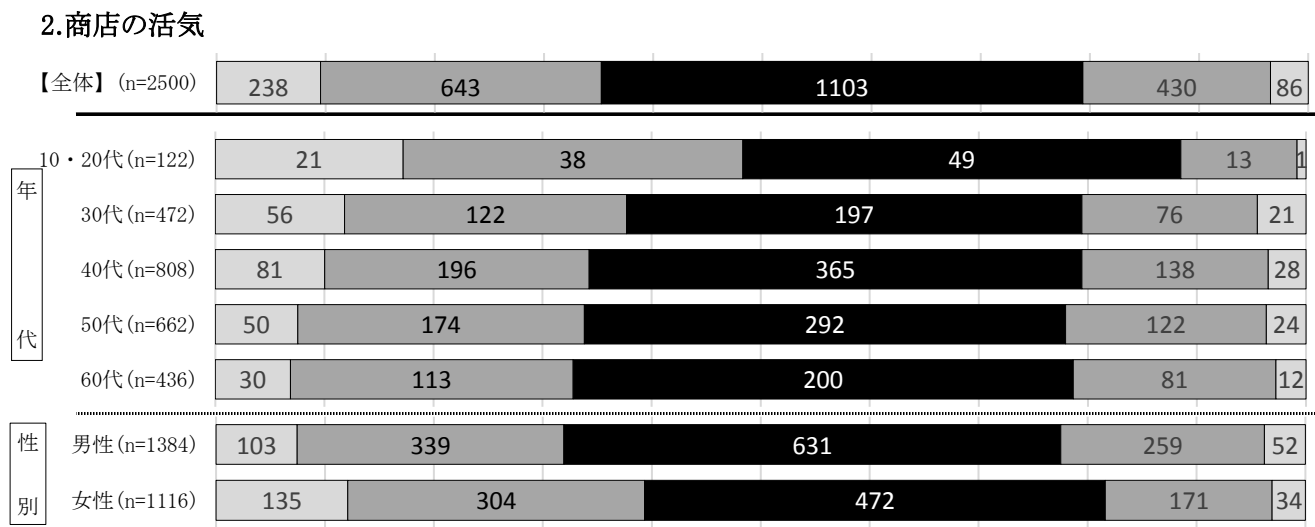
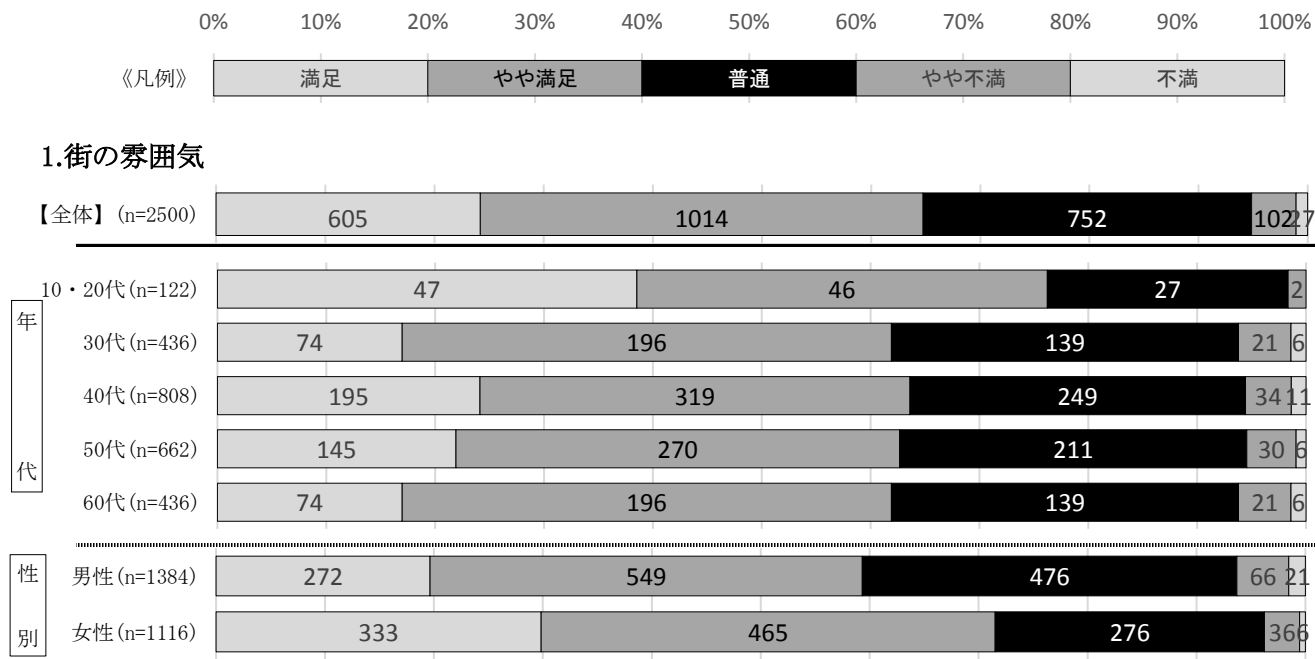
	とても重要	どちらかと言えば重要	どちらとも言えない	どちらかと言えば重要でない	重要でない
街の雰囲気	630	1,214	563	50	43
歴史的街並み	103	311	1,111	622	353
おしゃれな街並み	134	469	1,143	498	256
買い物の利便性	1,169	1,015	287	18	11
商店の活気	343	1,013	952	123	69
自然環境	384	1,037	847	156	76
生活コスト	854	1,210	409	14	13
住居コスト	886	1,157	427	18	12
住民の人柄	516	1,044	822	78	40
幼児教育の環境	275	493	933	263	536
小中学校教育の環境	341	543	829	259	528
高校教育の環境	261	509	929	274	527
大学教育の環境	177	349	1,102	323	549
周産期医療の環境	372	693	886	199	350
小児医療の環境	307	546	874	255	518
高齢者医療の環境	438	922	824	134	182
軽微なけが・病気に対する医療の環境	455	1,168	738	66	73
重篤なけが・病気に対する医療の環境	555	1,044	757	75	69
空港へのアクセス	212	643	1,092	319	234
鉄道交通の利便性	671	1,066	617	87	59
バス交通の利便性	523	1,057	730	116	74
タクシーの利便性	203	684	1,139	281	193
図書館サービス	181	549	1,102	367	301
美術館・博物館などの文化施設	111	350	1,137	503	399
子どもの医療費助成の充実	331	492	904	269	504
子どもの遊び場・公園の充実度	309	566	886	250	489
高齢者介護施設などの高齢者向け公共サービス	349	813	928	170	240
除雪・排雪	968	1,006	452	36	38
ごみ収集	816	1,137	487	31	29
市民の声の市政への反映	419	866	1,039	97	79

(8) 趣味嗜好

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えば 思わない	そう 思わない
健康に気を使うほうですか	453	1,149	684	156	58
健康ですか	505	1,024	631	233	107
体を使うことは好きですか	398	879	793	308	122
海に行くことは好きですか	351	672	804	415	258
山に行くことは好きですか	263	622	875	450	290
街や建物の歴史を知ることは好きですか	364	854	813	325	144
ファッションに興味はありますか	354	744	788	399	215
アニメに興味はありますか	204	391	710	569	626
PC・TV・スマホゲームに興味はありますか	273	652	713	409	453
楽器の演奏に興味はありますか	219	467	780	534	500
音楽鑑賞に興味はありますか	474	924	678	251	173
映画鑑賞に興味はありますか	448	938	728	230	156
美術鑑賞に興味はありますか	224	567	808	539	362
お酒を飲むのは好きですか	586	597	558	243	516
食材へのこだわりはありますか	334	900	938	227	101
料理へのこだわりはありますか	308	842	1,000	233	117

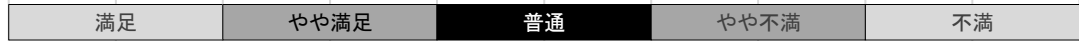
[参考]年代・性別によるクロス集計結果

(3) ④ 小樽市の印象

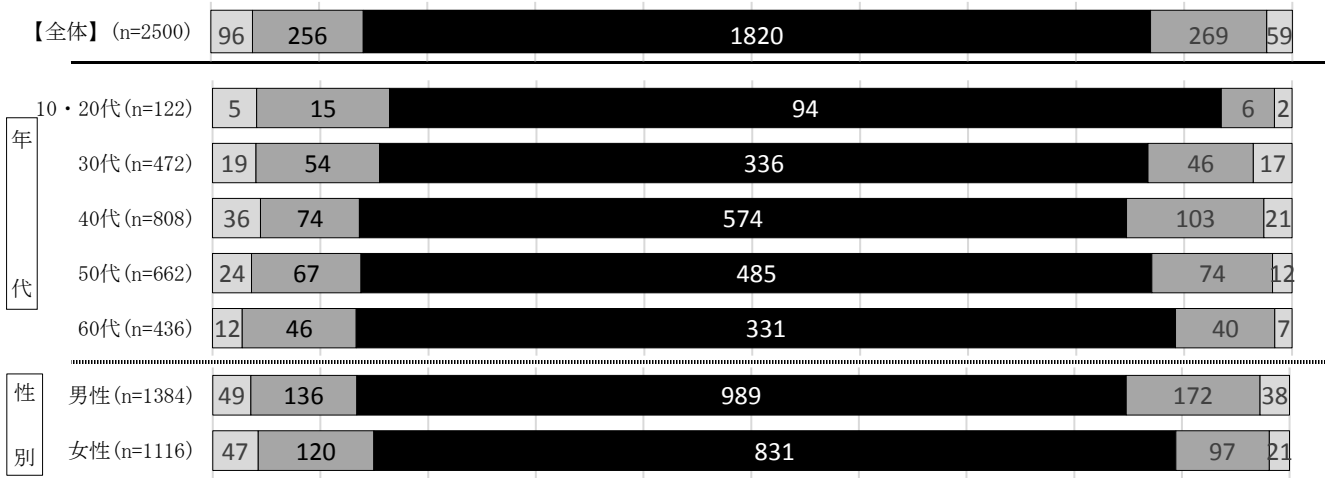


0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

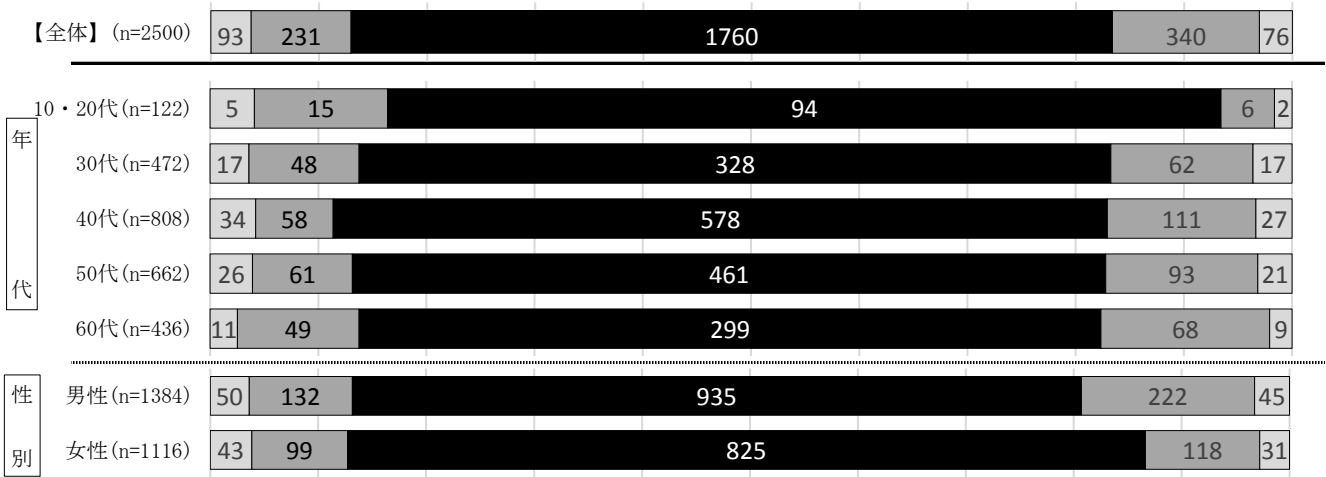
《凡例》



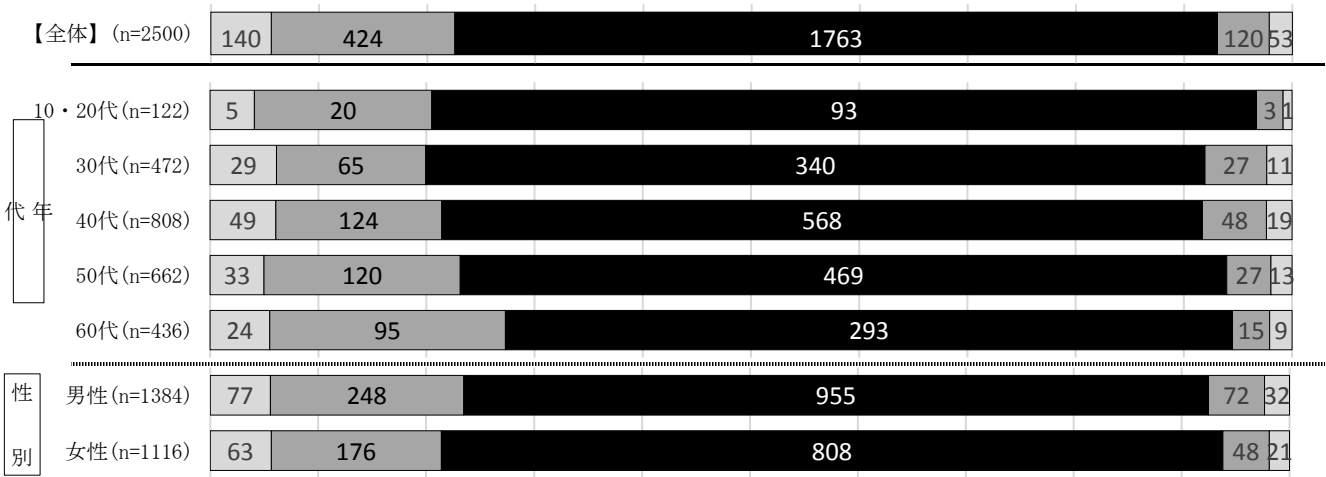
4.生活コスト



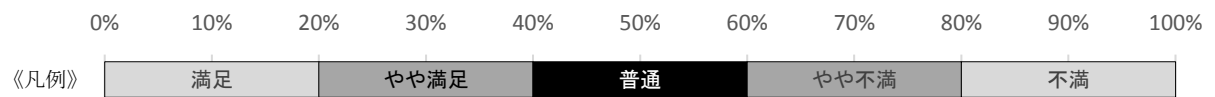
5.住居コスト



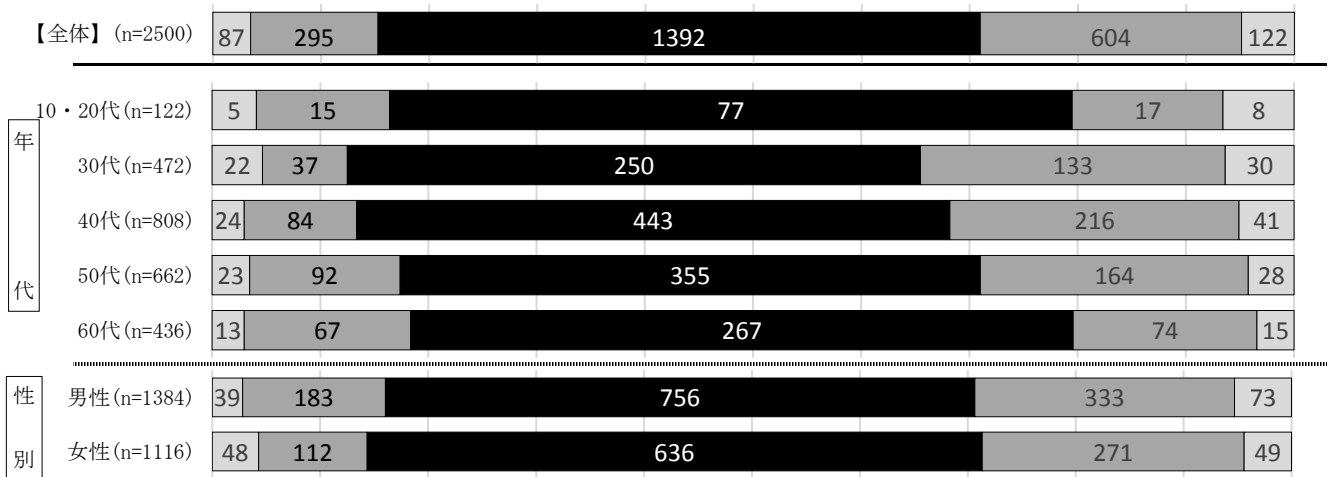
6.住民の人柄



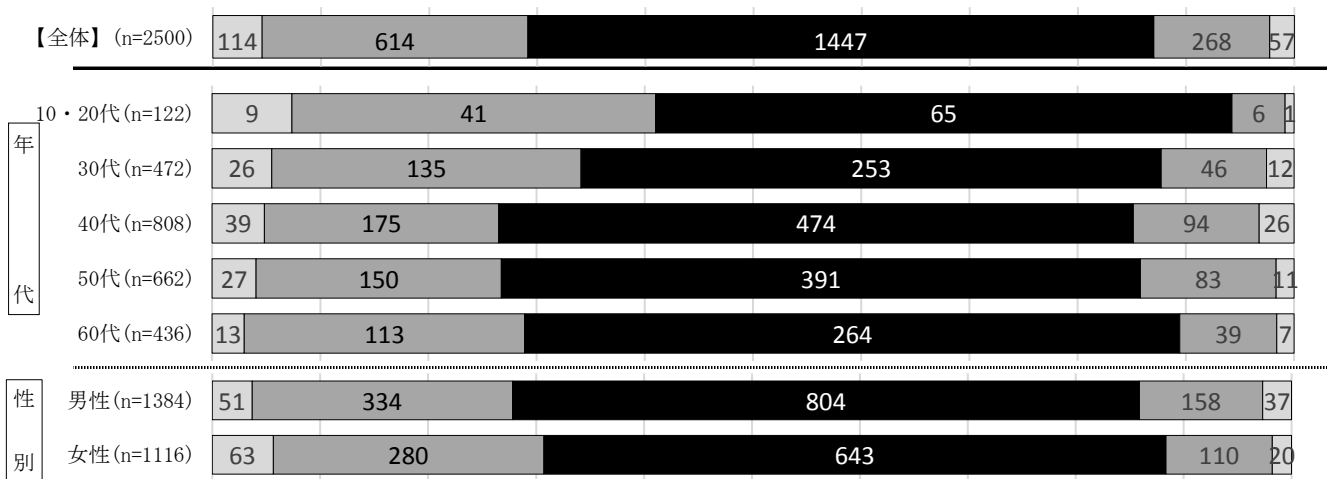
【札幌近郊住民アンケート】



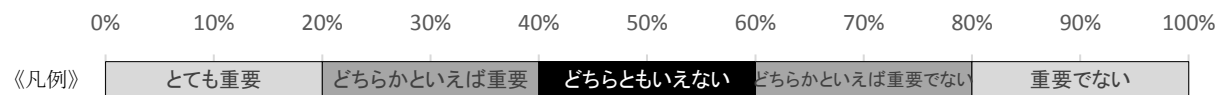
7.暮らしやすさ



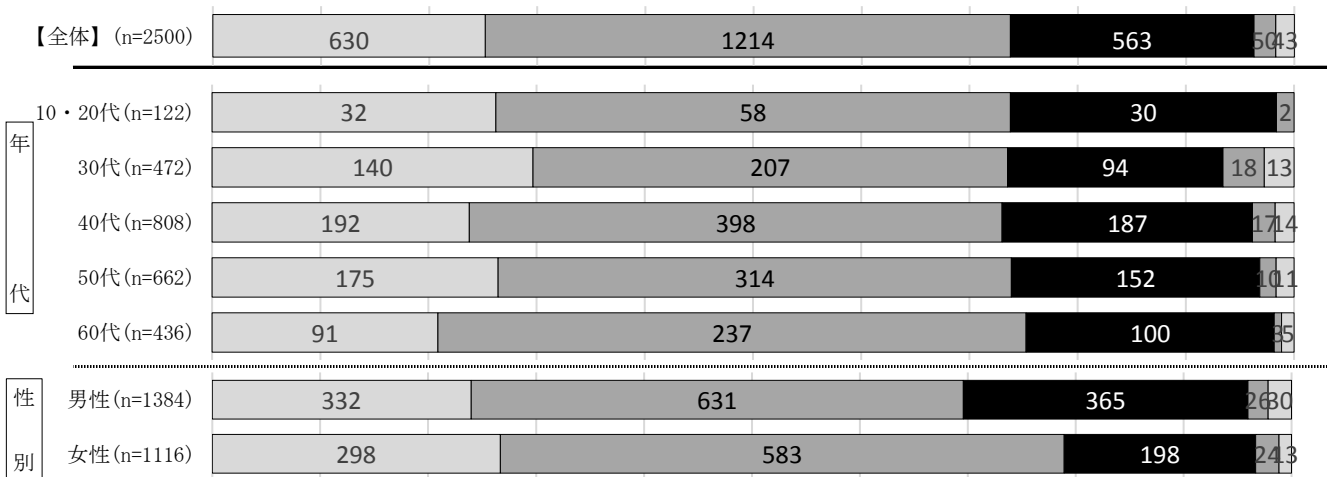
8.総合満足度



(7) 住む場所を決めるときに重要視する点



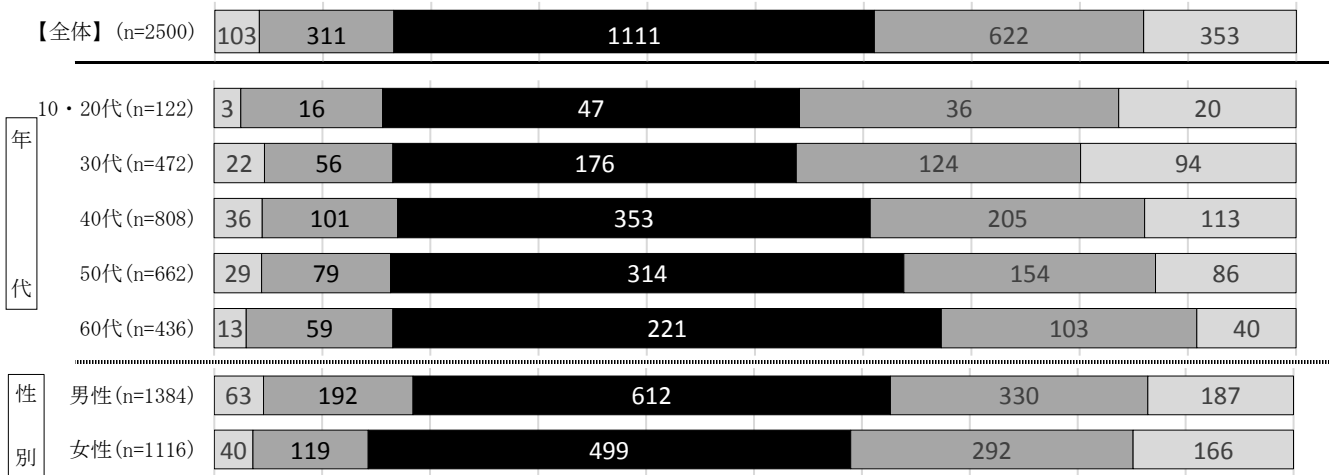
1.街の雰囲気



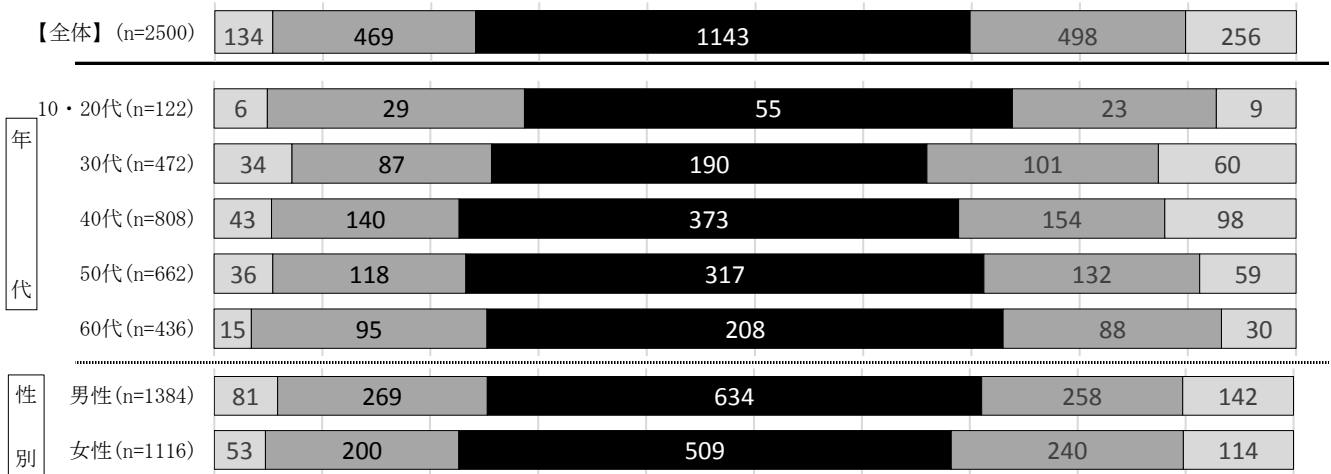
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

《凡例》 とても重要 どちらかといえば重要 どちらともいえない どちらかといえば重要でない 重要でない

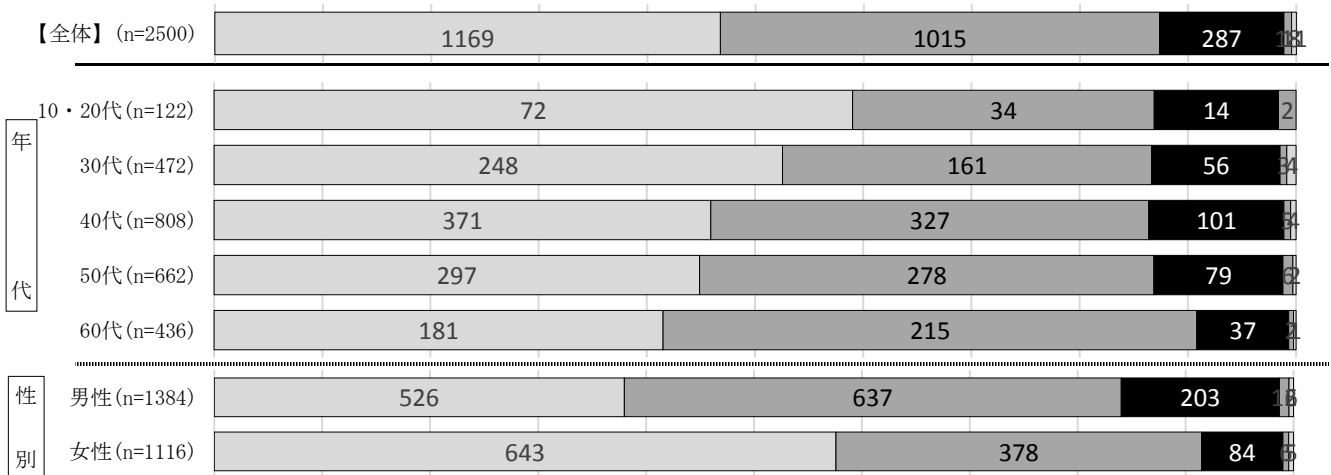
2.歴史的街並み



3.おしゃれな街並み



4.買い物の利便性

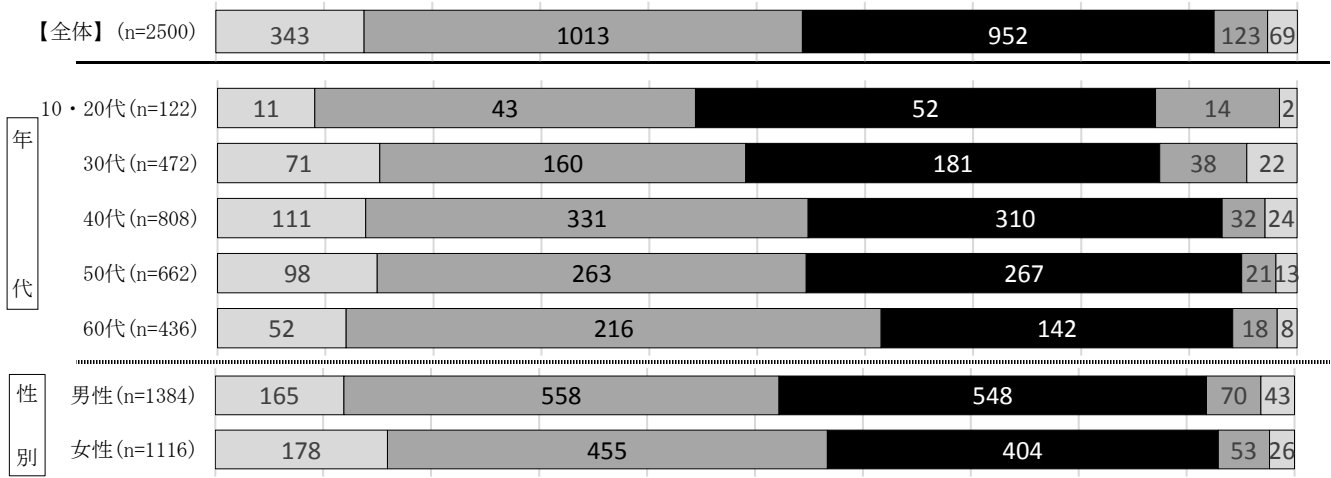


【札幌近郊住民アンケート】

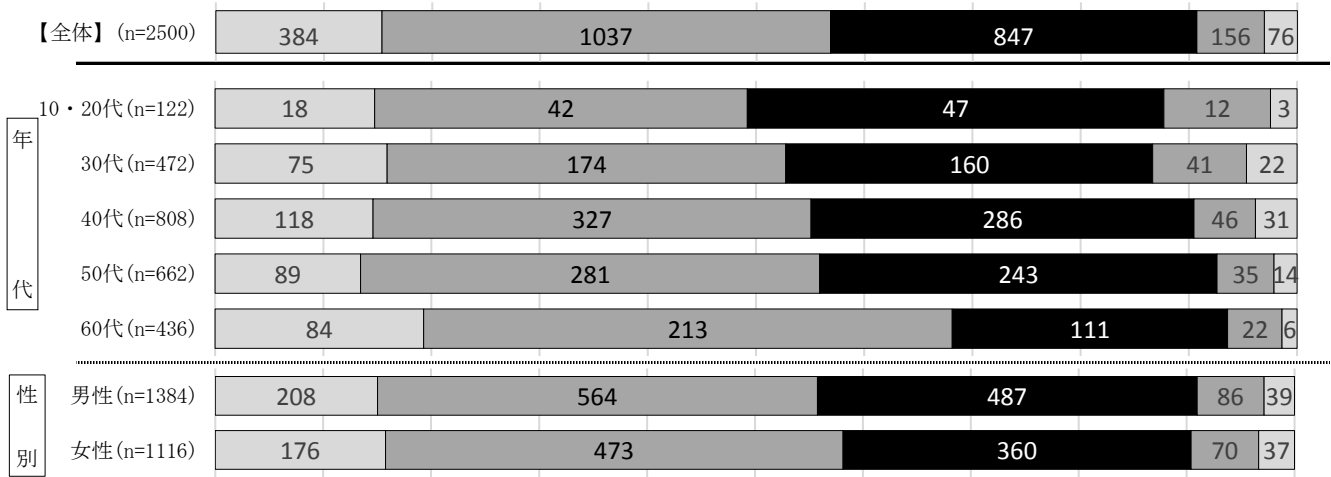
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

《凡例》 とても重要 どちらかといえば重要 どちらともいえない どちらかといえば重要でない 重要でない

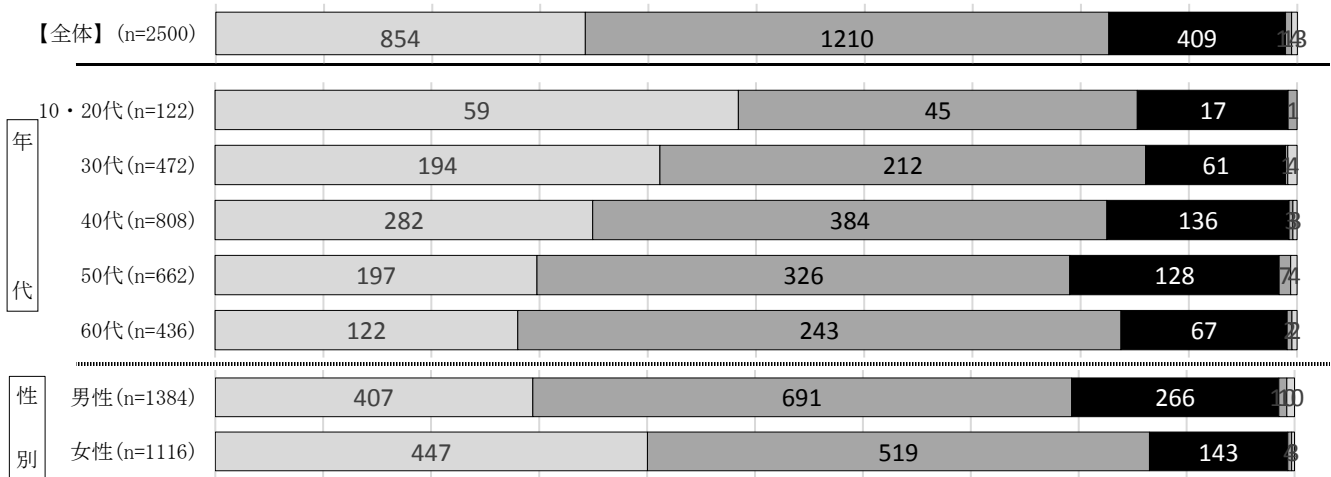
5. 商店の活気



6. 自然環境



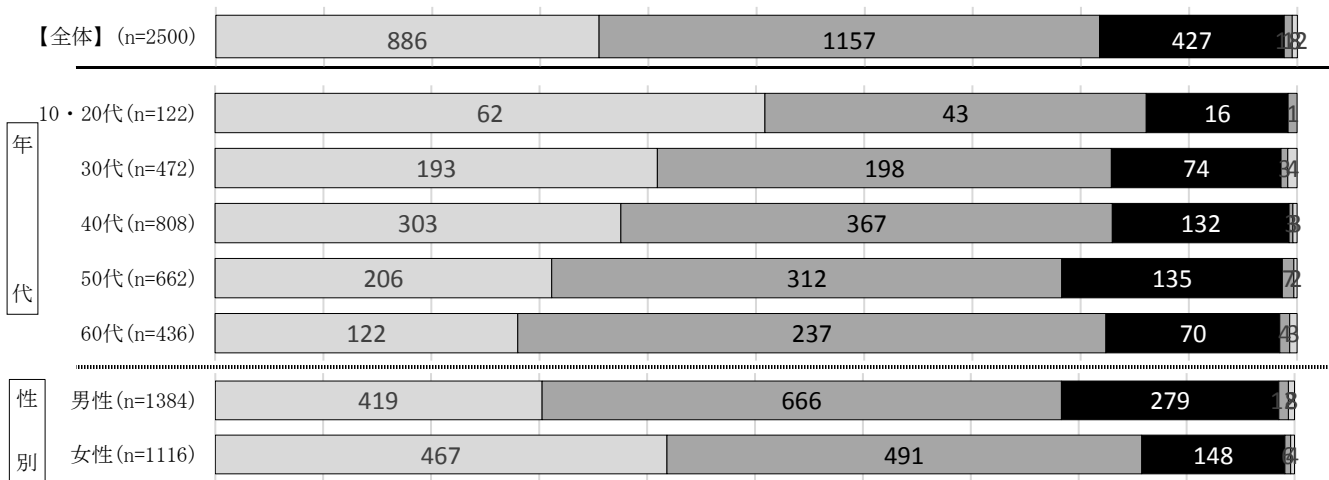
7. 生活コスト



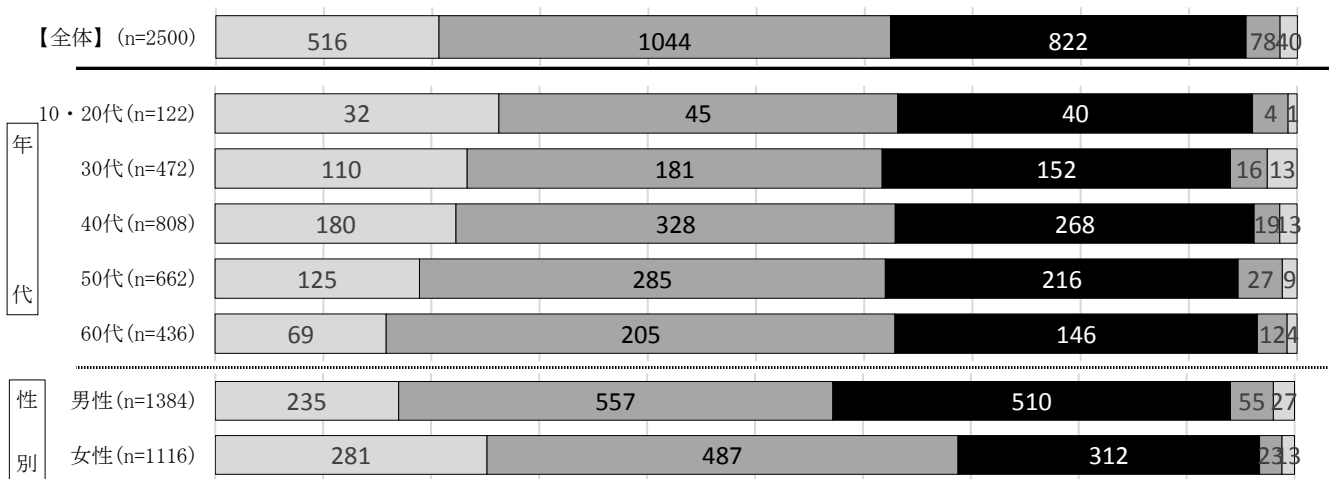
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

《凡例》
 とても重要 どちらかといえば重要 **どちらともいえない** どちらかといえば重要でない 重要でない

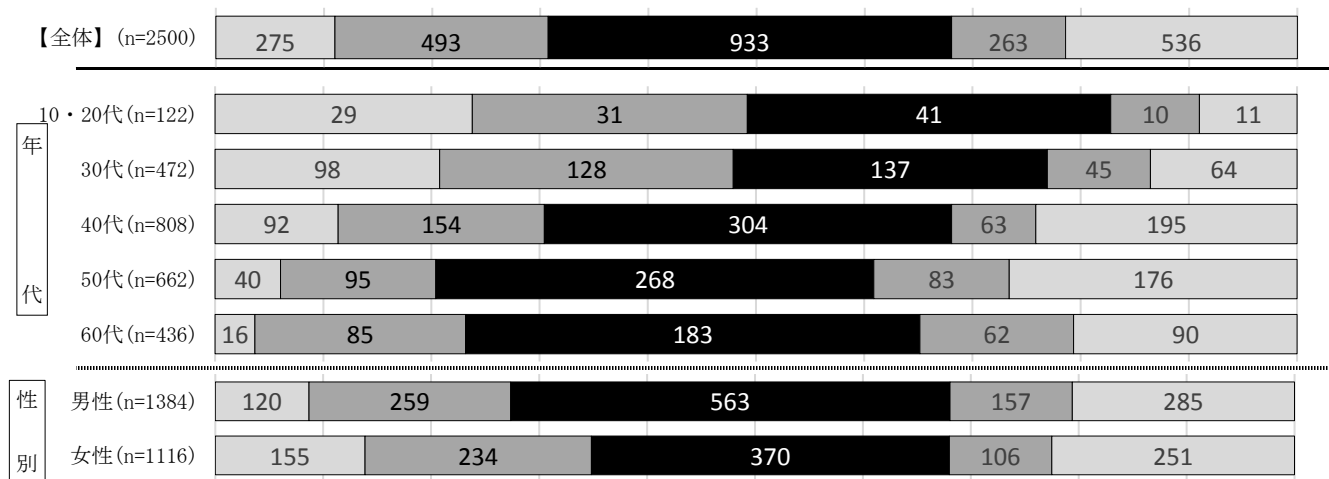
8.住居コスト



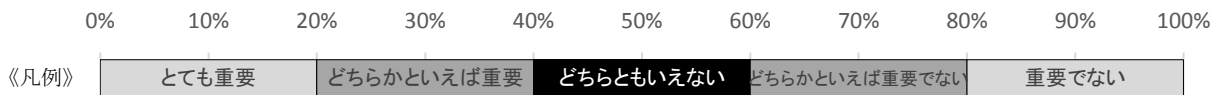
9.住民の人柄



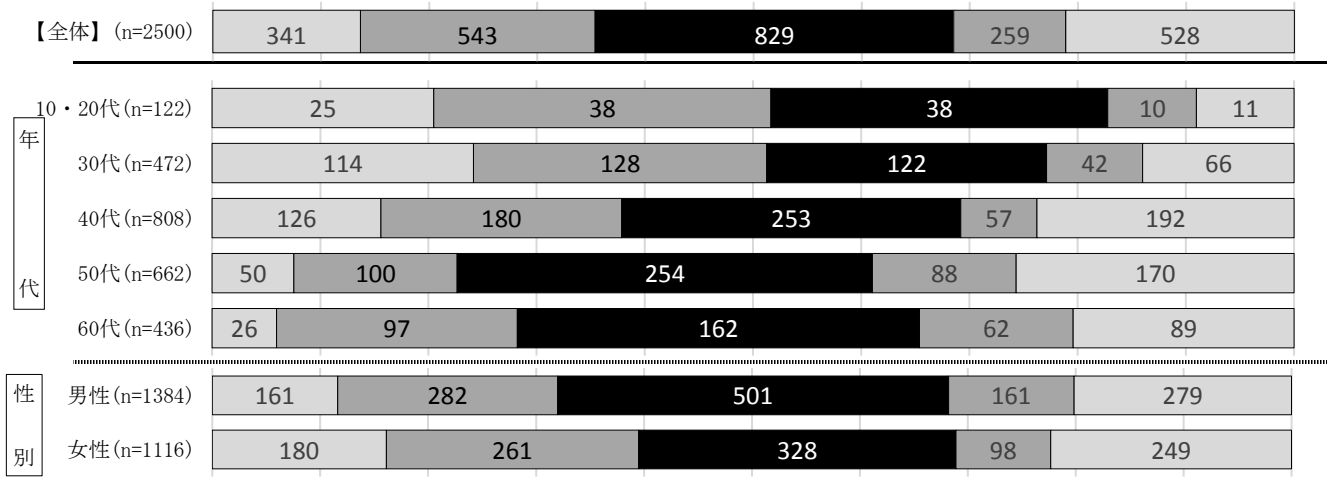
10.幼児教育の環境



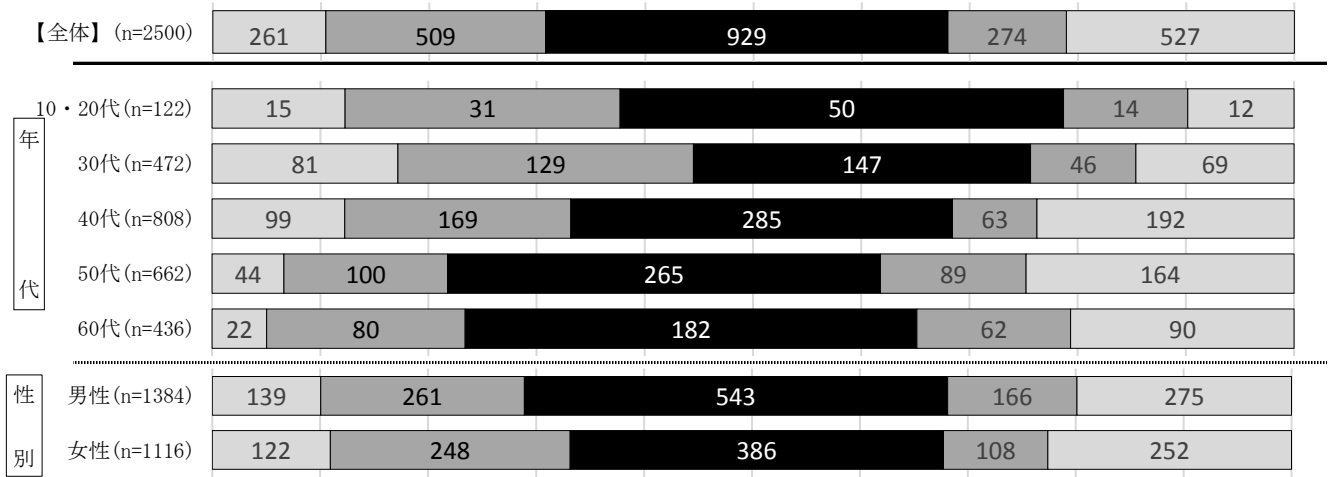
【札幌近郊住民アンケート】



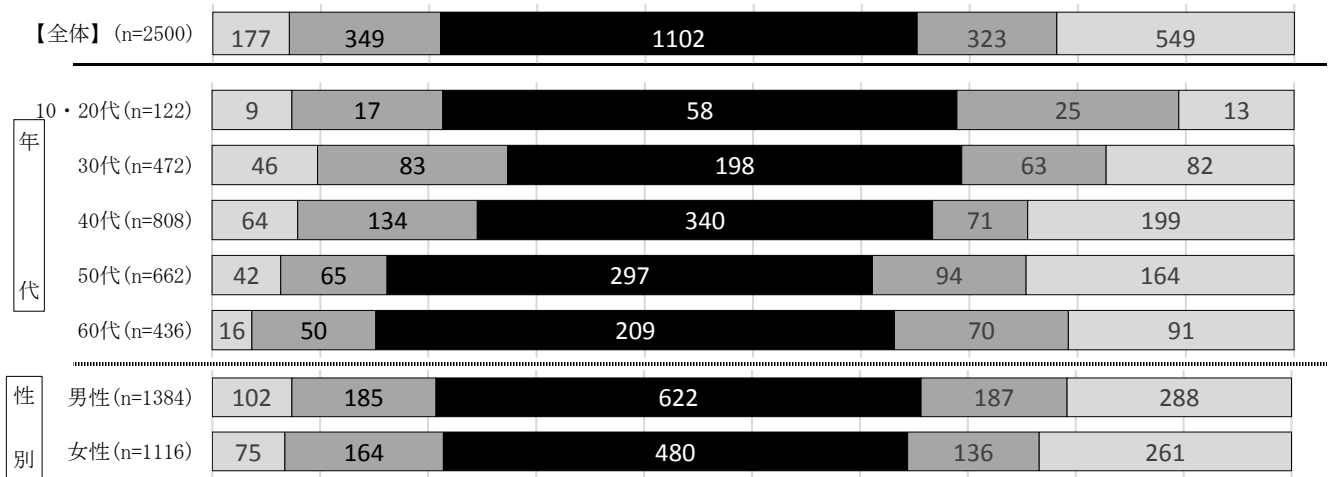
11.小中学校教育の環境



12.高校教育の環境



13.大学教育の環境



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

《凡例》 とても重要 どちらかといえば重要 どちらともいえない どちらかといえば重要でない 重要でない

14. 周産期医療の環境

【全体】 (n=2500)		372	693	886	199	350
年	10・20代 (n=122)	20	33	46	14	9
	30代 (n=472)	89	140	154	39	50
	40代 (n=808)	111	199	308	56	134
	50代 (n=662)	86	188	227	56	105
	60代 (n=436)	66	133	151	34	52
性別	男性 (n=1384)	185	376	514	121	188
	女性 (n=1116)	187	317	372	78	162

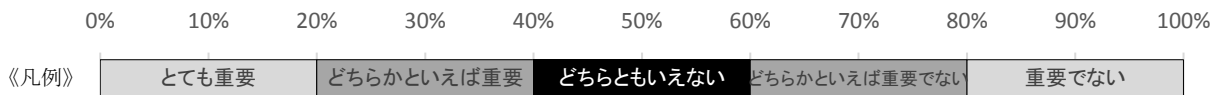
15. 小児医療の環境

【全体】 (n=2500)		307	546	874	255	518
年	10・20代 (n=122)	19	36	46	12	9
	30代 (n=472)	109	137	123	36	67
	40代 (n=808)	105	182	274	55	192
	50代 (n=662)	52	100	260	85	165
	60代 (n=436)	22	91	171	67	85
性別	男性 (n=1384)	147	277	529	161	270
	女性 (n=1116)	160	269	345	94	248

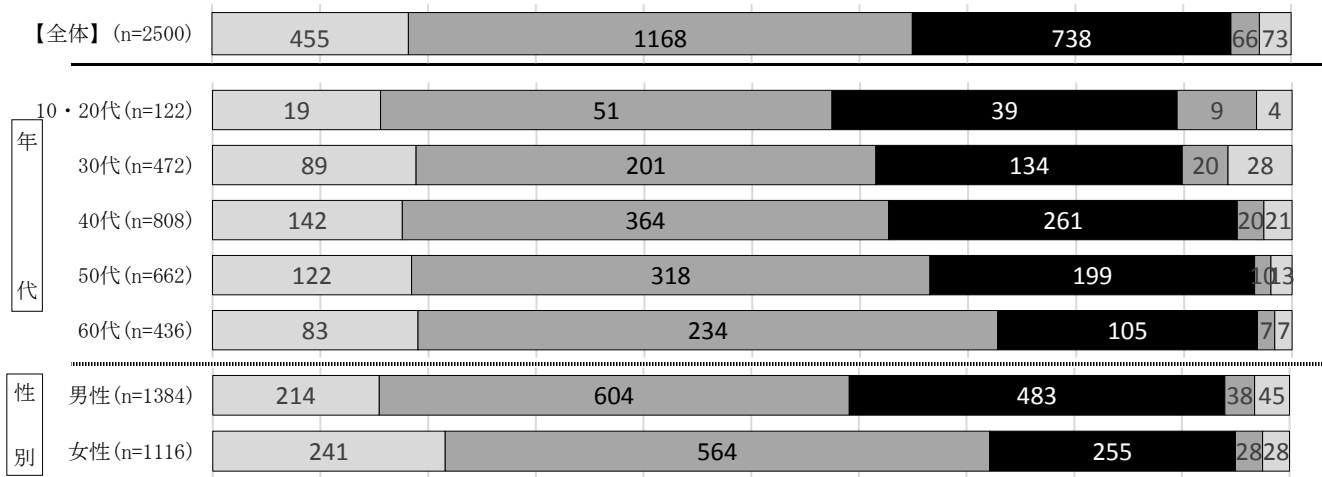
16. 高齢者医療の環境

【全体】 (n=2500)		438	922	824	134	182
年	10・20代 (n=122)	8	24	62	14	14
	30代 (n=472)	54	142	163	52	61
	40代 (n=808)	116	263	316	41	72
	50代 (n=662)	137	275	199	21	30
	60代 (n=436)	123	218	84	65	
性別	男性 (n=1384)	243	510	485	64	82
	女性 (n=1116)	195	412	339	70	100

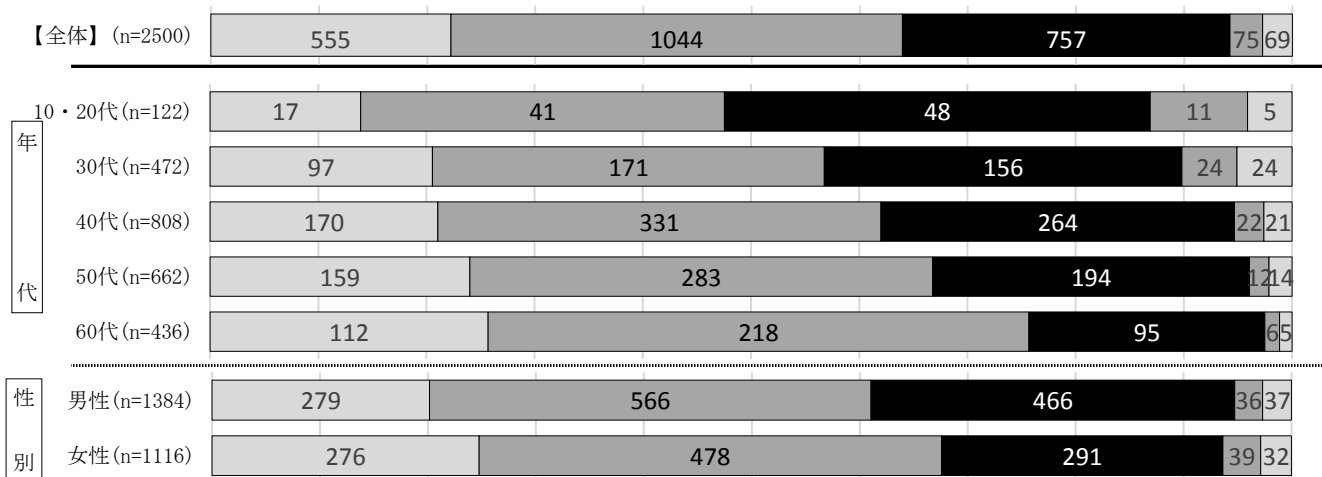
【札幌近郊住民アンケート】



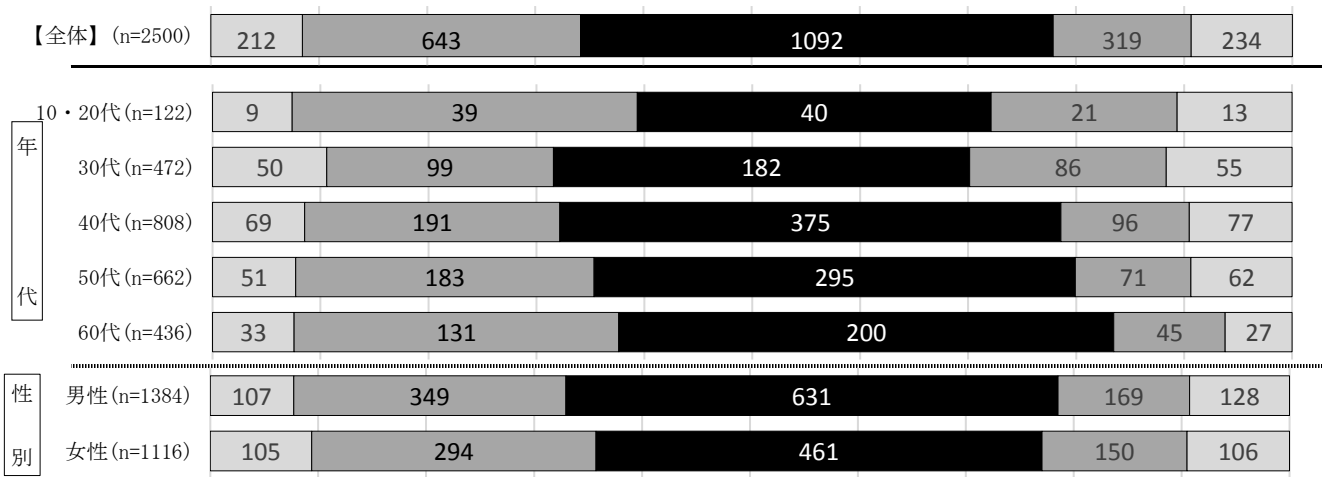
17. 軽微なけが・病気に対する医療の環境



18. 重篤なけが・病気に対する医療の環境



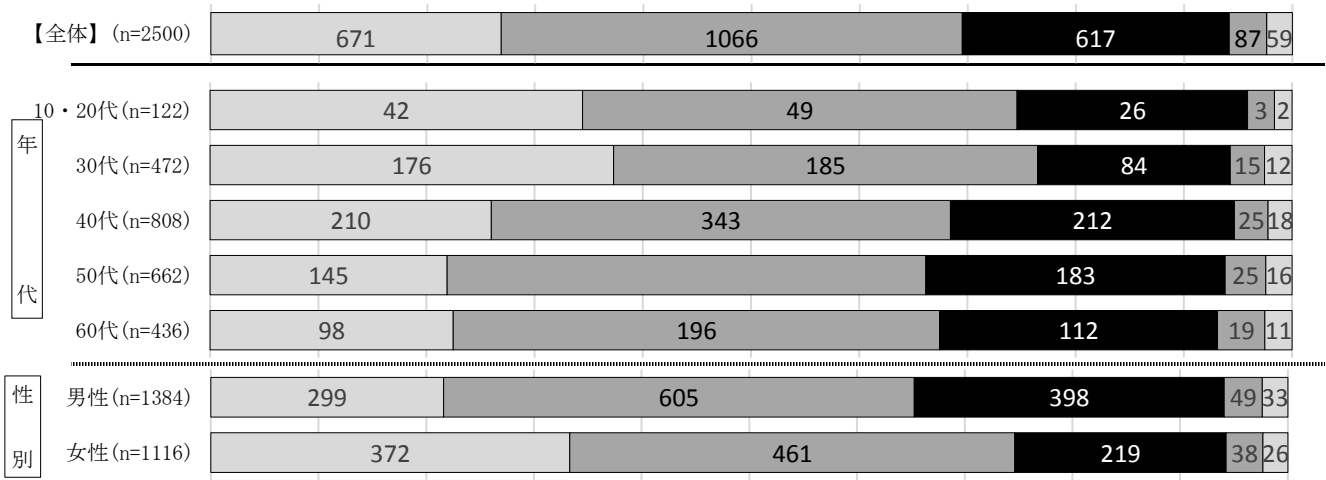
19. 空港へのアクセス



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

《凡例》
 とても重要 どちらかといえば重要 **どちらともいえない** どちらかといえば重要でない 重要でない

20. 鉄道交通の利便性



IV 自治体アンケート調査

1 調査概要

1. 1 調査目的

本調査は、地方自治体における人口問題に対する意識や取組内容によって人口推移に影響があるものと考え、自治体での定住を一つの商品と捉え、マーケティングやブランディングなどの観点から分析を行うことにより、人口減少対策を検討する基礎資料とすることを目的とする。

1. 2 調査方法と回収数等

- (1) 調査地域 全国
- (2) 調査対象 市及び東京都特別区の企画担当部門
- (3) 標本構成

標本数	813件
回収数	296件
無効数	0件
有効回収数	296件（回収率36.4%）
- (4) 調査方法 郵便配布・メール回収
- (5) 調査期間 平成30年2月23日～平成30年3月16日

2 アンケート結果

(1) 回答市区属性

① 人口区分ごと（平成27年国勢調査）

	市区数	回答数	回収率
1万人未満	3	1	33.33%
1万人～5万人	269	85	31.60%
5万人～10万人	259	109	42.08%
10万人～15万人	103	37	35.92%
15万人～20万人	50	21	42.00%
20万人～50万人	94	32	34.04%
50万人以上	35	11	31.43%

② 人口増減率ごと（国勢調査比較（平成22年、27年比較））

	市区数	回答数	回収率
▲10%以下	23	9	39.13%
▲10%～▲7.5%	85	29	34.12%
▲7.5%～▲5%	123	40	32.52%
▲5%～▲2.5%	182	61	33.52%
▲2.5%～0%	187	81	43.32%
プラス	213	76	35.68%

③ 都道府県ごと

都道府県	市区数	回答数	回収率
北海道	34	14	41.18%
青森県	10	5	50.00%
岩手県	14	9	64.29%
宮城県	14	8	57.14%
秋田県	13	7	53.85%
山形県	13	6	46.15%
福島県	13	5	38.46%
茨城県	32	11	34.38%
栃木県	14	8	57.14%
群馬県	12	3	25.00%
埼玉県	40	20	50.00%
千葉県	37	13	35.14%
東京都	49	20	40.82%
神奈川県	19	8	42.11%
新潟県	20	8	40.00%
富山県	10	3	30.00%
石川県	11	3	27.27%
福井県	9	3	33.33%
山梨県	13	5	38.46%
長野県	19	8	42.11%
岐阜県	21	6	28.57%
静岡県	23	7	30.43%
愛知県	38	18	47.37%
三重県	14	6	42.86%
滋賀県	13	3	23.08%
京都府	15	7	46.67%
大阪府	33	7	21.21%
兵庫県	29	4	13.79%
奈良県	12	5	41.67%
和歌山県	9	3	33.33%
鳥取県	4	1	25.00%
島根県	8	3	37.50%
岡山県	15	6	40.00%
広島県	14	7	50.00%
山口県	13	4	30.77%
徳島県	8	4	50.00%
香川県	8	1	12.50%
愛媛県	11	6	54.55%
高知県	11	1	9.09%
福岡県	28	8	28.57%
佐賀県	10	1	10.00%
長崎県	13	4	30.77%
熊本県	14	3	21.43%
大分県	14	1	7.14%
宮崎県	9	2	22.22%
鹿児島県	19	7	36.84%
沖縄県	11	4	36.36%
全体	813	296	36.41%

【自治体アンケート】

(2) 各項目

問1. 貴市(区)におけるまちづくりの在り方について、下記項目の回答として最も良くあてはまるものを、「全くあてはまらない」～「非常にあてはまる」を両極とする7段階の中から1つ選択してください。

		無回答	全くあてはまらない	ほとんどあてはまらない	ややあてはまらない	どちらとも言えない	少しあてはまる	よくあてはまる	非常によくあてはまる	平均点
		—	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	※無回答を除く
(1) 住んで欲しい住民層を、明確に設定している	回答数	1	20	19	23	67	92	58	16	4.5
	割合(%)	0.3	6.8	6.4	7.8	22.6	31.1	19.6	5.4	
(2) 政策ごとに明確なターゲットを設定している	回答数	1	2	7	11	75	110	81	9	4.9
	割合(%)	0.3	0.7	2.4	3.7	25.3	37.2	27.4	3.0	
(3) 特定の住民層にターゲットを絞ったまちづくりを重視している	回答数	1	27	48	38	109	48	22	3	3.6
	割合(%)	0.3	9.1	16.2	12.8	36.8	16.2	7.4	1.0	
(4) 地域としてのコンセプトを、明確に設定している	回答数	0	1	11	8	66	89	92	29	5.1
	割合(%)	0.0	0.3	3.7	2.7	22.3	30.1	31.1	9.8	
(5) 人口に関する明確な戦略目標を持っている	回答数	1	3	3	5	22	52	122	88	5.8
	割合(%)	0.3	1.0	1.0	1.7	7.4	17.6	41.2	29.7	
(6) 人口増加を目標としている	回答数	1	75	39	37	56	37	28	23	3.4
	割合(%)	0.3	25.3	13.2	12.5	18.9	12.5	9.5	7.8	
(7) 人口維持を目標としている	回答数	1	68	23	30	40	46	54	34	3.9
	割合(%)	0.3	23.0	7.8	10.1	13.5	15.5	18.2	11.5	
(8) 今よりは少ない人口の維持を目標としている	回答数	0	50	8	10	21	26	89	92	5
	割合(%)	0.0	16.9	2.7	3.4	7.1	8.8	30.1	31.1	
(9) 人口に関する戦略は、着実に遂行できている	回答数	1	2	7	28	87	100	63	8	4.7
	割合(%)	0.3	0.7	2.4	9.5	29.4	33.8	21.3	2.7	
(10) 人口に関する戦略目標は達成できている	回答数	1	8	17	57	85	92	27	9	4.2
	割合(%)	0.3	2.7	5.7	19.3	28.7	31.1	9.1	3.0	
(11) 住民として子育て世代を増やしたい	回答数	1	0	0	0	13	37	132	113	6.2
	割合(%)	0.3	0.0	0.0	0.0	4.4	12.5	44.6	38.2	
(12) 住民として高齢者を増やしたい	回答数	1	21	42	54	136	38	3	1	3.5
	割合(%)	0.3	7.1	14.2	18.2	45.9	12.8	1.0	0.3	
(13) 住民として単身者を増やしたい	回答数	1	14	20	47	169	37	7	1	3.7
	割合(%)	0.3	4.7	6.8	15.9	57.1	12.5	2.4	0.3	
(14) 住民として20～30歳代を増やしたい	回答数	1	0	0	0	24	42	143	86	6
	割合(%)	0.3	0.0	0.0	0.0	8.1	14.2	48.3	29.1	
(15) 住民として40～50歳代を増やしたい	回答数	1	4	3	12	91	119	53	13	4.8
	割合(%)	0.3	1.4	1.0	4.1	30.7	40.2	17.9	4.4	
(16) 大学や各種学校を中心とした文教的なまちづくりを目指している	回答数	10	15	33	29	90	75	33	11	4.1
	割合(%)	3.4	5.1	11.1	9.8	30.4	25.3	11.1	3.7	
(17) 工業や伝統工芸などを中心としたものづくりのまちを目指している	回答数	10	13	23	23	84	63	62	18	4.5
	割合(%)	3.4	4.4	7.8	7.8	28.4	21.3	20.9	6.1	
(18) 農業・漁業を中心とした食のまちづくりを目指している	回答数	10	17	11	22	69	73	81	13	4.6
	割合(%)	3.4	5.7	3.7	7.4	23.3	24.7	27.4	4.4	
(19) 商業を中心としたまちづくりを目指している	回答数	11	7	12	15	92	97	58	4	4.6
	割合(%)	3.7	2.4	4.1	5.1	31.1	32.8	19.6	1.4	
(20) 観光業を中心としたまちづくりを目指している	回答数	10	6	11	18	62	75	85	29	5
	割合(%)	3.4	2.0	3.7	6.1	20.9	25.3	28.7	9.8	
(21) 各産業ともバランスの取れたまちづくりを目指している	回答数	10	2	4	13	46	94	90	37	5.3
	割合(%)	3.4	0.7	1.4	4.4	15.5	31.8	30.4	12.5	

問2. 貴市(区)における住民ニーズに関する取組について、下記項目の回答として最も良くあてはまるものを、「全くあてはまらない」～「非常にあてはまる」を両極とする7段階の中から1つ選択してください。

		無回答	全くあてはまらない	ほとんどあてはまらない	ややあてはまらない	どちらとも言えない	少しあてはまる	よくあてはまる	非常によくあてはまる	平均点 ※無回答を除く
		—	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	
(1) 多くの事業の目的として、住民の満足度向上を重要視している	回答数	1	1	2	4	22	88	133	45	5.6
	割合(%)	0.3	0.3	0.7	1.4	7.4	29.7	44.9	15.2	
(2) 市(区)は、住民ニーズに向き合う意識が充分か、組織内を定期的にチェックしている	回答数	3	7	17	42	92	83	37	15	4.4
	割合(%)	1.0	2.4	5.7	14.2	31.1	28.0	12.5	5.1	
(3) 住民に喜んでもらうための試みについては、成功や失敗に関わらず、役職や部署を越えて情報交換している	回答数	6	1	24	33	87	88	48	9	4.4
	割合(%)	2.0	0.3	8.1	11.1	29.4	29.7	16.2	3.0	
(4) 住民ニーズに基づいて、中期的な計画を立てている	回答数	1	5	7	9	49	85	106	34	5.2
	割合(%)	0.3	1.7	2.4	3.0	16.6	28.7	35.8	11.5	
(5) 住民の市(区)に対する満足度を、計画的かつ頻繁に測定している	回答数	1	6	24	30	38	89	74	34	4.8
	割合(%)	0.3	2.0	8.1	10.1	12.8	30.1	25.0	11.5	
(6) 住民へのサービス提供が十分なレベルにあるかを定期的に測定している	回答数	3	5	25	30	65	87	58	23	4.6
	割合(%)	1.0	1.7	8.4	10.1	22.0	29.4	19.6	7.8	
(7) 他市区町村と比べて、住民を重視している	回答数	4	3	1	3	165	45	57	18	4.7
	割合(%)	1.4	1.0	0.3	1.0	55.7	15.2	19.3	6.1	
(8) 我々の仕事は、企業や政府のためではなく、住民のためにこそ存在していると強く信じている	回答数	3	1	1	1	33	59	129	69	5.8
	割合(%)	1.0	0.3	0.3	0.3	11.1	19.9	43.6	23.3	
(9) 行政サービスの品質評価のために、年に一度は住民への対面調査をしている	回答数	4	68	70	39	59	29	18	9	3
	割合(%)	1.4	23.0	23.6	13.2	19.9	9.8	6.1	3.0	
(10) 住民の満足度に関するデータは、全職員に定期的に周知される	回答数	1	26	28	24	38	60	73	46	4.6
	割合(%)	0.3	8.8	9.5	8.1	12.8	20.3	24.7	15.5	
(11) 行政サービスの将来動向を予感させるような先端的なサービスを、住民に提供している	回答数	3	26	43	42	126	38	14	4	3.6
	割合(%)	1.0	8.8	14.5	14.2	42.6	12.8	4.7	1.4	
(12) 住民自身も気付いていない新ニーズの発見を継続的に試みている	回答数	3	21	42	44	133	37	14	2	3.6
	割合(%)	1.0	7.1	14.2	14.9	44.9	12.5	4.7	0.7	
(13) 住民自身も正確に表現できないようなニーズの解決策を組み込んだ新サービスを提供するよう心がけている	回答数	3	21	41	42	149	31	7	2	3.5
	割合(%)	1.0	7.1	13.9	14.2	50.3	10.5	2.4	0.7	
(14) 住民の行政サービス利用の在り方について、職員同士で自由な雰囲気アイデア出しを行っている	回答数	3	10	16	29	109	93	29	7	4.3
	割合(%)	1.0	3.4	5.4	9.8	36.8	31.4	9.8	2.4	
(15) たとえ自分たちのサービスを陳腐化させる危険を冒したとしても、革新的な取組を行うようにしている	回答数	3	28	60	38	140	23	3	1	3.3
	割合(%)	1.0	9.5	20.3	12.8	47.3	7.8	1.0	0.3	
(16) 住民が自身のニーズを表現するのに苦労するような点について、新たな行政サービスを探索している	回答数	3	23	33	31	144	48	12	2	3.7
	割合(%)	1.0	7.8	11.1	10.5	48.6	16.2	4.1	0.7	
(17) 将来的なニーズに敏感な先端的問題意識をもった住民とのコミュニケーションを重視している	回答数	5	14	24	20	141	61	27	4	4.1
	割合(%)	1.7	4.7	8.1	6.8	47.6	20.6	9.1	1.4	
(18) 現在の住民の将来的なニーズに関する洞察を得るために、主要トレンドの探索を行っている	回答数	2	13	23	22	124	87	20	5	4.1
	割合(%)	0.7	4.4	7.8	7.4	41.9	29.4	6.8	1.7	

【自治体アンケート】

問3. 貴市(区)における行政事業の在り方について、下記項目の回答として最も良くあてはまるものを、「全くあてはまらない」～「非常にあてはまる」を両極とする7段階の中から1つ選択してください。

		無回答	全くあてはまらない	ほとんどあてはまらない	ややあてはまらない	どちらとも言えない	少しあてはまる	よくあてはまる	非常によくあてはまる	平均点 ※無回答を除く
		—	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	
(1) ユニークで新しく革新性の高い行政サービスの開発を重視している	回答数	1	10	30	34	129	68	20	4	4
	割合(%)	0.3	3.4	10.1	11.5	43.6	23.0	6.8	1.4	
(2) 新サービスを幅広い行政分野において開発することを重視している	回答数	1	6	35	29	143	60	20	2	4
	割合(%)	0.3	2.0	11.8	9.8	48.3	20.3	6.8	0.7	
(3) 他市区町村に先んじて行動することを重視している	回答数	1	8	19	35	119	78	23	13	4.2
	割合(%)	0.3	2.7	6.4	11.8	40.2	26.4	7.8	4.4	
(4) 他市区町村の戦略には、その効果を打ち消すような対抗姿勢で臨む	回答数	2	96	103	42	52	1	0	0	2.2
	割合(%)	0.7	32.4	34.8	14.2	17.6	0.3	0.0	0.0	
(5) 画期的なアイデアの導入では、他市町村に先んじる傾向がある	回答数	1	7	30	41	141	52	20	4	3.9
	割合(%)	0.3	2.4	10.1	13.9	47.6	17.6	6.8	1.4	
(6) 他市区町村よりもハイリスク・ハイリターンプロジェクトを好む傾向がある	回答数	2	45	82	53	101	8	5	0	2.9
	割合(%)	0.7	15.2	27.7	17.9	34.1	2.7	1.7	0.0	
(7) 行政上の目標達成のためには、大胆で広範な行動が必要と考えている	回答数	1	5	18	19	137	77	31	8	4.3
	割合(%)	0.3	1.7	6.1	6.4	46.3	26.0	10.5	2.7	
(8) 新たなテクノロジーの採用を重視している	回答数	1	16	39	27	145	45	18	5	3.8
	割合(%)	0.3	5.4	13.2	9.1	49.0	15.2	6.1	1.7	
(9) 潜在的な住民ニーズや事業所のニーズを発見、充足するためには、大胆でアグレッシブな姿勢で挑む必要があると考えている	回答数	1	8	14	15	130	96	25	7	4.3
	割合(%)	0.3	2.7	4.7	5.1	43.9	32.4	8.4	2.4	
(10) 首長と議会は協力的な関係にある	回答数	1	2	3	5	89	74	103	19	5.1
	割合(%)	0.3	0.7	1.0	1.7	30.1	25.0	34.8	6.4	
(11) 首長は強いリーダーシップを発揮している	回答数	2	0	1	2	45	63	129	54	5.6
	割合(%)	0.7	0.0	0.3	0.7	15.2	21.3	43.6	18.2	
(12) 庁内ではボトムアップで物事が決まる傾向にある	回答数	2	4	22	44	167	48	7	2	3.9
	割合(%)	0.7	1.4	7.4	14.9	56.4	16.2	2.4	0.7	

問4. 近隣の市区町村と比較した貴市(区)の評価について、下記項目の回答として最も良くあてはまるものを、「非常に劣っている」～「非常に優れている」を両極とする7段階の中から1つ選択してください。

		無回答	非常に劣っている	劣っている	やや劣っている	どちらとも言えない	やや優れている	優れている	非常に優れている	平均点 ※無回答を除く
		—	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	
(1) 積極的な投資による新サービスの開発	回答数	4	1	12	36	186	39	15	3	4.1
	割合(%)	1.4	0.3	4.1	12.2	62.8	13.2	5.1	1.0	
(2) 住民ニーズに適応した新サービスの開発	回答数	4	1	1	31	181	54	19	5	4.2
	割合(%)	1.4	0.3	0.3	10.5	61.1	18.2	6.4	1.7	
(3) 他市区町村に先んじた新サービスの開発	回答数	4	1	11	39	162	54	21	4	4.2
	割合(%)	1.4	0.3	3.7	13.2	54.7	18.2	7.1	1.4	
(4) 市(区)の取組や告知に関する住民への広報の計画と実行	回答数	4	2	1	17	168	77	22	5	4.4
	割合(%)	1.4	0.7	0.3	5.7	56.8	26.0	7.4	1.7	
(5) 広報活動の管理と広報媒体作成のスキル	回答数	4	2	3	20	156	72	31	8	4.4
	割合(%)	1.4	0.7	1.0	6.8	52.7	24.3	10.5	2.7	
(6) 新聞、雑誌、テレビ報道等、公的なメディア活用のスキル	回答数	4	3	5	32	163	61	25	3	4.2
	割合(%)	1.4	1.0	1.7	10.8	55.1	20.6	8.4	1.0	

(7) ブランド・イメージを管理するスキルやプロセス	回答数	4	2	5	32	178	57	17	1	4.2
	割合(%)	1.4	0.7	1.7	10.8	60.1	19.3	5.7	0.3	
(8) 政策立案のスキル	回答数	4	1	5	11	206	50	17	2	4.2
	割合(%)	1.4	0.3	1.7	3.7	69.6	16.9	5.7	0.7	
(9) 政策立案における効果的なターゲット設定の能力	回答数	4	2	6	19	206	45	12	2	4.1
	割合(%)	1.4	0.7	2.0	6.4	69.6	15.2	4.1	0.7	
(10) 創造的な政策の開発	回答数	4	2	5	28	201	37	16	3	4.1
	割合(%)	1.4	0.7	1.7	9.5	67.9	12.5	5.4	1.0	
(11) 政策立案プロセスの綿密さ	回答数	4	2	3	21	207	40	16	3	4.2
	割合(%)	1.4	0.7	1.0	7.1	69.9	13.5	5.4	1.0	
(12) 政策実行に必要な資源の効果的な配分	回答数	4	2	3	22	205	41	16	3	4.2
	割合(%)	1.4	0.7	1.0	7.4	69.3	13.9	5.4	1.0	
(13) 政策を効果的に実行するための組織内外の調整	回答数	4	3	3	16	196	54	17	3	4.2
	割合(%)	1.4	1.0	1.0	5.4	66.2	18.2	5.7	1.0	
(14) 政策を実行レベルの行動へ落とし込むこと	回答数	4	2	3	17	206	47	15	2	4.2
	割合(%)	1.4	0.7	1.0	5.7	69.6	15.9	5.1	0.7	
(15) 政策の速やかな実行	回答数	4	2	3	19	190	51	21	6	4.3
	割合(%)	1.4	0.7	1.0	6.4	64.2	17.2	7.1	2.0	
(16) 地域住民の交流機会の提供	回答数	4	2	1	8	171	69	35	6	4.5
	割合(%)	1.4	0.7	0.3	2.7	57.8	23.3	11.8	2.0	
(17) 福祉サービスの充実	回答数	4	2	0	4	147	85	49	5	4.6
	割合(%)	1.4	0.7	0.0	1.4	49.7	28.7	16.6	1.7	
(18) 医療サービスの充実	回答数	4	3	1	14	151	68	50	5	4.5
	割合(%)	1.4	1.0	0.3	4.7	51.0	23.0	16.9	1.7	
(19) 子育て支援の充実	回答数	4	2	0	4	90	97	83	16	5
	割合(%)	1.4	0.7	0.0	1.4	30.4	32.8	28.0	5.4	
(20) 高齢者支援の充実	回答数	4	2	0	2	144	93	46	5	4.7
	割合(%)	1.4	0.7	0.0	0.7	48.6	31.4	15.5	1.7	
(21) 初等教育に関する独自の支援	回答数	4	2	1	4	154	82	42	7	4.6
	割合(%)	1.4	0.7	0.3	1.4	52.0	27.7	14.2	2.4	
(22) 文化施設の充実	回答数	4	2	4	18	139	73	46	10	4.6
	割合(%)	1.4	0.7	1.4	6.1	47.0	24.7	15.5	3.4	
(23) スポーツ施設の充実	回答数	4	2	3	17	132	84	43	11	4.6
	割合(%)	1.4	0.7	1.0	5.7	44.6	28.4	14.5	3.7	
(24) 公共交通の充実	回答数	3	3	14	33	132	66	35	10	4.3
	割合(%)	1.0	1.0	4.7	11.1	44.6	22.3	11.8	3.4	
(25) 自然を活かした職住環境	回答数	3	4	1	15	158	64	43	8	4.5
	割合(%)	1.0	1.4	0.3	5.1	53.4	21.6	14.5	2.7	
(26) 商業振興のための政策やサービスの充実	回答数	4	2	4	19	161	76	25	5	4.4
	割合(%)	1.4	0.7	1.4	6.4	54.4	25.7	8.4	1.7	
(27) 事業所数を増やすための政策やサービスの充実	回答数	5	2	6	19	156	74	28	6	4.4
	割合(%)	1.7	0.7	2.0	6.4	52.7	25.0	9.5	2.0	
(28) 市外(区外)からの投資を促進する政策やサービスの充実	回答数	5	3	6	27	178	57	16	4	4.2
	割合(%)	1.7	1.0	2.0	9.1	60.1	19.3	5.4	1.4	

【自治体アンケート】

問5. 貴市(区)に関する地域のブランディングについて、下記項目の回答として最も良くあてはまるものを、「全くあてはまらない」～「非常にあてはまる」を両極とする7段階の中から1つ選択してください。

		無回答	全くあてはまらない	ほとんどあてはまらない	ややあてはまらない	どちらとも言えない	少しあてはまる	よくあてはまる	非常によくあてはまる	平均点 ※無回答を除く
		—	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	
(1) 地域のブランディングは、市(区)におけるマーケティング上のあらゆる行動の基本となっている	回答数	0	8	22	42	121	66	30	7	4.1
	割合(%)	0.0	2.7	7.4	14.2	40.9	22.3	10.1	2.4	
(2) 地域のブランディングは、市(区)の行政経営戦略において不可欠である	回答数	0	4	7	12	76	97	82	18	4.9
	割合(%)	0.0	1.4	2.4	4.1	25.7	32.8	27.7	6.1	
(3) 長期的なブランド計画は、市(区)の将来にとって重要である	回答数	1	3	3	2	42	112	104	29	5.3
	割合(%)	0.3	1.0	1.0	0.7	14.2	37.8	35.1	9.8	
(4) ブランドは、市(区)にとって行政経営の重要な資産である	回答数	2	3	5	2	44	109	107	24	5.3
	割合(%)	0.7	1.0	1.7	0.7	14.9	36.8	36.1	8.1	
(5) 全職員が、ブランディングを行政上の重要課題と考えている	回答数	1	6	30	53	132	53	17	4	3.9
	割合(%)	0.3	2.0	10.1	17.9	44.6	17.9	5.7	1.4	
(6) 市(区)では、地域の明確なブランドコンセプトを設定している	回答数	0	9	14	31	90	74	56	22	4.6
	割合(%)	0.0	3.0	4.7	10.5	30.4	25.0	18.9	7.4	
(7) 市(区)では、地域固有の特性を備えたブランディングを行っている	回答数	1	6	12	16	71	105	56	29	4.8
	割合(%)	0.3	2.0	4.1	5.4	24.0	35.5	18.9	9.8	
(8) 地域が持つイメージの活用を重視したブランディングを行っている	回答数	1	7	11	16	64	115	57	25	4.8
	割合(%)	0.3	2.4	3.7	5.4	21.6	38.9	19.3	8.4	
(9) 地域の自然、歴史、生活に関連した独自のストーリー性があるブランディングを行っている	回答数	1	6	16	17	74	107	52	23	4.7
	割合(%)	0.3	2.0	5.4	5.7	25.0	36.1	17.6	7.8	
(10) ブランディングを実行するための人手を確保するのが難しい	回答数	1	4	3	9	92	109	64	14	4.9
	割合(%)	0.3	1.4	1.0	3.0	31.1	36.8	21.6	4.7	
(11) ブランディングはしたいが、何から始めて良いか分からない	回答数	2	14	20	44	117	73	22	4	4
	割合(%)	0.7	4.7	6.8	14.9	39.5	24.7	7.4	1.4	
(12) ブランディングに関するアドバイスをくれる外部の人がいる	回答数	3	16	33	36	82	71	44	11	4.1
	割合(%)	1.0	5.4	11.1	12.2	27.7	24.0	14.9	3.7	
(13) ブランディングに役立つ経験を持った人物が市(区)役所内にいる	回答数	2	23	37	50	128	38	15	3	3.6
	割合(%)	0.7	7.8	12.5	16.9	43.2	12.8	5.1	1.0	
(14) ブランディングに関する予算計上は難しい	回答数	1	12	16	40	152	49	20	6	4
	割合(%)	0.3	4.1	5.4	13.5	51.4	16.6	6.8	2.0	
(15) ブランディングのために時間を割くことが難しい	回答数	2	11	19	46	154	48	14	2	3.9
	割合(%)	0.7	3.7	6.4	15.5	52.0	16.2	4.7	0.7	
(16) 他市区町村とは明確に異なるブランド・ポジションを形成している	回答数	1	5	23	24	128	67	35	13	4.3
	割合(%)	0.3	1.7	7.8	8.1	43.2	22.6	11.8	4.4	
(17) 住民は、市(区)に対して、市(区)の狙い通りのブランド・イメージを持っている	回答数	2	8	15	30	148	68	21	4	4.1
	割合(%)	0.7	2.7	5.1	10.1	50.0	23.0	7.1	1.4	
(18) 住民は、市(区)のブランド・イメージに対する強い愛着を持っている	回答数	2	5	14	29	145	73	21	7	4.2
	割合(%)	0.7	1.7	4.7	9.8	49.0	24.7	7.1	2.4	
(19) 他市区町村と比べて、高級なブランド・イメージが定着している	回答数	2	19	53	56	134	17	12	3	3.4
	割合(%)	0.7	6.4	17.9	18.9	45.3	5.7	4.1	1.0	
(20) 他市区町村と比べて、高い知名度を得ている	回答数	3	7	40	44	106	52	31	13	4
	割合(%)	1.0	2.4	13.5	14.9	35.8	17.6	10.5	4.4	

(21) 他市区町村と比べて、より多くの住民獲得を実現している	回答数	4	13	38	47	121	57	9	7	3.8
	割合(%)	1.4	4.4	12.8	15.9	40.9	19.3	3.0	2.4	
(22) 他市区町村と比べて、より多くの観光客獲得を実現している	回答数	3	9	32	54	111	48	22	17	4
	割合(%)	1.0	3.0	10.8	18.2	37.5	16.2	7.4	5.7	
(23) 地域のブランディングに関する明確な戦略目標を設定している	回答数	1	13	25	32	107	67	32	19	4.2
	割合(%)	0.3	4.4	8.4	10.8	36.1	22.6	10.8	6.4	
(24) 地域のブランディングに関する戦略目標は達成されている	回答数	1	16	37	42	146	45	7	2	3.7
	割合(%)	0.3	5.4	12.5	14.2	49.3	15.2	2.4	0.7	

問6. 貴市(区)における職員の学びについて、下記項目の回答として最も良くあてはまるものを、「全くあてはまらない」～「非常にあてはまる」を両極とする7段階の中から1つ選択してください。

		無回答	全くあてはまらない	ほとんどあてはまらない	ややあてはまらない	どちらとも言えない	少しあてはまる	よくあてはまる	非常によくあてはまる	平均点 ※無回答を除く
		—	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	
(1) 管理職の職員は、重要な意思決定プロセスに一般職員もよく参加させる	回答数	1	3	15	27	109	100	35	6	4.4
	割合(%)	0.3	1.0	5.1	9.1	36.8	33.8	11.8	2.0	
(2) 職員が学ぶことは、投資というよりも、費用としてみなされる	回答数	0	20	47	72	129	18	9	1	3.4
	割合(%)	0.0	6.8	15.9	24.3	43.6	6.1	3.0	0.3	
(3) 管理職の職員は、新しい状況に前向きに適応するための変化に対して好意的であると思う	回答数	1	2	5	25	124	95	42	2	4.5
	割合(%)	0.3	0.7	1.7	8.4	41.9	32.1	14.2	0.7	
(4) 市(区)役所においては、職員の学習能力は組織にとって最も重要な要素だと考えられている	回答数	1	1	3	14	64	114	85	14	5
	割合(%)	0.3	0.3	1.0	4.7	21.6	38.5	28.7	4.7	
(5) 斬新なアイデアで成果をあげた職員が報われる仕組みがある	回答数	0	11	33	30	78	99	39	6	4.2
	割合(%)	0.0	3.7	11.1	10.1	26.4	33.4	13.2	2.0	
(6) 全職員は市(区)の目的を遂行するのに必要な知識を共有している	回答数	2	2	12	43	134	77	22	4	4.2
	割合(%)	0.7	0.7	4.1	14.5	45.3	26.0	7.4	1.4	
(7) 市(区)役所の組織を構成する全ての部局、課、プロジェクトチーム、個人は、全体の目標を達成するためにどう貢献するかを意識している	回答数	1	1	11	31	117	84	44	7	4.5
	割合(%)	0.3	0.3	3.7	10.5	39.5	28.4	14.9	2.4	
(8) 市(区)役所の組織を構成する全ての部局、課、プロジェクトチーム、個人は、お互いを良く知り、連携しながら協働している	回答数	1	1	8	29	116	96	39	6	4.5
	割合(%)	0.3	0.3	2.7	9.8	39.2	32.4	13.2	2.0	
(9) 市(区)役所では、仕事のプロセスを改善するために、実験的な試みや革新的な取組を推進している	回答数	0	3	15	40	109	101	26	2	4.3
	割合(%)	0.0	1.0	5.1	13.5	36.8	34.1	8.8	0.7	
(10) 市(区)役所では、他市区町村の動向を注視しており、その中から有益な取組や手法を取り入れている	回答数	0	2	5	6	60	154	60	9	4.9
	割合(%)	0.0	0.7	1.7	2.0	20.3	52.0	20.3	3.0	
(11) コンサルタント、職員研修、住民などの市(区)役所の外部から提供される経験やアイデアは、役所にとって学習の有効な手段となっている	回答数	0	1	4	7	65	130	76	13	5
	割合(%)	0.0	0.3	1.4	2.4	22.0	43.9	25.7	4.4	
(12) 仕事現場での業務の進め方について、職員が意見や提案を行うことは組織文化となっている	回答数	1	2	13	33	119	91	30	7	4.4
	割合(%)	0.3	0.7	4.4	11.1	40.2	30.7	10.1	2.4	
(13) 市(区)役所内においては、どのような職位にあっても、誤りや失敗についてはいつも議論と分析が行われる	回答数	1	3	16	42	142	66	22	4	4.1
	割合(%)	0.3	1.0	5.4	14.2	48.0	22.3	7.4	1.4	
(14) 市(区)役所にとって有益だと考えられる新しいアイデア、プログラム、行動について職員同士で話すことが良くある	回答数	1	1	5	18	109	127	32	3	4.6
	割合(%)	0.3	0.3	1.7	6.1	36.8	42.9	10.8	1.0	
(15) 市(区)役所内において、チームワークを発揮して働くことはあまりない	回答数	1	25	87	99	70	9	5	0	2.9
	割合(%)	0.3	8.4	29.4	33.4	23.6	3.0	1.7	0.0	
(16) 職員に入れ替わりがあっても、過去に組織として学んだことを有効に維持するための手段(マニュアル、データベース、ファイル、仕事の進め方の決まり事)が存在している	回答数	1	1	3	23	70	121	69	8	4.9
	割合(%)	0.3	0.3	1.0	7.8	23.6	40.9	23.3	2.7	

【自治体アンケート】

問7. 貴市(区)における下記項目に関する過去5年間の成長はどのようなものですか？回答として最も良くあてはまるものを、「非常に縮小している」～「非常に伸びている」を両極とする7段階の中から1つ選択してください。

		無回答	非常に縮小している	縮小している	やや縮小している	どちらとも言えない	やや伸びている	伸びている	非常に伸びている	平均点 ※無回答を除く
		—	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	
(1) 税込	回答数	1	0	27	64	85	83	36	0	4.1
	割合(%)	0.3	0.0	9.1	21.6	28.7	28.0	12.2	0.0	
(2) 新規住民の数	回答数	1	1	38	78	66	75	32	5	4
	割合(%)	0.3	0.3	12.8	26.4	22.3	25.3	10.8	1.7	
(3) 観光客数	回答数	4	0	6	33	80	105	58	10	4.7
	割合(%)	1.4	0.0	2.0	11.1	27.0	35.5	19.6	3.4	
(4) 住民の満足度	回答数	1	1	1	10	190	79	13	1	4.3
	割合(%)	0.3	0.3	0.3	3.4	64.2	26.7	4.4	0.3	
(5) 市外(区外)からの投資	回答数	3	1	3	12	191	63	20	3	4.3
	割合(%)	1.0	0.3	1.0	4.1	64.5	21.3	6.8	1.0	
(6) 事業所の新規開設	回答数	5	0	15	45	123	80	27	1	4.2
	割合(%)	1.7	0.0	5.1	15.2	41.6	27.0	9.1	0.3	

小樽市人口減少問題共同研究 市民アンケート調査

アンケート調査にご協力をお願いいたします。

小樽市は、昭和 39 年の 20 万人をピークに人口減少を続け、近年では年間 2 千人程度の減少となっており、平成 29 年 5 月には 12 万人を下回るなど、人口減少が続いております。

この状況に歯止めをかけるべく、この度、小樽市と小樽商科大学との共同研究チーム「小樽市人口減少問題研究会」を立ち上げ、小樽市の人口減少問題の根本原因を科学的な手法を用いて探り、解決に向けた対応策を検討することとしました。

そこで、小樽市にお住まいの方々のお仕事や家族構成、小樽市の公共サービスについての満足度などが、定住（移住）志向にどのように影響しているのかを分析し、今後の小樽市の人口減少対策に活かすために、アンケート調査を実施することといたしました。

日々のお仕事や子育てなどでお忙しいなかご負担をおかけいたしますが、小樽市の人口減少に対する方策を検討するうえで重要な資料となるアンケートですので、ぜひ、ご協力くださいますよう、お願いいたします。

平成 30 年 1 月

小樽市長 森井 秀明

小樽市人口減少問題研究会 代表 江頭 進（小樽商科大学副学長）

- この調査は、小樽市内にお住まいの 18 歳以上の方から層化抽出法により抽出し、調査票をお送りしております。
- 平成 30 年 1 月 1 日現在の状況について、回答をお願いいたします。
- 本アンケートの回答については、小樽市人口減少の要因分析や人口減少対策の策定及び統計的分析と学術研究以外には使用せず、本人の同意無く第三者に開示・提供することはありません。また、研究成果を公表する場合には、個票データの公表は行いません。
- ご記入が済んだ調査票は、**1月31日(水)まで**に、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、郵便ポストにご投函ください。

■ このアンケート調査に関するお問合せ先 ■

小樽市総務部企画政策室 人口対策担当

電話：32-4111 内線 404（月曜日～金曜日 8：50～17：20）

1 あなた自身について

① あなたの性別について、次の中からどちらか一つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 男性 2. 女性

② あなたの年齢について、次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代
6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上

③ あなたのお住まいはどちらですか。町名をお書きください。

(例：花園、新光町など。丁目や番地は不要です。)


小樽市 _____

④ あなたの小樽市での居住年数をお書きください。

_____ 年 _____ 月

④-2 居住経過

次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 市内の生まれで、ずっと市内に住んでいる。  ⑤ へお進みください。
2. 市内の生まれで、道内の他市町村に住んだあと市内に帰ってきた
3. 市内の生まれで、道外に住んだあと市内に帰ってきた
4. 道内の他市町村の生まれである
5. 道外の生まれである

④-3 転入理由

「④-2」で「2」～「5」を選んだ方のみお答えください。

小樽市に帰ってきた、または転入してきた理由について、次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 卒業・進学・就職をきっかけに転入してきた
2. 転勤・転職・起業をきっかけに転入してきた
3. 結婚、離婚をきっかけに転入してきた
4. 親の介護など、家族・親族の世話をするために転入してきた
5. 勤め先などが変わったわけではないが、新しい住居や環境を求めて転入してきた
6. その他 (_____)

⑤ あなたの学歴についてお答えください。次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 中学校卒業 2. 高等学校卒業
3. 短期大学・専門学校卒業 4. 大学卒業
5. 大学院修了 6. その他 (_____)

⑥ あなたの、おおよその税込年間収入について、次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。年金がある方は、その分も加算してください。

- | | | |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. 0円 | 2. 1円～100万円 | 3. 101～200万円 |
| 4. 201～300万円 | 5. 301～400万円 | 6. 401～500万円 |
| 7. 501～600万円 | 8. 601～700万円 | 9. 701～800万円 |
| 10. 801～900万円 | 11. 901～1000万円 | 12. 1000万円超 |

⑦ あなたの職業についてお答えください。次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。(複数ある場合は、主なものを一つ選んでください。)

1. 自営業
 2. 会社員(正規雇用:期限の定めのない雇用)
 3. 会社員(フルタイムかつ非正規雇用:期限の定めのある雇用)
 4. 公務員・団体職員・教職員(正規雇用:期限の定めのない雇用)
 5. 公務員・団体職員・教職員(フルタイムかつ非正規雇用:期限の定めのある雇用)
 6. パートタイム・アルバイト
 7. 学生
 8. 専業主婦・主夫
 9. 無職
 10. その他()
- ⇒ 次ページ下段 ⑧ へお進みください。

⑦-2 勤務先等の所在

「⑦」で「1」～「7」、「10」を選んだ方のみお答えください。

主な勤務地(学生の場合は学校所在地)をお書きください。
(例:小樽市花園、札幌市中央区など。丁目や番地は不要です。)

_____市・町・村_____

→ 学生の方は次ページ下段 ⑧ へお進みください。

⑦-3 あなたがお勤めしている業種についてお答えください。次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。(複数ある場合は、主なものを一つ選んでください。)

1. 事務職(企業・官公庁における一般事務、経理など)
2. 販売職(小売り・卸売り店主、店員、不動産売買、外勤のセールスなど)
3. サービス業(理容・美容師、料理人、ウェイトレス、ホームヘルパーなど)
4. 生産現場職・技能職(製品製造・組み立て、自動車整備、建設作業委員、大工など)
5. 運輸(トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達など)
6. 保安職(警察官、消防院、自衛官など)
7. 専門職・技術職(医師、看護師、弁護士、教師、技術者など)
8. 管理職(企業・官公庁における課長以上、議員、経営者など)
9. 農林水産業
10. その他()

⑦-4 現在就業している場合、勤続年数をお書きください。

_____年

1 あなた自身について

⑦-5 現在の**仕事の満足度**などについて、以下のすべての項目について、当てはまるものを一つ選び、1～5のいずれかの番号に○印をつけてください。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも言えない	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない
今の仕事にやりがいを感じる	1	2	3	4	5
収入に満足している	1	2	3	4	5
収入が安定している	1	2	3	4	5
職場の人間関係に満足している	1	2	3	4	5
転職したい	1	2	3	4	5

⑦-6 現在の職場に、**定年制度**はありますか。次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

1. ない
2. ある [定年年齢は59歳以下]
3. ある [定年年齢は60歳]
4. ある [定年年齢は61歳～65歳]
5. ある [定年年齢は66歳以上]
6. わからない

⑦-7 定年制度が無かった場合、**何歳まで働きたい**と思いますか。下に働きたいと思う年齢をお書きください。

_____歳まで働きたい

⑧ **小樽市以外でのお住まい**について、次の中から当てはまるものをそれぞれ一つ選び、番号に○印をつけてください。

1) 小樽市以外の**北海道内**に、1年以上居住していたことはありますか。

1. ある
2. ない

2) 北海道以外の**国内**に、1年以上居住していたことはありますか。

1. ある
2. ない

3) **海外**に、1年以上居住していたことはありますか。

1. ある
2. ない

4) あなたが**中学生生活を過ごした主な場所**はどこですか。

1. 小樽市
2. 札幌市
3. 小樽市・札幌市以外の北海道内
4. 東北
5. 関東
6. それ以外の国内
7. 海外

- ◎ これからの住まいについて、あなたは、今後も小樽市に住み続けたいと思いますか。
次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 今後も住み続けたい
2. 小樽市外に転出したい

◎-2 居住・転出希望理由


住み続けたい、転出したいと思う理由について、以下のすべての項目について、当てはまるものを一つ選び、1～5のいずれかの番号に○印をつけてください。

	とても 当てはまる	まあ 当てはまる	どちらとも 言えない	あまり 当てはまらない	まったく 当てはまらない
小樽市に愛着があるから	1	2	3	4	5
仕事や就学のため	1	2	3	4	5
子どもの教育のため	1	2	3	4	5
家賃や地代などが安い から	1	2	3	4	5
買い物など日常生活が 便利だから	1	2	3	4	5
医療・福祉の面が整って いるから	1	2	3	4	5
自然環境に恵まれている から	1	2	3	4	5
歴史・文化が豊かだから	1	2	3	4	5
交通の便が良いから	1	2	3	4	5
災害や治安の面で安心 だから	1	2	3	4	5
人情味にあふれている から	1	2	3	4	5
食べ物が新鮮でおいしい から	1	2	3	4	5
楽しむ場所や機会が充実 しているから	1	2	3	4	5
他のまちより行政サービス が充実しているから	1	2	3	4	5

1 あなた自身について

㊟-3 市外転出予定

近い将来（5年以内くらい）に、小樽市から転出する予定はありますか。次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

1. ない  ㊟-5 にお進みください。

- 2. ある [札幌市]へ
- 3. ある [札幌市以外の北海道内]へ
- 4. ある [東北]へ
- 5. ある [関東]へ
- 6. ある [それ以外の国内]へ
- 7. ある [海外]へ
- 8. ある [転出先は未定]

㊟-4 転出理由

「㊟-3」で「**2~8**」を選んだ方のみにお聞きします。

転出する理由について、次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

- 1. あなた自身の仕事のため
- 2. あなた自身の就学のため
- 3. あなた自身の趣味のため
- 4. 配偶者・パートナーとの同居のため
- 5. 配偶者・パートナーの仕事のため
- 6. 子どもの就学のため
- 7. 親の介護のため
- 8. 居住環境を変えたいため
- 9. その他（）

㊟-5 皆さんにお聞きします。

小樽市にこれからも住みたい、または住み続けたくない理由をお書きください。

2 配偶者・パートナーについて

あなたに、配偶者・パートナーはいらっしゃいますか。次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

1. いる
2. いない

9ページ 3 へお進みください。

① 配偶者・パートナーの**年齢**について、次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 10 歳代
2. 20 歳代
3. 30 歳代
4. 40 歳代
5. 50 歳代
6. 60 歳代
7. 70 歳代
8. 80 歳以上

② 配偶者・パートナーの**学歴**についてお答えください。次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 中学校卒業
2. 高等学校卒業
3. 短期大学・専門学校卒業
4. 大学卒業
5. 大学院修了
6. その他 ()

③ 配偶者・パートナーの**職業**についてお答えください。次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。(複数ある場合は、主なものを一つ選んでください。)

1. 自営業
2. 会社員(正規雇用:期限の定めのない雇用)
3. 会社員(フルタイムかつ非正規雇用:期限の定めのある雇用)
4. 公務員・団体職員・教職員(正規雇用:期限の定めのない雇用)
5. 公務員・団体職員・教職員(フルタイムかつ非正規雇用:期限の定めのある雇用)
6. パートタイム・アルバイト
7. 学生
8. 専業主婦・主夫
9. 無職
10. その他 ()

次ページ ③-5 へお進みください。

③-2 勤務先等の所在

「③」で、「1」～「7」「10」を選んだ方のみお答えください。

主な勤務地(学生の場合は学校所在地)をお書きください。

(例:小樽市花園、札幌市中央区など)

_____市・町・村_____

→ 学生の方は次ページ中段 ④ へお進みください。

2 配偶者・パートナーについて

③-3 配偶者・パートナーのお勤めしている**業種**についてお答えください。次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。(複数ある場合は、主なものを一つ選んでください。)

1. 事務職（企業・官公庁における一般事務、経理など）
2. 販売職（小売り・卸売り店主、店員、不動産売買、外勤のセールスなど）
3. サービス業（理容・美容師、料理人、ウェイトレス、ホームヘルパーなど）
4. 生産現場職・技能職（製品製造・組み立て、自動車整備、建設作業委員、大工など）
5. 運輸（トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達など）
6. 保安職（警察官、消防院、自衛官など）
7. 専門職・技術職（医師、看護師、弁護士、教師、技術者など）
8. 管理職（企業・官公庁における課長以上、議員、経営者など）
9. 農林水産業
10. その他（）

③-4 配偶者・パートナーが就業している場合、**勤続年数**をお書きください。

_____年

③-5 配偶者・パートナーの、おおよその税込**年間収入**について、次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。年金がある方は、その分も加算してください。

- | | | |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. 0円 | 2. 1円～100万円 | 3. 101～200万円 |
| 4. 201～300万円 | 5. 301～400万円 | 6. 401～500万円 |
| 7. 501～600万円 | 8. 601～700万円 | 9. 701～800万円 |
| 10. 801～900万円 | 11. 901～1000万円 | 12. 1000万円超 |

④ 配偶者・パートナーの方は、あなたと**同居**していますか。次の中から当てはまるものを一つ選び、同居していない場合は、お住まいの都道府県をお書きください。

1. 同居している
2. 同居していない（お住まいの都道府県：）

⑤ 配偶者・パートナーの方の**小樽市以外でのお住まい**について、次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

1) 小樽市以外の**北海道内**に、1年以上居住していたことはありますか。

1. ある
2. ない
3. わからない

2) 北海道以外の**国内**に、1年以上居住していたことはありますか。

1. ある
2. ない
3. わからない

3) **海外**に、1年以上居住していたことはありますか。

1. ある
2. ない
3. わからない

4) **中学生生活を過ごした主な場所**はどこですか。

- | | | |
|--------|----------|-------------------|
| 1. 小樽市 | 2. 札幌市 | 3. 小樽市・札幌市以外の北海道内 |
| 4. 東北 | 5. 関東 | 6. それ以外の国内 |
| 7. 海外 | 8. わからない | |

3 同居のご家族について

あなたに、配偶者・パートナー以外の同居のご家族はいらっしゃいますか。次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

1. いる
 2. いない 11 ページ 4 へお進みください。

① 同居されている子どもはいますか。次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印を付け、いる場合は人数をお書きください。

1. いる (_____ 人)
 2. いない ➡ 次ページ ② へお進みください。

①-2 同居の子どもの性別・年齢について、次の中から当てはまるものをそれぞれ一つずつ選び、番号に○印をつけてください。

	性別		年齢					
	男	女	5歳以下	6歳～9歳	10代	20代	30代	40歳以上
同居の子ども[1]	1	2	1	2	3	4	5	6
同居の子ども[2]	1	2	1	2	3	4	5	6
同居の子ども[3]	1	2	1	2	3	4	5	6
同居の子ども[4]	1	2	1	2	3	4	5	6
同居の子ども[5]	1	2	1	2	3	4	5	6

注) 年上の方から5名についてご記入ください。

①-3 同居の子どもの就学・就職について、次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

	乳幼児	幼稚園 保育園	小学校	中学校	高校	短大 専門学校	大学 大学院	就職	無職
同居の子ども[1]	1	2	3	4	5	6	7	8	9
同居の子ども[2]	1	2	3	4	5	6	7	8	9
同居の子ども[3]	1	2	3	4	5	6	7	8	9
同居の子ども[4]	1	2	3	4	5	6	7	8	9
同居の子ども[5]	1	2	3	4	5	6	7	8	9

注) 年上の方から5名についてご記入ください。

3 同居のご家族について

①-4 同居の子どもの**結婚経験**の有無、現時点における**配偶者**の有無について、次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

	結婚経験なし	結婚経験あり・ 配偶者あり	結婚経験あり・ 配偶者なし	結婚経験あり・ 配偶者不明	わからない
同居の子ども[1]	1	2	3	4	5
同居の子ども[2]	1	2	3	4	5
同居の子ども[3]	1	2	3	4	5
同居の子ども[4]	1	2	3	4	5
同居の子ども[5]	1	2	3	4	5

注) 年上の方から5名についてご記入ください。

② 同居のご両親などはいらっしゃいますか。次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印を付け、いる場合は人数をお書きください。

1. いる (_____ 人)
 2. いない → ③へお進みください。

②-2 同居のご両親などの**就業などの状況**について、次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

	フルタイム就業	パートタイム就業	無職	要介護
あなたの父親	1	2	3	4
あなたの母親	1	2	3	4
配偶者の父親	1	2	3	4
配偶者の母親	1	2	3	4
その他の方[1]	1	2	3	4
その他の方[2]	1	2	3	4
その他の方[3]	1	2	3	4

注) 「その他の方」は、長く同居されている方から3名についてご記入ください。

③ (あなた自身と配偶者・パートナー以外の) 同居のご家族のおおよその**税込年間収入(合計額)**について、次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。年金がある方は、その分も加算してください。

- | | | |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. 0円 | 2. 1円～100万円 | 3. 101～200万円 |
| 4. 201～300万円 | 5. 301～400万円 | 6. 401～500万円 |
| 7. 501～600万円 | 8. 601～700万円 | 9. 701～800万円 |
| 10. 801～900万円 | 11. 901～1000万円 | 12. 1000万円超 |

4 別居の家族について

生計を一にする配偶者以外の家族の方^(※)で、別居されている方はいらっしゃいますか。次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印を付け、いる場合は人数をお書きください。

※：遠方の大学に通う子どもや生活費の多くを定期的に支援してくれる両親、あるいはあなたが支援している年老いた両親、別居の配偶者と一緒に暮らす子どもなど。
経済的に独立している方は含みません。

1. いる (_____ 人)
 2. いない 15 ページ 5 へお進みください。

① 別居のご家族(経済的に独立している方を除きます。)のうち、あなたの子どもはいらっしゃいますか。次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印を付け、いる場合は人数をお書きください。

1. いる (_____ 人)
 2. いない ➡ 次ページ中段 ② へお進みください。

①-2 別居の子どもの性別・年齢について、次の中から当てはまるものをそれぞれ一つずつ選び、番号に○印をつけてください。

	性別		年齢					
	男	女	5歳以下	6歳～9歳	10代	20代	30代	40歳以上
別居の子ども[1]	1	2	1	2	3	4	5	6
別居の子ども[2]	1	2	1	2	3	4	5	6
別居の子ども[3]	1	2	1	2	3	4	5	6
別居の子ども[4]	1	2	1	2	3	4	5	6
別居の子ども[5]	1	2	1	2	3	4	5	6

注) 年上の方から5名についてご記入ください。

①-3 別居の子どもの居住地について、次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

	小樽市	札幌市	小樽市 札幌市 以外の道内	東北	関東	左記以外 の国内	海外
別居の子ども[1]	1	2	3	4	5	6	7
別居の子ども[2]	1	2	3	4	5	6	7
別居の子ども[3]	1	2	3	4	5	6	7
別居の子ども[4]	1	2	3	4	5	6	7
別居の子ども[5]	1	2	3	4	5	6	7

注) 年上の方から5名についてご記入ください。

4 別居の家族について

①-4 別居の子どもの**就学・就職**について、次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

	乳幼児	幼稚園 保育園	小学校	中学校	高校	短大 専門学校	大学 大学院	就職	無職
別居の子ども[1]	1	2	3	4	5	6	7	8	9
別居の子ども[2]	1	2	3	4	5	6	7	8	9
別居の子ども[3]	1	2	3	4	5	6	7	8	9
別居の子ども[4]	1	2	3	4	5	6	7	8	9
別居の子ども[5]	1	2	3	4	5	6	7	8	9

注) 年上の方から5名についてご記入ください。

①-5 別居の子どもの**結婚経験**の有無、現時点における**配偶者**の有無について、次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

	結婚経験なし	結婚経験あり・ 配偶者あり	結婚経験あり・ 配偶者なし	結婚経験あり・ 配偶者不明	わからない
別居の子ども[1]	1	2	3	4	5
別居の子ども[2]	1	2	3	4	5
別居の子ども[3]	1	2	3	4	5
別居の子ども[4]	1	2	3	4	5
別居の子ども[5]	1	2	3	4	5

注) 年上の方から5名についてご記入ください。

② **別居のご家族**（経済的に独立している方を除きます。）のうち、**あなたの子ども以外**の方はいらっしゃいますか。次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印を付け、いる場合は人数をお書きください。

1. いる (_____ 人)
 2. いない → 次ページ ③ へお進みください。

②-2 子ども以外の生計を一にする別居のご家族などの**就業などの状況**について、次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

	フルタイム就業	パートタイム就業	無職	要介護
あなたの父親	1	2	3	4
あなたの母親	1	2	3	4
配偶者の父親	1	2	3	4
配偶者の母親	1	2	3	4
その他の方[1]	1	2	3	4
その他の方[2]	1	2	3	4
その他の方[3]	1	2	3	4

注) 「その他の方」は、長く同居されている方から3名についてご記入ください。

③ (あなたの配偶者・パートナー以外の) 生計を一にする別居のご家族のおおよその税込年間収入(合計額)について、次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。年金がある方は、その分も加算してください。

- | | | |
|---------------|----------------|--------------|
| 1. 0円 | 2. 1円~100万円 | 3. 101~200万円 |
| 4. 201~300万円 | 5. 301~400万円 | 6. 401~500万円 |
| 7. 501~600万円 | 8. 601~700万円 | 9. 701~800万円 |
| 10. 801~900万円 | 11. 901~1000万円 | 12. 1000万円超 |

④ 経済的に独立している子どもはいらっしゃいますか。次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印を付け、いる場合は人数をお書きください。

1. いる (人)
 2. いない
- 15ページ 5 へお進みください。

④-2 経済的に独立している子どもの性別・年齢について、次の中から当てはまるものをそれぞれ一つずつ選び、番号に○印をつけてください。

	性別		年齢			
	男	女	10代	20代	30代	40代以上
独立した子ども[1]	1	2	1	2	3	4
独立した子ども[2]	1	2	1	2	3	4
独立した子ども[3]	1	2	1	2	3	4
独立した子ども[4]	1	2	1	2	3	4
独立した子ども[5]	1	2	1	2	3	4

注) 年上の方から5名についてご記入ください。

④-3 経済的に独立している子どもの居住地について、次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

	小樽市	札幌市	小樽市 札幌市 以外の道内	東北	関東	左記以外 の国内	海外
独立した子ども[1]	1	2	3	4	5	6	7
独立した子ども[2]	1	2	3	4	5	6	7
独立した子ども[3]	1	2	3	4	5	6	7
独立した子ども[4]	1	2	3	4	5	6	7
独立した子ども[5]	1	2	3	4	5	6	7

注) 年上の方から5名についてご記入ください。

4 別居の家族について

④-4 経済的に独立している子どもの**学歴**について、次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

	中学校卒業	高校卒業	短大・専門 学校卒業	大学卒業	大学院修了
独立した子ども[1]	1	2	3	4	5
独立した子ども[2]	1	2	3	4	5
独立した子ども[3]	1	2	3	4	5
独立した子ども[4]	1	2	3	4	5
独立した子ども[5]	1	2	3	4	5

注) 年上の方から5名についてご記入ください。

④-5 経済的に独立している子どもの**結婚経験**の有無、現時点における**配偶者**の有無について、次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

	結婚経験なし	結婚経験あり・ 配偶者あり	結婚経験あり・ 配偶者なし	結婚経験あり・ 配偶者不明	わからない
独立した子ども[1]	1	2	3	4	5
独立した子ども[2]	1	2	3	4	5
独立した子ども[3]	1	2	3	4	5
独立した子ども[4]	1	2	3	4	5
独立した子ども[5]	1	2	3	4	5

注) 年上の方から5名についてご記入ください。

5 全般について

- ① 個人の好みと小樽への定住志向が関係しているのかどうか確かめるため、あなたの趣味嗜好などについて、以下のすべての項目について、当てはまるものを一つ選び、1～5のいずれかの番号に○印をつけてください。

	そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらとも 言えない	どちらか と言えば そう思わない	そう思わない
健康に気を使うほうですか？	1	2	3	4	5
健康ですか？	1	2	3	4	5
体を使うことは好きですか？	1	2	3	4	5
海に行くことは好きですか？	1	2	3	4	5
山に行くことは好きですか？	1	2	3	4	5
街や建物の歴史を知ることは好きですか？	1	2	3	4	5
ファッションに興味はありますか？	1	2	3	4	5
アニメに興味はありますか？	1	2	3	4	5
PC・TV・スマホゲームに興味はありますか？	1	2	3	4	5
楽器の演奏に興味はありますか？	1	2	3	4	5
音楽鑑賞に興味はありますか？	1	2	3	4	5
映画鑑賞に興味はありますか？	1	2	3	4	5
お酒を飲むのは好きですか？	1	2	3	4	5
食材へのこだわりはありますか？	1	2	3	4	5
料理へのこだわりはありますか？	1	2	3	4	5

5 全般について

② 小樽市の公共サービスなどの満足度について、以下のすべての項目について、当てはまるものを一つ選び、1～6のいずれかの番号に○印をつけてください。

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない
幼児教育の環境	1	2	3	4	5	6
小中学校教育の環境	1	2	3	4	5	6
高校教育の環境	1	2	3	4	5	6
大学教育の環境	1	2	3	4	5	6
周産期医療の環境	1	2	3	4	5	6
小児医療の環境	1	2	3	4	5	6
高齢者医療の環境	1	2	3	4	5	6
軽微なけが・病気に対する医療の環境	1	2	3	4	5	6
重篤なけが・病気に対する医療の環境	1	2	3	4	5	6
鉄道交通の利便性	1	2	3	4	5	6
バス交通の利便性	1	2	3	4	5	6
タクシーの利便性	1	2	3	4	5	6
図書館サービス	1	2	3	4	5	6
美術館・博物館などの文化施設	1	2	3	4	5	6
子どもの医療費助成の充実	1	2	3	4	5	6
子どもの遊び場・公園の充実度	1	2	3	4	5	6
高齢者介護施設などの高齢者向け公共サービス	1	2	3	4	5	6
除雪・排雪	1	2	3	4	5	6
ごみ収集	1	2	3	4	5	6
市民の声の市政への反映	1	2	3	4	5	6

- ③ 小樽市の印象について、以下のすべての項目について、当てはまるものを一つ選び、1～6のいずれかの番号に○印をつけてください。

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない
街の雰囲気	1	2	3	4	5	6
商店の活気	1	2	3	4	5	6
自然環境	1	2	3	4	5	6
生活コスト	1	2	3	4	5	6
住居コスト	1	2	3	4	5	6
住民の人柄	1	2	3	4	5	6
暮らしやすさ	1	2	3	4	5	6
総合満足度	1	2	3	4	5	6

- ④ 小樽市の人口減少対策として、どのような対策が有効だと思いますか。以下のすべての項目について、当てはまるものを一つ選び、1～5のいずれかの番号に○印をつけてください。

	有効である	どちらかと言えば有効である	どちらとも言えない	どちらかと言えば有効ではない	有効ではない
出産環境の整備	1	2	3	4	5
子育て支援の充実	1	2	3	4	5
学校教育の充実	1	2	3	4	5
結婚活動への支援	1	2	3	4	5
高齢者福祉の充実	1	2	3	4	5
防災対策の充実	1	2	3	4	5
地場産業振興への支援	1	2	3	4	5
雇用の創出	1	2	3	4	5
観光振興策への支援	1	2	3	4	5
住環境の整備	1	2	3	4	5
道路などのインフラ整備	1	2	3	4	5

5 全般について

⑤ 小樽市の将来イメージについて

小樽市は将来どのような姿になるのがふさわしいと思いますか。次の中からあなたの思う将来像に近いものを三つまで選び、番号に○印をつけてください。

1. 国内外の客船や貨物船でにぎわい、人・もの・情報が交流する 【国際港湾都市】
2. 豊かな自然環境と歴史的景観が訪れる人を魅了する 【風格ある観光都市】
3. 市民が生き生きと働き、活発な産業が人を呼び込む 【活力ある産業のまち】
4. まちなかにお店や住居が集まり、利便性の高い 【コンパクトなまち】
5. 誰もが文化・芸術に親しみ、スポーツ・レクリエーションを楽しむ【生涯学習のまち】
6. 安心して子どもを産み育てることができ、教育環境が整った 【子どもを育む^{はぐく}まち】
7. 保健・福祉・医療が充実し、健康で心豊かに生活できる 【健やかに暮らせるまち】
8. 多くの市民がまちづくりに参加し、ともに支えあう 【みんなでつくる協働のまち】
9. 自然とまちなみが調和し、みんなで環境保全を実践する【美しく環境にやさしいまち】
10. 事故や犯罪が少なく、災害に強い 【安心・安全のまち】
11. 水道・道路・除排雪・公共交通機関などが行きとどいた 【生活基盤が充実したまち】
12. その他（ ）

◎ 人口減少対策やこれからのまちづくりについて、御意見や御提案がありましたら下記にお書きください。

以上でアンケートは終了です。

記入内容をご確認いただき、同封の返信用封筒に入れ、**1月31日(水)まで**に投かんくださいますようお願いいたします。なお、切手は不要です。

御協力ありがとうございました。

小樽市人口減少問題に係るアンケート

アンケート調査にご協力をお願いいたします。

小樽市は、昭和39年の20万人をピークに人口減少を続け、近年では年間2千人程度の減少となっており、平成29年5月には12万人を下回るなど、人口減少が続いております。

この状況に歯止めをかけるべく、この度、小樽市と小樽商科大学との共同研究チーム「小樽市人口減少問題研究会」を立ち上げ、小樽市の人口減少問題の根本原因を科学的な手法を用いて探り、解決に向けた対応策を検討することとしました。

そこで、小樽市にお住まいの方々が、教育環境についてどういう考えを持っており、それが小樽市での定住にどの程度結びつくのか、また、どのような点を改善することにより定住していただけるのかを分析し、今後の小樽市の人口減少対策に活かすために、教育環境などが定住地決定に与える影響について、アンケート調査を実施することといたしました。

日々のお仕事や子育てなどでお忙しいなかご負担をおかけいたしますが、小樽市の人口減少に対する方策を検討するうえで重要な資料となるアンケートですので、ぜひ、ご協力くださいますよう、お願いいたします。

平成30年1月

小樽市長 森井 秀明

小樽市人口減少問題研究会 代表 江頭 進（小樽商科大学副学長）

□ この調査は、平成24年4月2日～平成25年4月1日生まれ（以下、5歳とします。）または平成27年4月2日～平成28年4月1日生まれ（以下、2歳とします。）のお子様を持つご家庭にお願いしております。上記に該当するお子様が2人以上いらっしゃる場合は、**いずれかお1人についてご回答ください。**

□ 調査票は、保護者の方がご記入ください。なお、お答えづらい設問については、飛ばしていただいて結構です。

□ ご記入が済んだ調査票は、**2月7日（水）までに**、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、郵便ポストにご投函ください。

□ 本アンケートの回答については、小樽市人口減少の要因分析や人口減少対策の策定及び統計的分析と学術研究以外には使用せず、本人の同意無く第三者に開示・提供することはありません。また、研究成果を公表する場合には、個票データの公表は行いません。

□ このアンケート調査に関するお問合せ先

小樽市総務部企画政策室 人口対策担当

電話：32-4111 内線 404（月曜日～金曜日 8：50～17：20）

小樽市人口減少問題共同研究市民アンケート

「子育て・教育環境調査」調査票

1 2歳または5歳のお子様についてお聞きします。当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

*2歳と5歳のお様が両方お見えのご家庭は、どちらか一方のお子様についてお答えください

- ① お子様の性別 1. 男 2. 女
- ② お子様の年齢 1. 2歳 2. 5歳
- ③ お子様の出生順位 第()子
- ④ お子様とあなたの続柄
1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父
5. その他(具体的に:)

2 1でお答えいただいたお子様のごきょうだいは、全部で何人いらっしゃいますか。

また、単身赴任の方や下宿されている方も含めて、生計をともにしているご家族の方は、あなたを含めて何人ですか。

・お子様のごきょうだいの人数は、本人を含めて()人

・生計をともにしているご家族は、あなたを含めて()人

3 1でお答えいただいたお子様のごきょうだいについてお聞きします。

3-① 1でお答えいただいたお子様のごきょうだいの性別・年齢について、当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

	性別		年齢				
	男	女	5歳以下	6歳～ 9歳	10歳～ 15歳	16歳～ 19歳	20歳 以上
子ども1	1	2	1	2	3	4	5
子ども2	1	2	1	2	3	4	5
子ども3	1	2	1	2	3	4	5
子ども4	1	2	1	2	3	4	5
子ども5	1	2	1	2	3	4	5

注) 年上のごきょうだいから5名についてご記入ください。

3-② 1でお答えいただいたお子様のごきょうだいの就学・就職について、当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

	乳幼児	幼稚園 保育園	小学生	中学生	高校生	短大 専門学校	大学 大学院	就職	無職
子ども1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
子ども2	1	2	3	4	5	6	7	8	9
子ども3	1	2	3	4	5	6	7	8	9
子ども4	1	2	3	4	5	6	7	8	9
子ども5	1	2	3	4	5	6	7	8	9

注) 年上のごきょうだいから5名についてご記入ください。

4 子育てや教育に関するあなたのお考えをお聞きします。以下のすべての項目について、1～5のいずれかの番号に○印をつけてください。

	そう思う	どちらかとい えば そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない
子どもは、自然の中でのびのび育てたい	1	2	3	4	5
子どもには、習い事をさせたい (させている)	1	2	3	4	5
学力を上げるために塾に行かせたい (行かせている)	1	2	3	4	5
子どもには、英会話を習わせたい (習わせている)	1	2	3	4	5
子どもには、手に職を付けさせたい	1	2	3	4	5
子どもには、積極的に部活動に参加してほしい	1	2	3	4	5
地域のイベントなどを通して、 いろいろな人とかかわる機会をもたせたい	1	2	3	4	5
長年の知り合いがたくさん いる環境で子どもを育てたい	1	2	3	4	5
旅行などを通して視野を広げる 機会を作りたい	1	2	3	4	5
子どもには将来、できる限り 高い学歴をつけさせたい	1	2	3	4	5

5 あなたは、お子様をどこまでの学校に進学させたいとお考えですか。次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|---------------------|-----------|
| 1. 中学校まで | 2. 高校まで |
| 3. 専門学校・各種学校まで | 4. 短期大学まで |
| 5. 四年制大学まで | 6. 大学院まで |
| 7. その他（具体的に： _____） | |

6 小樽市の子育て環境、教育環境などの満足度についてお聞きします。以下のすべての項目について、1～6のいずれかの番号に○印をつけてください。

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない
幼稚園・保育所の数	1	2	3	4	5	6
幼稚園・保育所の設置場所	1	2	3	4	5	6
幼稚園・保育所の質	1	2	3	4	5	6
小学校の数	1	2	3	4	5	6
小学校の設置場所	1	2	3	4	5	6
小学校の教育レベル	1	2	3	4	5	6
中学校の数	1	2	3	4	5	6
中学校の設置場所	1	2	3	4	5	6
中学校の教育レベル	1	2	3	4	5	6
高等学校の数	1	2	3	4	5	6
高等学校の設置場所	1	2	3	4	5	6
高等学校の教育レベル	1	2	3	4	5	6
児童館・学童保育の環境	1	2	3	4	5	6
図書館のサービス	1	2	3	4	5	6
美術館・博物館などの文化施設	1	2	3	4	5	6
子どもの医療費助成の充実度	1	2	3	4	5	6
子どもの保育料無料化の基準	1	2	3	4	5	6
子どもの遊び場・公園の充実度	1	2	3	4	5	6
子育てがしやすい住環境の整備	1	2	3	4	5	6

7 地域でのあなたの生活についてお聞きします。以下のすべての項目について、1～5のいずれかの番号に○印をつけてください。

	とても 当てはまる	まあ 当てはまる	どちらとも いえない	あまり 当てはまらない	まったく 当てはまらない
子どもの教育や子育てについて、 気軽に話をできる人がいる	1	2	3	4	5
同世代の知り合いが、近所に いる	1	2	3	4	5
比較的長い時間、子どもを預け ることができる場所がある	1	2	3	4	5

8 「小樽は子育てをするのに良い環境だ」

この意見に、あなたはどれくらい賛成・反対ですか。1～5のいずれかの番号に○印をつけてください。

賛成 ← ----- → 反対				
1	2	3	4	5

8-① 上記のようにお考えになる理由を簡潔に教えてください。一言でも構いません。

9 平成30年1月1日現在のあなたのお住まいはどちらですか。町名をお書きください。
(例：花園、新光町など。丁目や番地は不要です。)

小樽市 _____

10 今後のお住まいについてお聞きします。あなたは、今後も小樽市に住み続けたいと思いますか。次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○をつけてください。

1. 今後も住み続けたいと思う → 6ページ(10-①)にお進みください
2. 小樽市以外に転出したいと考えている → 7ページ(10-②)にお進みください
3. どちらともいえない → 8ページ(11)にお進みください

10-① 10で「1」と答えた方のみお答えください。今後も住みたい理由として、次の項目はどれくらい当てはまりますか。1～5のいずれかの番号に○印をつけてください。

	とても 当てはまる	まあ 当てはまる	どちらとも いえない	あまり 当てはまらない	まったく 当てはまらない
小樽市に愛着があるから	1	2	3	4	5
仕事や就学のため	1	2	3	4	5
子どもの教育のため	1	2	3	4	5
家賃や地代などが安いから	1	2	3	4	5
買い物など日常生活が便利だから	1	2	3	4	5
医療・福祉が整っているから	1	2	3	4	5
自然環境に恵まれているから	1	2	3	4	5
歴史・文化が豊かだから	1	2	3	4	5
交通の便がいいから	1	2	3	4	5
災害や治安の面で安心だから	1	2	3	4	5
人情味にあふれているから	1	2	3	4	5
食べ物が新鮮でおいしいから	1	2	3	4	5
楽しむ場所や機会が充実しているから	1	2	3	4	5
他のまちより行政サービスが充実しているから	1	2	3	4	5

→ 8ページ（11）にお進みください

***ここからは、またすべての方がお答えください。**

11 あなた自身とあなたの配偶者についてお聞きします。配偶者と離別、死別した場合は、「あなたの配偶者」の欄についてはご記入いただくなくても結構です。

	あなたご自身	あなたの配偶者
A. 年齢をお答え下さい。	歳	歳
B. 現在のお仕事はどれに当たりますか。 当てはまるものを <u>一つ</u> 選び、番号に○印をつけてください。	1. 事務職（企業・官公庁における一般事務、経理など） 2. 販売職（小売り・卸売り店主、店員、不動産売買、外勤のセールスなど） 3. サービス業（理容・美容師、料理人、ウェイトレス、ホームヘルパーなど） 4. 生産現場職・技能職（製品製造・組み立て、自動車整備、建設作業委員、大工など） 5. 運輸（トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達など） 6. 保安職（警察官、消防院、自衛官など） 7. 専門職・技術職（医師、看護師、弁護士、教師、技術者など） 8. 管理職（企業・官公庁における課長以上、議員、経営者など） 9. 農林水産業 10. 仕事をしていない 11. その他（ ）	1. 事務職（企業・官公庁における一般事務、経理など） 2. 販売職（小売り・卸売り店主、店員、不動産売買、外勤のセールスなど） 3. サービス業（理容・美容師、料理人、ウェイトレス、ホームヘルパーなど） 4. 生産現場職・技能職（製品製造・組み立て、自動車整備、建設作業委員、大工など） 5. 運輸（トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達など） 6. 保安職（警察官、消防院、自衛官など） 7. 専門職・技術職（医師、看護師、弁護士、教師、技術者など） 8. 管理職（企業・官公庁における課長以上、議員、経営者など） 9. 農林水産業 10. 仕事をしていない 11. その他（ ）
C. お仕事の形態はどれに当たりますか。 当てはまるものを <u>一つ</u> 選び、番号に○印をつけてください。	1. 自営業 2. 会社員（期限の定めのない雇用） 3. 会社員（期限の定めのある雇用） 4. 公務員・団体職員 （期限の定めのない雇用） 5. 公務員・団体職員 （期限の定めのある雇用） 6. パートタイム・アルバイト 7. 専業主婦・主夫 8. その他（ ）	1. 自営業 2. 会社員（期限の定めのない雇用） 3. 会社員（期限の定めのある雇用） 4. 公務員・団体職員 （期限の定めのない雇用） 5. 公務員・団体職員 （期限の定めのある雇用） 6. パートタイム・アルバイト 7. 専業主婦・主夫 8. その他（ ）

	あなたご自身	あなたの配偶者
D. 最後に行かれた学校に当たるものを <u>一つ</u> 選び、番号に○印をつけてください。中退も卒業と同じ扱いでお答えください。	1. 中学校 2. 高校 3. 専門学校 4. 短大 5. 大学 6. 大学院 7. その他()	1. 中学校 2. 高校 3. 専門学校 4. 短大 5. 大学 6. 大学院 7. その他()

12 お子様と配偶者以外のご家族についてお聞きします。同居されているご両親などはいらっしゃるでしょうか。次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印を付け、いる場合は人数をお書きください。

1. いる (人)
2. いない → 10ページ(13)にお進みください

12-① 12で「1」と答えた方のみお答えください。

同居されているご両親などの就業などの状況について、次の中から当てはまる番号に○印をつけてください。

	フルタイム就業	パートタイム就業	無職	要介護
あなたの父親	1	2	3	4
あなたの母親	1	2	3	4
配偶者の父親	1	2	3	4
配偶者の母親	1	2	3	4
その他の方1	1	2	3	4
その他の方2	1	2	3	4
その他の方3	1	2	3	4

注)「その他の方」は、長く同居されている方から3名についてご記入ください。

13 過去1年間のあなたのお宅（生計をともにしている家族）の収入は、税込みでいくらぐらいでしたか。次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。なお、他のご家族の収入も含めてお答えください。

- | | | |
|-------------------|-------------------|--------------|
| 1. 25万円未満 | 2. 25～75万円 | 3. 75～150万円 |
| 4. 150～250万円 | 5. 250～350万円 | 6. 350～450万円 |
| 7. 450～600万円 | 8. 600～850万円 | 9. 850～950万円 |
| 10. 950～1,100万円 | 11. 1,100～1,300万円 | |
| 12. 1,300～1,500万円 | 13. 1,500～1,700万円 | |
| 14. 1,700～2,000万円 | 15. 2,000万円以上 | |

14 これからの小樽市の子育て・教育サービスについて、御意見や御提案がありましたら、下記にお書きください。

以上でアンケートは終了です。

記入内容をご確認いただき、同封の返信用封筒に入れ、2月7日（水）までに 投かんくださいますようお願いいたします。なお、切手は不要です。

御協力ありがとうございました。

小樽市人口減少問題に係るアンケート

アンケート調査にご協力をお願いいたします。

小樽市は、昭和39年の20万人をピークに人口減少を続け、近年では年間2千人程度の減少となっており、平成29年5月には12万人を下回るなど、人口減少が続いております。

この状況に歯止めをかけるべく、この度、小樽市と小樽商科大学との共同研究チーム「小樽市人口減少問題研究会」を立ち上げ、小樽市の人口減少問題の根本原因を科学的な手法を用いて探り、解決に向けた対応策を検討することとしました。

そこで、小樽市にお住まいの方々が、教育環境についてどういう考えを持っており、それが小樽市での定住にどの程度結びつくのか、また、どのような点を改善することにより定住していただけるのかを分析し、今後の小樽市の人口減少対策に活かすために、教育環境などが定住地決定に与える影響について、アンケート調査を実施することといたしました。

日々のお仕事や子育てなどでお忙しいなかご負担をおかけいたしますが、小樽市の人口減少に対する方策を検討するうえで重要な資料となるアンケートですので、ぜひ、ご協力くださいますよう、お願いいたします。

平成30年1月

小樽市長 森井 秀明

小樽市人口減少問題研究会 代表 江頭 進（小樽商科大学副学長）

- この調査は、小学2・5年生及び中学2年生のお子様を持つご家庭にお願いしております。
- 調査票は、保護者の方がご記入ください。なお、お答えづらい設問については、飛ばしていただいて結構です。
- もし、この調査票が重複して届いた場合は（たとえば、小学5年生と中学2年生のお子様がいるご家庭には重複して届きます）、**いずれかひとつの学年にてご回答・ご提出ください。**
- ご記入が済んだ調査票は、**1月31日（水）までに**、回答用封筒に入れ、のり付けなどで厳封のうえで、お子様を通じて学校にご提出ください。
- 本アンケートの回答については、小樽市人口減少の要因分析や人口減少対策の策定及び統計的分析と学術研究以外には使用せず、本人の同意無く第三者に開示・提供することはありません。また、研究成果を公表する場合には、個票データの公表は行いません。
- このアンケート調査に関するお問合せ先
小樽市総務部企画政策室 人口対策担当
電話：32-4111 内線404（月曜日～金曜日 8：50～17：20）

小樽市人口減少問題共同研究市民アンケート

「子育て・教育環境調査」調査票

1. このアンケート用紙を持ち帰られたお子様についてお聞きします。当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

- ① お子様の性別 1. 男 2. 女
- ② お子様の学年 1. 小学2年生 2. 小学5年生 3. 中学2年生
- ③ お子様の出生順位 第()子
- ④ お子様とあなたの続柄
1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父
5. その他(具体的に:)

2. アンケートを持ち帰られたお子様のご兄弟は、全部で何人いらっしゃいますか。
また、単身赴任の方や下宿されている方も含めて、生計をともにしているご家族の方は、あなたを含めて何人ですか。

- ・ お子様のご兄弟の人数は、本人を含めて()人
- ・ 生計をともにしているご家族は、あなたを含めて()人

3. このアンケートを持ち帰られたお子様のご兄弟についてお聞きします。

- ① このアンケートを持ち帰られたお子様のご兄弟の性別・年齢について、当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

	性別		年齢				
	男	女	5歳以下	6歳～ 9歳	10歳～ 15歳	16歳～ 19歳	20歳 以上
子ども1	1	2	1	2	3	4	5
子ども2	1	2	1	2	3	4	5
子ども3	1	2	1	2	3	4	5
子ども4	1	2	1	2	3	4	5
子ども5	1	2	1	2	3	4	5

注) 年上のご兄弟から5名についてご記入ください。

② このアンケートを持ち帰られたお子様のご兄弟の就学・就職について、当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

	乳幼児	幼稚園 保育園	小学生	中学生	高校生	短大 専門学校	大学 大学院	就職	無職
子ども1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
子ども2	1	2	3	4	5	6	7	8	9
子ども3	1	2	3	4	5	6	7	8	9
子ども4	1	2	3	4	5	6	7	8	9
子ども5	1	2	3	4	5	6	7	8	9

注) 年上のご兄弟から5名についてご記入ください。

4. 子育てや教育に関するあなたのお考えをお聞きします。以下のすべての項目について、1～5のいずれかの番号に○印をつけてください。

	そう思う	どちらかとい えば そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない
子どもは、自然の中でのびのび育てたい	1	2	3	4	5
子どもには、習い事をさせたい (させている)	1	2	3	4	5
学力を上げるために塾に行かせたい (行かせている)	1	2	3	4	5
子どもには、英会話を習わせたい (習わせている)	1	2	3	4	5
子どもには、手に職を付けさせたい	1	2	3	4	5
子どもには、積極的に部活動に参加してほしい	1	2	3	4	5
地域のイベントなどを通して、 いろいろな人とかかわる機会 をもたせたい	1	2	3	4	5
長年の知り合いがたくさん いる環境で子どもを育てたい	1	2	3	4	5
旅行などを通して視野を広げる 機会を作りたい	1	2	3	4	5
子どもには将来、できる限り 高い学歴をつけさせたい	1	2	3	4	5

5. あなたは、このアンケートを持ち帰られたお子様を、どこまでの学校に進学させたいとお考えですか。次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

- | | |
|---------------------|-----------|
| 1. 中学校まで | 2. 高校まで |
| 3. 専門学校・各種学校まで | 4. 短期大学まで |
| 5. 四年制大学まで | 6. 大学院まで |
| 7. その他（具体的に： _____） | |

6. 小樽市の子育て環境、教育環境などの満足度についてお聞きします。以下のすべての項目について、1～6のいずれかの番号に○印をつけてください。

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	わからない
幼稚園・保育所の数	1	2	3	4	5	6
幼稚園・保育所の設置場所	1	2	3	4	5	6
小学校の数	1	2	3	4	5	6
小学校の設置場所	1	2	3	4	5	6
小学校の教育レベル	1	2	3	4	5	6
中学校の数	1	2	3	4	5	6
中学校の設置場所	1	2	3	4	5	6
中学校の教育レベル	1	2	3	4	5	6
高等学校の数	1	2	3	4	5	6
高等学校の設置場所	1	2	3	4	5	6
高等学校の教育レベル	1	2	3	4	5	6
児童館・学童保育の環境	1	2	3	4	5	6
図書館のサービス	1	2	3	4	5	6
美術館・博物館などの文化施設	1	2	3	4	5	6
子どもの医療費助成の充実度	1	2	3	4	5	6
子どもの保育料無料化の基準	1	2	3	4	5	6
子どもの遊び場・公園の充実度	1	2	3	4	5	6
子育てがしやすい住環境の整備	1	2	3	4	5	6

7. 地域でのあなたの生活についてお聞きします。以下のすべての項目について、1～5のいずれかの番号に○印をつけてください。

	とても 当てはまる	まあ 当てはまる	どちらとも いえない	あまり 当てはまらない	まったく 当てはまらない
子どもの教育や子育てについて、気軽に話をできる人がいる	1	2	3	4	5
同世代の知り合いが、近所にいる	1	2	3	4	5
比較的長い時間、子どもを預けることができる場所がある	1	2	3	4	5

8. 「小樽は子育てをするのに良い環境だ」

この意見に、あなたはどれくらい賛成・反対ですか。1～5のいずれかの番号に○印をつけてください。

賛成 ← ----- → 反対				
1	2	3	4	5

8-① 上記のようにお考えになる理由を簡潔に教えてください。一言でも構いません。

9. 平成30年1月1日現在のあなたのお住まいはどちらですか。町名をお書きください。
(例：花園、新光町など。丁目や番地は不要です。)

小樽市 _____

10. 今後のお住まいについてお聞きします。あなたは、今後も小樽市に住み続けたいと思いますか。次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○をつけてください。

1. 今後も住み続けたいと思う → 6ページ(10-①)にお進みください
2. 小樽市以外に転出したいと考えている → 7ページ(10-②)にお進みください
3. どちらともいえない → 8ページ(11)にお進みください

10-① 10で「1」と答えた方のみお答えください。今後も住み続けたい理由として、次の項目はどれくらい当てはまりますか。1～5のいずれかの番号に○印をつけてください。

	とても 当てはまる	まあ 当てはまる	どちらとも いえない	あまり 当てはまらない	まったく 当てはまらない
小樽市に愛着があるから	1	2	3	4	5
仕事や就学のため	1	2	3	4	5
子どもの教育のため	1	2	3	4	5
家賃や地代などが安いから	1	2	3	4	5
買い物など日常生活が便利だから	1	2	3	4	5
医療・福祉が整っているから	1	2	3	4	5
自然環境に恵まれているから	1	2	3	4	5
歴史・文化が豊かだから	1	2	3	4	5
交通の便がいいから	1	2	3	4	5
災害や治安の面で安心だから	1	2	3	4	5
人情味にあふれているから	1	2	3	4	5
食べ物が新鮮でおいしいから	1	2	3	4	5
楽しむ場所や機会が充実しているから	1	2	3	4	5
他のまちより行政サービスが充実しているから	1	2	3	4	5

→ 8ページ（11）にお進みください

10-② 10で「2」と答えた方のみお答えください。市外に転出したいと思う理由として、次の項目はどれくらい当てはまりますか。1～5のいずれかの番号に○印をつけてください。

	とても 当てはまる	まあ 当てはまる	どちらとも いえない	あまり 当てはまらない	まったく 当てはまらない
小樽市になじめないから	1	2	3	4	5
仕事や就学のため	1	2	3	4	5
子どもの教育のため	1	2	3	4	5
家賃や地代などが高いから	1	2	3	4	5
買い物など日常生活が不便だから	1	2	3	4	5
医療・福祉が整っていないから	1	2	3	4	5
自然環境に恵まれていないから	1	2	3	4	5
歴史・文化が乏しいから	1	2	3	4	5
交通の便が悪いから	1	2	3	4	5
災害や治安の面で不安だから	1	2	3	4	5
楽しむ場所や機会が不足しているから	1	2	3	4	5
他のまちより行政サービスが不足しているから	1	2	3	4	5

10-③ 10で「2」と答えた方のみお答えください。

近い将来（5年以内くらい）に、小樽市から転出する予定はありますか。次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

1. ない
2. ある。札幌市へ
3. ある。札幌市以外の北海道内へ
4. ある。東北へ
5. ある。関東へ
6. ある。それ以外の国内へ
7. ある。海外へ
8. ある。転出先は未定

10-④ 10-③で「2～8」と答えた方のみお答えください。

転出する理由について、次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。

1. 自分の仕事のため
2. 自分の就学のため
3. 自分の趣味のため
4. 配偶者・パートナーとの同居のため
5. 配偶者・パートナーの仕事のため
6. 子どもの就学のため
7. 親の介護のため
8. 居住環境を変えたいため
9. その他（）

***ここからは、またすべての方がお答えください。**

11. あなた自身とあなたの配偶者についてお聞きします。配偶者と離別、死別した場合は、「あなたの配偶者」の欄についてはご記入いただかなくても結構です。

	あなたご自身	あなたの配偶者
A. 年齢をお答え下さい。	歳	歳
B. 現在のお仕事はどれに当たりますか。 当てはまるものを <u>一つ選び</u> 、番号に○印をつけてください。	1. 事務職（企業・官公庁における一般事務、経理など） 2. 販売職（小売り・卸売り店主、店員、不動産売買、外勤のセールスなど） 3. サービス業（理容・美容師、料理人、ウェイトレス、ホームヘルパーなど） 4. 生産現場職・技能職（製品製造・組み立て、自動車整備、建設作業委員、大工など） 5. 運輸（トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達など） 6. 保安職（警察官、消防院、自衛官など） 7. 専門職・技術職（医師、看護師、弁護士、教師、技術者など） 8. 管理職（企業・官公庁における課長以上、議員、経営者など） 9. 農林水産業 10. 仕事をしていない 11. その他（ ）	1. 事務職（企業・官公庁における一般事務、経理など） 2. 販売職（小売り・卸売り店主、店員、不動産売買、外勤のセールスなど） 3. サービス業（理容・美容師、料理人、ウェイトレス、ホームヘルパーなど） 4. 生産現場職・技能職（製品製造・組み立て、自動車整備、建設作業委員、大工など） 5. 運輸（トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達など） 6. 保安職（警察官、消防院、自衛官など） 7. 専門職・技術職（医師、看護師、弁護士、教師、技術者など） 8. 管理職（企業・官公庁における課長以上、議員、経営者など） 9. 農林水産業 10. 仕事をしていない 11. その他（ ）
C. お仕事の形態はどれに当たりますか。 当てはまるものを <u>一つ選び</u> 、番号に○印をつけてください。	1. 自営業 2. 会社員（期限の定めのない雇用） 3. 会社員（期限の定めのある雇用） 4. 公務員・団体職員（期限の定めのない雇用） 5. 公務員・団体職員（期限の定めのある雇用） 6. パートタイム・アルバイト 7. 専業主婦・主夫 8. その他（ ）	1. 自営業 2. 会社員（期限の定めのない雇用） 3. 会社員（期限の定めのある雇用） 4. 公務員・団体職員（期限の定めのない雇用） 5. 公務員・団体職員（期限の定めのある雇用） 6. パートタイム・アルバイト 7. 専業主婦・主夫 8. その他（ ）

	あなたご自身	あなたの配偶者
D. 最後に行かれた学校に当たるものを <u>一つ</u> 選び、番号に○印をつけてください。中退も卒業と同じ扱いでお答えください。	1. 中学校 2. 高校 3. 専門学校 4. 短大 5. 大学 6. 大学院 7. その他()	1. 中学校 2. 高校 3. 専門学校 4. 短大 5. 大学 6. 大学院 7. その他()

1 2. お子様と配偶者以外のご家族についてお聞きします。同居されているご両親などはいらっしゃるでしょうか。次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印を付け、いる場合は人数をお書きください。

1. いる (人) 2. いない

1 2-① 1 2で「1」と答えた方のみお答えください。

同居されているご両親などの就業などの状況について、次の中から当てはまる番号に○印をつけてください。

	フルタイム就業	パートタイム就業	無職	要介護
あなたの父親	1	2	3	4
あなたの母親	1	2	3	4
配偶者の父親	1	2	3	4
配偶者の母親	1	2	3	4
その他の方1	1	2	3	4
その他の方2	1	2	3	4
その他の方3	1	2	3	4

注)「その他の方」は、長く同居されている方から3名についてご記入ください。

13. 過去1年間のあなたのお宅（生計をともにしている家族）の収入は、税込みでいくらぐらいでしたか。次の中から当てはまるものを一つ選び、番号に○印をつけてください。なお、他のご家族の収入も含めてお答えください。

- | | | |
|-------------------|-------------------|--------------|
| 1. 25万円未満 | 2. 25～75万円 | 3. 75～150万円 |
| 4. 150～250万円 | 5. 250～350万円 | 6. 350～450万円 |
| 7. 450～600万円 | 8. 600～850万円 | 9. 850～900万円 |
| 10. 950～1,100万円 | 11. 1,100～1,300万円 | |
| 12. 1,300～1,500万円 | 13. 1,500～1,700万円 | |
| 14. 1,700～2,000万円 | 15. 2,000万円以上 | |

14. これからの小樽市の子育て・教育サービスについて、御意見や御提案がありましたら下記にお書きください。

以上でアンケートは終了です。

記入内容を確認いただき、回答用封筒に入れ、のり付け等で厳封のうえ、1月31日（水）

までにお子様を通じて学校にご提出くださいますようお願いいたします。

御協力ありがとうございました。

札幌近郊市町の住民アンケート（Web アンケートフォームから再構築）

Q1 あなたのお住まいの市区町村をお答えください。

1. 札幌市中央区
2. 札幌市北区
3. 札幌市東区
4. 札幌市白石区
5. 札幌市豊平
6. 札幌市南区
7. 札幌市西区
8. 札幌市厚別区
9. 札幌市手稲区
10. 札幌市清田区
11. 小樽市
12. 石狩市
13. 江別市
14. 北広島市
15. 恵庭市
16. 千歳市
17. 岩見沢市
18. 当別町
19. 南幌町
20. 長沼町
21. その他

Q2 現在のお住まいの市区町村での居住年数を教えてください。

1. 1年未満
2. 1年以上3年未満
3. 3年以上5年未満
4. 5年以上10年未満
5. 10年以上20年未満
6. 20年以上30年未満
7. 30年以上

Q3 あなたのお住まいについて、当てはまるものを選んでください。

1. 持家一戸建て
2. 持家集合住宅（マンション・アパート）
3. 賃貸一戸建て
4. 賃貸集合住宅（マンション・アパート）
5. 社宅・官舎・寮
6. その他

Q4 現在のお住まいの市区町村に住むことになった理由を教えてください。

1. 生まれてからずっと住んでいる
2. 卒業・進学・就職をしたため
3. 転勤・転職・起業をしたため
4. 結婚や離婚をしたため
5. 親の介護など、家族・親族の世話をするため
6. 勤務先などは変わっていないが、居住環境を変えたかったため
7. その他（家族の転勤のためなど）

Q5 現在お住まいの市区町村以外の場所に、1年以上居住していたことはありますか。

1. はい
2. いいえ

Q6 小樽に住んだことはありますか。

1. 小樽に1年未満、住んでいたことがある
2. 小樽に1年以上3年未満、住んでいたことがある
3. 小樽に3年以上、住んでいたことがある
4. 住んだことはない

Q7 転居の理由として、該当するものを全てお選びください。（いくつでも）

1. 小樽市に愛着がないから
2. 仕事や就学のため
3. 子どもの教育のため
4. 親の介護のため
5. 結婚や離婚をしたため
6. 勤務先などは変わっていないが、居住環境を変えたかったため
7. 転居先の方が、家賃や地代などが安いから
8. 転居先の方が、買い物など日常生活が便利だから
9. 転居先の方が、医療・福祉の面が整っているから
10. 転居先の方が、自然環境に恵まれているから
11. 転居先の方が、歴史・文化が豊かだから
12. 転居先の方が、交通の便が良いから
13. 転居先の方が、災害や治安の面で安心だから
14. 転居先の方が、人情味にあふれているから
15. 転居先の方が、食べ物が新鮮でおいしいから
16. 転居先の方が、楽しむ場所や機会が充実しているから
17. 転居先の方が、行政サービスが充実しているから
18. その他（家族の転勤のためなど）

Q8 北海道以外の国内に、1年以上居住していたことはありますか。

1. はい 2. いいえ

Q9 海外に、1年以上居住していたことはありますか。

1. はい 2. いいえ

Q10 あなたが中学生生活を過ごした主な場所はどこですか。

1. 札幌市中央区 2. 札幌市北区 3. 札幌市東区 4. 札幌市白石区 5. 札幌市豊平
6. 札幌市南区 7. 札幌市西区 8. 札幌市厚別区 9. 札幌市手稲区 10. 札幌市清田区
11. 小樽市 12. 石狩市 13. 江別市 14. 北広島市 15. 恵庭市
16. 千歳市 17. 岩見沢市 18. 当別町 19. 南幌町 20. 長沼町
21. その他道内 22. 東北 23. 関東 24. 東北・関東以外の国内
25. 海外

Q11 過去1年間に小樽へ行きましたか。

1. 1回 2. 2~3回 3. 4~5回 4. 6回以上 5. 行っていない

Q12 小樽市の印象について、お伺いします。

以下の点について5段階（注：満足-やや満足-普通-やや不満-不満）でお答えください。実際に小樽市と関わりがなくても、想像や主観的なイメージでお選びください。

1. 街の雰囲気 2. 商店の活気 3. 自然環境 4. 生活コスト
5. 住居コスト 6. 住民の人柄 7. 暮らしやすさ 8. 総合満足度

Q13 現在のお住まい以外の市町村へ、今後移住することを検討したいと思いませんか。

1. 1年以内に移住する予定／検討したいと思っている
2. 5年以内に移住する予定／検討したいと思っている
3. 10年以内に移住する予定／検討したいと思っている
4. 具体的な時期は決まっていないが、検討したいと思っている
5. 検討したいと思わない

Q14 小樽に移住を考えたことはありますか。

1. 具体的に考えている 2. 考えたことがある 3. 将来考える可能性がある
4. 小樽以外への移住を考えている 5. 特に考えていない 6. 分からない

Q14-1 「小樽以外への移住を考えている」とお答えの方にお伺いします。

移住を考えている市区町村をお答えください。

1. 札幌市中央区 2. 札幌市北区 3. 札幌市東区 4. 札幌市白石区 5. 札幌市豊平
6. 札幌市南区 7. 札幌市西区 8. 札幌市厚別区 9. 札幌市手稲区 10. 札幌市清田区
11. 小樽市 12. 石狩市 13. 江別市 14. 北広島市 15. 恵庭市
16. 千歳市 17. 岩見沢市 18. 当別町 19. 南幌町 20. 長沼町
21. その他道内 22. 東北 23. 関東 24. 東北・関東以外の国内
25. 海外

Q15 移住を考えられた理由についてお伺いします。

以下の点について5段階（注：とても当てはまる-まあ当てはまる-どちらとも言えない-あまり当てはまらない-全く当てはまらない）でお答えください。

- | | | |
|-----------------------|---------------------------|--------------|
| 1. その街に愛着があるから | 2. 仕事や就学のため | 3. 子どもの教育のため |
| 4. 親の介護のため | 5. 家賃や地代などが安いから | |
| 6. 買い物など日常生活が便利だから | 7. 医療・福祉の面が整っているから | |
| 8. 自然環境に恵まれているから | 9. 歴史・文化が豊かだから | |
| 10. 交通の便が良いから | 11. 災害や治安の面で安心だから | |
| 12. 人情味にあふれているから | 13. 食べ物が新鮮でおいしいから | |
| 14. 楽しむ場所や機会が充実しているから | 15. 他のまちより行政サービスが充実しているから | |

Q16 生計を一にする家族の方々を選んでください。（いくつでも）

※「生計を一にする家族」には、遠方の大学に通う子どもや生活費の多くを定期的に支援してくれる両親、あるいはあなたが支援している年老いた両親、別居の配偶者および配偶者と暮らす子どもなどを含みます。経済的に独立している方は含みません。

- | | | | | |
|------------------|-------|------------|------|----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子供 | 3. 親、配偶者の親 | 4. 孫 | 5. その他の方 |
| 6. 生計を一にする家族はいない | | | | |

Q17 生計を一にする子供は何人いますか。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 | 5. 5人以上 |
|-------|-------|-------|-------|---------|

Q18 生計を一にする親、配偶者の親は何人いますか。（いくつでも）

- | | | | |
|----------|----------|-----------|-----------|
| 1. 自分の父親 | 2. 自分の母親 | 3. 配偶者の父親 | 4. 配偶者の母親 |
|----------|----------|-----------|-----------|

Q19 生計を一にする孫は何人いますか。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 | 5. 5人以上 |
|-------|-------|-------|-------|---------|

Q20 生計を一にするその他の方は何人いますか。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|---------|
| 1. 1人 | 2. 2人 | 3. 3人 | 4. 4人 | 5. 5人以上 |
|-------|-------|-------|-------|---------|

Q21 あなたと、あなたと生計を一にする家族の方々（注：Q15～Q19で選択した方々）の性別を教えてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

Q22 あなたと、あなたと生計を一にする家族の方々（注：Q15～Q19で選択した方々）の年齢を教えてください。

- | | | | | |
|-----------|---------|-----------|-----------|----------|
| 1. 5歳以下 | 2. 6～9歳 | 3. 10～15歳 | 4. 16～19歳 | 5. 20歳代 |
| 6. 30歳代 | 7. 40歳代 | 8. 50歳代 | 9. 60歳代 | 10. 70歳代 |
| 11. 80歳以上 | | | | |

Q23 あなたと、あなたと生計を一にする家族の方々のなかで世帯主の方をお選びください。

選択肢：Q15～Q19で選択した方々

Q24 あなたと生計を一にするご家族（注：Q15～Q19で選択した方々）は、あなたと同居していますか。

1. 同居
2. 別居

Q25 別居の場合、居住の市区町村を教えてください。

1. 札幌市中央区
2. 札幌市北区
3. 札幌市東区
4. 札幌市白石区
5. 札幌市豊平
6. 札幌市南区
7. 札幌市西区
8. 札幌市厚別区
9. 札幌市手稲区
10. 札幌市清田区
11. 小樽市
12. 石狩市
13. 江別市
14. 北広島市
15. 恵庭市
16. 千歳市
17. 岩見沢市
18. 当別町
19. 南幌町
20. 長沼町
21. その他道内
22. 東北
23. 関東
24. 東北・関東以外の国内
25. 海外

Q26 あなたと、あなたと生計を一にする家族の方々（注：Q15～Q19で選択した方々）の最終学歴を教えてください。

1. 中学校
2. 高校
3. 短大・専門学校
4. 大学
5. 大学院
6. 就学中
7. その他

Q27 あなたと、あなたと生計を一にする家族の方々（注：Q15～Q19で選択した方々）の就労状況を教えてください。

1. 自営業
2. 会社員（正規雇用：期限の定めのない雇用）
3. 会社員（フルタイムかつ非正規雇用：期限の定めのある雇用）
4. 公務員・団体職員・教職員（正規雇用：期限の定めのない雇用）
5. 公務員・団体職員・教職員（フルタイムかつ非正規雇用：期限の定めのある雇用）
6. パートタイム・アルバイト
7. 学生
8. 専業主婦・主夫
9. 無職
10. その他

Q28 あなたと、あなたと生計を一にする家族の方々（注：Q15～Q19で選択した方々）の業種を教えてください。

1. 事務職（企業・官公庁における一般事務、経理など）
2. 販売職（小売り・卸売り店主、店員、不動産売買、外勤のセールスなど）
3. サービス業（理容・美容師、料理人、ウェイトレス、ホームヘルパーなど）
4. 生産現場職・技能職（製品製造・組み立て、自動車整備、建設作業員、大工など）
5. 運輸（トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達など）
6. 保安職（警察官、消防員、自衛官など）
7. 専門職・技術職（医師、看護師、弁護士、教師、技術者など）
8. 管理職（企業・官公庁における課長以上、議員、経営者など）
9. 農林水産業
10. その他

Q29 あなたと、あなたと生計を一にする家族の方々（注：Q15～Q19で選択した方々）の年間収入（税込）を教えてください。

1. 0円
2. 1円～100万円
3. 101～200万円
4. 201～300万円
5. 301～400万円
6. 401～500万円
7. 501～600万円
8. 601～700万円
9. 701～800万円
10. 801～900万円
11. 901～1,000万円
12. 1,000万円超
13. 回答したくない

Q30 あなたと、あなたと生計を一にする家族の方々（注：Q15～Q19で選択したの方々）の通勤・通学先市区町村を教えてください。

1. 札幌市中央区
2. 札幌市北区
3. 札幌市東区
4. 札幌市白石区
5. 札幌市豊平
6. 札幌市南区
7. 札幌市西区
8. 札幌市厚別区
9. 札幌市手稲区
10. 札幌市清田区
11. 小樽市
12. 石狩市
13. 江別市
14. 北広島市
15. 恵庭市
16. 千歳市
17. 岩見沢市
18. 当別町
19. 南幌町
20. 長沼町
21. その他道内
22. 東北
23. 関東
24. 東北・関東以外の国内
25. 海外

Q31 あなたの現在のお仕事についてお伺いします。

以下の質問に5段階（注：そう思う-どちらかと言えばそう思う-どちらとも言えない-どちらかと言えばそう思わない-そう思わない）でお答えください。

1. 今の仕事にやりがいを感じる
2. 収入に満足している
3. 収入が安定している
4. 職場の人間関係に満足している

Q32 現在のおおよその通勤時間をお答えください。

1. 15分以内
2. 30分
3. 1時間
4. 1時間30分
5. 2時間
6. それ以上

Q33 職場が変わったとして通勤しても良いと思う最長の通勤距離は何 km ですか。

1. 2km
2. 5km
3. 10km
4. 20km
5. 50km
6. それ以上

Q34 職場が変わったとして通勤に費やして良いと思う最長の時間はどのくらいですか。

1. 15分以内
2. 30分
3. 1時間
4. 1時間30分
5. 2時間
6. それ以上

Q35 お住まいと異なる市町村で働いている理由として、該当するものを全てお選びください。（いくつでも）

1. 子供の就学のため
2. 配偶者の就業のため
3. 買い物が便利だから
4. 通勤手当が手厚いから
5. 良好な住宅地だから
6. 生活費が安いから
7. 居住地が安いから
8. 住み慣れた場所から転居したくないから
9. 介護が必要な親と同居しているから
10. その他：

Q36 転職したいですか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない
5. そう思わない

Q37 職場は現在のお住まいから通える範囲の地域に限りますか。

1. そう思う
2. どちらかと言えばそう思う
3. どちらとも言えない
4. どちらかと言えばそう思わない
5. そう思わない

Q38 住む場所を決めるときに、重要視する点についてお伺いします。

以下の質問に5段階（注：とても重要-どちらかと言えば重要-どちらとも言えない-どちらかと言えば重要でない-重要でない）でお答えください。

- | | | |
|---------------------------|--------------------|-----------------------|
| 1. 街の雰囲気 | 2. 歴史的街並み | 3. おしゃれな街並み |
| 4. 買い物の利便性 | 5. 商店の活気 | 6. 自然環境 |
| 7. 生活コスト | 8. 住居コスト | 9. 住民の人柄 |
| 10. 幼児教育の環境 | 11. 小中学校教育の環境 | 12. 高校教育の環境 |
| 13. 大学教育の環境 | | |
| 14. 周産期医療の環境 | 15. 小児医療の環境 | 16. 高齢者医療の環境 |
| 17. 軽微なけが・病気に対する医療の環境 | | 18. 重篤なけが・病気に対する医療の環境 |
| 19. 空港へのアクセス | 20. 鉄道交通の利便性 | 21. バス交通の利便性 |
| 22. タクシーの利便性 | | |
| 23. 図書館サービス | 24. 美術館・博物館などの文化施設 | |
| 25. 子どもの医療費助成の充実 | | 26. 子どもの遊び場・公園の充実度 |
| 27. 高齢者介護施設など的高齢者向け公共サービス | 28. 除雪・排雪 | 29. ごみ収集 |
| 30. 市民の声の市政への反映 | | |

Q39 あなたの趣味嗜好などについてお伺いします。

以下の質問に5段階（注：そう思う-どちらかと言えばそう思う-どちらとも言えない-どちらかと言えばそう思わない-そう思わない）でお答えください。

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 健康に気を使うほうですか | 2. 健康ですか |
| 3. 体を使うことは好きですか | 4. 海に行くことは好きですか |
| 5. 山に行くことは好きですか | 6. 街や建物の歴史を知ることは好きですか |
| 7. ファッションに興味はありますか | 8. アニメに興味はありますか |
| 9. PC・TV・スマホゲームに興味はありますか | 10. 楽器の演奏に興味はありますか |
| 11. 音楽鑑賞に興味はありますか | 12. 映画鑑賞に興味はありますか |
| 13. 美術鑑賞に興味はありますか | 14. お酒を飲むのは好きですか |
| 15. 食材へのこだわりはありますか | 16. 料理へのこだわりはありますか |

地方自治体における取組に関するアンケート調査

各地方自治体首長 各位
(企画担当部門 各位)

このアンケート調査は、小樽市と国立大学法人小樽商科大学との共同研究により、小樽市の人口減少に歯止めをかけることを目的に、自治体におけるマーケティングやブランディングなどの観点から分析を行うことで、人口対策に必要とされる考え方などの検討を行うものです。

回答いただいた内容については、人口減少対策の検討、統計的分析、学術研究や論文作成以外には使用せず、同意なく第三者に個票データの開示、提供は行いません。また、研究成果を公表する場合には、同意なく自治体名の公表は行いませんので、下記アンケートへのご協力をお願いいたします。

なお、回答が難しい設問がありましたら、一番左(「全くあてはまらない」など)を選択するよう、お願いいたします。

また、ご希望がある場合は、単純集計の結果をメールにてお送りさせていただきますので、下記希望欄に入力をお願いします。

小樽市長 森井 秀明
小樽市人口減少問題研究会 代表 江頭 進
(国立大学法人小樽商科大学副学長)

★ 平成30年3月9日(金)までに回答をお願いします。

★ jinkou-taisaku@city.otaru.lg.jp 宛にメールで提出願います。

【基本情報】

市区町村コード(5桁)		集計結果送付希望	
都道府県名+市区名		平成30年2月1日現在の職員数	正職員 人
担当部署			臨時・嘱託員 人
担当者名		公表している直近の人口	人
電話番号		現首長の就任期間	年 月
メールアドレス			

問1. 貴市(区)における**まちづくりの在り方**について、下記項目の回答として最も良くあてはまるものを、「全くあてはまらない」～「非常にあてはまる」を両極とする**7段階の中から1つ選択**してください。

	全くあてはまらない	ほとんどあてはまらない	ややあてはまらない	どちらとも言えない	少しあてはまる	よくあてはまる	非常によくあてはまる
(1) 住んで欲しい住民層を、明確に設定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2) 政策ごとに明確なターゲットを設定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3) 特定の住民層にターゲットを絞ったまちづくりを重視している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4) 地域としてのコンセプトを、明確に設定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(5) 人口に関する明確な戦略目標を持っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(6) 人口増加を目標としている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(7) 人口維持を目標としている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(8) 今よりは少ない人口の維持を目標としている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(9) 人口に関する戦略は、着実に遂行できている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(10) 人口に関する戦略目標は達成できている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(11) 住民として子育て世代を増やしたい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(12) 住民として高齢者を増やしたい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(13) 住民として単身者を増やしたい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(14) 住民として20～30歳代を増やしたい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(15) 住民として40～50歳代を増やしたい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(16) 大学や各種学校を中心とした文教的なまちづくりを目指している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(17) 工業や伝統工芸などを中心としたものづくりのまちを目指している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(18) 農業・漁業を中心とした食のまちづくりを目指している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(19) 商業を中心としたまちづくりを目指している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(20) 観光業を中心としたまちづくりを目指している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(21) 各産業ともバランスの取れたまちづくりを目指している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

問2. 貴市(区)における**住民ニーズに関する取組**について、下記項目の回答として最も良くあてはまるものを、「全くあてはまらない」～「非常にあてはまる」を両極とする**7段階の中から1つ選択**してください。

	全くあてはまらない	ほとんどあてはまらない	ややあてはまらない	どちらとも言えない	少しあてはまる	よくあてはまる	非常によくあてはまる
(1) 多くの事業の目的として、住民の満足度向上を重要視している	○	○	○	○	○	○	○
(2) 市(区)は、住民ニーズに向き合う意識が充分か、組織内を定期的にチェックしている	○	○	○	○	○	○	○
(3) 住民に喜んでもらうための試みについては、成功や失敗に関わらず、役職や部署を越えて情報交換している	○	○	○	○	○	○	○
(4) 住民ニーズに基づいて、中期的な計画を立てている	○	○	○	○	○	○	○
(5) 住民の市(区)に対する満足度を、計画的かつ頻繁に測定している	○	○	○	○	○	○	○
(6) 住民へのサービス提供が十分なレベルにあるかを定期的に測定している	○	○	○	○	○	○	○
(7) 他市区町村と比べて、住民を重視している	○	○	○	○	○	○	○
(8) 我々の仕事は、企業や政府のためではなく、住民のためにこそ存在していると強く信じている	○	○	○	○	○	○	○
(9) 行政サービスの品質評価のために、年に一度は住民への対面調査をしている	○	○	○	○	○	○	○
(10) 住民の満足度に関するデータは、全職員に定期的に周知される	○	○	○	○	○	○	○
(11) 行政サービスの将来動向を予感させるような先端的なサービスを、住民に提供している	○	○	○	○	○	○	○
(12) 住民自身も気付いていない新ニーズの発見を継続的に試みている	○	○	○	○	○	○	○
(13) 住民自身も正確に表現できないようなニーズの解決策を組み込んだ新サービスを提供するよう心がけている	○	○	○	○	○	○	○
(14) 住民の行政サービス利用の在り方について、職員同士で自由な雰囲気でのアイデア出しを行っている	○	○	○	○	○	○	○
(15) たとえ自分たちのサービスを陳腐化させる危険を冒したとしても、革新的な取組を行うようにしている	○	○	○	○	○	○	○
(16) 住民が自身のニーズを表現するのに苦労するような点について、新たな行政サービスを探索している	○	○	○	○	○	○	○
(17) 将来的なニーズに敏感な先端的問題意識をもった住民とのコミュニケーションを重視している	○	○	○	○	○	○	○
(18) 現在の住民の将来的なニーズに関する洞察を得るために、主要トレンドの探索を行っている	○	○	○	○	○	○	○

問3. 貴市(区)における**行政事業の在り方**について、下記項目の回答として最も良くあてはまるものを、「全くあてはまらない」～「非常にあてはまる」を両極とする**7段階の中から1つ選択**してください。

	全くあてはまらない	ほとんどあてはまらない	ややあてはまらない	どちらとも言えない	少しあてはまる	よくあてはまる	非常によくあてはまる
(1) ユニークで新しく革新性の高い行政サービスの開発を重視している	○	○	○	○	○	○	○
(2) 新サービスを幅広い行政分野において開発することを重視している	○	○	○	○	○	○	○
(3) 他市区町村に先んじて行動することを重視している	○	○	○	○	○	○	○
(4) 他市区町村の戦略には、その効果を打ち消すような対抗姿勢で臨む	○	○	○	○	○	○	○
(5) 画期的なアイデアの導入では、他市町村に先んじる傾向がある	○	○	○	○	○	○	○
(6) 他市区町村よりもハイリスク・ハイリターンプロジェクトを好む傾向がある	○	○	○	○	○	○	○
(7) 行政上の目標達成のためには、大胆で広範な行動が必要と考えている	○	○	○	○	○	○	○
(8) 新たなテクノロジーの採用を重視している	○	○	○	○	○	○	○
(9) 潜在的な住民ニーズや事業所のニーズを発見、充足するためには、大胆でアグレッシブな姿勢で挑む必要があると考えている	○	○	○	○	○	○	○
(10) 首長と議会は協力的な関係にある	○	○	○	○	○	○	○
(11) 首長は強いリーダーシップを発揮している	○	○	○	○	○	○	○
(12) 庁内ではボトムアップで物事が決まる傾向にある	○	○	○	○	○	○	○

問4. **近隣の市区町村と比較した貴市(区)の評価**について、下記項目の回答として最も良くあてはまるものを、「非常に劣っている」～「非常に優れている」を両極とする**7段階の中から1つ選択**してください。

	非常に劣っている	劣っている	やや劣っている	どちらとも言えない	やや優れている	優れている	非常に優れている
(1) 積極的な投資による新サービスの開発	○	○	○	○	○	○	○
(2) 住民ニーズに適応した新サービスの開発	○	○	○	○	○	○	○
(3) 他市区町村に先んじた新サービスの開発	○	○	○	○	○	○	○
(4) 市(区)の取組や告知に関する住民への広報の計画と実行	○	○	○	○	○	○	○
(5) 広報活動の管理と広報媒体作成のスキル	○	○	○	○	○	○	○
(6) 新聞、雑誌、テレビ報道等、公的なメディア活用のスキル	○	○	○	○	○	○	○
(7) ブランド・イメージを管理するスキルやプロセス	○	○	○	○	○	○	○
(8) 政策立案のスキル	○	○	○	○	○	○	○
(9) 政策立案における効果的なターゲット設定の能力	○	○	○	○	○	○	○
(10) 創造的な政策の開発	○	○	○	○	○	○	○
(11) 政策立案プロセスの綿密さ	○	○	○	○	○	○	○
(12) 政策実行に必要な資源の効果的な配分	○	○	○	○	○	○	○
(13) 政策を効果的に実行するための組織内外の調整	○	○	○	○	○	○	○
(14) 政策を実行レベルの行動へ落とし込むこと	○	○	○	○	○	○	○
(15) 政策の速やかな実行	○	○	○	○	○	○	○
(16) 地域住民の交流機会の提供	○	○	○	○	○	○	○
(17) 福祉サービスの充実	○	○	○	○	○	○	○
(18) 医療サービスの充実	○	○	○	○	○	○	○
(19) 子育て支援の充実	○	○	○	○	○	○	○
(20) 高齢者支援の充実	○	○	○	○	○	○	○
(21) 初等教育に関する独自の支援	○	○	○	○	○	○	○
(22) 文化施設の充実	○	○	○	○	○	○	○
(23) スポーツ施設の充実	○	○	○	○	○	○	○
(24) 公共交通の充実	○	○	○	○	○	○	○
(25) 自然を活かした職住環境	○	○	○	○	○	○	○
(26) 商業振興のための政策やサービスの充実	○	○	○	○	○	○	○
(27) 事業所数を増やすための政策やサービスの充実	○	○	○	○	○	○	○
(28) 市外(区外)からの投資を促進する政策やサービスの充実	○	○	○	○	○	○	○

問5. 貴市(区)に関する**地域のブランディング**について、下記項目の回答として最も良くあてはまるものを、「全くあてはまらない」～「非常にあてはまる」を両極とする**7段階の中から1つ選択**してください。

	全くあてはまらない	ほとんどあてはまらない	ややあてはまらない	どちらとも言えない	少しあてはまる	よくあてはまる	非常によくあてはまる
(1) 地域のブランディングは、市(区)におけるマーケティング上のあらゆる行動の基本となっている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(2) 地域のブランディングは、市(区)の行政経営戦略において不可欠である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(3) 長期的なブランド計画は、市(区)の将来にとって重要である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(4) ブランドは、市(区)にとって行政経営の重要な資産である	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(5) 全職員が、ブランディングを行政上の重要課題と考えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(6) 市(区)では、地域の明確なブランドコンセプトを設定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(7) 市(区)では、地域固有の特性を備えたブランディングを行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(8) 地域が持つイメージの活用を重視したブランディングを行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(9) 地域の自然、歴史、生活に関連した独自のストーリー性があるブランディングを行っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(10) ブランディングを実行するための人手を確保するのが難しい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(11) ブランディングはしたいが、何から始めて良いか分からない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(12) ブランディングに関するアドバイスをくれる外部の人がいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(13) ブランディングに役立つ経験を持った人物が市(区)役所内にいる	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(14) ブランディングに関する予算計上は難しい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(15) ブランディングのために時間を割くことが難しい	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(16) 他市区町村とは明確に異なるブランド・ポジションを形成している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(17) 住民は、市(区)に対して、市(区)の狙い通りのブランド・イメージを持っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(18) 住民は、市(区)のブランド・イメージに対する強い愛着を持っている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(19) 他市区町村と比べて、高級なブランド・イメージが定着している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(20) 他市区町村と比べて、高い知名度を得ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(21) 他市区町村と比べて、より多くの住民獲得を実現している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(22) 他市区町村と比べて、より多くの観光客獲得を実現している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(23) 地域のブランディングに関する明確な戦略目標を設定している	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
(24) 地域のブランディングに関する戦略目標は達成されている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

問6. 貴市(区)における**職員の学び**について、下記項目の回答として最も良くあてはまるものを、「全くあてはまらない」～「非常にあてはまる」を両極とする**7段階の中から1つ選択**してください。

	全くあてはまらない	ほとんどあてはまらない	ややあてはまらない	どちらとも言えない	少しあてはまる	よくあてはまる	非常によくあてはまる
(1) 管理職の職員は、重要な意思決定プロセスに一般職員もよく参加させる	○	○	○	○	○	○	○
(2) 職員が学ぶことは、投資というよりも、費用としてみなされる	○	○	○	○	○	○	○
(3) 管理職の職員は、新しい状況に前向きに適応するための変化に対して好意的であると思う	○	○	○	○	○	○	○
(4) 市(区)役所においては、職員の学習能力は組織にとって最も重要な要素だと考えられている	○	○	○	○	○	○	○
(5) 斬新なアイデアで成果をあげた職員が報われる仕組みがある	○	○	○	○	○	○	○
(6) 全職員は市(区)の目的を遂行するのに必要な知識を共有している	○	○	○	○	○	○	○
(7) 市(区)役所の組織を構成する全ての部局、課、プロジェクトチーム、個人は、全体の目標を達成するためにどう貢献するかを意識している	○	○	○	○	○	○	○
(8) 市(区)役所の組織を構成する全ての部局、課、プロジェクトチーム、個人は、お互いを良く知り、連携しながら協働している	○	○	○	○	○	○	○
(9) 市(区)役所では、仕事のプロセスを改善するために、実験的な試みや革新的な取組を推進している	○	○	○	○	○	○	○
(10) 市(区)役所では、他市区町村の動向を注視しており、その中から有益な取組や手法を取り入れている	○	○	○	○	○	○	○
(11) コンサルタント、職員研修、住民などの市(区)役所の外部から提供される経験やアイデアは、役所にとって学習の有効な手段となっている	○	○	○	○	○	○	○
(12) 仕事現場での業務の進め方について、職員が意見や提案を行うことは組織文化となっている	○	○	○	○	○	○	○
(13) 市(区)役所内においては、どのような職位にあっても、誤りや失敗についてはいつも議論と分析が行われる	○	○	○	○	○	○	○
(14) 市(区)役所にとって有益だと考えられる新しいアイデア、プログラム、行動について職員同士で話すことが良くある	○	○	○	○	○	○	○
(15) 市(区)役所内において、チームワークを発揮して働くことはあまりない	○	○	○	○	○	○	○
(16) 職員に入れ替わりがあっても、過去に組織として学んだことを有効に維持するための手段(マニュアル、データベース、ファイル、仕事の進め方の決まり事)が存在している	○	○	○	○	○	○	○

問7. 貴市(区)における下記項目に関する**過去5年間の成長**はどのようなものですか？回答として最も良くあてはまるものを、「非常に縮小している」～「非常に伸びている」を両極とする**7段階の中から1つ選択**してください。

	非常に縮小している	縮小している	やや縮小している	どちらとも言えない	やや伸びている	伸びている	非常に伸びている
(1) 税収	○	○	○	○	○	○	○
(2) 新規住民の数	○	○	○	○	○	○	○
(3) 観光客数	○	○	○	○	○	○	○
(4) 住民の満足度	○	○	○	○	○	○	○
(5) 市外(区外)からの投資	○	○	○	○	○	○	○
(6) 事業所の新規開設	○	○	○	○	○	○	○